

業績目録（平成21年度）

硬組織形態学分野	2
口腔解剖学分野	4
口腔生化学分野	7
口腔生理学分野	8
口腔病理学分野	10
口腔環境・感染防御学分野	14
歯科基礎移植・再生学分野	14
生体材料学分野	16
予防歯科学分野	17
う蝕学分野	24
歯周診断・再建学分野	29
組織再建口腔外科学分野	38
顎顔面口腔外科学分野	41
包括歯科補綴学分野	47
生体歯科補綴学分野	49
歯科矯正学分野	52
小児歯科学分野	55
顎顔面放射線学分野	59
摂食・嚥下リハビリテーション学分野	61
歯科侵襲管理学分野	68
口腔生命福祉学科	69
歯科総合診療部	76
インプラント治療部	79
顎関節治療部	85

硬組織形態学分野

【著書】

- 1) 大島勇人：遺伝子変異とエナメル質形成不全症. エナメル質, その形成, 構造, 組成と進化, 再生 (脇田稔, 山下靖雄, 小澤幸重編), 225-235 頁, 蓼科印刷株式会社, 東京, 2009.
- 2) 大島勇人・浜島幸司：「ダブルホーム制による, いきいき学生支援」平成 20 年度活動報告書. 新潟大学全学教育機構学生支援部門, 1-283 頁, 株式会社タカヨシ, 新潟, 2009.
- 3) 大島勇人・浜島幸司：学生支援部門年度報告. 新潟大学全学教育機構年報「自律と創生」第 3 号, 85-149 頁, 新潟大学全学教育機構, 新潟, 2010.

【論文】

- 1) Nakatomi M: Ellis-van Creveld (EvC) syndrome: unusual oral defects in humans and Evc mutant mice. *J Oral Biosci* 51(3): 151-157, 2009.
- 2) Unno H, Suzuki H, Nakakura-Ohshima K, Jung HS, Ohshima H: Pulpal regeneration following allogenic tooth transplantation into mouse maxilla. *Anat Rec (Hoboken)* 292(4): 570-579, 2009.
- 3) Cai J, Cho SW, Ishiyama M, Mikami M, Hosoya A, Kozawa Y, Ohshima H, Jung HS: Chick tooth induction revisited. *J Exp Zool B Mol Dev Evol* 312B(5): 465-472, 2009.
- 4) Cho KW, Cai J, HY, Hosoya A, Ohshima H, Choi KY, Jung HS: ERK activation is involved in tooth development via FGF10 signaling. *J Exp Zool B Mol Dev Evol* 312(8): 901-911, 2009.
- 5) Swelam WM, Cheng J, Ida-Yonemochi H, Maruyama S, Saku T: Oral solitary fibrous tumor: a cytogenetic analysis of tumor cells in culture with literature review. *Cancer Genet Cytogenet* 194(2): 75-81, 2009.
- 6) Tilakaratne WM, Kobayashi T, Ida-Yonemochi H, Swelam W, Yamazaki M, Mikami T, Alvarado CG, Shahidul AM, Maruyama S, Cheng J, Saku T: Matrix metalloproteinase 7 and perlecan in oral epithelial dysplasia and carcinoma in situ: an aid for histopathologic recognition of their cell proliferation centers. *J Oral Pathol Med* 38(4): 348-355, 2009.
- 7) Kobayashi T, Ida-Yonemochi H, Maruyama S, Cheng J, Yagi M, Takagi R, Saku T: Histopathological varieties of oral carcinoma in-situ: its diagnosis aided by the immunohistochemistry for

the concept of the second basal cell layer as the proliferating center of oral mucosal epithelia. *Pathol Int* 60(3): 156-166, 2010.

【商業誌他】

- 1) 大島勇人, 高森泰彦, 鈴木啓展, 大島邦子, Jung HS, Cho SW, Cai J: 今月の表紙: 歯髄分化能の最近の知見. *日本歯科評論* 69 (1) : 47-48, 2009.
- 2) 大島勇人: 最近のトピックス: 歯の損傷後の歯髄修復機構の新規仮説について. *新潟歯学会雑誌* 39(2): 171-176, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 大島勇人, 鈴木啓展, 大島邦子, 本田雅規: 歯髄組織幹細胞の局在と分化能の解明. 平成 21 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)「一般」) (継続), 19390462, 2009.
- 2) 大島勇人, 鈴木啓展, 大島邦子, 重谷佳見: 外傷歯の歯髄再生療法の基盤となる歯髄細胞の分化誘導法の確立. 平成 21 年度科学研究費補助金 (萌芽研究) (継続), 20659296, 2009.
- 3) 大島勇人, 依田浩子, 中川英蔵, 監物新一, 大島邦子: 歯髄分化能の解明: 歯髄組織幹細胞との関連について. 平成 21 年度日本学術振興会二国間交流事業 (韓国との共同研究), 2009.
- 4) 依田浩子, 大島勇人, 朔 敬: 歯胚エナメル器星状網形成におけるパルカンシグナル伝達機構の解明. 平成 21 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)「一般」), 21592321, 2009.
- 5) 興地隆史, 大島勇人ほか: 根尖性歯周疾患の病態機序 - 自然および獲得免疫応答と樹状細胞の成熟化. 平成 21 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)「一般」) (継続), 20390483, 2009.
- 6) 大島邦子, 大島勇人: 歯の他家移植療法の基盤となる歯根膜細胞の分化誘導法の確立, 平成 21 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)「一般」) (継続), 20592394, 2009.
- 7) 監物新一: マイクロ CT を用いた歯髄腔形態のデータベース構築と教材の開発, 平成 21 年度科学研究費補助金 (奨励研究), 21932004, 2009.
- 8) 依田浩子: マウス歯胚発育過程におけるグリコーゲンおよびグルコース輸送体の局在と機能, 平成 21 年度新潟大学プロジェクト推進経費 (若手研究者奨励研究), 2009.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Ohshima H: Responses of dental pulp stem cells against exogenous stimuli. 15th APEC & 7th KAE-

- JEA Joint Meeting, Tokyo, Japan, 2009. 4. 24-26.
- 2) Ohshima H: Putative dental pulp stem cells in growing teeth & their regenerative capacity. 2nd TERMIS World Congress in conjunction with 2009 Seoul Stem Cell Symposium, Seoul, Republic of Korea, 2009. 8. 31-9. 3.
 - 3) 大島勇人：象牙質成長線を生物学的に考える. 第115回日本解剖学会総会研究集会・懇話会, 歯の発生学会「組織形態形成における周期性のメカニズムとその意義」, 盛岡, 2010. 3. 27, 解剖雑誌 85 (Suppl) : 28, 2010.
 - 4) 中富満城：顔面発生における Pax9 と Msx1 の役割. 第115回日本解剖学会総会シンポジウム「顎顔面発生研究の新規展開：若手研究者の発想とねらい」, 盛岡, 2010. 3. 28-30, 解剖雑誌 85 (Suppl) : 96, 2010.
- 【学会発表】**
- 1) 清野雄多, 大島勇人：アルカリ消化・走査電顕法によるモルモット臼歯 apical bud の三次元観察. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009. 9. 9-11, J Oral Biosci 51 (Suppl) : 75, 2009.
 - 2) 石川裕子, 依田浩子, 大島邦子, 本田雅規, 大島勇人：マウス臼歯発生過程における歯髓組織幹細胞の局在. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009. 9. 9-11, J Oral Biosci 51 (Suppl) : 75, 2009.
 - 3) 武藤徳子, 中川英蔵, 依田浩子, 石井信之, 大島勇人：マウス顎骨への歯の他家移植後の歯髓・歯周組織再生過程における組織幹細胞の動態について. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009. 9. 9-11, J Oral Biosci 51 (Suppl) : 75, 2009.
 - 4) 斎藤浩太郎, 依田浩子, 石川裕子, 大島勇人：マウス臼歯再植・移植後の歯髓治癒過程における GM-CSF およびオステオポンチンの役割について. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009. 9. 9-11, J Oral Biosci 51 (Suppl) : 90, 2009.
 - 5) 依田浩子, 中川英蔵, 馬場麻人, 織田公光, 寺島達夫, 大島勇人：マウス歯胚発育過程におけるグリコーゲンおよびグルコース輸送体の局在. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009. 9. 9-11, J Oral Biosci 51 (Suppl) : 90, 2009.
 - 6) 中川英蔵, 依田浩子, 吉江弘正, 大島勇人：マウス顎骨への歯胚他家移植後の歯周組織形成過程について. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009. 9. 9-11, J Oral Biosci 51 (Suppl) : 91, 2009.
 - 7) 笹なつき, 重谷佳見, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 監物新一, 大島勇人, 興地隆史：半導体レーザー照射に対するラット臼歯歯髓初期反応. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009. 9. 9-11, J Oral Biosci 51 (Suppl) : 100, 2009.
 - 8) 武藤徳子, 石井信之, 大島勇人：胎生期 BrdU ラベリング法を用いたマウス顎骨への歯の他家移植後の歯髓・歯周組織再生過程における label-retaining cells の動態について. 神奈川歯科大学学会第44回総会, 横須賀, 2009. 12. 5, 神奈川歯学 44 (抄録集) : 20, 2009.
 - 9) 大島勇人, 中富満城, 中川英蔵, 石川裕子, 監物新一, 依田浩子：ラット臼歯象牙質形成における歯髓毛細血管と基質形成・石灰化との相関について. 第115回日本解剖学会総会・全国学術集会, 盛岡, 2010. 3. 28-30, 解剖雑誌 85 (Suppl) : 110, 2010.
 - 10) 依田浩子, 中富満城, 中川英蔵, 大島勇人：マウス歯胚発育におけるグルコース輸送体の局在と機能. 第115回日本解剖学会総会・全国学術集会, 盛岡, 2010. 3. 28-30, 解剖雑誌 85 (Suppl) : 175, 2010.
 - 11) 塩生有希, 依田浩子, 大島勇人：ラット切歯歯髓象牙芽細胞層内樹状細胞の防御機能について. 第115回日本解剖学会総会・全国学術集会, 盛岡, 2010. 3. 28-30, 解剖雑誌 85 (Suppl) : 202, 2010.
- 【研究会発表】**
- 1) 大島勇人：歯髓幹細胞と歯の損傷後の歯髓修復機構, 歯胚再生コンソーシアム & 岩手医科大学歯学部オープンリサーチ主催「若手研究セミナー」, 岩手山焼走り国際交流村, 2009. 7. 26-27.
 - 2) Ohshima H: The expression of GM-CSF and osteopontin in immunocompetent cells precedes the odontoblast differentiation following allogenic tooth transplantation in mice. 平成21年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業連絡会議, 東京, 2010. 2. 19-20.
 - 3) Ida-Yonemochi H: Functional significance of glucose transporters during murine tooth development. 平成21年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業連絡会議, 東京, 2010. 2. 19-20.
- 【その他】**
- 1) Ohshima H: has participated in the advanced course "International Dissection Workshop For Implant Surgery". At the Laboratory of Anatomy of Paris Descartes Medicine University, Paris, France, 2009. 11. 12.
 - 2) 大島勇人：第8回産学連携フォーラム（歯科再生医療産学連携会議主催）, 東京, 2009. 12. 15.
 - 3) 大島勇人, 原田英光：（企画）第115回日本解剖学会総会研究集会・懇話会「組織形態形成における周

- 期性のメカニズムとその意義」(歯胚再生コンソーシアム後援): 1. 小澤幸重『歯の形態形成の周期性』, 2. 大島勇人『象牙質成長線を生物学的に考える』, 3. 高野吉郎『成熟期エナメル芽細胞層に発現する形態変化の進行波』, 4. 原田英光『エナメル横紋形成のメカニズムに関する新規仮説』, 5. 篠田 壽『硬組織形成のサーカディアンリズム』, 盛岡, 2010. 3. 27, 解剖雑誌 85 (Suppl): 96, 2010.
- 4) 大島勇人, 原田英光: (企画) 第115回日本解剖学会総会シンポジウム「顎顔面発生研究の新規展開: 若手研究者の発想とねらい」(歯胚再生コンソーシアム後援): 1. 中富満城『顔面発生における Pax9 と Msx1 の役割』, 2. 大津圭史『MSC と血管内皮細胞との相互作用』, 3. 山座孝義『骨髄間葉系幹細胞によるニッチ構築と生体制御』, 4. 中村卓史『器官形成における Epipofin の役割』, 盛岡, 2010. 3. 28-30, 解剖雑誌 85 (Suppl): 28, 2010.
- 5) 大島勇人: 電子顕微鏡で解き明かす歯の損傷後の歯髄反応. 日本大学松戸歯学部電顕講習会, 松戸, 2009. 10. 30.
- 6) 大島勇人: 外的刺激に対する歯髄反応の特殊性と歯髄分化能. 日本大学歯学部大学院特別セミナー, 東京, 2009. 11. 6.
- 7) 大島勇人: 窩洞形成と歯髄反応. 岩手医科大学歯学部特別講義, 盛岡, 2010. 1. 12.
- 8) Ohshima H: Face: its diversity and evolution. Special lecture for students in Yonsei University, ソウル, 韓国, 2010. 3. 11.
- 9) 大島勇人: 第9回産学連携フォーラム (歯科再生医療産学連携会議主催), 東京, 2010. 3. 17.
- 98-110 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 5) 芳澤享子, 泉 健次, 飯田明彦, 高木律男, 齊藤 力: 口腔前庭拡張術, 歯槽堤形成術への培養複合口腔粘膜の応用). 一般臨床家, 口腔外科医のための口腔外科ハンドマニュアル '09 (日本口腔外科学会編, 110-117 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2009.
- 6) 前田健康, 山田好秋: 序章 解剖学で学ぶこと・生理学で学ぶこと. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 7) 井上佳世子: I 編 1 章 細胞と組織. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 8) 井上佳世子: 第3章 2. 消化器の構造. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 9) 前田健康: 第5章 1. 神経系の概要. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 10) 前田健康: 第5章 2. 神経系の構成. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 11) 前田健康: 第5章 6. 末梢神経系. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 12) 泉 健次: 第7章 3. 外皮. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 13) 河野芳朗: 第7章 4. 特殊感覚器の構造と機能. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 14) 前田健康: 第10章 内分泌. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 15) 前田健康: 第2章 I. 口腔とは. 最新歯科衛生士教本 口腔の構造と機能 (前田健康, 遠藤圭子, 畠中能子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 16) 前田健康: 第2章 II. 口腔を構成する骨. 最新歯科衛生士教本 口腔の構造と機能 (前田健康, 遠藤圭子, 畠中能子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 17) 前田健康: 第2章 III. 顔面・口腔の筋とその作用. 最新歯科衛生士教本 口腔の構造と機能 (前田健康, 遠藤圭子, 畠中能子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 18) 井上佳世子: 第2章 IV. 顎関節. 最新歯科衛生士教本 口腔の構造と機能 (前田健康, 遠藤圭子, 畠中能子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 19) 前田健康: 第2章 V. 口腔付近に分布する脈管系.

口腔解剖学分野

【著書】

- 1) Smith MH, Izumi K, Feinberg SE: Tissue engineering. Operative Oral and Maxillofacial Surgery 2nd Ed (Eds by John Langdon, Mohan Patel, Robert Ord, Peter Brennan), Hodder Arnold Health Sciences, London, Chapter 12.3, 2009 in press.
- 2) 前田健康, 杉本朋貞: 第8章 神経学総論. 口腔解剖学 (井出吉信, 前田健康, 天野 修編), 42-53 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 3) 前田健康: 第9章 感覚器学総論. 口腔解剖学 (井出吉信, 前田健康, 天野 修編), 54-60 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 4) 杉本朋貞, 前田健康: 第14章 頭頸部の神経系. 口腔解剖学 (井出吉信, 前田健康, 天野 修編),

最新歯科衛生士教本 口腔の構造と機能(前田健康, 遠藤圭子, 畠中能子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.

- 20) 前田健康: 第2章 VIII. 神経. 最新歯科衛生士教本 口腔の構造と機能(前田健康, 遠藤圭子, 畠中能子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.

【論文】

- 1) Luiz de Freitas PH, Li M, Ninomiya T, Nakamura M, Ubaidus S, Oda K, Udagawa N, Maeda T, Takagi R, Amizuka N: Intermittent PTH administration stimulates pre-osteoblastic proliferation without leading to enhanced bone formation in osteoclast-less c-fos (-/-) mice. *J. Bone Miner. Res.*, 24(9): 1586-1597, 2009.
- 2) Xu Q, Izumi K, Tobita T, Nakanishi Y, Feinberg SE: Constitutive release of cytokines by human oral keratinocytes in an organotypic culture. *J. Oral Maxillofac. Surg.*, 67(6): 1256-1264, 2009.
- 3) Yoshida K, Uoshima K, Oda K, Maeda T: Influence of heat stress to matrix on bone formation. *Clin. Oral Impl. Res.*, 20(8): 782-790, 2009.
- 4) Hitomi Y, Suzuki A, Kawano Y, Nozawa-Inoue K, Inoue M, Maeda T: Immunohistochemical detection on ENaC β in the terminal Schwann cells associated with the periodontal Ruffini endings of the rat incisor. *Biomed. Res.*, 30(2): 113-119, 2009.
- 5) Ohishi M, Harada F, Rahman F, Saito I, Kawano Y, Nozawa-Inoue K, Maeda T: GDNF expression in terminal Schwann cells associated with the periodontal Ruffini endings of the rat incisors during regeneration. *Anat. Rec. (Hoboken)*, 292(8): 1185-1191.
- 6) Seino H, Seo K, Maeda T, Someya G: Behavioral and histological observations of sensory impairment caused by tight ligation of the trigeminal nerve in mice. *J. Neurosci. Methods*, 181(1): 67-72, 2009.
- 7) Ubaidus S, Li M, Sultana S, de Freitas PH, Oda K, Maeda T, Takagi R, Amizuka N: FGF23 is mainly synthesized by osteocytes in the regularly distributed osteocytic lacunar canalicular system established after physiological bone remodeling. *J. Electron Microsc.*, 58(6): 381-392, 2009.
- 8) Fujimori Y, Izumi K, Feinberg SE, Marcelo CL: Isolation of small-sized human epidermal progenitor/stem cells by Gravity Assisted Cell

- Sorting (GACS). *J. Dermatol. Sci.*, 56(3): 181-187, 2009.
- 9) Izumi K, Inoki K, Fujimori Y, Marcelo CL, Feinberg SE: Pharmacological retention of oral mucosa progenitor/stem cells. *J. Dent. Res.*, 88(12): 1113-1118, 2009.
 - 10) Seo K, Seino H, Yoshikawa H, Petrenko AB, Baba H, Fujiwara N, Someya G, Kawano Y, Maeda T, Matsuda M, Kanematsu T, Hirata M: Genetic reduction of GABA(A) receptor gamma2 subunit expression potentiates the immobilizing action of isoflurane. *Neurosci. Lett.*, 472(1):1-4, 2010.
 - 11) Tobita T, Izumi K, Feinberg SE: Development of an in vitro model for radiation induced effects on oral keratinocytes. *Int. J. Oral Maxillofac. Surg.*, 2010 in press.
 - 12) Li M, Seki Y, Luiz de Freitas PH, Nagata M, Kojima T, Sultana S, Ubaidus S, Maeda T, Shimomura J, Henderson JE, Tamura M, Oda K, Takagi R, Amizuka N: FGFR3 down-regulates PTH/PTHrP receptor gene expression by mediating JAK/STAT signaling in chondrocytic cell line. *J. Electron Microsc.*, 2010 in press.
 - 13) 小野和宏, 八木 稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 林 孝文, 齋藤 功, 興地隆史, 前田健康, 山田好秋: 新潟大学歯学部歯学科の新教育課程とその評価. *新潟歯学会誌*, 39 (1) : 29-40, 2009.
 - 14) 泉 健次: 「最近のトピックス」老けを抑える薬とその処方箋. *新潟歯学会誌*, 39 (2) : 183-184, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 前田健康 (研究代表者): 歯根膜機械受容器のカベオラの存在意義の解明. 平成 21 年度 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤 (B) 「一般」, 2009.
- 2) 前田健康 (研究代表者): 口腔粘膜上皮前駆/幹細胞の分離・同定. 平成 21 年度 文部科学省科学研究費補助金 挑戦的萌芽, 21659455, 2009.
- 3) 井上佳世子 (研究代表者): 顎関節滑膜における線維芽細胞様 B 型細胞の分類確立～筋特異的分子に着目して～. 平成 21 年度 文部科学省科学研究費補助金 若手 (B), 21791783, 2009.
- 4) 河野芳朗 (研究代表者): 新たに同定したセメント芽細胞特異マーカーを用いたセメント質形成過程. 平成 21 年度 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤 (C), 21592322, 2009.
- 5) 鈴木晶子 (研究代表者): 顎関節滑膜表層細胞と破骨細胞の細胞学的相同性の解明をめざして. 平成 21 年度 日本学術振興会科学研究費補助金 若手 (スタートアップ), 20890074, 2009.

- 6) 星野正明 (研究代表者): グルタミン酸は歯髄神経終末の神経伝達物質であるか? 平成 21 年度 日本学術振興会奨励研究費, 21932009, 2009.
- 7) 鈴木晶子 (研究代表者): 顎関節円板における神経栄養因子・同受容体の存在意義. 平成 21 年度新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2009.
- 8) 泉 健次 (研究代表者): 高度増殖能を有する培養口腔粘膜細胞の自動培養/回収システムの開発. 科学技術振興機構平成 21 年度地域イノベーション創出総合支援事業「シーズ発掘試験」, 2009.
21. <http://www.sfn.org/am2009/>
- 4) Wakisaka S, Okada H, Kadono K, Honma S, Maeda T: Expression of taste-receptor-related molecules in circumvallate papilla and gastrointestinal tract of developing rat. XIX ECRO Congress, Villasimus, Italy, 2009. 9. 24-27.
- 5) Winterroth F, Fowlkes JB, Kuo S, Izumi K, Feinberg SE, Hollister SJ, Hollman KW: High-resolution ultrasonic monitoring of cellular differentiation in an ex vivo produced oral mucosal equivalent (EVPOME). 2009 IEEE International Ultrasonics Symposium, Rome, Italy, 2009. 9. 20-23, Program Book: 109, 2009.
- 6) Winterroth F, Hollman KW, Izumi K, Feinberg SE, Fowlkes JB, Hollister SJ: Examination and comparisons of EVPOME/ AlloDerm® compositions using scanning acoustic microscopy. Society for Biomaterials 2009 annual meeting and exposition, San Antonio, TX, USA, 2009. 4. 22-25, Program Book: 40, 2009.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Maeda T: Involvement of multiple neurotrophins in development/regeneration of the periodontal Ruffini endings. Dental School National Yang-Ming University, Taipei, 2009. 12. 8.
- 2) Maeda T: Bone formation in implantation. Dental Department of Veterans General Hospital, Taipei, 2009. 12. 8.
- 3) 泉 健次: 培養口腔粘膜細胞を用いた口腔内外創傷治療の試み. 新潟大学歯学部同窓会福島県支部総会・講演会, 福島, 2009 年 8 月 29 日.
- 4) 泉 健次: 口腔粘膜細胞を用いた細胞/組織治療器具の開発と実用化への道のり. 第 19 回日本口腔粘膜学会総会シンポジウム, 口腔粘膜疾患のトランスレーショナルリサーチ, 逗子, 2009 年 6 月 5 日.
- 7) 河野芳朗, 木下 - 河野承子, 鈴木晶子, 野澤 - 井上佳世子, 前田健康: ラット切歯におけるセメント芽細胞の運命. 第 115 回日本解剖学会総会・全国学術大会, 岩手, 2010 年 3 月 28-30 日, 解剖学会雑誌, 85 (Suppl) :110, 2010.
- 8) 鈴木晶子, 野澤 - 井上佳世子, 真柄 仁, 河野芳朗, 寺田典子, 泉 健次, 前田健康: 顎関節関節円板におけるネスチンと GFAP の局在変化. 第 115 回日本解剖学会総会・全国学術大会, 岩手, 2010 年 3 月 28-30 日, 解剖学会雑誌, 85 (Suppl) :133, 2010.
- 9) Rahman Farhana, 原田史子, 河野芳朗, 大石めぐみ, 齋藤 功, 前田健康: Expression of ASIC3 in the periodontal Ruffini endings. 第 115 回日本解剖学会総会・全国学術大会, 岩手, 2010. 2010 年 3 月 28-30 日, 解剖学会雑誌, 85 (Suppl) :145, 2010.
- 10) 羽下麻衣子, 野澤 - 井上佳世子, 吉江紀夫, 前田健康: 骨窩洞形成により傷害を受けた骨の性質. 第 115 回日本解剖学会総会・全国学術大会, 岩手, 2010 年 3 月 28-30 日, 解剖学会雑誌, 85 (Suppl) :178, 2010.
- 11) 小野和宏, 八木 稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 林 孝文, 齋藤 功, 興地隆史, 前田健康, 藤井規孝: 新潟大学歯学部歯学科のカリキュラム評価. 第 28 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 広島, 2009 年 11 月 6-7 日, プログラム・抄録集: 91, 2009.
- 12) 安島久雄, 小野和宏, 井上 誠, 山村健介, 高木律男, 藤井規孝, 齋藤 功, 魚島勝美, 興地隆史, 前田健康, 松山順子, 田中 礼, 小田陽平, 島田靖子: 新潟大学歯学部における教員研修 (FD) の概要と

【学会発表】

- 1) Nagasawa M, Uoshima K, Yoshida K, Kawasaki M, Takano R, Rosales JM, Al-amin B, Mamunur R, Maeda T: Investigation on degenerative changes of the bone surrounding dental implant upon excessive occlusal load--a novel animal model to clarify the mechanism of osseointegration destruction--. 5th Scientific Meeting Asian Academy of Osseointegration, Kuta, Bali, Indonesia, 2009. 11. 20-22, 2009Abstract Book: 37, 2009.
- 2) Seo K, Fujiwara N, Maeda T, Kanematsu T, Hirata M: Nociceptive transmission in the trigeminal subnucleus caudalis of PRIP-1, PRIP-2 double knockout mice. 39th Annual Meeting of the Society for Neuroscience, Chicago, IL, 2009.10.17-21. <http://www.sfn.org/am2009/>
- 3) Wakisaka S, Okada H, Honma S, Maeda T: Expression of α -gustducin mRNA in developing, degenerating and regenerating circumvallate papilla of the rat. 39th Annual Meeting of the Society for Neuroscience, Chicago, IL, 2009. 10. 17-

- 今後の方向性. 第28回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 広島, 2009年11月6-7日, プログラム・抄録集: 92, 2009.
- 13) 黒川孝一, 小野和宏, 大内章嗣, 八木 稔, ステガロユ ロクサーナ, 中島俊一, 大瀧祥子, 森田修一, 山崎和久, 鈴木 昭, 山田好秋, 前田健康: 電子ノートシステム構築によるPBL学習支援について(第1報)—コアタイムにおける電子筆記とその評価—. 第28回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 広島, 2009年11月6-7日, プログラム・抄録集: 119, 2009.
 - 14) 韓 臨麟, 興地隆史, 吉羽永子, 小林哲夫, 藤井規孝, 小野和宏, 前田健康: 早期臨床実習への窩洞形成修復実習の導入. 第28回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 広島, 2009年11月6-7日, プログラム・抄録集: 128, 2009.
 - 15) 藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 魚島勝美, 齊藤 力, 前田健康: 新潟大学医歯学総合病院歯科医師臨床研修における単独型プログラムの実際. 第28回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 広島, 2009年11月6-7日, プログラム・抄録集: 162, 2009.
 - 16) 小島 拓, 網塚憲生, 鈴木晶子, 芳澤享子, 齊藤 力: 熱可塑性吸収プレートと β -TCP補填材併用による骨増生法の開発—ラット頭蓋骨を用いた実験モデルにおける組織化学的検討—. 第7回日本再生歯科医学会学術大会・総会, 北九州, 2009年9月11-12日, プログラム・抄録集: 49, 2009.
 - 17) 河野芳朗, 木下-河野承子, 鈴木晶子, 野澤-井上佳世子, 泉 健次, 前田健康: 歯胚中間層における67kD laminin receptor (67LR)の発現: 星状網における血管網形成との相関. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009年9月9-11日, 歯科基礎医学会雑誌, 51 (Suppl.): 73, 2009.
 - 18) 羽下麻衣子, 野澤-井上佳世子, 前田健康: 抜歯による三叉神経節における神経栄養因子 mRNA 経日的発現変化. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009年9月9-11日, 歯科基礎医学会雑誌, 51 (Suppl.): 99, 2009.
 - 19) 長澤麻沙子, 加来 賢, 秋葉陽介, 吉田恵子, 川崎真依子, Rosales Marcelo, Alamin Buiyan, 魚島勝美, 前田健康: インプラント咬合動物実験モデルにおける骨の組織学的観察. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009年9月9-11日, 歯科基礎医学会雑誌, 51 (Suppl.): 101, 2009.
 - 20) 長澤麻沙子, 魚島勝美, 吉田恵子, 川崎真依子, Rosales Marcelo, Al-amin Buiyan, 前田健康: ラットを用いた口腔インプラントの咬合モデル確立. 第118回日本補綴歯科学会学術大会, 京都, 2009年6月5-7日, プログラム・抄録集: 192, 2009.
 - 21) Nandasena T, Suzuki A, Aita M, Kawano Y, Nozawa-Inoue K, Maeda T: Immunolocalization of aquaporin-1 in the mechanoreceptive Ruffini endings in the periodontal ligament. 平成21年度新潟歯学会総会, 新潟, 2009年4月18日, 新潟歯学会雑誌, 39 (1): 86, 2009.
- 【研究会発表】**
- 1) Kojima T, Amizuka N, Suzuki A, Yoshizawa M, Saito C: Bone augmentation with β -tricalcium phosphate and a thermoplastic bioresorbable plate: a histological study in rat. 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, Hiroshima, 2009. 11. 7-8, Proceedings of 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, 79, 2009.
 - 2) Sakagami N, Amizuka N, Li M, Takeuchi K, Nakamura H, Udagawa N, Maeda T: Osteoclastic presence is essential for osteoblastic activity: a histological study in osteopetrotic (op/op) mice and c-src deficient (c-src-/-) mice. 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, Hiroshima, 2009. 11. 7-8, Proceedings of 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, 80, 2009.
 - 3) 小島 拓, 網塚憲生, 鈴木晶子, 芳澤享子, 齊藤 力, 前田健康: 吸収性プレートによる顎骨の再生. 第26回 歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い, 2010年1月9日, 抄録集: 6, 2010.
 - 4) 泉 健次: 培養口腔粘膜を用いた口腔粘膜再建. 口腔再生医療技術によりQOL向上を目指す医歯工産連携研究会, 札幌, 2009年11月27日.
- 【受賞】**
- 1) 星野正明: 平成21年度医学教育等関係業務功労者. 2009年11月25日.
 - 2) 羽下麻衣子, 野澤-井上佳世子, 前田健康: 第51回歯科基礎医学会学術大会 優秀ポスター賞. 抜歯による三叉神経節における神経栄養因子 mRNA 経日的発現変化. 2009年9月9-11日, 歯科基礎医学会雑誌, 51 (Suppl.): 99, 2009.

口腔生化学分野

【論文】

- 1) Higashi K, Yoshida M, Igarashi A, Ito K, Wada Y,

Murakami S, Kobayashi D, Nakano M, Sohda M, Nakajima T, Narita I, Toida T, Kashiwagi K, Igarashi K.: Intense correlation between protein-conjugated acrolein and primary Sjögren's syndrome. Clin Chim Acta. 411, 359-63, 2010

- 2) Li M, Seki Y, Freitas PH, Nagata M, Kojima T, Sultana S, Ubaidus S, Maeda T, Shimomura J, Henderson JE, Tamura M, Oda K, Liu Z, Guo Y, Suzuki R, Yamamoto T, Takagi R, Amizuka N: FGFR3 down-regulates PTH/PTHrP receptor gene expression by mediating JAK/STAT signaling in chondrocytic cell line. J Electron Microsc (Tokyo). 2010; 59(3): 227-36. 2010
- 3) Ermonval M., Baudry A, Oda K, Kellerman O. et al.: The cellular prion protein interacts with the tissue non-specific alkaline phosphatase in membrane microdomains of bioaminergic neuronal cells. PLoS One 4, e6497, 2009
- 4) Ubaidus S, Li M, sultana S, de Freitas PH, Oda K, Maeda T, Takagi R, Amizuka: FGF23 is mainly synthesized by osteocytes in the regularly distributed osteocytic lacunar canalicular system established after physiological bone remodeling. J. Electron Microsc (Tokyo) 58, 381-392, 2009
- 5) Yoshida K, Uoshima K, Oda K, Maeda T: Influence of heat stress to matrix on bone formation. Clin. Oral Implants Res. 20, 782-790, 2009
- 6) Luiz de Freitas PH, Li M, Ninomiya T, Nakamura M, Ubaidus S, Oda K, Udagawa N, Maeda T, Takagi R, Amizuka N: Intermittent PTH administration stimulates pre-osteoblastic proliferation without leading to enhanced bone formation in osteoclast-less c-fos (-/-) mice. J Bone Miner Res 24, 1586-1597, 2009
- 7) Amizuka, N, Li M, Hara K, Kobayashi M, de Freitas PH, Ubaidus S, Oda K, Akiyama Y: Warfarin administration disrupts the assembly of mineralized nodules in the osteoid. J. Electron Microsc (Tokyo) 58, 55-65, 2009

【商業誌】

- 1) 網塚憲生, 李 敏啓, 田村正人, 織田公光: 骨・軟骨に対する PTH/PTHrP 作用における形態学的知見 Clin.Calcium 医薬ジャーナル社 19, 935-943. 2009
- 2) Sobhan Ubaidus, 李 敏啓, Sara Sultana, 鈴子礼子, 柳 鑄辰, Paulo Freitas 小島 拓, 下村-黒木 淳子, 織田公光, 網塚憲生, 小澤英浩: 骨細胞・骨細管系における FGF23 と DMP-1 の免疫局在

The BONE メディカルレビュー社 23,3-7,2009

【研究費獲得】

- 1) 織田公光, 相田美和: 低ホスファターゼ症の発症メカニズムの解析. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C) 21592355, 2009 年
- 2) 織田公光: 低ホスファターゼ症の個別最適治療に向けた基礎的・臨床的検討 (分担). 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) .H21- 難治—一般—154, 2009 年
- 3) 織田公光: 口腔生命科学に関連する生理活性ペプチドに関する研究. 共同研究 アスピオファーマ, 2009 年

【学会発表】

- 1) 李 敏啓 原 久仁子 秋山康博 織田公光 網塚憲生: アスコルビン酸合成能欠如ラットの骨基質石灰化における微細構造学的観察 第 115 回日本解剖学会 岩手 2010 年 3 月 28-30 日 2010
- 2) 依田浩子, 中川英蔵, 馬場麻人, 織田公光, 寺島達夫, 大島勇人: マウス歯胚発育過程におけるグリコーゲンおよびグルコース輸送体の局在 第 51 回歯科基礎医学会, 2009 年 9 月 11 日 新潟市
- 3) 三浦俊英, 織田公光: ラット血中骨型石炭酸抵抗性酸性ホスファターゼ (TRACP-5b) 測定試薬の開発とその基礎性能 第 42 回新潟歯学会総会 2009 年 4 月 18 日 新潟市

【研究会発表】

- 1) 織田公光: Hypophosphatasia --studies in Niigata 第 8 回 (アルカリホスファターゼ) 研究会, 新潟市, 7 月 25 日, 2009 年

口腔生理学分野

【著書】

- 1) 山田好秋: 老化抑制と食品, 322-337, 株式会社アイピーシー, 東京, 2009.
- 2) 山村健介: 「呼吸」「排泄」, 最新歯科衛生士教本 (全国歯科衛生士教育協議会監修), 医歯薬出版, 東京, 2010.
- 3) 岩田幸一, 本田訓也, 北川純一: 大脳皮質における痛み応答-動物. BRAIN MEDICAL 21 (3), 15-21, メディカルレビュー社, 東京, 2009.

【論文】

- 1) Yamada Y, Uneyama H: Taste and Health: New Frontiers in Oral Physiology and Rehabilitation Foreword. J Health Sci 55(5): 663-663, 2009.

- 2) Yamada Y: Physiological Significance of Taste on Ingestion and Swallowing. *J Health Sci* 55(5): 664-666, 2009.
 - 3) Uneyama H, Yamada Y: Possible Applications of Umami Taste to Improve Eating Disorders. *J Health Sci* 55(5): 699-700, 2009.
 - 4) Inagaki D, Miyaoka Y, Ashida I, Yamada Y: Activity pattern of swallowing-related muscles, food properties and body position in normal humans. *J Oral Rehabil* 36(10): 703-709, 2009.
 - 5) Tsukada T, Taniguchi H, Ootaki S, Yamada Y, Inoue M: Effects of food texture and head posture on oropharyngeal swallowing. *J Appl Physiol* 106(6): 1848-1857, 2009.
 - 6) Mostafaezur R, Yamamura K, Kurose M, Yamada Y: Mastication-induced modulation of the jaw-opening reflex during different periods of mastication in awake rabbits. *Brain Res* 1254: 28-37, 2009.
 - 7) Inagaki D, Miyaoka Y, Ashida I, Yamada Y: Influence of food properties and body position on swallowing-related muscle activity amplitude. *J Appl Physiol* 36(3): 176-183, 2009.
 - 8) Miyaoka S, Ashida I, Miyaoka Y, Yamada Y: Constancy of Head Turning Recorded in Healthy Young Humans. *Ann Biomed Eng* 37(2): 428-436, 2009.
 - 9) Narita N, Kamiya K, Yamamura K, Kawasaki S, Matsumoto T, Tanaka N: Chewing-related prefrontal cortex activation while wearing partial denture prosthesis. *J Prosthodontic Res* 53: 126-135, 2009.
 - 10) Nakagawa K, Takeda M, Tsuboi Y, Kondo M, Kitagawa J, Matsumoto S, Kobayashi A, Sessle BJ, Shinoda M, Iwata K: Alteration of primary afferent activity following inferior alveolar nerve transection in rats. *Mol Pain* 6: 9, 2010.
 - 11) Takeda M, Kitagawa J, Nasu M, Takahashi M, Iwata K, Matsumoto S: Glial cell line-derived neurotrophic factor acutely modulates the excitability of rat small-diameter trigeminal ganglion neurons innervating facial skin. *Brain Behav Immun* 24: 72-82, 2010.
 - 12) Okada-Ogawa A, Suzuki I, Sessle BJ, Chiang CY, Salter MW, Dostrovsky JO, Tsuboi Y, Kondo M, Kitagawa J, Kobayashi A, Noma N, Imamura Y, Iwata K: Astroglia in medullary dorsal horn (trigeminal spinal subnucleus caudalis) are involved in trigeminal neuropathic pain mechanisms. *J Neurosci* 29: 11161-11171, 2009.
 - 13) Kitagawa J, Nakagawa K, Hasegawa M, Iwakami T, Shingai T, Yamada Y, Iwata K: Facilitation of reflex swallowing from the pharynx and larynx. *J Oral Sci* 51: 167-171, 2009.
 - 14) Shoda E, Kitagawa J, Suzuki I, Nitta-Kubota I, Miyamoto M, Tsuboi Y, Kondo M, Masuda Y, Oi Y, Ren K, Iwata K: Increased Phosphorylation of extracellular signal-regulated kinase in trigeminal nociceptive neurons following propofol administration in rats. *J Pain* 10: 573-585, 2009.
 - 15) Tsujimura T, Kondo M, Kitagawa J, Tsuboi Y, Saito K, Tohara H, Ueda K, Sessle BJ, Iwata K: Involvement of ERK phosphorylation in brainstem neurons in modulation of swallowing reflex in rats. *J Physiol* 587: 805-817, 2009.
 - 16) Tsujimura T, Kitagawa J, Ueda K, Iwata K: Inhibition of swallowing reflex following phosphorylation of extracellular signal-regulated kinase in nucleus tractus solitarius neurons in rats with masseter muscle nociception. *Neurosci Lett* 450: 361-364, 2009.
 - 17) 山村健介：食と健康をめぐる諸問題—歯学の観点から—。新潟医学会雑誌別冊 123 (6)：281-284, 2009.
 - 18) 小野和宏, 八木 稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 林 孝文, 齋藤 功, 興地隆史, 前田健康, 山田好秋：新潟大学歯学部歯学科の新教育課程とその評価。新潟歯学会雑誌 39 (1)：29-40, 2009.
 - 19) 金子敦郎, 小林博, 山田好秋, 野村修一：加速度計を用いた頭位測定装置による歯科治療とデスクワークの頭部姿勢の比較。日本顎口腔機能学会雑誌 16 (1)：15-21, 2009.
 - 20) 河端恵美子, 五十嵐敦子, 山田好秋：更年期女性の生活及び健康上の問題についての分析 女性外来の調査から。更年期と加齢のヘルスケア 8 (2)：332-346, 2009.
 - 21) 高橋 肇, 伊藤 彰, 山村健介, 新井映子, 山田好秋：米菓の硬さによる分類。日本咀嚼学会雑誌 19 (1)：29-38, 2009.
- 【商業誌】**
- 1) 山田好秋, 黒瀬雅之：家庭でできる咀嚼・嚥下障害食の開発に向けて—全国介護保険施設の実態—。財団法人 8020 推進財団会誌：120-121, 2009.
 - 2) 山村健介：1 から学ぶ！口腔機能向上に必要な基礎知識—運動機能編—。デンタルハイジーン 28(4-6)：372-376, 480-485, 588-593, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 山村健介：摂食行動に関連した認知活動と脳内報酬系活動の関連. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 21592354, 2009.
- 2) 黒瀬雅之：再生した歯根膜ルフィニ神経終末は咀嚼運動の構成に再び寄与するか？日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 20791351, 2009.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 山村健介：味覚による咀嚼・嚥下調節. 日本薬学会第130年会シンポジウム, 岡山, 2010年3月29日
- 2) 山村健介：咀嚼と脳. 特定非営利活動法人日本咀嚼学会第15回咀嚼と健康ファミリーフォーラム, 福岡, 2009年10月4日
- 3) 山村健介：摂食行動に関連した感覚・運動制御のしくみ. 東京医科歯科大学平成21年度口腔化学・機能コース, 東京, 2009年7月3日

【学会発表】

- 1) Yamamura K, Kurose M, Mostafaezur R, Zakir H, Yamada Y: Change in the threshold of reflexively-evoked swallowing during sleep in man. IUPS 2009, Kyoto, July 27-August 1, 2009.
- 2) Mostafaezur R, Kurose M, Yamamura K, Zakir H, Saito K, Iwata K, Yamada Y: Analysis the characteristic of oral behaviours by the three dimensional jaw-tracking system in freely moving rats. IUPS 2009, Kyoto, July 27-August 1, 2009.
- 3) Zakir H, Yamamura K, Kurose M, Mostafaezur R, Yamada Y: Spindle afferents discharge of jaw-closing muscles during chewing different hardness of foods in awake rabbits. IUPS 2009, Kyoto, July 27-August 1, 2009.
- 4) 北川純一, 鈴木郁子, 岩田幸一: 下歯槽神経切断ラットの神経因性疼痛に対する三叉神経脊髄路核尾側亜核アストログリアの関与. 第51回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2009年9月9-11日, J Oral Biosci, 51: 150, 2009.
- 5) 松田みどり, 高野弘子, 山村健介, 黒瀬雅之, 山田好秋: 口腔体操と障害者の口腔状況の変化. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2009年7月18日, 新潟歯学会雑誌 39 (2): 101, 2009.
- 6) 増田明美, 山村健介, 山田好秋: 全国の通信制高等学校における保健室の実態と課題. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2009年7月18日, 新潟歯学会雑誌 39 (2): 104, 2009.
- 7) 高野弘子, 松田みどり, 山村健介, 黒瀬雅之, 山田好秋: 口腔保健指導の継続指導による味覚閾値の変

化. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2009年7月18日, 新潟歯学会雑誌 39 (2): 104, 2009.

- 8) Hossain Zakir, 山村健介, 黒瀬雅之, Rahman Mostafaezur, 山田好秋: Behavior of Spindle Discharge of Jaw-closing Muscles During Chewing Different Hardness of Foods in Awake Rabbits. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2009年7月18日, 新潟歯学会雑誌 39 (2): 106, 2009.
- 9) 鈴木温子, 山田好秋, 山村健介: 介護老人福祉施設の組織構造の実態と介護職員の評価. 平成21年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2009年11月21日, 新潟歯学会雑誌 36 (2): 112, 2009.
- 10) 高野弘子, 松田みどり: 口腔ケアの継続指導は味覚閾値を改善する. 第56回日本栄養改善学会学術総会, 札幌, 2009年9月2-4日

【研究会発表】

- 1) Mostafaezur R, Kurose M, Yamamura K, Zakir H, Saito K, Iwata K, Yamada Y: Analysis the characteristic features of the orofacial behavior (mastication) following the regeneration of the transected inferior alveolar nerve in freely moving rats. 第3回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会, 軽井沢, 2009年10月3-4日

口腔病理学分野

【論文】

- 1) Ota S, Ishii G, Goto K, Kubota K, Kim YH, Kojika M, Murata Y, Yamazaki M, Nishiwaki Y, Eguchi K, Ochiai A: Immunohistochemical expression of BCRP and ERCC1 in biopsy specimen predicts survival in advanced non-small-cell lung cancer treated with cisplatin-based chemotherapy. *Lung Cancer*, 64 (1): 98-104, 2009.
- 2) Tilakaratne WM, Kobayashi T, Ida-Yonemochi H, Swelam W, Yamazaki M, Mikami T, Alvarado CG, Shahidul AM, Maruyama S, Cheng J, Saku T: Matrix metalloproteinase 7 in oral epithelial dysplasia and carcinoma *in situ*: an aid for histopathologic recognition of their cell proliferation centers. *Journal of Oral Pathology and Medicine*, 38 (4): 348-355, 2009.
- 3) Maruyama S, Cheng J, Yamazaki M, Liu A, Saku T: Keratinocyte growth factor colocalized with perlecan at the site of capsular invasion and vascular involvement in salivary pleomorphic

- adenomas. *Journal of Oral Pathology and Medicine*, 38 (4): 377-385, 2009.
- 4) Swelam WM, Cheng J, Ida-Yonemochi H, Maruyama S, Saku T: Oral solitary fibrous tumor : a cytogenetic analysis of tumor cells in culture with literature review. *Cancer Genetics and Cytogenetics*, 194 (2): 75-81, 2009.
 - 5) Wu L, Cheng J, Maruyama S, Yamazaki M, Tsuneki M, Lu Y, He Z, Zheng Y, Zhou Z, Saku T: Lymphoepithelial cyst of the parotid gland: its possible histopathogenesis based on clinicopathologic analysis of 64 cases. *Human Pathology*, 40 (5): 683-692, 2009.
 - 6) Munakata R, Sawair FA, Cheng J, Saku T: Gingival metastasis of ovarian carcinoma: report of a case and review of the literature. *International Journal of Oral & Maxillofacial Surgery*, 38 (10): 1123-1126, 2009.
 - 7) Tilakaratne WM, Jayasooriya PR, Tennakoon TM, Saku T: Epithelial salivary tumors in Sri Lanka: A retrospective study of 713 cases. *Oral Surgery Oral Medicine Oral Pathology Oral Radiology and Endodontics*, 108 (1): 90-98, 2009.
 - 8) Maruyama S, Cheng J, Shingaki S, Tamura T, Asakawa S, Minoshima S, Shimizu Y, Shimizu N, Saku T: Establishment and characterization of pleomorphic adenoma cell systems: an in-vitro demonstration of carcinomas arising secondarily from adenomas in the salivary gland. *BioMed Central Cancer*, 9: 247, 2009.
 - 9) Al-Eryani K, Sawair FA, Maruyama S, Watanabe M, Kawahara R, Yokobayashi T, Kobayashi T, Kundu S, Syafriadi M, Cheng J, Saku T: Nerve sheath myxoma of the tongue: report of a case and review of the literature. *Oral Medicine & Pathology*, 13 (3): 105-110, 2009.
 - 10) Abé M, Maruyama S, Yamazaki M, Kobayashi T, Al-Eryani K, Shahidul AM, Tsuneki M, Syafriadi M, Saku T, Cheng J: The absence of significant mutation eve
 - 11) Nts of the *p53* gene in the only two salivary gland tumors possessiong radiation-related development risks, mucoepidermoid carcinoma and Warthin tumor. *Oral Medicine & Pathology*, 13 (4): 151-158, 2009.
 - 12) Sawair FA, Ryalat S, Shayyab MH, Saku T: The unstimulated salivary flow rate in a Jordanian healthy adult population. *Journal of Clinical Medicine Research*, 1 (4): 219-225, 2009.
 - 13) Sawair FA, Shayyab MH, Al-Rabab'ad MA, Saku T: Prevalence and clinical characteristics of tori and jaw exostoses in a teaching hospital in Jordan. *Saudi Medical Journal*, 30 (12): 1557-1562, 2009.
 - 14) Kimura T, Kuwata T, Ashimine S, Yamazaki M, Yamauchi C, Nagai K, Ikehara A, Feng Y, Dimitrov DS, Saito S, Ochiai A: Targeting of bone-derived insulin-like growth factor-II by a human neutralizing antibody suppresses the growth of prostate cancer cells in a human bone environment. *Clinical Cancer Research*, 16 (1): 121-129, 2010.
 - 15) Yamazaki M, Fujii S, Ochiai A: Reduction of type II taste cells correlates with taste dysfunction after X-ray irradiation in mice. *Journal of Oral Pathology and Medicine*, 39 (3): 212-218, 2010.
 - 16) Maruyama S, Cheng J, Yamazaki M, Zhou XJ, Zhang ZY, He RG, Saku T: Metastasis-associated genes in salivary adenoid cystic carcinoma and oral squamous cell carcinoma: a differential DNA chip analysis between metastatic and nonmetastatic cell systems. *Cancer Genetics and Cytogenetics*, 196 (1): 14-22, 2010.
 - 17) Kobayashi T, Maruyama S, Cheng J, Ida-Yonemochi H, Yagi M, Takagi R, Saku T: Histopathological varieties of oral carcinoma *in-situ*: Diagnosis aided by immunohistochemistry dealing with the second basal cell layer as the proliferating center of oral mucosal epithelia. *Pathology International*, 60 (3): 154-164, 2010.
 - 18) Sami M, Saito M, Muramatsu S, Mikami T, Al-Eryani K, Sawair FA, Edi RA, Cheng J, Kikuchi H, Saku T: Twin-pair rete ridge analysis: a computer-aided method for facilitating objective histopathological distinction between epithelial dysplasia and carcinoma in-situ of the oral mucosa. *Oral Medicine & Pathology*, 14 (3): 89-97, 2010.
 - 19) Metwaly H, Maruyama S, Cheng J, Hoshina H, Takagi R, Hayashi T, Saku T. Central neurilemoma of the mandible: report of a case and review of the literature. *Oral Medicine & Pathology*, 15 (1): *in press*, 2010. doi: 10.3353/omp.15.33
- 【研究費獲得】**
- 1) 朔 敬：アジアから東アフリカまで広がる噛みタバコ習慣による口腔がん発症機構。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 19406030, 2009.

- 2) 程 瑠: 東アジア地域における口腔粘膜表在性癌に関する比較分子病理疫学的研究. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 20406029, 2009.
- 3) 丸山 智: 唾液腺多形腺腫の低酸素環境における増殖機構. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 20791331, 2009.
- 4) 小林孝憲: 口腔粘膜癌におけるケラチン発現プロフィールを制御する分子機構. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 20791372, 2009.
- 5) 丸山 智: 平成 21 年度 新潟大学プロジェクト推進経費 腫瘍間質分子パルカンを介した唾液腺癌の細胞増殖機構の解明 - 細胞増殖因子の細胞外リザーバーとしての機能 -.
- 6) 小林孝憲: 平成 21 年度 新潟大学プロジェクト推進経費 口腔粘膜過正角化型異型上皮: その臨床病理組織学的診断概念の確立.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Saku T: New Tissue architecture of oral carcinoma in -situ characterized by intraepithelial stroma and intraepithelial blood vessels: Biological evidence for its histopathological diagnosis. 4th Meeting of Asian Society of Oral and Maxillofacial Pathology, China, November 6-7, 2009. Programs and Abstract, 7-8, 2009.
- 2) 朔 敬, 関根浄治: モデレーター総括「歯科・口腔外科診療のなかの細胞診—その普及に向けて—」. 第 63 回日本口腔科学会総会, 浜松市, 2009 年 4 月 16-17 日. 日本口腔科学会誌, 58 (4) : 94, 2009.
- 3) 丸山 智, 小林孝憲, 程 瑠, 朔 敬: 歯学部 of 学生教育における細胞診実習の取り組み. 第 63 回日本口腔科学会総会, 浜松市, 2009 年 4 月 16-17 日. 日本口腔科学会誌, 58 (4) : 98, 2009.
- 4) 朔 敬: 口腔がん海外調査, 新潟大学医学部保健学科 国際医療ボランティア論, 2009 年 10 月 21 日.
- 5) 朔 敬: 口腔がんの発症: 国際的踏査研究. 平成 21 年度新潟高校理数科医学講演会, 新潟市, 2009 年 11 月 20 日.
- 6) 朔 敬: BRONJ の病理: 顎骨局所における顎骨局所における骨硬化症が原因. 新潟大学歯学部同窓会セミナー II ビスフォスフォネート関連顎骨壊死 (BRONJ) —BP 製剤使用患者への安全の歯科処置を行なうために—新潟市, 2009 年 11 月 29 日.
- keratinization in squamous cell carcinoma and carcinoma in-situ of the oral mucosa. Joint ECCO15-34th ESMO Multidisciplinary congress, Berlin, Germany, September 20-24, 2009. Programs and Abstract, 481, 2009.
- 2) Tsuneki M, Cheng J, Maruyama S, Yamazaki M, Kobayashi T, Saku T: Intracellular deposition of extracellular matrix molecules in calcifying cystic odontogenic tumor: Its possible involvement in the histopathogenesis of ghost cells. 4th Meeting of Asia society of Oral and Maxillofacial Pathology, China, November 6-7, 2009. Programs and Abstract, 49, 2009.
- 3) Yamazaki M, Fujii S, Ochisi A: Geminin expression as a prognostic factor for salivary gland carcinoma. 4th Meeting of Asia society of Oral and Maxillofacial Pathology, China, November 6-7, 2009. Programs and Abstract, 62, 2009.
- 4) 長谷川真弓, 程 瑠, 丸山 智, 小林孝憲, 又賀 泉, 田中 彰, 岡田康男, 田上 正, 小松繁樹, 泉 直也, 齊藤 力, 高木律男, 田中 礼, 林 孝文, 朔 敬: ビスフォスフォネート製剤による顎骨壊死の病理組織学的検討. 第 63 回日本口腔科学会総会, 浜松市, 2009 年 4 月 16-17 日. 日本口腔科学会誌, 58 (4) : 199, 2009.
- 5) 庭野将広, 飯田明彦, 高木律男, 西山秀昌, 朔 敬: 口蓋に生じた良性リンパ上皮性病変の 1 例. 第 63 回日本口腔科学会総会, 浜松市, 2009 年 4 月 16-17 日. 日本口腔科学会誌, 58 (4) : 213, 2009.
- 6) 常木雅之, 程 瑠, 丸山 智, 朔 敬: 石灰化嚢胞性歯原性腫瘍の幻影細胞における細胞外基質分子の細胞内蓄積. 第 98 回日本病理学会総会, 京都市, 2009 年 5 月 1-3 日. 日本病理学会会誌, 98 (1) : 249, 2009.
- 7) 長谷川真弓, 丸山 智, 程 瑠, 齊藤 力, 朔 敬: 口腔粘膜二層性異型上皮における細胞増殖因子の発現. 第 98 回日本病理学会総会, 京都市, 2009 年 5 月 1-3 日. 日本病理学会会誌, 98 (1) : 363, 2009.
- 8) Alvarado C, Cheng J, Ida-Yonemochi H, Maruyama S, Ahsan S, Takagi R, Saku T: Loss of β -catenin and E-cadherin in oral epithelial dysplasia with two-phase appearance. 第 98 回日本病理学会総会, 京都市, 2009 年 5 月 1-3 日. 日本病理学会会誌, 98 (1) : 363, 2009.
- 9) Al-Eryani K, Maruyama S, Kobayashi T, Cheng J, Saku T: Keratin pearl formation due to hemoglobin-derived oxidative stress in oral squamous cell carcinoma. 第 98 回日本病理学会総

【学会発表】

- 1) Al-Eryani K, Cheng J, Maruyama S, Yamazaki M, Kobayashi T, Saku T: Hemophagocytosis-related

- 会, 京都市, 2009年5月1-3日. 日本病理学会誌, 98 (1) : 364, 2009
- 10) 阿部達也, 程 瑨, 丸山 智, 朔 敬: 脈管布様式からみたワルチン腫瘍のリンパ性間質. 第98回日本病理学会総会, 京都市, 2009年5月1-3日. 日本病理学会誌, 98 (1) : 398, 2009.
- 11) 五十嵐友樹, 飯田明彦, 小林孝憲, 福田純一, 朔 敬, 高木律男: アルコール性肝硬変患者の舌に生じた対称性脂肪腫症の1例. 第35回日本口腔外科学会北日本地方会, 2009年6月26日. 旭川市, 日本口腔外科学会北日本地方会プログラム抄録集, 37, 2009.
- 12) Tilakaratne WM, Saku T: Epithelial salivary tumors in Sri-Lanka: A retrospective study of 713 cases. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2009年7月18日. 新潟歯学会雑誌, 39 (2) : 107-108, 2009.
- 13) 星名由紀子, 程 瑨, 朔 敬: タクロリムス軟膏が奏功した口腔扁平苔癬の3例. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2009年7月18日. 新潟歯学会雑誌, 39 (2) : 108, 2009.
- 14) 小林孝憲, 丸山 智, 程 瑨, 高木律男, 林 孝文, 朔 敬: 下顎腫瘍第20回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 札幌市. 2009年7月29-31日. 第20回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム抄録集, 47, 2009. Kobayashi T, Maruyama S, Cheng J, Takagi R, Hayashi T, Saku T: Tumor of mandible. *Oral Medicine & Pathology*, 14 (2) : 68, 2009.
- 15) 山崎 学: 唾液腺癌における Geminin の発現レベルと予後との関連第20回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 札幌市. 2009年7月29-31日. 第20回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム抄録集, 77, 2009. Yamazaki M: Geminin expression level is an important prognostic factor of salivary gland carcinomas: a tissue microarray analysis. *Oral Medicine & Pathology*, 14 (2) : 73, 2009.
- 16) Ahsan S, Cheng J, Yamazaki M, Uddin S, Cheng J, Maryama S, Kobayashi T, Saku T: Histopathological relationship between pseudocysts and true duct-like structures in adenoid cystic carcinoma. 第20回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 札幌市. 2009年7月29-31日. 第20回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム抄録集, 78, 2009. *Oral Medicine & Pathology*, 14 (2) : 73, 2009.
- 17) 常木雅之, 丸山 智, 山崎 学, 小林孝憲, 程 瑨, 朔 敬: 歯原性腫瘍におけるポドプラニンの発現様式. 第20回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 札幌市. 2009年7月29-31日. 第20回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム抄録集, 79, 2009. Tsuneki M, Maruyama S, Yamazaki M, Kobayashi T, Cheng J, Saku T: Podoplanin expression in odontogenic tumors. *Oral Medicine & Pathology*, 14 (2) : 73, 2009.
- 18) 丸山 智, 程 瑨, 山崎 学, 小林孝憲, 朔 敬: 唾液腺多形性腺種の低酸素環境における増殖機構. 第20回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 札幌市. 2009年7月29-31日. 第20回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム抄録集, 98, 2009. Maruyama S, Cheng J, Yamazaki M, Kobayashi T, Saku T: Survival and proliferation of pleomorphic adenoma in hypoxic condition. *Oral Medicine & Pathology*, 14 (2) : 77, 2009.
- 19) 山崎 学, 藤井誠志, 林 隆一, 落合淳志: 唾液腺癌における Geminin の発現レベルと予後との関連. 第68回日本癌学会学術総会, 横浜市. 2009年8月1-3日. 日本癌学会学術総会プログラム抄録集, 21, 2009.
- 20) 丸山 智, 程 瑨, 山崎 学, 小林孝憲, 朔 敬: 腺様嚢胞癌における KGF 発現と転移に関する検討. 第51回歯科基礎医学会, 新潟市, 2009年9月9-11日. *Journal of Oral Biosciences*, 51 (S) : 116, 2009.
- 19) 池田順行, 飯田明彦, 児玉泰光, 小山貴寛, 高木律男, 林 孝文, 朔 敬: 放線菌感染を伴った上唇粘液肉芽腫の1例. 第54回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌市. 2009年10月9-11日. 日本口腔外科学会雑誌, 55 (S) : 81, 2009.
- 20) 加藤健介, 新垣 晋, 小林 正治, 高田佳之, 齊藤 力, 齋藤 美紀子, 林 孝文, 丸山 智, 朔 敬: 抜歯を契機に見られたサルコイドーシスの1例. 第54回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌市. 2009年10月9-11日. 日本口腔外科学会雑誌, 55 (S) : 87, 2009.
- 21) 小野由起子, 小林正治, 吉澤亨子, 齊藤 力, 齊藤 美紀子, 林 孝文, 丸山 智, 朔 敬: 小児にみられた focal osteoporotic bone marrow defect の1例. 第54回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌市. 2009年10月9-11日. 日本口腔外科学会雑誌, 55 (S) : 104, 2009.
- 22) 勝見祐二, 鶴巻 浩, 小林孝憲, 朔 敬: 臨床診断に苦慮した歯冠周囲過誤腫の一例. 平成21年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2009年11月21日. 新潟歯学会雑誌, 39 (2) : 215, 2009.

【その他】

- 1) 長谷川真弓, 朔 敬: ビスフォスフォネートによ

る顎骨壊死. 最近のトピックス. 新潟歯学会誌, 39 (2) : 78-79, 2009.

- 2) 丸山 智: 口腔病理検査の意義と有用性—新潟大学口腔病理学分野の取り組み—. 私の臨床. 新潟市 Web 歯だより, 2009年9月号. <http://www.ndnw.or.jp/ndnw/gakujutujouhou/wataasinorinsyou/090901.pdf>

口腔環境・感染防御学分野

【論文】

- 1) Nunez PP, Hiba AASH, Hoshino E: MP Penetration through Obturated Root Canals -A Basis for LSTR 3Mix-MP NIET-. Journal of LSTR Therapy (International WEB version) 8: 1-2, 2009.
- 2) Thaweboon B, Laohapand P, Amornchat C, Matsuyama J, Sato T, Nunez PP, Uematsu H, Hoshino E: Host β -Globin-Gene Fragments of Crevicular Fluid as a Biomarker in Periodontal Health and Disease. J Periodont Res 45 : 38-44, 2009.
- 3) Takushige T, Cruz EV, Moral AA, Hoshino E: Non-surgical treatment of pulpitis, including those with history of spontaneous pain, using a combination of antibacterial drugs. Journal of LSTR Therapy (International WEB version) 7: 1-5, 2008 (2009年発刊).
- 4) Nunez PP, Hoshino E: Evaluation of Obturation by Image Analyses and Macrogol and Propylene Glycol Penetration. Journal of LSTR Therapy (International WEB version) 7: 6-10, 2008 (2009年発刊).

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Hoshino E: New Paradigm of Advanced Caries Treatment -Better and More Beneficial for Patients-, The Main Lecture at 62th National Scientific Meeting at Gadjah Mada University, Yogyakarta, Indonesia, 2010.2.4-5.
- 2) Hoshino E: Save Dentin, Pulps and Teeth More with LSTR 3Mix-MP Therapy, The Main Lecture at KPPIKG 2009, Jakarta, Indonesia, 2009.10.16-17.

【学会発表】

- 1) 上松弘幸, 星野悦郎: 歯周病関連菌の増殖に与える血清の添加効果. 第51回歯科基礎医学会総会 新潟 2009年9月9-11日, 歯科基礎医学会誌 51: 120頁, 2009.
- 2) Hiba AL Shawafi, 星野悦郎: New biofilm model with less interbacterial spaces. 第51回歯科基礎

医学会総会 新潟 2009年9月9-11日歯科基礎医学会誌 51:133頁, 2009.

【特別講演, 講演】

- 1) Hoshino E: Advance in LSTR 3Mix-MP caries, pulpal and endodontic treatment, Chiang Mai University, Thailand, 2010.3.5.
- 2) Hoshino E: A New Concept of Caries Treatment, LSTR 3Mix-MP therapy, Milano, Italia, 2009.12.19.
- 3) Hoshino E: LSTR 3Mix-MP therapy -A New Dental Treatment System -LSTR 3Mix-MP Therapy to Save Dentin, Pulps and Teeth-. Prince of Songkla University, Hat Yai, Thailand, 2009.11.23.
- 4) Hoshino E: A New Concept of Caries Treatment, LSTR 3Mix-MP therapy, Palembang, Indonesia, 2009.10.18.
- 5) Hoshino E: Pedodontics with LSTR 3Mix-MP caries, pulpal and endodontic treatment, Chiang Mai University, Chiang Mai, Thailand, 2009.8.27.
- 6) Hoshino E: Advance in LSTR 3Mix-MP caries, pulpal and endodontic treatment, Denpasar, Indonesia, 2009.7.30.
- 7) Hoshino E: LSTR 3Mix-MP caries, pulpal and endodontic treatment, Chiang Rai, Thailand, 2009.6.21.
- 8) Hoshino E: A New Concept of Caries Treatment, LSTR 3Mix-MP therapy, Medan, Indonesia, 2009.4.9.
- 9) Hoshino E: LSTR 3Mix-MP Dental Treatment, Jayapura, Indonesia, 2009.4.3.

歯科基礎移植・再生学分野

【原著論文】

- 1) Okuda K, Yamamiya K, Kawase T, Mizuno H, Ueda M, Yoshie H: Treatment of human infrabony periodontal defects by grafting human cultured periosteum sheets combined with platelet-rich plasma and porous hydroxyapatite granules: case series. J Int Acad Periodontol 11(3): 206-213, 2009.
- 2) Kawase T, Okuda K, Kogami H, Nakayama H, Nagata M, Nakata K, Yoshie H: Characterization of human cultured periosteal sheets expressing bone-forming potential: in vitro and in vivo animal studies. J Tissue Eng Reg Med 3(3): 218-229, 2009.
- 3) 中山 均, 川瀬知之: X線マイクロCTによる生体活性セラミックス多孔体の微小構造解析. 歯科放射

線 49 (3) : 33-40, 2009.

- 4) Nakayama H, Kawase T, Okuda K, Kogami H, Inoue H, Oda T, Hayama K, Tsuchimochi M, Wolff LW: Evaluation by bone scintigraphy of osteogenic activity of commercial bioceramics (porous b-TCP and HAp particles) subcutaneously implanted in rats. *J Biomater Appl* 24(8): 751-768, 2010.
- 5) Kawase T, Okuda K, Kogami H, Nakayama H, Nagata M, Yoshie H. Osteogenic activity of human periosteal sheets cultured on salmon collagen-coated ePTFE meshes. *J Mater Sci Mater Med* 21(2): 731-739, 2010.
- 6) Kawase T, Okuda K, Kogami H, Nakayama H, Nagata M, Sato T, Wolff LF, Yoshie H. Human periosteum-derived cells combined with superporous hydroxyapatite blocks used as an osteogenic bone substitute for periodontal regenerative therapy: Animal implantation study using nude mice. *J Periodontol* 81(3): 420-427, 2010.
- 7) Kawase T, Yamanaka K, Suda Y, Kaneko T, Okuda K, Kogami H, Nakayama H, Nagata M, Wolff LF, Yoshie H. Collagen-coated poly(L-lactide-co- ϵ -caprolactone) film: A promising scaffold for cultured periosteal sheets. *J Periodontol*, in press.

【総説】

- 1) 吉江弘正, 奥田一博, 川瀬知之: 歯肉細胞シート・骨膜シートを用いた歯周再生治療. *日本口腔外科学会雑誌* 55 (9) : 432-439, 2009.
- 2) 川瀬知之: 歯周組織再生を促す生理活性物質と細胞療法に関するトランスレーショナルリサーチ. *日本歯周病学会誌* 52 (1) : 3-11, 2010.

【研究費獲得】

- 1) (継続) 小神浩幸, 奥田一博, 川瀬知之: 硬組織再生を目的とした培養骨膜シートに対する凍結保存技術の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) 一般 (~ 2010 年) #20500406, 2008.
- 2) (継続) 川瀬知之, 奥田一博, 布施一郎, 畠賢一郎, 中島武彦, 明歩谷英樹, 羽根邦夫: 高齢化社会に適した再生医療普及のための安価な培養システムの開発. 科学技術振興機構育成研究課題 (~ 2009 年)
- 3) 奥田一博, 川瀬知之, 小神浩幸, 永田昌毅: 新規歯周組織再生治療法開発につながる培養骨膜と基材に関する基礎的研究. 日本学術振興会科学研究費 基盤研究 (B) 一般 (~ 2011 年) #21390554, 2009.
- 4) 川瀬知之, 奥田一博: 培養骨膜シートの骨形成活性を最大限引き出す基材とプロセッシング技術の開

発. 日本学術振興会科学研究費 基盤研究 (C) 一般 (~ 2011 年) #21592492, 2009.

- 5) 吉江弘正, 川瀬知之: 近赤外蛍光生体イメージングによる骨活性評価法の開発. *JST シーズ発掘試験 A*, 2009.
- 6) 奥田一博, 川瀬知之: 骨膜培養に至適化した生分解性基材を主体とした骨膜培養キットの開発による再生医療の促進. *JST シーズ発掘試験 B*, 2009.

【学会発表】

- 1) 川瀬知之, 中山 均, 小神浩幸, 奥田一博, 吉江弘正: ハイドロキシアパタイト多孔体を足場にした培養骨による異所性骨形成 - 非侵襲的・近赤外蛍光イメージング評価法の可能性 -. 第 52 回日本歯周病学会春季学術大会 (岡山大, 岡山, 2009.5.14-16.) *J Jpn Soc Periodontol* 51:109.
- 2) 川瀬知之 / ト部厚志: 再生医療を身近にする安価なデバイス / 産学官連携による災害復興. 第 8 回産学官連携推進会議 (京都, 2009.6.20-21.)
- 3) 永田昌毅, 星名秀行, 川瀬知之, 荒澤 恵, 山田一穂, 嵐山貴徳, 中田 光, 高木律男: 歯科インプラントを目的とした培養自家骨膜併用による歯槽骨再生. 日本形成外科学会関東支部 第 80 回新潟地方会 (新潟大歯, 新潟, 2009.7.13.)
- 4) Okuda K, Yoshie H, Kawase T, Kogami H, Nakayama H, Nagata M: The human cultured periosteal sheet for periodontal regeneration: A salmon collagen-coated mesh, a functional potent scaffold, to upregulate the osteogenic potential. The 95th Annual Meeting of the AAP (Boston, MA, USA, 2009.9.12-15.)
- 5) 永田昌毅, 川瀬知之, 吉江弘正, 奥田一博, 中田 光, 高木律男: インプラント症例を対象とした培養自家骨膜による歯槽骨再生. 第 52 回日本歯周病学会秋季学術大会 (九州大, 宮崎, 2009.10.11.) *J Jpn Soc Periodontol* 51:105.
- 6) 中山 均, 川瀬知之, 小神浩幸, 奥田一博, 吉江弘正: 異所性骨形成モデルにおける NIR (近赤外線) 検査の応用の試み. 第 9 回日本再生医療学会 (広島大, 広島, 2010.3-18-19.) *再生医療* 9 (suppl) : 232, 2010.
- 7) 奥田一博, 川瀬知之, 山中克之, 須田洋子, 金子 正, 小神浩幸, 中山 均, 永田昌毅, 吉江弘正. ポリ乳酸カプロラクトン重合体フィルムのヒト骨膜シート培養・移植への応用. 第 9 回日本再生医療学会 (広島大, 広島, 2010.3-18-19.) *再生医療* 9 (suppl) : 276, 2010.

【シンポジウム】

- 1) 川瀬知之：培養自家骨膜シートをもちいた歯周組織再生療法に関する基礎的研究. シンポジウム「歯科領域の再生医療」, 第9回日本再生医療学会(広島大, 広島, 2010.3-18-19.) 再生医療 9 (supple) : 106, 2010.

【受賞】

- 1) 川瀬知之：歯周組織再生を促す生理活性物質と細胞療法に関するトランスレーショナルリサーチ. 第9回日本歯周病学会学術賞受賞, 第52回日本歯周病学会秋季学術大会(九州大, 宮崎, 2009.10.11.)

【出願】

- 1) 国内特許出願, PCT 出願：川瀬知之(出願人：新潟大学)：培養細胞が産生する石灰化物による骨形成・再生。(特願 2009-54261) (H21.3.6) (PCT/JP2010/53661) (H22.3.5) .
- 2) 国内特許出願：川瀬知之, 奥田一博, 中島 悠(出願人：新潟大学)：再生治療用材料。(特願 2009-281382) (H21.12.11) .
- 3) 国内特許出願：川瀬知之(出願人：新潟大学, 愛宕商事, 愛広会, 晴和会, 新潟総合学院, 新潟総合学園)：骨膜再生医療用クリーンシステム。(特願 2010-23603) (H22.2.4) .

生体材料学分野

【論文】

- 1) Otawara Y, Ogasawara K, Kubo Y, Kashimura H, Ogawa A, Watanabe K: Mechanical and surface properties of Yasargil Phynox aneurysm clips after long-term implantation in a patient with cerebral aneurysm. *Neurosurg Rev* 32(2): 193-197, 2009.
- 2) Okawa S, Homma K, Kanatani M, Watanabe K: Characterization of calcium phosphate deposited on valve metal by anodic oxidation with polarity inversion. *DMJ* 28(4): 513-518, 2009.
- 3) Kimura I, Kanatani M, Watanabe K Adhesion of hollow calcium-deficient hydroxyapatite microspheres onto titanium, *Dent Mater J* 28(6): 700-707, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 大川成剛：極性交互反転電解法によって生成した機能性酸化皮膜と析出するナノ粒子の化学的性状(継続). 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究

(C), 20592298, 2009.

- 2) 金谷 貢：超高熱伝導により高温反応の完全抑制を指向するチタン用ハイブリッド鋳型材の開発(新規). 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21592493, 2009.
- 3) 木村勇雄, 金谷 貢：ヒドロキシアパタイト壁マイクロカプセルで被覆したチタンインプラントの作製(新規). 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21560712, 2009.
- 4) 野村章子, 金谷 貢：低エネルギー電子線は超高齢社会での補綴物の安全性を向上し滅菌コストを削減する(継続). 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 20390495, 2009.

【学会発表】

- 1) Nomura A, Nomura S, Ito K, Sano Y, Kanatani M: Surface Modification of Methacrylate Prosthetic Material through LEB Irradiation, IADR 87th General Session and Exhibition, Miami, FL USA, Apr. 1, 2009
- 2) 本間喜久男, 大川成剛, 金谷 貢, 渡辺孝一：陽極酸化した矯正用 Ni-Ti ワイヤのフッ化物を含む酸性溶液中での腐食, 第53回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 2009年4月12日
- 3) 大川成剛, 本間喜久男, 金谷 貢, 渡辺孝一：極性反転によるチタンの陽極酸化-アルカリ性電解液の場合, 第53回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 2009年4月12日
- 4) 本間喜久男, 渡辺孝一：陽極酸化した矯正用 Ni-Ti ワイヤのフッ化物を含む酸性腐食溶液中での耐食性評価, 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2009年7月18日
- 5) 木村勇雄, 金谷 貢：カルシウム欠損型ヒドロキシアパタイト中空ミクロスフィアのチタンねじへの付着, 第54回日本歯科理工学会学術講演会, 鹿児島, 2009年10月1日
- 6) 渡辺孝一, 大川成剛, 金谷 貢, 本間喜久男：歯科インプラントの表面特性について(第五報)-表面テクスチャーと吸着生体分子の関係-, 第54回日本歯科理工学会学術講演会, 鹿児島, 2009年10月2日
- 7) 大川成剛, 本間喜久男, 金谷 貢, 渡辺孝一：イオン液体の電解-チタンの表面に生成する有機薄膜-, 第54回日本歯科理工学会学術講演会, 鹿児島, 2009年10月2日
- 8) 本間ヒロ, 大川成剛, 渡辺孝一, 金谷 貢：タンパク質を含む人工唾液中における金銀パラジウム合金の溶出挙動, 第54回日本歯科理工学会学術講演会, 鹿児島, 2009年10月2日

- 9) 金谷 貢, 大川成剛, 渡辺孝一, 木村勇雄: 真空練和容器とスパチュラに付着した水滴量が混水比におよぼす影響, 第54回日本歯科理工学会学術講演会, 鹿児島, 2009年10月2日
- 10) 伊藤圭一, 野村章子, 石川俊一, 金谷 貢, 佐野裕子: 低エネルギー電子線照射を行ったメチルメタクリレート系樹脂の物性について, 第31回日本歯科理工学会学術大会, 福岡, 2009年11月23日
- 11) 金谷 貢: 合金微粒子の到達高さから見た技工室における粉塵の挙動, 第31回日本歯科理工学会学術大会, 福岡, 2009年11月23日
- 12) 大川成剛, 渡辺孝一, 金谷 貢: BおよびSiをスパッタコーティングしたチタン板へのリン酸カルシウムの析出, 第23回歯科チタン学会学術講演会, 東京, 平成22年2月14日

【研究会発表】

- 1) 大川成剛: チタンの研磨とその表面特性, 平成21年度日本歯科理工学会中部支部セミナー, 平成21年8月27日
- 2) 渡辺孝一, 小林正義: じん肺組織切片のEPMA分析-サブミクロン粒子の検出と超微粒子リスク評価への応用-, 島津製作所, 第27回 マイクロアナリシス研究懇談会, 2009年11月12日
- 3) 渡辺孝一: 「都市エリア産学官連携促進事業」における「ナノ加工を利用した高寿命・超機能型歯科用インプラント義歯の開発」プロジェクトへの協力, 学内プロジェクト成果発表会, 2009年12月18日
- 4) 渡辺孝一, 小林正義: 電子線マイクロアナライザー(EPMA-1610)の分析原理と特徴, 第1回 機器分析の生体機能解析への応用フォーラム 2009年12月25日
- 5) 森山寛史, 田中淳一, 寺田正樹, 高田俊範, 成田一衛, 鈴木栄一, 小林正義, 渡辺孝一: EPMAを用いた職業性肺疾患の二次元元素分析, 第1回 機器分析の生体機能解析への応用フォーラム 2009年12月25日

【受賞】

- 1) 金谷 貢, 大川成剛, 渡辺孝一, 堀田憲康, 木村勇雄, 小林正義: 金属微粒子の到達高さを傍証として用いた歯科診療室内における粉塵の挙動. 第52回日本歯科理工学会学術講演会発表優秀賞, 2009年4月11日.

【その他】

- 1) 金谷 貢: 歯科技工に関するワークショップのコーディネーターおよびファシリテーターを務めるための基礎的知識と留意点 2010. 平成21年度新潟県歯

科技工士会新潟支部学術研修会(厚生労働省後援), 新潟, 2009年3月7日

予防歯科学分野

【著書】

- 1) 宮崎秀夫: 口臭とその予防. 新口腔保健学(末高武彦ほか編), 124-130頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 2) 葭原明弘, 宮崎秀夫: 歯の数・口腔機能と健康. 健康寿命を延ばす歯科保健医療, 歯科医学の根拠とわかりつけ歯科医(日本歯科総合研究機構編), 80-88頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 3) 葭原明弘, 濃野 要, 他: 歯医者さんが, まちづくりNPOに出会った!, 1-104頁, 新潟日報事業社, 新潟, 2009.
- 4) 吉江弘正, 宮崎秀夫, 葭原明弘: 第Ⅲ編歯周病予防のためのQ&A, 歯周病予防のストラテジー(吉江弘正, 宮田 隆編), 98-102, 医歯薬出版, 東京, 115-119, 128-131頁, 2009.

【論文】

- 1) Izumi A, Yoshihara A, Hiroto T, Miyazaki H: The relationship between serum lipids and periodontitis in elderly non-smokers. J Periodontol 80: 740-748, 2009.
- 2) Nakamura A, Sakuma S, Yoshihara A, Deguchi T, Yagi M, Miyazaki H: Long-term follow-up of the effects of a school-based caries preventive programme involving fluoride mouth rinse and targeted fissure sealant: Evaluation at 20 years old. Int Dent J 59: 215-221, 2009.
- 3) Ito K, Funayama S, Hitomi Y, Nomura S, Katsura K, Saito M, Hayashi T, Kaneko N, Nohno K, Igarashi A: Proteome analysis of gelatin-bound salivary proteins in patients with primary Sjogren's syndrome: identification of matrix metalloproteinase-9. Clin Chim Acta 403(1-2): 269-271, 2009.
- 4) Nakasone N, Kubota T, Hoshino C, Nohno K, Itagaki M, Shimizu T, Yoshie H: Differential gene and protein expression of tissue inhibitors of metalloproteinases (TIMP)-3 and TIMP-4 in gingival tissues from drug induced gingival overgrowth. Arch Oral Biol 54: 634-641, 2009.
- 5) Yoshihara A, Watanabe R, Hanada N, Miyazaki H: A longitudinal study of the relationship between diet intake and dental caries and periodontal disease in elderly Japanese subjects.

- Gerodontology 26: 130-136, 2009.
- 6) Yoshihara A, Tobina T, Yamaga T, Ayabe M, Yoshitake Y, Kimura Y, Shimada M, Nishimuta M, Nakagawa N, Ohashi M, Hanada N, Tanaka H, Kiyonaga A, Miyazaki H: Physical function is weakly associated with angiotensin-converting enzyme gene I/D polymorphism in elderly Japanese subjects. *Gerontology* 55: 387-392, 2009.
 - 7) Nakamura K, Saito T, Yoshihara A, Ishikawa M, Tsuchiya Y, Oshiki R, Kobayashi R, Maruyama K, Hyodo K, Nashimoto M, Tsugawa N, Okano T, Oyama M, Yamamoto M: Low calcium intake is associated with increased bone resorption in postmenopausal Japanese women: Yokogoshi Study. *Public Health Nutr* 12: 2366-2370, 2009.
 - 8) Kiswanjaya B, Yoshihara A, Deguchi-Saito T, Miyazaki H: Relationship between mandibular inferior cortex and bone stiffness in Japanese elderly people. *Osteoporos Int* 21(3): 433-438, 2010.
 - 9) Shinzawa-Fukushima M, Kanaya T, Kaneko N, Morita S, Miyazaki H, Saito I: Availability of air powder polishing with crystalline cellulose as a prophylactic method for orthodontic patients with a multi-bracket appliance. *Orthodontic Waves* 69(2): 75-81, 2010.
 - 10) Hiroto T, Yoshihara A, Ogawa H, Miyazaki H: Tooth-related risk factors for periodontal disease in community-dwelling elderly people. *J Clin Periodontol*, in press, 2010.
 - 11) Iwasaki M, Yoshihara A, Moynihan PJ, Watanabe R, Taylor GW, Miyazaki H: Longitudinal relationship between dietary ω -3 fatty acids and periodontal disease. *Nutrition*, in press, 2010.
 - 12) Kaneko M, Yoshihara A, Miyazaki H: Relationship between root caries and cardiac arrhythmia. *Gerodontology*, in press, 2010.
 - 13) Ichikawa K, Sakuma S, Yoshihara A, Miyazaki H, Funayama S, Ito K, Igarashi A: Relationships between amount of saliva and medications in elderly individuals (79-80 years old). *Gerodontology*, in press, 2010.
 - 14) Okuyama N, Yamaga T, Yoshihara A, Nohno K, Yoshitake Y, Kimura Y, Shimada M, Nakagawa N, Nishimuta M, Ohashi M, Miyazaki H: Influence of dental occlusion on physical fitness decline in a healthy Japanese elderly population. *Arch Gerontol Geriatr*, in press, 2010.
 - 15) Yoshihara A, Deguchi T, Miyazaki H: Relationship between bone fragility of the mandibular inferior cortex and tooth loss related to periodontal disease in older people. *Community Dent Health*, in press, 2010.
 - 16) Senpuku H, Miyazaki H, Yoneda S, Yoshihara A, Tada A: A quick statistically accurate diagnosis for caries risk in the elderly. *Clin Lab*, in press, 2010.
 - 17) 船山さおり, 伊藤加代子, 人見康正, 佐久間汐子, 伊藤 聡, 野村修一, 五十嵐敦子: 一次性シェーグレン症候群患者の唾液分泌量と唾液成分に対する塩酸セピメリン投与後6ヵ月の効果. *新潟歯学会誌* 39 (1) : 25-28 頁, 2009.
 - 18) 近藤隆子, 葭原明弘, 清田義和, 宮崎秀夫: 70歳地域在住高齢者の歯の喪失リスク要因に関する研究 - 5年間のコホート調査結果 -. *口腔衛生会誌* 59 (3) : 198-206 頁, 2009.
 - 19) 昆はるか, 佐藤直子, 野村修一, 櫻井直樹, 田中みか子, 細貝暁子, 山田一穂, 金城篤史, 甲斐朝子, 山下絵美, 金子敦郎, 真柄 仁, 小林 博, 宮崎秀夫, 葭原明弘, 河野正司: 高齢義歯装着者の義歯への満足度に影響する要因について. *日補綴会誌* 1 (4) : 361-369 頁, 2009.
 - 20) 渡辺 厚, 毛利 環, 渡邊直子, 渡邊洋平, 宮崎秀夫, 齋藤 功: 日本における Index of Orthodontic Treatment Need を用いた不正咬合の疫学調査. *Orthodontic Waves-Japanese Edition* 68 (3) : 142-154 頁, 2009.
 - 21) 木本一成, 田浦勝彦, 田口千恵子, 相田 潤, 晴佐久 悟, 葭原明弘, 安藤雄一, 荒川浩久, 境 脩: 日本における集団応用でのフッ化物洗口に関する実態調査 施設別, 都道府県別の普及状況 (2008). *口腔衛生会誌* 59 (5) : 586-595 頁, 2009.
 - 22) 伊藤加代子, 葭原明弘, 高野尚子, 石上和男, 清田義和, 井上 誠, 北原 稔, 宮崎秀夫: オーラルディアドコネシスの測定法に関する検討. *老年歯科医学誌* 24: 48-54 頁, 2009.
 - 23) 葭原明弘, 金子 昇, 杉本智子, 清田義和, 佐藤 徹, 宮崎秀夫: 乳幼児健診に併設し実施する簡易スクリーニング検査および個別指導が行動変容に及ぼす影響. *口腔衛生会誌* 60 (1) : 11-16 頁, 2010.
 - 24) 森田眞司, 濃野 要, 山賀孝之, 宮崎秀夫: 揮発性硫黄化合物産生抑制におけるプロポリス含嗽剤 14 日間使用の効果 無作為化クロスオーバー試験による検討. *口腔衛生会誌* 60 (1) : 17-22 頁, 2010.
 - 25) 岩崎正則, 葭原明弘, 村松芳多子, 渡邊令子, 宮崎秀夫: 簡易自己式食事歴質問票 BDHQ による 80 歳高齢者の食べる速さと栄養素等摂取状況との関連.

口腔衛生会誌 60 (1) : 30-37 頁, 2010.

- 26) 宮崎秀夫: 高齢者の健康状態が示唆するもの. 体力科学 59 (1) : 1-3 頁, 2010.
- 27) 堀 良子, 高野尚子, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 一般病棟の入院患者における口腔清掃と発熱との関連. 日本環境感染学会誌, 25 (2) : 85-90 頁, 2010.
- 28) 岩崎正則, 葭原明弘, 村松芳多子, 渡邊令子, 宮崎秀夫: 高齢者における咀嚼回数と食品群別摂取量および栄養素等摂取量との関連. 口腔衛生会誌 60, 印刷中, 2010.
- 29) 杉浦貴美子, 葭原明弘, 藤山友紀, 岡田 匠, 宮崎秀夫: 心身障害者におけるう蝕および歯周病の罹患状況に関する研究. 口腔衛生会誌 60, 印刷中, 2010.

【商業誌】

- 1) 宮崎秀夫: WHO の国際歯科保健戦略からみた口腔保健の展開, 超高齢社会における歯科医療・口腔保健のこれからを考える. ザ・クインテッセンス 28 (6) : 146-151 頁, 2009.
- 2) 小川祐司: WHO と新型インフルエンザ, 海外ジャーナル Watching. デンタルダイヤモンド 34 (9) : 124 頁, 2009.
- 3) 宮崎秀夫: 高齢者の健康状態が示唆するもの. 体力科学 59: 1-3 頁, 2010.

【研究費獲得】

- 1) 宮崎秀夫: 高齢者の口腔と全身の健康に関するフォローアップ研究. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 21592644, 2009.
- 2) 花田信弘, 宮崎秀夫ほか: 地域住民の口腔保健と全身的な健康状態の関係についての総合研究, 口腔保健と全身的 QOL の関係に関する総合研究. 厚生労働科学研究費補助金 (分担), H20 - 循環器等 (歯) - 一般 - 002, 2009.
- 3) 宮崎秀夫, 佐藤博信, 末瀬一彦, 吉成正雄, 阿部 智: 歯科補綴物の多国間流通に関する調査研究. 厚生労働科学研究費補助金, H20 - 医療 - 一般 - 018, 2009.
- 4) 葭原明弘: 加齢に伴う腎機能の低下が骨代謝および歯周疾患に及ぼす影響の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B), 21390558, 2009.
- 5) 佐久間汐子, 葭原明弘: 学童に対するリスク診断に基づく歯肉炎予防管理プログラムの構築. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 19592402, 2009.
- 6) 小川祐司: 2 型糖尿病患者の抗動脈硬化に対する抗菌的歯周治療の有用性に関する無作為化比較試験.

日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 20592451, 2009.

- 7) 廣富敏伸: エイジングに伴う口腔乾燥発症と, 歯周病に及ぼす影響に関する長期コホート研究. 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 19791633, 2009.
- 8) 金子 昇: ミュータンスレンサ球菌の菌株による齲蝕原性の違いに注目した遺伝子検査法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 20791635, 2009.
- 9) 山賀孝之: 長期コホートによる口腔内揮発性硫黄化合物の歯周疾患進行に対する影響の検討. 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 21792146, 2009.
- 10) 濃野 要: 漢方薬による舌苔及び揮発性硫化物産生量の変化. 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 20791636, 2009.
- 11) 高野尚子: 高齢者の口腔疾患より構築する潜在的精神疾患のスクリーニングシステムに関する研究. 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 18791610, 2009.
- 12) 松本沙耶香: 2 型糖尿病患者のアディポネクチン遺伝子多型と歯周病の病態の関連性について. 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 21792147, 2009.
- 13) 宮崎秀夫: 健口くん. 受託研究 (新潟県), 2009.
- 14) 宮崎秀夫: 成人歯科ポピュレーションストラテジ普及事業. 受託研究 (新潟県), 2009.
- 15) 宮崎秀夫: 歯科保健研究委託事業. 受託研究 (新潟県), 2009.
- 16) 宮崎秀夫: 県民健康・栄養実態調査の分析研究. 受託研究 (新潟県), 2009.
- 17) 宮崎秀夫: 地域保健における園児・小中学生の歯科疾患の予防. 受託研究 (弥彦村), 2009.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Sakuma S: School-based caries preventive program combined targeted fissure sealant with fluoride mouth rinse since preschool age. University of Peradeniya, Candy (Sri Lanka), 2009 年 6 月 15 日.
- 2) Ogawa H: The Asian Conference of Oral Health Promotion for School Children and the themes of the 5th ACOHPSC, Phuket (Thailand), 2009 年 9 月 10-12 日.
- 3) Miyazaki H: Health Promotion and Oral Health -Japanese Experience-. 7th Global Conference on Health Promotion, Nairobi (Kenya), 2009 年 10 月 26-30 日.

- 4) Ogawa H: Health and Oral Health of the Asian Older Population- Challenges and Vision for the Future-. Pre-9th International Conference for Asian Academy of Preventive Dentistry, Kuala Lumpur (Malaysia), 2009年11月9日.
- 5) Miyazaki H: Changing patterns of DMFT of 12 and 35-44 year old in developed and developing countries and New trend of dental caries detection and clinical diagnosis. Calibration workshop on the Pilot Investigation of Oral Health Conditions in Mondulkiri, Phnom Penh (Cambodia), 2010年3月13-21日.
- 6) Ogawa H: Explanation of oral health survey according to 4th edition of WHO Oral Health Survey Basic Method for examiners and recorders. Calibration workshop on the Pilot Investigation of Oral Health Conditions in Mondulkiri, Phnom Penh (Cambodia), 2010年3月13-21日.
- 7) 宮崎秀夫: 高齢者の健康状態が示唆するもの(大会長講演). 第64回日本体力医学会大会, 新潟市, 2009年9月18-20日.
- 8) 宮崎秀夫: 口腔保健からみた咀嚼, シンポジウム マクロの咀嚼-口腔健康科学への咀嚼の関わり-. 日本咀嚼学会第20回記念学術大会・総会, 福岡市, 2009年10月3-4日.
- 9) 佐久間汐子: 新潟県8年連続日本一の軌跡「集団応用フッ化物洗口をすべてのこどもに還元する」. 第58回日本口腔衛生学会総会, 岐阜市, 2009年10月9日.
- 10) 宮崎秀夫: 口腔保健格差改善を目指した国際保健活動の取組み WHO 口腔保健協力センターの役割. 第58回日本口腔衛生学会総会, 岐阜市, 2009年10月9-11日.
- condition. 87th General Session of the IADR, Miami (USA), 2009年4月1-4日.
- 4) Kaneko M, Yoshihara A, Miyazaki H: Longitudinal relationship between root caries and arrhythmia in elderly populations. 87th General Session of the IADR, Miami (USA), 2009年4月1-4日.
- 5) Ogawa H, Matsumoto S, Soda S, Hirayama S, Aizawa Y, Miyazaki H: Effect of antimicrobial periodontal treatment on serum thrombomodulin in diabetics. 87th General Session of the IADR, Miami (USA), 2009年4月1-4日.
- 6) Naito H, Takayama K, Masuda H, Tachino A, Ishihara Y, Kaneko N, Miyazaki H: Relationship between salivary *Porphyromonas gingivalis* and periodontal conditions. 87th General Session of the IADR, Miami (USA), 2009年4月1-4日.
- 7) Yoshihara A, Deguchi T, Hanada N, Miyazaki H: Bone turnover markers to periodontal disease and jaw bone morphology. 87th General Session of the IADR, Miami (USA), 2009年4月1-4日.
- 8) Yamaga T, Nohno K, Makino Y, Miyazaki H: Relationship between CH₃SH/H₂S ratio in mouth air and periodontal disease progression. International Conference on Breath and Breath Odor Research, Dortmund (Germany), 2009年4月26-30日.
- 9) Nohno K, Yamaga T, Makino Y, Morita S, Miyazaki H: In vivo effectiveness of propolis-containing mouth rinse on reducing volatile sulfur compounds. International Conference on Breath and Breath Odor Research, Dortmund (Germany), 2009年4月26-30日.
- 10) Makino Y, Yamaga T, Yoshihara A, Nohno K, Miyazaki H: Volatile sulfur compounds (VSC) may be a risk predictor for periodontal disease progression. International Conference on Breath and Breath Odor Research, Dortmund (Germany), 2009年4月26-30日.
- 11) Miyazaki H: Effect of non-antimicrobial products on VSC production. International Conference on Breath and Breath Odor Research, Dortmund (Germany), 2009年4月26-30日.
- 12) Shimada M, Yoshitake Y, Kimura Y, Nakagawa N, Nagayama H, Nishimuta M, Ohashi M, Miyazaki H: Physical fitness and nine-year mortality in 70-year-old population. American College of Sports and Med, 2009年5月29日.
- 13) Yagi M, Yoshihara A, Seida Y: Evaluation of

【学会発表】

- 1) Kiswanjaya B, Yoshihara A, Hanada N, Miyazaki H: Relationship between mandibular inferior cortex condition and total serum calcium. 87th General Session of the IADR, Miami (USA), 2009年4月1-4日.
- 2) Okuyama N, Yamaga T, Yoshihara A, Nohno K, Miyazaki H: Dental occlusal destruction affects deterioration of physical fitness in elderly. 87th General Session of the IADR, Miami (USA), 2009年4月1-4日.
- 3) Iwasaki M, Yoshihara A, Maynihan P, Watanabe R, Miyazaki H: Longitudinal relationship between dietary docosahexaenoic acid and the dental

- Dental Caries Prevention Program in Niigata Prefecture, Japan. The First Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education, Chiba (Japan), 2009年7月18-20日.
- 14) Taguchi C, Ichikawa T, Suzuki H, Kurosawa R, Hagiwara Y, Aida J, Taura K, Sakuma S, Yagi M, Kobayashi S: Advocating activity for creating health promoting community through water fluoridation in Japan. The First Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education, Chiba (Japan), 2009年7月18-20日.
 - 15) Yoshihara A, Miyazaki H: Long-term caries-preventive effect of a school-based fluoride mouthrinse in adulthood. 9th World Congress on Preventive Dentistry, Phuket (Thailand), 2009年9月7-10日.
 - 16) Yagi M, Sakuma S, and Miyazaki H: Risk of dental fluorosis associated with combined use of fluoride. 9th World Congress on Preventive Dentistry, Phuket (Thailand), 2009年9月7-10日.
 - 17) Sakuma S, Yoshihara A, Miyazaki H: School public health strategy for gingivitis prevention. 9th World Congress on Preventive Dentistry, Phuket (Thailand), 2009年9月7-10日.
 - 18) Hiroto T, Yoshihara A, Miyazaki H: Periodontal disease progression over 10 years in an elderly population. 9th World Congress on Preventive Dentistry, Phuket (Thailand), 2009年9月7-10日.
 - 19) Matsumoto S, Ogawa H, Hanyu O, Aizawa Y, Miyazaki H: Long-term effect of periodontal maintenance on adiponectin increase in diabetics. 9th World Congress on Preventive Dentistry, Phuket (Thailand), 2009年9月7-10日.
 - 20) Kimoto K, Taura K, Yoshihara A, Haresaku S, Ando Y, Arakawa H, Sakai O: National survey on school-based fluoride mouthrinsing program in Japan. 9th World Congress on Preventive Dentistry, Phuket (Thailand), 2009年9月7-10日.
 - 21) Ogawa H, Kaneko M, Yoshihara A, Miyazaki H: A Pilot Survey of Oral Health in Vientiane, Lao PDR. The 3rd National Health Research Forum, Pakse (Laos), 2009年10月2-3日.
 - 22) Miyazaki H: Diagnosis of halitosis. 15th Scientific and Refresher Course in Dentistry, Jakarta (Indonesia), 2009年10月14日.
 - 23) Miyazaki H: Effect of non-antimicrobial products on VSC production. 15th Scientific and Refresher Course in Dentistry, Jakarta (Indonesia), 2009年10月14日.
 - 24) Miyazaki H: How to deal with halitophobic patients. 15th Scientific and Refresher Course in Dentistry, Jakarta (Indonesia), 2009年10月14日.
 - 25) Iwasaki M, Taylor GW, Yoshihara A, Muramatsu K, Watanabe R, Miyazaki H: Dietary ratio of ω -6 to ω -3 polyunsaturated fatty acids and periodontal disease in a community-based older Japanese: a 3-year follow-up study. University of Michigan School of Dentistry Research Day, 2010年2月9日.
 - 26) 杉浦貴美子, 葭原明弘, 藤山友紀, 岡田 匠, 宮崎秀夫: 心身障害者におけるう蝕および歯周病の罹患状況に関する研究. 新潟市, 2009年4月18日, 新潟歯学会誌 39 (1) : 88頁, 2009.
 - 27) 金子正幸, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 後期高齢者における根面う蝕と心因性不整脈の関連. 新潟市, 2009年4月18日, 新潟歯学会誌 39 (1) : 88頁, 2009.
 - 28) 佐藤直子, 野村修一, 昆 はるか, 櫻井直樹, 山田一穂, 宮崎秀夫, 葭原明弘, 河野正司: 10年間の縦断調査からみた地域高齢者の咬合力. 第20回日本老年歯科医学会総会, 横浜市, 2009年6月19-20日, 学術大会プログラム・抄録集, 113頁, 2009.
 - 29) 市川加奈, 佐久間汐子, 葭原明弘, 宮崎秀夫, 五十嵐敦子: 高齢者 [79歳から80歳] における唾液量・服用薬剤・血液情報 [生化学検査] との関連. 第20回日本老年歯科医学会総会, 横浜市, 2009年6月19-20日, 学術大会プログラム・抄録集, 140頁, 2009.
 - 30) 伊藤加代子, 船山さおり, 葭原明弘, 井上 誠, 五十嵐敦子, 宮崎秀夫: 自立高齢者における口腔機能の経年的変化に関する検討. 第20回日本老年歯科医学会総会, 横浜市, 2009年6月19-20日, 学術大会プログラム・抄録集, 146頁, 2009.
 - 31) 鈴木亜夕帆: 義歯による疼痛が高齢者の食品摂取に及ぼす影響. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2009年7月18日, 新潟歯学会誌, 39 (2) : 200-201頁, 2009.
 - 32) 船山さおり, 伊藤加代子, 安達大雅, 梶井友佳, 勝良剛詞, 斎藤美紀子, 濃野 要, 金子 昇, 五十嵐敦子, 井上 誠: 新潟大学医歯学総合病院加齢歯科診療室「くちのかわき外来」の受診患者に関する検討. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2009年7月18日, 新潟歯学会誌, 39 (2) : 203-204頁, 2009.
 - 33) 矢崎 篤, 八木 稔, 鎌田 巖, 鈴木竜児, 七沢久子, 手塚知恵, 畑 秀明, 山本武夫, 片岡照二郎, 清田義和, 木本一成, 山内皓央, 佐久間汐子, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 甲信越北陸地方における集団応用フッ化

- 物洗口の実態－2008年調査報告－. 第20回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会総会, 新潟市, 2009年7月25日, 口腔衛生会誌, 60(1):53-54頁, 2010.
- 34) 杉本智子, 葭原明弘, 大内章嗣, 石上和男, 宮崎秀夫: 介護保険事業者等における要介護者の口腔ケアに関する実態および意識行動に及ぼす要因分析. 第20回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会総会, 新潟市, 2009年7月25日, 口腔衛生会誌, 60(1):54頁, 2010.
- 35) 坂口真弓, 葭原明弘, 岩崎正則, 田村卓也, 土屋信人, 佐藤 徹, 宮崎秀夫: 保育園児に対する口腔周囲機能向上の取り組み. 第20回口腔衛生学会甲信越北陸地方会総会, 新潟市, 2009年7月25日, 口腔衛生会誌, 60(1):55頁, 2010.
- 36) 岩崎正則, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 簡易自己式食事歴質問票BDHQによる高齢者の栄養摂取状況と食事摂取状況との関連. 第20回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会総会, 新潟市, 2009年7月25日, 口腔衛生会誌, 60(1):55-56頁, 2010.
- 37) 葭原明弘, 金子 昇, 杉本智子, 清田義和, 佐藤 徹, 宮崎秀夫: 乳・幼児健診に併設し実施する間接健診および個別指導が行動変容に及ぼす影響. 第58回日本口腔衛生学会総会, 岐阜市, 2009年10月9-11日, 口腔衛生会誌, 59(4):314頁, 2009.
- 38) 牧野由佳, 山賀孝之, 濃野 要, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 非喫煙者における口腔内揮発性硫黄化合物濃度と歯周疾患進行の関係. 第58回日本口腔衛生学会総会, 岐阜市, 2009年10月9-11日, 口腔衛生会誌, 59(4):385頁, 2009.
- 39) 金子 昇, 濃野 要, 今井 奨, 葭原明弘, 花田信弘, 宮崎秀夫: 血清および唾液中抗 *Porphyromonas gingivalis* 抗体価と冠動脈性心疾患リスク因子との関連性の検討. 第58回日本口腔衛生学会総会, 岐阜市, 2009年10月9-11日, 口腔衛生会誌, 59(4):496頁, 2009.
- 40) 小川祐司, 松本沙耶香, 宮崎秀夫: 歯周メインテナンスによる血清アディポネクチン濃度維持効果の検討. 第58回日本口腔衛生学会総会, 岐阜市, 2009年10月9-11日, 口腔衛生会誌, 59(4):497頁, 2009.
- 41) 田浦勝彦, 相田 潤, 安藤雄一, 晴佐久 悟, 田口千恵子, 木本一成, 葭原明弘, 筒井昭仁, 眞木吉信, 荒川浩久, 飯島洋一, 磯崎篤則, 小林清吾, 小関健由: フッ化物洗口の都道府県別にみた普及の推移の政策が果たした役割の検討. 第58回日本口腔衛生学会総会, 岐阜市, 2009年10月9-11日, 口腔衛生会誌, 59(4):516頁, 2009.
- 42) 八木 稔, 清田義和, 佐久間汐子, 石上和男, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 地域う蝕トレンドモデル構築の試みとフッ化物応用の評価 新潟県12歳児平均DMF歯数を用いて. 第58回日本口腔衛生学会総会, 岐阜市, 2009年10月9-11日, 口腔衛生会誌, 59(4):517頁, 2009.
- 43) 高野尚子, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 高齢者における口腔と精神健康の変化に関する前向き研究. 第58回日本口腔衛生学会総会, 岐阜市, 2009年10月9-11日, 口腔衛生会誌, 59(4):521頁, 2009.
- 44) 伊藤加代子, 高野尚子, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 高齢者の口腔機能の基準値作成に向けた基礎調査. 第6回日本口腔ケア学会総会, 宇都宮市, 2009年11月20-21日, 日本口腔ケア学会雑誌, 2(1):58頁, 2009.
- 45) 牧野由佳, 山賀孝之, 濃野 要, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 非喫煙者における口腔内揮発性硫黄化合物濃度と歯周疾患進行の関係. 平成21年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2009年11月21日, 新潟歯学会誌, 39(2):214頁, 2009.
- 46) 近藤明子, 西牟田 守, 宮崎秀夫, 花田信弘, 武田隆久, 木村美恵子: 高齢者における血液中ミネラル・微量元素の栄養状態. 第29回日本マグネシウム学会, 鹿児島市, 2009年11月28日, マグネシウム, 28:18-19頁, 2009.
- 47) 櫻井直樹, 野村修一, 昆はるか, 佐藤直子, 田中みか子, 金城篤史, 甲斐朝子, 小林 博, 宮崎秀夫, 葭原明弘: 地域在住の高齢者における顎関節症状の発現について. 平成21年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会, 高崎市, 2010年1月30日, 2010.

【その他】

- 1) 高橋 収: 地域在住日本人閉経女性におけるアタッチメントレベルと骨密度との関連. 新潟歯学会誌, 39:75-76頁, 2009.
- 2) 和泉重紀: 非喫煙者における歯周疾患と血清脂質との関係. 新潟歯学会誌, 39:89-90頁, 2009.
- 3) 佐久間汐子: むし歯予防とフッ素洗口－その安全性について－. ひなどり(新潟市保育会発行), 229:16-17頁, 2009.
- 4) 佐久間汐子: むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について. 新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業, 新潟市立松野尾保育園(新潟市), 2009年4月15日.
- 5) 佐久間汐子: むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について. 新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業, 新潟市立新金沢保育園(新潟市), 2009年4月24日.
- 6) 葭原明弘: むし歯予防とフッ化物応用について. 三

- 条市, 2009年4月25日.
- 7) 佐久間汐子: むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について. 新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業, 新潟市立おぎかわ保育園(新潟市), 2009年5月8日.
 - 8) 佐久間汐子: むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について. 新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業, 新潟市立竹野町保育園(新潟市), 2009年5月21日.
 - 9) 佐久間汐子: むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について. 新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業, 新潟市立旭保育園(新潟市), 2009年6月4日.
 - 10) 宮崎秀夫: EBMに即した口臭の検査・診断・治療. 前橋市歯科医師会学術講演会, 前橋市, 2009年6月6日.
 - 11) 佐久間汐子: むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について. 新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業, 新潟市立亀田第一保育園(新潟市), 2009年6月12日.
 - 12) 佐久間汐子: むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について. 新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業, 新潟市立さくら保育園(新潟市), 2009年7月3日.
 - 13) 佐久間汐子: むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について. 新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業, 新潟市立亀田第二保育園(新潟市), 2009年7月6日.
 - 14) 佐久間汐子: むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について. 新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業, 新潟市立すわ保育園(新潟市), 2009年7月8日.
 - 15) 佐久間汐子: 弥彦村における歯科保健の変遷とその成果. 弥彦村学校保健委員会研修会, 弥彦村, 2009年7月17日.
 - 16) 宮崎秀夫: 口臭外来の紹介「明日からできる口臭の検査・診断・治療」. 飯田下伊那歯科医師会学術講演会, 飯田市, 2009年7月18日.
 - 17) 佐久間汐子: むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について. 新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業, 新潟市立亀田第三保育園(新潟市), 2009年7月22日.
 - 18) 岩崎正則: 保育園でのフッ素洗口について. フッ素洗口説明会, 五泉市, 2009年7月25日.
 - 19) 葭原明弘: 平成21年度第1回新潟県歯科衛生士会行政部門研修会, 新潟市, 2009年8月4日.
 - 20) 葭原明弘: 噛むカム推進事業・条例支援事業説明会「効果的な歯科保健計画の作成」, 新潟市, 2009年8月5日.
 - 21) 葭原明弘: 「条例推進重点市町村支援事業」担当者支援研修会, 新潟市, 2009年8月21日.
 - 22) 葭原明弘: 平成21年度歯科保健調査規格連携協議会「歯周疾患対策のキーポイント」, 五泉市, 2009年8月27日.
 - 23) 葭原明弘: むし歯予防とフッ化物応用について. 五泉市, 2009年8月28日.
 - 24) 葭原明弘: 静岡県子ども歯を守る会講演会「歯科保健推進条例の意味するところー新潟県歯科保健推進条例の制定にあたって」, 静岡市, 2009年9月12日.
 - 25) 林 悠子: むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について. 新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業, 新潟市立すわ保育園(新潟市), 2009年10月2日.
 - 26) 佐久間汐子: むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について. 新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業, 私立にこにこ保育園(新潟市), 2009年10月15日.
 - 27) 葭原明弘: 平成21年度中越地域歯科保健研修会, 田上町, 2009年10月19日.
 - 28) 葭原明弘: 第2回「条例推進重点市町村支援事業」担当者支援研修会, 新潟市, 2009年10月20日.
 - 29) 葭原明弘: 「条例推進重点市町村支援事業」保健推進研修会, 胎内市, 2009年10月22日.
 - 30) 佐久間汐子: むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について. 新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業, 私立恵光学園第一幼稚園(新潟市), 2009年10月28日.
 - 31) 佐久間汐子: むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について. 新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業, 新潟市立ゆたか保育園(新潟市), 2009年11月4日.
 - 32) 林 悠子: むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について. 新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業, 新潟市立金津保育園(新潟市), 2009年11月6日.
 - 33) 佐久間汐子: むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について. 新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業, 私立YOU鐘木保育園(新潟市), 2009年11月10日.
 - 34) 佐久間汐子: 健康なおとなの歯を育てるために今できること. 歯科保健講習会, 新潟市保健所(新潟市), 2009年11月12日.
 - 35) 葭原明弘: 十日町市中魚沼郡学術講演会「体の健康はお口の健康から」, 十日町市, 2009年11月17日.
 - 36) 佐久間汐子: 健康なおとなの歯を育てるために今できること. 歯科保健講習会, 新潟市市役所(新潟市),

2009年11月19日。

- 37) 佐久間汐子：乳幼児におけるフッ化物配合歯磨剤の使用。フッ化物配合歯磨剤使用に関する検討会議，静岡県歯科医師会館（静岡市），2009年11月22日。
- 38) 宮崎秀夫：口臭－明日からできる口臭の検査・診断・治療。新潟県歯科医師会医院経営安定化セミナー，新潟市，2009年11月26日。
- 39) 葎原明弘：地域保健医療推進新潟支部歯科衛生士研修会，新潟市，2009年11月28日。
- 40) 佐久間汐子：むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について。新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業，私立金鶏つばさ幼稚園（新潟市），2009年12月3日。
- 41) 葎原明弘：第7回フォーラム8020，住民参加の「8020運動」の展開～新たな地域での取り組みを目指して～，東京，2009年12月12日。
- 42) 佐久間汐子：むし歯の原因とその予防・保育園幼稚園のフッ化物洗口について。新潟市保育園幼稚園フッ化物洗口事業，私立新潟中央幼稚園（新潟市），2009年12月16日。
- 43) 葎原明弘：むし歯予防とフッ化物応用について。五泉市，2009年12月17日。
- 44) 葎原明弘：平成21年度フッ化物応用支援研修会，奥羽大学（郡山市），2009年12月20日。
- 45) 葎原明弘，宮崎秀夫：新潟市高齢者コホートスタディの結果。口腔保健と全身のQOLの関係に関する総合研究 研究成果発表会，鶴見大学（横浜市），2009年12月25日。
- 46) 佐久間汐子：歯肉炎の予防，弥彦村学校保健委員会研修会，弥彦村，2010年2月17日。

う蝕学分野

【著書】

- 1) 興地隆史（分担執筆）：保存修復クリニカルガイド第2版（千田彰，寺下正道，田上順次，奈良陽一郎，宮崎真至，片山直 編）：医歯薬出版，東京，138-141，2009。
- 2) 興地隆史（分担執筆）：第3版エンドドンティクス（須田英明，中村洋 編集主幹，恵比須繁之，興地隆史，勝海一郎，斎藤隆史，中川寛一，中村幸生，林善彦 編）：永末書店，京都，80-88，2010。
- 3) 興地隆史（分担執筆）：保存修復学21，第4版：永末書店，京都，印刷中。
- 4) 興地隆史（分担訳）：Interdisciplinary Treatment Planning: クインテッセンス出版，東京，印刷中。
- 5) Okiji T: Pulp as a connective tissue. Hargreaves K, Goodis H eds. Seltzer and Bender's dental pulp,

2nd ed., Quintessence, Chicago, in press.

【論文】

- 1) Kaneko T, Okiji T, Kaneko R, Suda H, Nör, JE: Gene expression analysis of immunostained endothelial cells isolated from formaldehyde-fixed paraffin embedded tumors using laser capture microdissection--a technical report. *Microsc Res Tec* 72(12): 908-912, 2009.
- 2) Kaneko T, Kaneko M, Chokechanachaisakul U, Kawamura J, Kaneko R, Sunakawa M, Okiji T, Suda H, Artificial dental pulp exposure injury up-regulates antigen-presenting cell-related molecules in rat central nervous system. *J Endod* 36(3):459-464, 2010.
- 3) Okiji T, Yoshida K: Reparative dentinogenesis induced by mineral trioxide aggregate: a review from the biological and physicochemical points of view. *Int J Dent*: vol. 2009, Article ID 464280, 12 pages, 2009. doi:10.1155/2009/464280.
- 4) Watanabe Y, Mohri T, Takeyama M, Yamaki M, Okiji T, Saito C, Saito I: Long-term observation of autotransplanted teeth with complete root formation in orthodontic patients, *Am J Orthod Dentofacial Orthop*: in press.
- 5) Chokechanachaisakul U, Kaneko T, Okiji T, Kaneko R, Kaneko M, Kawamura J, Sunakawa M, Suda H: Increased gene expression of toll-like receptors and antigen presenting cell-related molecules in the onset of experimentally induced furcation lesions of endodontic origin in rat molars; *J Endod* 36(2):251-255, 2010.
- 6) Kaneko T, Okiji T, Kaneko R, Sunakawa M, Suda H, Gene expression analysis of acutely traumatized pulps. *J Endod* 36(1):78-82, 2010.
- 7) Han L, Ishizaki H, Okamoto A, Fukushima M, Okiji T: Morphological analysis of flowable resins after long-term storage or surface polishing with a mini-brush; *Dent Mater J* 28(3): 277-284, 2009.
- 8) Takenaka S, Wakamatsu R, Ozoe Y, Tomita F, Fukushima M, Okiji T. Translucency and color change of tooth-colored temporary coating materials. *Am J Dent*, 22(6), 361-365, 2009.
- 9) Takenaka S, Trivedi HM, Pitts B, Stewart PS: Diffusion of macromolecules in model oral biofilms. *Appl Environ Microbiol*; 75, 1750-1753, 2009.
- 10) Iizuka N, Suzuki A, Nozawa-Inoue K, Kawano Y, Nandasena BGTL, Okiji T, Maeda T.: Differential

cell-specific location of Cav-1 and Ca²⁺-ATPase in terminal Schwann cells and mechanoreceptive Ruffini endings in the periodontal ligament of the rat incisor. J Anat, 214(2):267-274,2009.

- 11) 小野和宏, 八木 稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 林 孝文, 齋藤 功, 興地隆史, 前田健康, 山田好秋: 新潟大学歯学部歯学科の新教育課程とその評価; 新潟歯学会誌, 39 (1) : 29-40, 2009.
- 12) 安島久雄, 芳澤享子, 小野和宏, 泉 直也, 新美奏恵, 小山貴寛, 菅井登志子, 興地隆史, 齋藤 力, 高木律男: 残留嚢胞摘出と同時に歯の即時移植を行った1例; 新潟歯学会誌, 39 (2) : 153-158, 2009.
- 13) 吉羽邦彦, 鞍立桃子, 重谷佳見, 韓 臨麟, 吉羽永子, 興地隆史: Mineral trioxide aggregate (MTA) の物理化学的特性と直接覆髄後の歯髄反応; 新潟歯学会雑誌, 39 (2) : 181-182, 2009.
- 14) 金子友厚, 興地隆史, 砂川光宏, 金子実弘, Chokechanachaisakul U, 河村 隼, 須田英明: ラット臼歯に誘発した根分岐部病変の初期発症過程における免疫機能分子および toll - like receptor mRNA 発現の亢進; 日歯保存誌, 52 (2) : 154-160, 2009.
- 15) 韓 臨麟, 福島正義, 興地隆史: 新規フロアブルレジンの表面性状観察 - 各種ドリンク浸漬後の変化 - ; 日歯保存誌, 52 (2), 184-189, 2009.
- 16) 韓 臨麟, 石崎裕子, 福島正義, 興地隆史: 新規 HEMA 非含有 1 液性ワンステップ接着システムに関する研究 - 歯質処理面, 接着界面および辺縁封鎖性について - ; 日歯保存誌, 52 (3), 279-287, 2009.
- 17) 鞍立桃子, 重谷佳見, 韓 臨麟, 興地隆史: 水中浸漬された Mineral Trioxide Aggregate の組成変化 - 表層部における元素分布の変動 - ; 日歯保存誌, 52 (4) : 348-354, 2009.
- 18) 韓 臨麟, 興地隆史: セルフエッチングタイプレジジン系根管用シーラーに関する研究 - 硬化体の表面性状, 根管壁処理面, 接着界面および根管封鎖性の観察 - ; 日歯内療誌, 30 (3) : 71-78, 2009.
- 19) 早川達也, 富田文仁, 興地隆史: NiTi ロータリーファイルを用いた Therafil Plus プラスチックキャリアの除去; 日歯内療誌, 30 (3), 177-181, 2009.
- 20) 武井典子, 藤本篤士, 木本恵美子, 竹中彰治, 福島正義, 奥瀬敏之, 岩久正明, 石川正夫, 高田康二: 高齢者の口腔機能の評価と管理のシステム化に関する研究 第1報 自立者の総合的な検査法, 改善法, 効果の評価法について, 老年歯科医学, 23 (4) ,384-396, 2009.
- 21) 若松里佳, 竹中彰治, 本間春菜, 尾添裕美子, 福島

正義, 興地隆史: 新規歯面コーティング材塗布のアンケートによる審美性評価. 歯科審美, 21, 22-29, 2009.

- 22) 竹中彰治, 小林千夏, 若松里佳, 福島正義, 興地隆史: 新規歯面コーティング材の短期的臨床評価. 歯科審美, 22, 41-47, 2009.

【商業誌】

- 1) 竹中彰治, Betsey Pitts, 興地隆史: バイオフィルムの三次元蛍光イメージングと制御法の評価, 日本歯科評論, 69 (12) : 35-36, 2009.
- 2) 竹中彰治, 興地隆史, 福島正義: 歯面コーティング材 ビューティコート. デンタルダイヤモンド, 34 (7) : 150-155, 2009
- 3) 浅井哲也, 風間龍之輔, 南 一郎, 中村輝保, 五十嵐順正, 福島正義, 興地隆史: 歯科咬合採得用印象材 フレキシタイム バイト; Dental Diamond, 34 (6) :142-145, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 興地隆史, 小里達也, 荒田正三: レジン系根管充填用シーラーに関する理工学的・生物学的および臨床的研究, 共同研究成果報告書, 2009.
- 2) 興地隆史: 根尖性歯周疾患の病態機序 - 自然および獲得免疫応答と樹状細胞の成熟化 -. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 20390483, 2008.
- 3) 吉羽邦彦: 象牙質・歯髄複合体の修復再生機構の解明 - 組織培養法を用いた歯髄細胞の動態解析 -. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 21592417, 2009.
- 4) 吉羽永子: レーザーを応用したう蝕治療法の確立 - 炎症歯髄創傷治癒過程の免疫組織化学的解析 -. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 19592197, 2009.
- 5) 韓臨麟: 加齢に伴うエナメル質亀裂の発生原因の究明および予防と治療対策の確立. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 19592195, 2009.
- 6) 富田文仁: Ni-Ti ファイルによるレジン系根管充填材除去法の構築: μ CT 画像解析と力学解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 21592416, 2009.
- 7) 重谷佳見: 半導体レーザーにより誘導される歯髄内硬組織形成機構を免疫組織化学的に解明する. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 21791845, 2009.
- 8) 鞍立桃子: Mineral trioxide aggregate による直接覆髄後の修復過程. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 21791846, 2009.

- 9) 吉羽永子 :TGF- β 1 の細胞外調節因子 Fibrillin-1 が歯髄組織での細胞分化と石灰化に及ぼす影響 . 新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2009.
- 10) 富田文仁 :Ni-Ti ローターファイルによるレジ系根管充填材除去法の構築 - 難症例である湾曲根管を μ CT における 3D 画像にて解析する -. 新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2009.
- 11) 重谷佳見 :MTA に対するラット臼歯歯髄の反応に関する免疫組織化学的研究 - 象牙質・歯髄複合体における修復再生機構の解明 -. 新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2009.
- 12) 鞍立桃子 :象牙質・歯髄複合体における Er:YAG レーザー照射後の細胞動態の免疫組織化学的解析 . 新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2009.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 興地隆史 : 診断から治療方針決定へのキーポイント - 最善の選択を行うために -, 日本歯内療法学会関東甲信越静岡支部第 6 回ウインターセミナー, 東京, 2010 年 2 月 21 日 .
- 2) 興地隆史 : 最新の治療システムが拓く効率的で確実な歯内療法. 前橋エンドセミナー, 前橋, 2009 年 10 月 18 日 .
- 3) 興地隆史 : 歯内療法の最新パラダイム, 新発田市歯科医師会講演会, 新発田, 2009 年 9 月 12 日 .
- 4) 興地隆史 : 明日からの臨床に活かすための歯内療法システム. 新潟エンドセミナー, 新潟, 2009 年 8 月 30 日 .
- 5) 興地隆史 : 歯内療法の潮流 - 予知性のさらなる向上のために -, 前橋市歯科医師会講演会, 前橋, 2009 年 7 月 22 日 .
- 6) 興地隆史 : 最新のシステムが拓く効率的で確実な歯内療法. 甲府エンドセミナー, 甲府, 2009 年 5 月 24 日 .
- 7) 興地隆史 : 歯内療法の潮流 - 効率化と難症例への対応 -, 足利臨床歯科研究会講演会, 足利, 2009 年 4 月 3 日 .
- the 15th APEC Scientific Congress, Tokyo, April 24-26, 2009.
- 3) Chokechanachaisakul U. Kawamura J. Kaneko T. Sunakawa M. Kaneko M. Okiji T. Suda H.: Chemical tooth-pulp stimulation upregulates antigen presentation-associated genes in the thalamus, FDI Annual World Congress, Singapore, September 2-5, 2009.
- 4) Asai T, Kazama R, Fukushima M, Okiji T.:Effect of Grazing on the Fracture Strength of Dental CAD/CAM Ceramic Materials.FDI Annual World Dental Congress, SINGAPORE, September 2-5, 2009.
- 5) Kazama R, Asai T, Okiji T, Fukushima M, Nakamura T, Minami I, Igarashi Y.:Effect of cavity depth and acquisition systems on CEREC inlay adaptation.FDI Annual World Dental Congress, SINGAPORE, September 2-5 September, 2009.
- 6) Kuratate M, Yoshiba K, Shigetani Y, Yoshiba N, Okiji T: Immunolocalization of osteopontin and dentin matrix protein-1 during reparative dentinogenesis in rat molars after direct pulp capping with calcium hydroxide. The 11th Joint Meeting between Korean Academy of Conservative Dentistry and Japanese Society of Conservative Dentistry, Jeju, Korea, November 13, 2009, J Kor Acad Cons Dent, 34(6), 716.
- 7) Yamanaka Y, Shigetani Y, Yoshiba K, Yoshiba N, Okiji T: Evaluation of the biocompatibility of resin-based root canal sealers: An immunohistochemical study in the rat subcutaneous tissue. 11th Joint-Scientific Meeting between Japanese Society of Conservative Dentistry and Korean Academy of Conservative Dentistry, Jeju, Korea, November 12-14, 2009.
- 8) Shigetani Y, Ohkura N, Sasa N, Yoshiba K, Yoshiba N, Okiji T: Gene Expression of Mineralized Tissue Matrix Proteins in GaAlAs Laser-irradiated Rat Molars. The 8th JEA-KAE Joint Scientific Meeting, Busan, Korea, March 27-28, 2010.
- 9) Yamanaka Y, Shigetani Y, Yoshiba K, Yoshiba N, Okiji T; An Immunohistochemical Evaluation of Tissue Reactions to Methacrylate Resin-based and Epoxy Resin-based Sealers. The 8th JEA-KAE Joint scientific meeting, Korea, March 27-28, 2010.
- 10) Ohkura N, Shigetani Y, Yoshiba N, Yoshiba K, Okiji T: Title:Gene expression analysis of

【学会発表】

- 1) Kazama R, Asai T, Okiji T, Fukushima M, Igarashi I: Fracture strength of ultrasonically inserted CAD/CAM ceramic inlays, 87th General Session of the IADR. Miami, Florida, April 1-4, 2009.
- 2) Shigetani Y, Sasa N, Suzuki H, Yoshiba K, Yoshiba N, Okiji T: Early Pulpal Responses to GaAlAs Laser Irradiation in Rat Molars. The Asian Pacific Endodontic Confederation (APEC), the Korean Academy of Endodontics (KAE) and Japan Endodontic Association (JEA) are going to co-host

- membrane transport proteins in rat pulp tissue. The 8th JEA-KAE Joint Scientific Meeting, Busan, Korea, March 27-28, 2010.
- 11) 韓 臨麟, 福島正義, 興地隆史: 連和方式の違いが self-adhesive resin cement の諸物性に与える影響. 日本歯科理工学会学術大会, 東京, 2009年4月11-12日. プログラム・講演抄録集: 67頁, 2009.
 - 12) 菅井登志子, 芳澤享子, 小林正治, 齊藤 力, 高木律男, 小野和宏, 興地隆史: 歯根完成歯自家移植の予後因子に関する検討 (第2報). 第63回日本口腔科学会, 浜松, 2009年4月16-17日, 口科誌, 58(4):236頁, 2009.
 - 13) 早川達也, 富田文仁, 興地隆史: 各種レジン系根管充填材除去及び再根管形成に対する ProTaper の有用性. 第30回日本歯内療法学会学術大会, 東京, 2009年4月25日. 日本歯内療法学会学術大会プログラム・講演抄録集:107頁, 2009.
 - 14) 河村隼, 金子友厚, チョクチャナイサクンウライワン, 興地隆史, 砂川光宏, 須田英明: Analyses for dendritic cells in pulp infection-induced furcal inflammation. 日本顕微鏡学会第65回学術講演会, 仙台, 2009年5月27日, プログラム:55頁, 2009.
 - 15) Chokechanachaisakul Uraivan, 金子友厚, 河村 隼, 興地隆史, 須田英明: A technical report of immune-LCM from paraffin embedded tumors, 日本顕微鏡学会第65回学術講演会, 仙台, 2009年5月27日, プログラム:61頁, 2009.
 - 16) 石崎裕子, 韓 臨麟, 興地隆史, 福島正義: 長期水中浸漬がフロアブルレジンの曲げ強さに与える影響. 日本歯科保存学会2009年春季学術大会 (第130回), 札幌, 2009年6月11-12日, プログラムおよび講演抄録集:9頁, 2009.
 - 17) 竹中彰治, Pitts Betsey, 若松里佳, 興地隆史: 二光子レーザー顕微鏡を用いたバイオフィルムの高解像度蛍光イメージング: 日本歯科保存学会2009年春季学術大会 (第130回), 札幌, 2009年6月11-12日, プログラムおよび講演抄録集:26頁, 2009.
 - 18) 鞍立桃子, 吉羽邦彦, 重谷佳見, 吉羽永子, 興地隆史: 水酸化カルシウム直接覆髄後の硬組織形成過程—ラット臼歯を用いた免疫組織化学的研究—. 日本歯科保存学会2009年春季学術大会 (第130回), 札幌, 2009年6月11-12日, プログラムおよび講演抄録集:35頁, 2009.
 - 19) 山中祐介, 重谷佳見, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 興地隆史: 各種レジン系シーラーの生体親和性—ラット皮下組織における免疫組織化学的研究—. 日本歯科保存学会2009年春季学術大会 (第130回), 札幌, 2009年6月11-12日, プログラムおよび講演抄録集:36頁, 2009.
 - 20) 吉羽永子, 吉羽邦彦, 重谷佳見, 細矢明宏, 中村浩彰, 興地隆史: ヒト歯髄組織における Fibrillin-1 の局在に関する免疫組織化学的研究—石灰化および細胞分化との関連性について—. 日本歯科保存学会2009年度春季学術大会 (第130回), 札幌, 2009年6月11-12日, プログラムおよび講演抄録集:62頁, 2009.
 - 21) 韓 臨麟, 興地隆史: セルフエッチングタイプレジン系根管用シーラーに関する研究—硬化体の表面性状, 根管壁処理面, 接着界面および根管封鎖の観察—. 日本歯科保存学会2009年度春季学術大会 (第130回), 札幌, 2009年6月11-12日, プログラムおよび講演抄録集:72頁, 2009.
 - 22) 渡部平馬, 浅井哲也, 福田 敬, 竹中彰治, 興地隆史: 各種レジンセメントおよびセラミックへの細菌付着について: 日本歯科保存学会2009年度春季学術大会 (第130回), 札幌, 2009年6月11-12日, プログラムおよび講演抄録集:113頁, 2009.
 - 23) 浅井哲也, 風間龍之輔, 福島正義, 興地隆史: CAD/CAM用セラミックの破折強度について—グレーディングの影響—. 日本歯科保存学会2009年春季学術大会 (第130回), 札幌, 2009年6月11-12日, プログラムおよび講演抄録集:115頁, 2009年.
 - 24) 風間龍之輔, 浅井哲也, 興地隆史, 福島正義, 渡邊清志, 飛田 滋, 岡田直人, 五十嵐順正: 温度および荷重負荷条件下における3ユニット Y-TZPブリッジの破折強度. 日本歯科保存学会2009年春季学術大会 (第130回), 札幌, 2009年6月11-12日, プログラムおよび講演抄録集:117頁, 2009年.
 - 25) 河村 隼, 金子友厚, チョクチャナチャイサクンウライワン, 砂川光宏, 金子実弘, 興地隆史, 須田英明: 実験的歯髄炎に伴うラット脳幹内抗原提示細胞関連分子 mRNA 発現の亢進, 日本歯科保存学会春季学会 (第130回), 札幌, 2009年6月11-12日, プログラムおよび講演抄録集:145頁, 2009.
 - 26) チョクチャナチャイサクンウライワン, 金子友厚, 河村 隼, 興地隆史, 砂川光宏, 金子実弘, 須田英明: 露髄によって実験的に惹起されたラット臼歯根分岐部歯根膜の炎症部における Toll 様受容体 mRNA 発現の亢進, 日本歯科保存学会春季学会 (第130回), 札幌, 2009年6月11-12日, プログラムおよび講演抄録集:146頁, 2009.
 - 27) 富田文仁, 興地隆史: GT Series X Rotary File の湾曲根管に対する切削特性—ファイル使用順序の影響—. 日本歯科保存学会2009年春季学術大会 (第130回), 札幌, 2009年6月11-12日, プログラム

- および講演抄録集:161頁, 2009.
- 28) 大倉直人, 吉川博之, 塚田博子, 倉田行伸, 弦巻立, 田中裕, 瀬尾憲司, 染矢源治:頬部粘膜腫瘍摘出後に発症した急性閉塞隅角緑内障の1例. 第26回関東臨床歯科麻醉懇話会, 東京, 2009年7月4日, プログラムおよび講演抄録集:13頁, 2009年.
 - 29) 笹なつき, 重谷佳見, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 監物新一, 大島勇人, 興地隆史:半導体レーザー照射に対するラット臼歯歯髓初期反応. 第51回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2009年9月10日. Journal of Oral Biosciences 51 (Supplement), 100頁, 2009.
 - 30) 吉羽永子, 吉羽邦彦, 重谷佳見, 興地隆史, 細矢明宏, 中村浩彰, 小澤英浩:ヒト歯髓組織におけるFibrillin-1の分解が細胞分化および石灰化に及ぼす影響. 第51回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2009年9月11日, Journal of Oral Biosciences 51 (Supplement):140頁, 2009.
 - 31) 浅井哲也, 風間龍之輔, 渡部平馬, 福島正義, 興地隆史:ハンドピース潤滑油による汚染がコンポジットレジン歯質接着性に及ぼす影響. 第20回日本歯科審美学会学術大会, 品川, 2009年9月19-20日, 第20回日本歯科審美学会学術大会プログラム・抄録集:47頁, 2009.
 - 32) 渡部平馬, 浅井哲也, 風間龍之輔, 福島正義, 興地隆史:オールセラミックインレーの被着面酸処理が破折強度に及ぼす影響. 第20回日本歯科審美学会学術大会, 品川, 2009年9月19-20日, 第20回日本歯科審美学会学術大会プログラム・抄録集:48頁, 2009.
 - 33) 芳澤享子, 菅井登志子, 新美奏恵, 小林正治, 齊藤力, 小野和宏, 高木律男, 興地隆史:歯根完成歯自家移植における経過不良症例に関する検討. 第54回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌, 2009年10月9-11日. 日口外誌, 55(総会特別):228頁, 2009.
 - 34) 新美奏恵, 芳澤享子, 菅井登志子, 小林正治, 齊藤力, 高木律男, 小野和宏, 興地隆史:歯根完成歯移植後に出現した歯根頸部吸収に関する臨床的検討. 第54回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌, 2009年10月9-11日. 日口外誌, 55(総会特別):290頁, 2009.
 - 35) 石崎裕子, 韓臨麟, 興地隆史, 福島正義:長期水中浸漬がフロアブルレジンの曲げ強さに与える影響. 日本歯科保存学会2009年秋季学術大会(第131回), 仙台, 2009年10月29-30日, プログラムおよび講演抄録集, 30頁, 2009.
 - 36) 風間龍之輔, 浅井哲也, 渡部平馬, 興地隆史, 福島正義, 五十嵐順正:ハンドピース潤滑油による汚染がワンステップボンディングシステムの歯質接着性に及ぼす影響. 日本歯科保存学会2009年秋季学術大会(第131回), 仙台, 2009年10月29-30日, プログラムおよび講演抄録集, 103頁, 2009.
 - 37) 韓臨麟, 興地隆史:Mineral Trioxide Aggregate (MTA)からの析出物の化学的分析. 日本歯科保存学会2009年秋季学術大会(第131回), 仙台, 2009年10月29-30日, プログラムおよび講演抄録集, 108頁, 2009.
 - 38) 渡部平馬, 浅井哲也, 福田敬, 竹中彰治, 興地隆史:各種レジンセメントおよびセラミックへの細菌付着について. 日本歯科保存学会2009年秋季学術大会(第131回), 仙台, 2009年10月29-30日, プログラムおよび講演抄録集, 113頁, 2009.
 - 39) 早川達也, 富田文仁, 興地隆史:Ni-TiロータリーファイルによるThermafil Plusプラスチックキャリアの除去—根管テーパーの影響. 日本歯科保存学会2009年度秋季学術大会(第131回), 仙台, 2009年10月29-30日. プログラムおよび講演抄録集, 141頁, 2009.
 - 40) 富田文仁, 興地隆史:マイクロCTを用いたレジン系根管充填材除去過程の解析. 日本歯科保存学会2009年秋季学術大会(第131回), 仙台, 2009年10月29-30日, プログラムおよび講演抄録集:153頁, 2009.
 - 41) 笹なつき, 重谷佳見, 鈴木啓展, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 興地隆史:半導体レーザー照射後のラット臼歯歯髓反応に関する免疫組織学的検討. 日本歯科保存学会2009年秋季学術大会(第131回), 仙台, 2009年10月29-30日, プログラムおよび講演抄録集:188頁, 2009.
 - 42) 庭野和明, 興地隆史:根管拡大形成操作解析装置の開発—トルク, 荷重データの数値解析—. 日本歯科保存学会2009年度秋季学術大会(第131回), 仙台, 2009年10月29-30日, プログラムおよび講演抄録集:200頁, 2009.
 - 43) 韓臨麟, 興地隆史, 吉羽永子, 小林哲夫, 藤井規孝, 小野和宏, 前田健康:早期臨床実習への窩洞形成修復実習の導入. 新潟大学歯学部歯学科のカリキュラム評価. 第28回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 広島, 2009年11月7日, プログラム・抄録集:60頁, 2009.
 - 44) 小野和宏, 八木稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 林孝文, 齊藤功, 興地隆史, 前田健康, 藤井規孝:新潟大学歯学部歯学科のカリキュラム評価. 第28回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 広島, 2009年11月7日, プログラム・抄録集:92頁, 2009.
 - 45) 安島久雄, 小野和宏, 井上誠, 山村健介, 高木律

男, 藤井規孝, 齋藤 功, 魚島勝美, 興地隆史, 前田健康, 松山順子, 田中 礼, 小田陽平, 島田靖子: 新潟大学歯学部における教員研修 (FD) の概要と今後の方向性. 第 28 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 広島, 2009 年 11 月 7 日, プログラム・抄録集: 93 頁, 2009.

【研究会発表】

- 1) 興地隆史: Mineral Trioxide Aggregate (MTA) の臨床. 歯内療法臨床研究会 in 御茶ノ水, 東京, 2009 年 7 月 11 日.
- 2) 鞍立桃子, 興地隆史: Mineral Trioxide Aggregate (MTA) の硬組織形成誘導機序に関する基礎的検討. 歯内療法臨床研究会 in 御茶ノ水, 東京, 2009 年 7 月 11 日.

【その他】

- 1) 浅井哲也: Maxcem Elite Table Clinic (サイブロンデンタル), 中部デンタル, 名古屋, 2009 年 3 月 7-8 日.
- 2) 浅井哲也: Maxcem Elite Table Clinic (サイブロンデンタル), 近畿デンタル, 大阪, 2009 年 5 月 25-26 日.
- 3) 興地隆史: 歯内療法の臨床エッセンスー基礎から最先端までー, 新潟大学医歯学総合病院歯科臨床研修医セミナー, 新潟, 2009 年 9 月 2 日.
- 4) Takenaka S: New strategy targeting matrices of mature biofilm. KPPIKG 2009, Jakarta, October, 15, 2009.
- 5) Takenaka S: Advantages of surgical microscope. Universitas Gadjah Mada, Yogyakarta, October, 19, 2009.
- 6) Takenaka S: Oral biofilm research and techniques. Universitas Gadjah Mada, Yogyakarta, October, 20, 2009.
- 7) 韓 臨麟, 興地隆史: 生物機能性歯科材料による歯の硬組織に与える影響の検証 EPMA によるエビデンスの獲得. 第 1 回 機器分析の生体機能解析への応用フォーラム, 新潟大学旭町キャンパス, 2010 年 1 月 27 日.
- 8) 興地隆史: 歯髄・根尖歯周組織疾患と免疫学, 東京医科歯科大学特別講義, 東京, 2010 年 1 月 27 日.

【受賞】

- 1) 竹中彰治: 平成 21 年度日本歯科保存学会奨励賞

歯周診断・再建学分野

【著書】

- 1) Seymour GJ, Gemmell E, Yamazaki K: T cell responses in periodontitis. In: Periodontal Medicine and Systems Biology. Eds; Henderson B, Curtis M, Seymour RA, Donos N. Wiley-Blackwell Publishing Limited, ISBN: 978-1-4051-2219-1, Oxford, UK; 2009.
- 2) 吉江弘正, 鈴木育世: 歯科検査. 腎移植のすべて (高橋公太 編) 70-71 頁, メディカルビュー社, 東京, 2009.
- 3) 奥田一博, 吉江弘正: VI 再生療法の将来展望 培養骨膜シート移植を応用した歯周組織再生法, 日常臨床における再生療法のテクニックと長期経過 (伊藤公一・内田剛也編集), 164-169 頁, 株式会社ヒョーロン・パブリッシャーズ, 東京, 2009.
- 4) 吉江弘正: VI 再生療法の将来展望 歯周再生治療の流れと将来展望, 日常臨床における再生療法のテクニックと長期経過 (伊藤公一・内田剛也編集), 170-171 頁, 株式会社ヒョーロン・パブリッシャーズ, 東京, 2009.
- 5) 奥田一博, 川瀬知之, 山宮かの子, 吉江弘正: 第 3 章 細胞の利用 2. 前駆細胞, 幹細胞 10) 培養骨膜シート移植を応用した歯周組織再生治療. 遺伝子医学 MOOK13 患者までとどいている再生誘導治療ーバイオマテリアル, 生体シグナル因子, 細胞を利用した患者のための再生医療の実際ー(田畑泰彦・編集), 225-229 頁, 株式会社メディカルドゥ, 大阪, 2009.
- 6) 小林哲夫, 若林裕之, 近藤一郎, 山内恒治, 八重島智子, 岩附慧二, 吉江弘正: ウシラクトフェリン経口投与による歯周病原細菌の抑制. 『ラクトフェリン 2009:』(第 3 回ラクトフェリンフォーラム実行委員会 編著), 15-20 頁, 日本医学館, 東京, 2009.
- 7) 若林裕之, 山内恒治, 小林哲夫, 八重島智子, 岩附慧二, 吉江弘正: ラクトフェリンの歯周病菌バイオフィルムに対する効果. 『ラクトフェリン 2009:』(第 3 回ラクトフェリンフォーラム実行委員会 編著), 75-78 頁, 日本医学館, 東京, 2009.
- 8) 多部田康一, 山崎和久: 第 1 章 歯周疾患を正しく理解するための基礎知識, 7. 歯周疾患の免疫学. 『ザ・ペリオドントロジー』(和泉雄一・沼部幸博・山本松男・木下淳博 編集), 53-59 頁, 永末書店, 京都, 2009.
- 9) 奥田一博, 吉江弘正: 第 3 章 検査, 診断と治療 1. 歯周疾患の分類と診断. 『ザ・ペリオドントロジー』(和泉雄一・沼部幸博・山本松男・木下淳博 編集), 90-94 頁, 永末書店, 京都, 2009.
- 10) 小林哲夫, 吉江弘正: コラム 歯周疾患の活動性.

『ザ・ペリオドントロジー』(和泉雄一・沼部幸博・山本松男・木下淳博 編集), 110 頁, 永末書店, 京都, 2009.

- 11) 吉江弘正, 宮崎秀夫, 葭原明弘: 第Ⅲ編 歯周病予防のための Q&A 1 章 歯周病予防のベネフィット 1-1 予防の利益性. 『歯周病予防のストラテジー』(吉江弘正・宮田隆編集), 98 頁-102 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 12) 吉江弘正: 第Ⅲ編 歯周病予防のための Q&A 1 章 歯周病予防のベネフィット 1-2 歯周病と全身. 『歯周病予防のストラテジー』(吉江弘正・宮田隆編集), 103 頁-104 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 13) 吉江弘正, 宮崎秀夫, 葭原明弘: 第Ⅲ編 歯周病予防のための Q&A 2 章 歯周病のシチュエーション 2-2 歯周病罹患の現状. 『歯周病予防のストラテジー』(吉江弘正・宮田隆編集), 115 頁-119 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 14) 吉江弘正: 第Ⅲ編 歯周病予防のための Q&A 3 章 歯周病予防のパラメーター 3-1 指標と目標値. 『歯周病予防のストラテジー』(吉江弘正・宮田隆編集), 120 頁-123 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 15) 吉江弘正: 第Ⅲ編 歯周病予防のための Q&A 3 章 歯周病予防のパラメーター 3-2 検査と研究. 『歯周病予防のストラテジー』(吉江弘正・宮田隆編集), 123 頁-124 頁, 126 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 16) 吉江弘正, 宮崎秀夫, 葭原明弘: 第Ⅲ編 歯周病予防のための Q&A 4 章 歯周病予防のアプローチ 4-1 予防法のコンセプトと種類. 『歯周病予防のストラテジー』(吉江弘正・宮田隆編集), 127 頁-131 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.

【論文】

- 1) Kobayashi T, Murasawa A, Komatsu Y, Yokoyama T, Yamamoto K, Ishida K, Abe A, Yamamoto K, Yoshie H: Serum cytokine and periodontal profiles in relation to disease activity of rheumatoid arthritis in Japanese adults. *J Periodontol*, in press.
- 2) Wakabayashi H, Kondo I, Kobayashi T, Yamauchi K, Toida T, Iwatsuki K, Yoshie H: Periodontitis, periodontopathic bacteria and lactoferrin. *Biometals*, in press.
- 3) Shimada Y, Ikezawa-Suzuki I, Tai H, Noriko S, Yoshie H: The effects of periodontal treatment on serum leptin, interleukin-6, and C-reactive protein. *J Periodontol*, in press.
- 4) Hirano E, Noriko S, Kikuchi A, Shimada Y, Sasahara J, Iwanaga R, Tanaka K, Yoshie H: Peroxisome proliferator-activated receptor-gamma polymorphism and periodontitis in pregnant Japanese women. *J Periodontol*, in press.
- 5) Maekawa T, Takahashi N, Honda T, Yonezawa D, Miyashita H, Okui T, Tabeta K, Yamazaki K: Porphyromonas gingivalis antigens and interleukin-6 stimulate the production of monocyte chemoattractant protein-1 via the upregulation of early growth response-1 transcription in human coronary artery endothelial cells. *J Vasc Res*, in press.
- 6) Takahashi N, Honda T, Domon H, Nakajima T, Tabeta K, Yamazaki K: IL-1 receptor-associated kinase-M in gingival epithelial cells attenuates the inflammatory response elicited by Porphyromonas gingivalis. *J Periodontal Res*, in press.
- 7) Nakayama H, Kawase T, Kogami H, Okuda K, Inoue H, Oda T, Hayama K, Tsuchimochi M, Wolff LF: Evaluation by bone scintigraphy of osteogenic activity of commercial bioceramics (porous b-TCP and HA particles) subcutaneously implanted in rats. *J Biomater Appl*, in press.
- 8) Kawase T, Okuda K, Kogami H, Nakayama H, Nagata M, Sato T, Wolff LF, Yoshie H: Human periosteum-derived cells combined with superporous hydroxyapatite blocks used as an osteogenic bone substitute for periodontal regenerative therapy: Animal implantation study using nude mice. *J Periodontol* 81: 420-427, 2010.
- 9) Kobayashi T, Murasawa A, Ito S, Yamamoto K, Komatsu Y, Abe A, Sumida T, Yoshie H: Cytokine gene polymorphisms associated with rheumatoid arthritis and periodontitis in Japanese adults. *J Periodontol* 80: 792-799, 2009.
- 10) Tabeta K, Shimada Y, Tai H, Ishihara Y, Noguchi T, Soga Y, Takashiba S, Suzuki G, Kobayashi T, Kobayashi T, Yamazaki K, Inoko H, Yoshie H: Assessment of chromosome 19 for genetic association in severe chronic periodontitis. *J Periodontol* 80: 663-671, 2009.
- 11) Nakajima T, Honda T, Domon H, Okui T, Kajita K, Ito H, Takahashi N, Maekawa T, Tabeta K, Yamazaki K: Periodontitis-associated up-regulation of systemic inflammatory mediator level may increase the risk of coronary heart disease. *J Periodontal Res* 45: 116-122, 2010.
- 12) Kawase T, Okuda K, Kogami H, Nakayama H, Nagata M, Yoshie H: Osteogenic activity of human periosteal sheets cultured on salmon collagen-

- coated ePTFE meshes. *J Mater Sci Mater Med* 21: 731-739, 2010.
- 13) Kobayashi T, Nagata T, Murakami S, Takashiba S, Kurihara H, Izumi Y, Numabe Y, Watanabe H, Kataoka M, Nagai A, Hayashi J, Ohya H, Okamoto Y, Inagaki Y, Tai H, Yoshie H: Genetic risk factor for periodontitis in a Japanese population. *J Dent Res* 88: 1137-1141, 2009.
 - 14) Wakabayashi H, Yamauchi K, Kobayashi T, Yaeshima T, Iwatsuki K, Yoshie H: Inhibitory effect of lactoferrin on growth and biofilm of *Porphyromonas gingivalis* and *Prevotella intermedia*. *Antimicrob Agents Chemother* 53: 3308-3316, 2009.
 - 15) Fujita H, Kobayashi T, Tai H, Nagata M, Hoshina H, Nishizawa R, Takagi R, Yoshie H: Assessment of 14 functional gene polymorphisms in Japanese patients with oral lichen planus: a pilot case-control study. *Int J Oral Maxillofac Surg* 38: 978-983, 2009.
 - 16) Seymour GJ, Ford PJ, Cullinan MP, Leishman S, West MJ, Yamazaki K: Infection or inflammation: the link between periodontal and cardiovascular diseases. *Future Cardiol* 5: 5-9, 2009.
 - 17) Fukui R, Saitoh S, Matsumoto F, Kozuka-Hata H, Oyama M, Tabeta K, Beutler B, Miyake K: Unc93B1 biases Toll-like receptor responses to nucleic acid in dendritic cells toward DNA- but against RNA-sensing. *J Exp Med* 206: 1339-1350, 2009.
 - 18) Nakajima T, Yamazaki K: Periodontal disease and risk of atherosclerotic coronary heart disease. *Odontology* 97: 84-91, 2009.
 - 19) Okuda K, Yamamiya K, Kawase T, Mizuno H, Ueda M, Yoshie H: Treatment of human infrabony periodontal defects by grafting human cultured periosteum sheets combined with platelet-rich plasma and porous hydroxyapatite granules: case series. *J Int Acad Periodontol* 11: 206-213, 2009.
 - 20) Morozumi T, Sharma A, De Nardin E: The functional effects of the -455G/A polymorphism on the IL-6-induced expression of the β -fibrinogen gene may be due to linkage disequilibrium with other functional polymorphisms. *Immunological Investigations* 38: 311-323, 2009.
 - 21) Nakasone N, Kubota T, Hoshino C, Nohno K, Itagaki M, Shimizu T, Yoshie H: Differential gene and protein expression of tissue inhibitors of metalloproteinases (TIMP)-3 and TIMP-4 in gingival tissues from drug induced gingival overgrowth. *Arch Oral Biol* 54: 634-641, 2009.
 - 22) Sasahara J, Kikuchi A, Takakuwa K, Sugita N, Abiko Y, Yoshie H, Tanaka K: Antibody responses to *Porphyromonas gingivalis* outer membrane protein in the first trimester. *Aust N Z J Obstet Gynaecol* 49: 137-41, 2009.
 - 23) 久保田健彦：ミニレビュー 歯周炎組織破壊における生体酵素動態と歯周炎感受性診断。日本歯科保存学会雑誌，第53巻1号：6-8頁，2010。
 - 24) 吉江弘正，奥田一博，川瀬知之：総説第53回総会シンポジウム「口腔外科領域における再生医療，その後の進歩」歯肉細胞シート・骨膜シートを用いた歯周再生治療。日本口腔外科学会雑誌，第55巻9号，432-439頁，2009。
 - 25) 奥田一博：クリニカル・トピックス-培養骨膜シート移植を応用した歯周組織再生法-。新歯界，第681号(1)，38-40頁，2009。
 - 26) 大森みさき，稲垣幸司，両角俊哉，横田誠，沼部幸博，佐藤 聡，上田雅俊，山田了，伊藤公一：歯周病専門医の喫煙状況と喫煙に対する意識。日本歯周病学会誌，第51巻4号，334頁，2009。
- 【商業誌】**
- 1) 奥田一博：培養骨膜シート＋多血小板血漿＋多孔性ハイドロキシアパタイト顆粒の歯周骨内欠損に及ぼす効果—臨床比較研究：1年予後。歯界展望特別号／めざせ！健・口・美—未来に向けた歯科医療—第21回日本歯科医学会総会 歯界展望特別号，290頁，医歯薬出版，東京，2009。
 - 2) 小林哲夫，近藤一郎，若林裕之，山内恒治，八重島智子，岩附慧二，吉江弘正：歯周病予防・補助的治療のためのラクトフェリン。歯界展望特別号／めざせ！健・口・美—未来に向けた歯科医療—第21回日本歯科医学会総会 歯界展望特別号，371頁，医歯薬出版，東京，2009。
 - 3) 島田靖子，田井秀明，鈴木育世，田中 彩，仲美紗代，吉田康弘，高木啓二，吉江弘正：歯肉メラニン沈着に対するアスコルビン酸含有ジェルの応用。歯界展望特別号／めざせ！健・口・美—未来に向けた歯科医療—第21回日本歯科医学会総会 歯界展望特別号，371頁，医歯薬出版，東京，2009。
 - 4) 中島貴子，本田朋之，奥井隆文，梶田桂子，土門久哲，高橋直紀，前川知樹，天沼亮子，伊藤晴江，多田康一，山崎和久：歯周疾患が脂質代謝に及ぼす影響。歯界展望特別号／めざせ！健・口・美—未来に向けた歯科医療—第21回日本歯科医学会総会 歯

- 界展望特別号, 373 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 5) 両角俊哉, 吉江弘正: chap.4 SRP Q67 SRP 後の歯血症のリスクと予防法について教えてください. DHstyle 増刊号 歯周 1st ペリオ治療の疑問をスピード解決! 114-115 頁, デンタルダイヤモンド, 東京, 2009.
 - 6) 両角俊哉, 吉江弘正: FOCUS 歯周治療により引き起こされる歯血症 その意味と対策を考える. ザ・クインテッセンス, 第 28 巻 12 号, 139-146 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2009.
 - 10) 久保田健彦 (研究代表者): 薬剤性歯肉線維化局所におけるコラゲナーゼインヒビターの役割. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 21592622, 2009.
 - 11) 多部田康一 (研究代表者): 歯周炎と動脈硬化性疾患の生物学的関連を解明する - インターフェースとなるエイジング. 文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 20592426, 2009.
 - 12) 両角俊哉 (研究代表者): 歯周炎重症化に対するフィブリノゲンと IL-6 の関連 - in vivo 解析 -. 文部科学省科学研究費補助金, 若手研究 (B), 課題番号 21792118, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 吉江弘正 (研究代表者): 核内レセプター PPAR ガンマー遺伝子多型の歯周炎・早産・肥満リスク. 日本学術振興会科学研究費補助金, 挑戦的萌芽研究, 課題番号 21659480, 2009.
- 2) 吉江弘正 (研究代表者): 近赤蛍光生体イメージングによる骨活性評価法の開発. 独立行政法人科学技術振興機構, シーズ発掘試験 A, 課題番号 05-040, 2009.
- 3) 吉江弘正 (研究代表者): 歯周炎・膠原病のリスク遺伝子多型分類に基づく RNA 発現とタンパク同定. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B), 課題番号 19390535, 2009.
- 4) 山崎和久 (研究代表者): 小胞体ストレスと歯周疾患の関連 - 病因論の新たなパラダイム構築 -. 文部科学省科学研究費補助金, 萌芽研究, 課題番号 20659325, 2009.
- 5) 山崎和久 (研究代表者): メタボリックシンドロームとしての歯周炎の病態解明 - 感染免疫特性からのアプローチ -. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B), 課題番号 19390536, 2009.
- 6) 奥田一博 (研究代表者): 新規歯周組織再生治療法開発につながる培養骨膜と基材に関する基礎的研究. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B), 課題番号 21390554, 2009.
- 7) 奥田一博 (研究代表者): 骨膜培養に至適化した生分解性基材を主体とした骨膜培養キットの開発による再生医療の推進. 科学技術振興機構 シーズ発掘試験 B (発展型), 課題番号 05-B05, 2009.
- 8) 小林哲夫 (研究代表者): 歯周炎感受性に関与する Fc レセプター遺伝子と情報発現制御メカニズムの解析. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 19592383, 2009.
- 9) 中島貴子 (研究代表者): レギュラトリー細胞が歯周組織破壊に及ぼす影響 - 敵か味方か -. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B), 課題番号 21390555, 2009.
- 13) 伊藤春江 (研究代表者): 歯周炎の病態形成における制御性 T 細胞の関与 - 遺伝子と機能の発現制御機構に迫る -. 文部科学省科学研究費補助金, 若手研究 (B), 課題番号 21792113, 2009.
- 14) 島田靖子 (研究代表者): 歯周治療とメタボリックシンドロームの関連 - アディポサイトカインの解析を通して -. 文部科学省科学研究費補助金, 若手研究 (B), 課題番号 21792115, 2009.
- 15) 小松康高 (研究代表者): 歯周炎病態, リスク診断のこれから: インターロイキン 6 受容体の可能性を探る. 文部科学省科学研究費補助金, 若手研究 (B), 課題番号 21792114, 2009.
- 16) 本田朋之 (研究代表者): 歯周病原細菌による免疫回避戦略の解明. 文部科学省科学研究費補助金, 若手研究 (B), 課題番号 21792112, 2009.
- 17) 中曾根直弘 (研究代表者): 歯肉増殖症の歯肉における MMPs/TIMPs のバランス. 文部科学省科学研究費補助金, 若手研究 (B), 課題番号 20791609, 2009.
- 18) 奥井隆文 (研究代表者): 新規 T 細胞サブセット Th17 を基盤とした歯周炎病態メカニズムの再構築. 文部科学省科学研究費補助金, 若手研究 (B), 課題番号 21792116, 2009.
- 19) 奥井桂子 (研究代表者): 歯周組織再生を制御するマイクロ RNA 発現の網羅的解析. 文部科学省科学研究費補助金, 若手研究 (B), 課題番号 21792117, 2009.
- 20) 杉田典子 (研究代表者): 科研費応募支援経費, 実地予算科目コード 550000, 2009.
- 21) 吉江弘正 (研究分担者): 再生医療・細胞医療製剤に汎用可能な新規微量高感度品質管理・安全性検証システムの開発と再財の規格化に関する研究. 厚生労働省科学研究費補助金, 課題番号 H20-一般-006, 2009.
- 22) 山崎和久 (研究分担者): レギュラトリー細胞が歯周組織破壊に及ぼす影響 - 敵か味方か -. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B), 課題番号

- 号 21390555, 2009.
- 23) 山崎和久 (研究分担者): 歯周炎と動脈硬化性疾患の生物学的関連を解明する—インターフェースとなるエイジング. 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究 (B), 課題番号 20592426, 2009 年.
 - 24) 小林哲夫 (研究分担者): 歯周炎・膠原病のリスク遺伝子多型分類に基づく RNA 発現とタンパク同定. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B), 課題番号 19390535, 2009.
 - 25) 杉田典子 (研究分担者): 核内レセプター PPAR ガンマー遺伝子多型の歯周炎・早産・肥満リスク. 日本学術振興会科学研究費補助金, 挑戦の萌芽研究, 課題番号 21659480, 2009.
 - 26) 中島貴子 (研究分担者): メタボリックシンドロームとしての歯周炎の病態解明—感染免疫特性からのアプローチ—. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B), 課題番号 19390536, 2009.
 - 27) 中島貴子 (研究分担者): 小胞体ストレスと歯周疾患の関連—病因論の新たなパラダイム構築—. 文部科学省科学研究費補助金, 萌芽研究, 課題番号 20659325, 2009.
 - 28) 多部田康一 (研究分担者): メタボリックシンドロームとしての歯周炎の病態解明—感染免疫特性からのアプローチ—. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B), 課題番号 19390536, 2009.
 - 29) 多部田康一 (研究分担者): 小胞体ストレスと歯周疾患の関連—病因論の新たなパラダイム構築—. 文部科学省科学研究費補助金, 萌芽研究, 課題番号 20659325, 2009.
 - 30) 多部田康一 (研究分担者): レギュラトリー細胞が歯周組織破壊に及ぼす影響—敵か味方か—. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B), 課題番号 21390555, 2009.
 - 31) 伊藤晴江 (研究分担者): メタボリックシンドロームとしての歯周炎の病態解明—感染免疫特性からのアプローチ—. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B), 課題番号 19390536, 2009.
 - 32) 伊藤晴江 (研究分担者): レギュラトリー細胞が歯周組織破壊に及ぼす影響—敵か味方か—. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B), 課題番号 21390555, 2009.
 - 33) 中曾根直弘 (研究分担者): 薬剤性歯肉線維化局所におけるコラゲナーゼインヒビターの役割. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C) 課題番号 21592622, 2009.
 - 34) 久保田健彦: 歯周炎病変部における APP タンパクの役割. 新潟大学プロジェクト推進経費 (若手研究者奨励研究), 2009.
 - 35) 多部田康一: *Porphyromonas gingivalis* Lipid A の脂肪酸鎖の相異による抗原活性変化の検討—抗炎症治療へ応用の可能性—. 新潟大学プロジェクト推進経費 (若手奨励研究), 2009.
 - 36) 両角俊哉: エルビウムヤグレーザーを用いた歯肉縁下スケーリングは, 歯血症発生を防げるか? 新潟大学プロジェクト推進経費 (若手奨励研究), 2009.
 - 37) 本田朋之: 歯周病原細菌の感染は冠動脈疾患のリスクとなり得るか? 新潟大学プロジェクト推進経費 (若手奨励研究), 2009.
 - 38) 中曾根直弘: 歯肉増殖症および歯周炎歯肉における nestin の発現. 新潟大学プロジェクト推進経費 (若手奨励研究), 2009.
- 【講演・シンポジウム】
- 1) Yamazaki K: The link between periodontal and cardiovascular diseases; results from human and animal studies. Research Seminar at University of New South Wales, November 18, 2009.
 - 2) Yamazaki K: The link between periodontal and cardiovascular diseases: perspective in the animal study. Research Seminar at Louisville University, March 30, 2009.
 - 3) Yamazaki K: T-cell Regulations In Periodontal Diseases. Research seminar at University of Otago. March 26, 2009.
 - 4) 吉江弘正: 歯周細胞治療. 日本歯周外科学会特別講演, サザンプラザ海邦大ホール, 沖縄県那覇市, 2009.11.22.
 - 5) 吉江弘正: 歯周病骨欠損に対する骨膜シートの臨床応用と足場開発. 京都大学再生医療フォーラム, 京都大学再生医療研究所講義室, 京都府京都市, 2009.10.26.
 - 6) 多部田康一: シンポジウム II 「歯周組織の免疫応答から考える全身への影響」歯周炎と動脈硬化性疾患—関連メカニズムの解析—. 第 52 回日本歯周病学会秋季学術大会, 宮崎県宮崎市, 2009.10.11, 日本歯周病学会会誌 第 51 巻秋季特別: 70 頁, 2009.
 - 7) 吉江弘正: 上皮シートによる歯の再生と骨膜シートによる歯周組織の再生. 日本再生歯科医学会シンポジウム, 九州歯科大学講堂, 福岡県北九州市, 2009.9.12.
 - 8) 吉江弘正: 若年者の歯周炎の診断と治療. 西日本小児口腔外科学会シンポジウム, 熊本県歯科医師会, 熊本県熊本市, 2009.7.26.
 - 9) 山崎和久: ランチョンセミナー「指尖毛細血管採血による血漿 IgG 抗体価測定を用いた歯周病細菌感染度判定法の確立—歯周病診断のための血漿 IgG

抗体価検査の将来戦略および展望」. 第52回日本歯周病学会春季学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.16, 日本歯周病学会会誌 第51巻春季特別号:100頁, 2009.

- 10) 吉江弘正: ランチョンセミナー「歯周治療で菌血症は生じるか?」第52回日本歯周病学会春季学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.15, 日本歯周病学会会誌 第51巻春季特別号:96頁, 2009.
- 11) 中島貴子: シンポジウムI「有病者・高齢者の口腔(歯周病)治療」心血管疾患患者の歯周病治療-踏まえておきたいエビデンス-. 第52回日本歯周病学会春季学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.15, 日本歯周病学会会誌 第51巻春季特別号:71頁, 2009.
- 12) 山崎和久: 歯周疾患と冠動脈心疾患の関連-因果か相関か-. 平成21年度新潟大学歯学部同窓会・総会学術講演会, 新潟県新潟市, 2009.4.18.

【学会発表】

- 1) Wakabayashi H, Kondo I, Kobayashi T, Yamauchi K, Toida T, Iwatsuki K, Yoshie H.: Lactoferrin inhibits biofilm and dental plaque of periodontopathic bacteria. 9th International Lactoferrin Conference. Beijing, China, October 18-22, 2009.
- 2) Nakagawa E, Ida-Yonemochi H, Kemmotsu S, Yoshie H, Ohshima H: Periodontal Formation Following Allogenic Tooth Germ Transplantation into Mouse Maxilla. 2nd Meeting of IADR Pan Asian Pacific Federation (PAPF), Wuhan, China, September 22-24, 2009.
- 3) Miyashita H, Honda T, Okui T, Kajita-Okui K, Maekawa T, Takahashi N, Ito H, Nakajima T, Tabeta K, Yamazaki K: Antibody levels to *Porphyromonas gingivalis* and CRP in periodontitis patients. 2nd Meeting of IADR Pan Asian Pacific Federation (PAPF), Wuhan, China, September 22-24, 2009.
- 4) Okuda K, Kawase T, Kogami H, Nakayama H, Nagata M, Yoshie H: The human cultured periosteal sheet for periodontal regeneration: a salmon collagen-coated mesh, a functionally potent scaffold, to upregulate the osteogenic potential. Research Forum Poster Session. The 95th Annual Meeting of American Academy of Periodontology. Boston, Boston, U.S.A., September 12-15, 2009.
- 5) Morozumi T, Kubota T, Abe D, Shimizu T, Yoshie H: Microbiological effect of essential oil-containing antibiotic in patients with generalized chronic periodontitis. The 95th Annual Meeting of American Academy of Periodontology. (Poster presentations), Boston, U.S.A., September 12-15, 2009.
- 6) Yamazaki K, Maekawa T, Takahashi N, Aoki Y, Miyashita H, Miyauchi S, Nakajima T, Tabeta K: Oral infection of *Porphyromonas gingivalis* induces proatherogenic change in mice. 15th International Symposium on Atherosclerosis 2009. Boston, USA, June 14, 2009.
- 7) Sugita N, Kobayashi T, Iwanaga R, Yoshie H: A $Fc\gamma R II b$ gene polymorphism associated with expression level on B lymphocytes the antibiobody response against *Porphyromonas gingivalis*. EUROPERIO6 (Poster presentations), Stockholm, Sweden, June 4-6, 2009.
- 8) Hirano E, Sugita N, Shimada Y, Hasegawa T, Iwanaga R, Yoshie H: The PPAR $\gamma 2$ Pro12Ala polymorphism associated with the risk of periodontitis in pregnant Japanese women. EUROPERIO6 (Poster presentations), Stockholm, Sweden, June 4-6, 2009.
- 9) Abe D, Kubota T, Shimizu T, Morozumi T, Nakasone N, Yoshie H: Comprehensive gene expression analysis of gingival tissues affected by localized chronic periodontitis. EUROPERIO6 (Poster presentations), Stockholm, Sweden, June 4-6, 2009.
- 10) Shimizu T, Kubota T, Abe D, Morozumi T, Nakasone N, Yoshie H: Transcriptomes in sites with drug-induced gingival-overgrowth Microarray and qRT-PCR analyses. EUROPERIO6 (Poster presentations), Stockholm, Sweden, June 4-6, 2009.
- 11) Maekawa T, Takahashi N, Aoki Y, Miyashita H, Nakajima T, Tabeta K, Yamazaki K: *Porphyromonas gingivalis* Infection Modulates Gene Expression in Mouse Tissues. 87th General session of the IADR, Miami, April 4, 2009.
- 12) Takahashi N, Honda T, Tabeta K, Yamazaki K: *Porphyromonas gingivalis* Modulates Chemokine Expression in Gingival Epithelial Cells. 87th General session of the IADR, Miami, April 2, 2009.
- 13) Nakagawa E, Itoh T, Yoshie H, Satokata I: Odontogenic potential of post-natal oral mucosal epithelium. 87th General session of the IADR, Miami, April 1-4, 2009.
- 14) 中山 均, 川瀬知之, 小神浩幸, 奥田一博, 吉江弘

- 正：In vivo NIR イメージングによる骨形成活性のモニタリング. 第9回日本再生医療学会総会, 広島県広島市, 2010.3.19, 日本再生医療学会雑誌 再生医療 第9回日本再生医療学会総会プログラム・抄録 vol.9 Suppl. (2) : O-344, 232 頁, 2010.
- 15) 奥田一博, 川瀬知之, 山中克之, 須田洋子, 金子正, 小神浩幸, 中山 均, 永田昌毅: ポリ乳酸カプロラク톤重合体フィルムのヒト骨膜シート培養・移植への応用. 第9回日本再生医療学会総会, 広島県広島市, 2010.3.18, 日本再生医療学会雑誌 再生医療 第9回日本再生医療学会総会プログラム・抄録 vol.9 Suppl. (2) :P-055, 276 頁, 2010.
- 16) 梶 昌美, 小神晴美, 渡辺真理, 井上典子, 布施一郎, 中田光, 奥田一博, 永田昌毅, 森尾友宏, 片山未来, 渡邊 健, 清水則夫: 口腔内骨膜を用いた組織培養におけるマイコプラズマ菌の検出と細胞への影響. 第9回日本再生医療学会総会, 広島県広島市, 2010.3.18, 日本再生医療学会雑誌 再生医療 第9回日本再生医療学会総会プログラム・抄録 vol.9 Suppl. (2) :P-052, 275 頁, 2010.
- 17) 大森みさき, 稲垣幸司, 両角俊哉, 沼部幸博, 横田 誠, 佐藤 聡: 歯周病専門医に対する喫煙に関する質問票調査. 第19回日本禁煙推進医師歯科医師連盟総会・学術総会, 新潟県新潟市, 2010.2.27-28
- 18) 藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 魚島勝美, 齊藤 力, 前田健康: 新潟大学医歯学総合病院歯科医師臨床研修における単独型プログラムの実際. 第28回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 広島県広島市, 2009.11.6-7, 日本歯科医学教育学会雑誌プログラム・抄録集: 35 頁, 2009.
- 19) 韓 臨麟, 興地隆史, 吉羽永子, 小林哲夫, 藤井規孝, 小野和宏, 前田健康: 早期臨床実習への窩洞形成修復実習の導入. 第28回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 広島県広島市, 2009.11.6-7, 日本歯科医学教育学会雑誌プログラム・抄録集: 27 頁, 2009.
- 20) 小林哲夫, 小松康高, 横山智子, 石田光平, 山本幸司, 吉江弘正: 関節リウマチ活動度と歯周疾患重症度との関連性. 日本歯科保存学会 2009 年度秋季学術大会 (第131回), 宮城県仙台市, 2009.10.30, 日本歯科保存学雑誌 秋季学術大会プログラム: 25 頁, 2009.
- 21) 若林裕之, 小林哲夫, 吉江弘正: ラクトフェリンによる歯周病原菌バイオフィルムの抑制. 日本歯科保存学会 2009 年度秋季学術大会 (第131回), 宮城県仙台市, 2009.10.29-30, 日本歯科保存学雑誌 秋季学術大会プログラムおよび講演抄録集: 42 頁, 2009.
- 22) 久保田健彦, 阿部大輔, 清水太郎, 両角俊哉, 中曾根直弘, 吉江弘正: 歯周炎罹患歯肉組織局所における特異的遺伝子発現の解析. 日本歯科保存学会 2009 年度秋季学術大会 (第131回), 宮城県仙台市, 2009.10.29-30, 日本歯科保存学雑誌 秋季学術大会プログラムおよび講演抄録集: 52 頁, 2009.
- 23) 前川知樹, 高橋直紀, 本田朋之, 宮下博考, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 抗原および IL-6 刺激は血管内皮細胞において転写因子 Egr-1 を介して MCP-1 の産生を増強する. 日本歯科保存学会 2009 年度秋季学術大会 (第131回), 宮城県仙台市, 2009.10.29-30, 日本歯科保存学雑誌 秋季学術大会プログラムおよび講演抄録集: 66 頁, 2009.
- 24) 横山智子, 小林哲夫, 山本幸司, 吉江弘正: 歯周炎感受性に関わる好中球 Fc γ RIIb 遺伝子多型のプロテオーム解析. 第52回秋季日本歯周病学会学術大会, 宮崎県宮崎市, 2009.10.11, 日本歯周病学会会誌 第51巻春季特別号: 90 頁, 2009.
- 25) 岩永璃子, 平野絵美, 杉田典子, 中川英蔵, 菊池朗, 笹原 淳, 田中憲一, 吉江弘正: 歯周病原細菌に対する免疫調節に影響する遺伝子多型と妊娠予後の関連性. 第52回秋季日本歯周病学会学術大会, 宮崎県宮崎市, 2009.10.11, 日本歯周病学会会誌 第51巻春季特別号: 90 頁, 2009.
- 26) 宮下博考, 米澤大輔, 本田朋之, 奥井隆文, 奥井一梶田桂子, 前川知樹, 高橋直紀, 伊藤晴江, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: 歯周炎患者における *Porphyromonas gingivalis* に対する抗体価と高感度 CRP の関連性. 第52回日本歯周病学会秋季学術大会, 宮崎県宮崎市, 2009.10.11, 日本歯周病学会会誌 第51巻秋季特別号: 99 頁, 2009.
- 27) 永田昌毅, 川瀬知之, 奥田一博, 中田 光, 吉江弘正, 高木律男: 歯科インプラント適応を目的とした培養自家骨膜併用による歯槽骨再生. 第52回日本歯周病学会 秋季学術大会, 宮崎県宮崎市, 2009.10.11, 日本歯周病学会会誌 第51巻秋季特別号: 105 頁, 2009.
- 28) 中島貴子: 専門医ポスター 垂直性骨欠損への対応. 第52回日本歯周病学会秋季学術大会, 宮崎県宮崎市, 2009.10.11, 日本歯周病学会会誌 第51巻秋季特別号: 113 頁, 2009.
- 29) 村田雅史, 吉江弘正, 奥田一博: 専門医ポスター 慢性歯周炎症例メンテナンス期10年の経過. 第52回日本歯周病学会秋季学術大会, 宮崎県宮崎市, 2009.10.11, 日本歯周病学会会誌 第51巻秋季特別号: 114 頁, 2009.
- 30) 中川英蔵, 依田浩子, 監物新一, 吉江弘正, 大島勇人: マウス顎骨への歯胚他家移植後の歯周組織形成過程

- について. 第 51 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟市, 2009.10.9-11, Journal of Oral Biosciences 第 51 巻: 91 頁, 2009.
- 31) 平野絵美, 杉田典子, 島田靖子, 岩永璃子, 菊池 朗, 笹原 淳, 田中憲一, 吉江弘正: 妊婦における歯周病原細菌に対する血清抗体価の検索. 第 2 回日本口腔検査学会学術大会, 広島県広島市, 2009.10.4, 総会・学術大会プログラム・抄録集: 32 頁, 2009.
- 32) 本田朋之, 宮下博考, 米澤大輔, 奥井隆文, 奥井一梶田桂子, 前川知樹, 高橋直紀, 伊藤晴江, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: 歯周炎患者における *Porphyromonas gingivalis* に対する抗体価と高感度 CRP の関連性. 第 2 回日本口腔検査学会学術大会, 広島県広島市, 2009.10.4, 総会・学術大会プログラム・抄録集: 33 頁, 2009.
- 33) 高橋直紀, 前川知樹, 青木由香莉, 宮下博考, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染が冠動脈疾患リスクに及ぼす影響 歯周炎モデルマウスにおける病態解析. 先端歯学スクール 2009, 兵庫, 2009.8.27.
- 34) 阿部大輔, 久保田健彦, 清水太郎, 両角俊哉, 中曾根直弘, 吉江弘正: 限局型慢性歯周炎罹患部位歯肉における網羅的遺伝子発現解析. 平成 21 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟県新潟市, 2009.7.18, プログラム抄録集: 15 頁, 2009.
- 35) 清水太郎, 久保田健彦, 中曾根直弘, 阿部大輔, 両角俊哉, 吉江弘正: 薬剤性歯肉増殖症の特異的遺伝子発現の網羅的解析と関連遺伝子発現レベルの検索. 平成 21 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟県新潟市, 2009.7.18, プログラム抄録集: 15 頁, 2009.
- 36) 平野絵美, 杉田典子, 島田靖子, 岩永璃子, 吉江弘正: 日本人妊婦における PPAR γ Pro12Ala 多型と歯周炎の関係. 平成 21 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟県新潟市, 2009.7.18, プログラム抄録集: 16 頁, 2009.
- 37) 村田雅史, 吉江弘正, 奥田一博: 歯周再生治療とインプラントによる咬合回復を行った慢性歯周炎の 1 例. 第 27 回日本顎咬合学会学術大会, 東京都千代田区, 2009.6.20-21, 日本顎咬合学会誌 第 29 巻 3 号: 151 頁, 2009.
- 38) 島田靖子, 小松康高, 鈴木育世, 田井秀明, 杉田典子, 吉江弘正: 歯周基本治療前後における血清中レプチンの変動について. 日本歯科保存学会 2009 年度春季学術大会 (第 130 回), 北海道札幌市, 2009.6.11-12, プログラムおよび講演抄録集: 229 頁, 2009.
- 39) 中川英蔵, 伊東達雄, 吉江弘正, 里方一郎: マウス培養口蓋粘膜上皮細胞を用いた歯胚再生. 日本歯科保存学会 2009 年度春季学術大会 (第 130 回), 北海道札幌市, 2009.6.11-12, プログラムおよび講演抄録集: 47 頁, 2009.
- 40) 川瀬知之, 中山 均, 小神浩幸, 奥田一博, 吉江弘正: ハイドロキシアパタイト多孔体を足場にした培養骨による異所性骨形成—非侵襲的近赤外蛍光イメージング評価法の可能性—. 第 52 回日本歯周病学会春季学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.16, 日本歯周病学会誌 第 51 巻春季特別号: 109 頁, 2009.
- 41) 米澤大輔, 宮下博考, 前川知樹, 高橋直紀, 青木由香莉, 奥井隆文, 中島貴子, 田辺直仁, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染が冠動脈疾患リスクに及ぼす影響 1. 基本健康診査受診者における解析. 第 52 回日本歯周病学会春季学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.15, 日本歯周病学会誌 第 51 巻春季特別号: 127 頁, 2009.
- 42) 高橋直紀, 前川知樹, 青木由香莉, 宮下博考, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染が冠動脈疾患リスクに及ぼす影響 2. 歯周炎モデルマウスの病態解析. 第 52 回日本歯周病学会春季学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.15, 日本歯周病学会誌 第 51 巻春季特別号: 104 頁, 2009.
- 43) 前川知樹, 高橋直紀, 青木由香莉, 宮下博考, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染が冠動脈疾患リスクに及ぼす影響 3. 感染によるマウス組織・臓器への影響. 第 52 回日本歯周病学会春季学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.15, 日本歯周病学会誌 第 51 巻春季特別号: 105 頁, 2009.
- 44) 阿部大輔, 久保田健彦, 清水太郎, 両角俊哉, 中曾根直弘, 吉江弘正: 限局型慢性歯周炎罹患部位歯肉における網羅的遺伝子発現解析. 第 52 回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.15, 日本歯周病学会誌 第 51 巻春季特別号: 108 頁, 2009.
- 45) 清水太郎, 久保田健彦, 阿部大輔, 両角俊哉, 中曾根直弘, 吉江弘正: 薬剤性歯肉増殖症の感受性と特異的遺伝子発現の網羅的解析. 第 52 回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.15, 日本歯周病学会誌 第 51 巻春季特別号: 108 頁, 2009.
- 46) 杉田典子, 小林哲夫, 島田靖子, 平野絵美, 吉江弘正: 早産リスク因子としての歯周炎と免疫関連遺伝子多型の影響. 第 52 回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.15, 日本歯周病学会誌 第 51 巻春季特別号: 129 頁, 2009.
- 47) 稲垣幸司, 大森みさき, 両角俊哉, 沼部幸博, 横田 誠, 佐藤 聡, 上田雅俊, 谷口威夫, 野口俊英: 歯周病

- 専門医の喫煙状況と社会的ニコチン依存度. 第52回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.15-16, 日本歯周病学会会誌 第51巻春季特別号: 112頁, 2009.
- 48) 両角俊哉, 阿部大輔, 清水太郎, 久保田健彦, 吉江弘正: SRP後の菌血症における, エッセンシャルオイル含有殺菌洗口液を用いたイリゲーションおよびアジスロマイシン投与による予防効果の検討. 第52回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.15-16, 日本歯周病学会会誌 第51巻春季特別号: 116頁, 2009.
- 49) 大森みさき, 稲垣幸司, 両角俊哉, 三辺正人, 横田 誠, 沼部幸博, 佐藤 聡: 歯周病専門医に対する糖尿病に関する質問票調査. 第52回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.15-16, 日本歯周病学会会誌 第51巻春季特別号: 128頁, 2009.
- 50) 小林哲夫, 山本幸司, 小松康高, 吉江弘正: 関節リウマチおよび歯周炎感受性に関わるサイトカイン遺伝子多型. 第52回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.15, 日本歯周病学会会誌 第51巻春季特別号: 129頁, 2009.
- 51) 高橋直紀, 本田朋之, 奥井隆文, 土門久哲, 吉江弘正, 多部田康一, 山崎和久: ヒト歯肉上皮細胞のケモカイン産生における IRAK-M の関与. 平成21年度新潟歯学会総会, 新潟県新潟市, 2009.4.18, プログラム抄録集: 9頁, 2009.
- 52) 前川知樹, 高橋直紀, 本田朋之, 宮下博孝, 米澤大輔, 奥井隆文, 多部田康一, 山崎和久: 歯周炎の病態は冠動脈血管内皮細胞の Early growth response-1 発現を上昇・誘導し炎症反応を促進させる. 平成21年度新潟歯学会総会, 新潟県新潟市, 2009.4.18, プログラム抄録集: 9頁, 2009.
- 53) 米澤大輔, 宮下博孝, 前川知樹, 高橋直紀, 青木由香莉, 奥井隆文, 中島貴子, 田辺直仁, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染が冠動脈疾患リスクに及ぼす影響. 平成21年度新潟歯学会総会, 新潟県新潟市, 2009.4.18, プログラム抄録集: 11頁, 2009.
- 54) 平山実里, 藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 魚島勝美: 骨線下齶蝕に対して外科的挺出(再植)を適用した症例の臨床的考察. 平成21年度新潟歯学会総会, 新潟県新潟市, 2009.4.18, プログラム抄録集: 13頁, 2009.
- 2) 両角俊哉: 歯科における禁煙支援の現在・未来. 第19回日本禁煙医師歯科医師連盟総会・学術総会 特別講演1, 新潟県新潟市, 2010.2.27.
- 3) 吉江弘正: 歯周病と糖尿病・歯周再生治療. 独協大学口腔外科学教室連携医療の会学術講演会, 栃木県宇都宮市, 2010.2.18.
- 4) 山崎和久: 歯周病と全身の健康. 平成21年度新潟大学歯学部同窓会福島県支部学術講演会, 福島, 2010.2.13.
- 5) 多部田康一, 山崎和久: マウス *P. gingivalis* 口腔感染モデルにおける動脈硬化性変化の解析. 第2回「口腔環境制御研究」カテゴリー集會. 長崎県長崎市, 2010.02.10.
- 6) 吉江弘正: 歯周病とからだの話. 群馬県藤岡多野歯科医師会学術講演会, 群馬県藤岡市, 2010.1.30.
- 7) 山崎和久: 歯周病と動脈硬化性疾患の関連性. 東京保険医協会医科歯科連携講演会, 2009.12.13.
- 8) 山崎和久: 「新潟大学創立60周年記念事業 新潟大学歯学部同窓会セミナーⅡ」ビスホスホネート関連顎骨壊死 - BP 製剤使用患者への安全な歯科処置を行うために -. 新潟県新潟市, 2009.11.29.
- 9) 吉江弘正: 歯周病リスク診断と糖尿病. 新潟県北蒲原郡歯科医師会学術講演会, 新潟県新潟市, 2009.11.28.
- 10) 吉江弘正: 歯周再生治療の基礎と臨床. 愛知学院大学歯学部卒後研修コース講演, 愛知県名古屋市, 2009.11.8.
- 11) 山崎和久: 歯周病と全身の影響. 平成21年度ぬながわ研修会学術講演会, 2009.10.22.
- 12) 吉江弘正: ヒト培養骨膜における培養期間の短縮化. H20年度厚労科研 森尾友宏報告会, 東京都, 2009.9.5.
- 13) 両角俊哉: タバコの正体に迫る! ~喫煙が生体に及ぼす影響~. 新潟大学医歯学総合病院 診療支援部 歯科衛生部門 研修会, 新潟大学歯学部, 新潟県新潟市, 2009.7.17.
- 14) 山崎和久: 歯周疾患の全身に及ぼす影響. 第26回新潟大学歯学部口腔外科・歯科麻酔科同門会総会, 新潟県新潟市, 2009.7.4.
- 15) 吉江弘正: 歯周病と予防戦略. 味の素ライフサイエンス研究所講演会, 味の素ライフサイエンス研究所, 神奈川県川崎市, 2009.7.3.
- 16) 吉江弘正: 口腔機能を評価するための基礎知識. 新潟大学公開講座, 新潟大学歯学部, 新潟県新潟市, 2009.6.23.

【その他】

- 1) 小林哲夫, 藤井規孝, 中島貴子, 石崎裕子: 平成21年度歯科医師臨床研修症例報告集第10号, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟県新潟市, 2010.3.26.

組織再建口腔外科学分野

【著書】

- 1) 芳澤享子, 泉 健次, 飯田明彦, 齊藤 力, 高木律男: 口腔前庭拡張術, 歯槽堤形成術への培養複合口腔粘膜の応用. 口腔外科ハンドマニュアル'09, 110-117 頁, クインテッセンス, 東京, 2009.
- 2) 齊藤 力, 小林正治: 骨折と筋. 口腔解剖学(脇田稔, 山下靖雄 監修), 150-154 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.

【論文】

- 1) Li M, Seki Y, Freitas PHL, Nagata M, Kojima T, Sultana S, Ubaidus S, Maeda T, Shimomura J, Henderson JE, Tamura M, Oda K, Takagi R, Amizuka N: FGFR3 down-regulates PTH/PTHrP receptor gene expression by mediating JAK/STAT signaling in chondrocytic cell line. J Electron Micro 59: 227-236, 2010.
- 2) Hirano C, Nagata M, Noman AA, Kitamura N, Ohnishi M, Ohyama T, Kobayashi T, Suzuki K, Yoshizawa M, Izumi N, Fujita H, Takagi R: Tetraspanin gene expression levels as potential biomarkers for malignancy of gingival squamous cell carcinoma. Int J Cancer 124 (12) : 2911-2916, 2009.
- 3) 加藤祐介, 小林正治, 長谷部大地, 加納浩之, 齊藤 力: 顔面非対称の主観的評価と注視点解析による検討ーアイトラッキング法による分析ー. 日本顎変形症学会雑誌. 19 (4) : 184-192, 2009.
- 4) 小原彰浩, 寺田員人, 松原大樹, 越知佳奈子, 齊藤 力, 齋藤 功: 顔面軟組織形状と歯列石膏模型の三次元データ統合精度の検討. 日本顎変形症学会雑誌. 19 (4) : 193-198, 2009.
- 5) 外丸雅晴, 林 孝文, 新垣 晋, 齊藤 力: 携帯型超音波診断装置による口腔癌頸部リンパ節転移の診断精度. 日本口腔外科学会雑誌. 55 (8) : 408-414, 2009.
- 6) 泉 直也, 小林正治, 高田佳之, 小田陽平, 新美奏恵, 齊藤 力: 顎裂骨移植後に発生した頬皮嚢胞の1例. 日本口腔外科学会雑誌. 55 (11) : 567-570, 2009.
- 7) 安島久雄, 芳澤享子, 小野和宏, 泉 直也, 新美奏恵, 小山貴寛, 菅井登志子, 興地隆史, 齊藤 力, 高木律男: 残留嚢胞摘出と同時に歯の即時移植を行った1例. 新潟歯学会雑誌. 39 (2) : 53-58, 2009.
- 8) 小田陽平, 金丸祥平, 船山昭典, 新美奏恵, 新垣晋,

齊藤 力: 最近14年間に外科療法を行った舌がん79例の治療成績に関する臨床的検討. 新潟歯学会雑誌 39 (2) : 165-170, 2009.

- 9) 小田陽平, 小林正治, 永井正紀, 泉 直也, 芳澤享子, 朝日藤寿一, 齋藤 功, 齊藤 力: 口蓋裂がある患者に対する上下顎移動術後の顎骨安定性について. 日本口蓋裂学会雑誌. 34 (3) : 253-260, 2009.
- 10) 小田陽平, 芳澤享子, 小林正治, 泉 直也, 齊藤 力: 両側性口唇口蓋裂を伴った先天性絞扼輪症候群の1例. 日本口蓋裂学会雑誌. 34 (3) : 313-319, 2009.
- 11) 小田陽平, 小林正治, 芳澤享子, 朝日藤寿一, 齋藤 功, 齊藤 力: Low-profile チタン製骨接合材の下顎枝矢状分割法における有用性. 甲北信越矯歯会誌. 17 (1) : 46-51, 2009.
- 12) 長谷川勝紀, 芳澤享子, 新美奏恵, 小野由起子, 鈴木一郎, 齊藤 力: 歯根完成歯の即時自家移植に関する臨床的検討. 日本口腔科学会雑誌. 58 (4) : 135-146, 2009.
- 13) 金丸祥平, 新美奏恵, 小田陽平, 小林正治, 西山秀昌, 新垣 晋, 齊藤 力: 顎下部に発生した乳幼児線維腫症の1例. 日本口腔腫瘍学会誌. 21 (4) : 273-278, 2009.
- 14) 星名由紀子, 林 孝文, 新垣 晋, 齊藤 力: 舌癌症例における口底部の介在リンパ節転移の画像診断学的検討. 日本口腔腫瘍学会誌. 22 (1) : 25-36, 2010.
- 15) Sobhan Ubaidus, 李 敏啓, Sara Sultana, 鈴木礼子, 柳 鏗晟, Paulo Freitas, 小島 拓, 下村-黒木淳子, 織田公光, 網塚憲生, 小澤英浩: 骨細胞・骨細管系における FGF23 と DMP-1 の免疫局在. THE BONE 23: 361-366, 2009.
- 16) 齊藤 力, 芳澤享子, 菅井登志子, 新美奏恵, 小林正治: 歯根完成歯の自家移植. 新潟歯学会雑誌 39(1): 1-14, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 泉 直也: 歯の移植の適応症拡大のため, 凍結保存歯の歯根膜を有効に再生させる. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 19592287, 2009.
- 2) 泉 直也: 凍結保存歯の生着率を向上させる. 新潟大学プロジェクト推進経費 (奨励研究), 2009.
- 3) 芳澤享子, 小野由起子: 培養粘膜による口腔粘膜再生機構を解明する. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 20562369, 2009.
- 4) 芳澤享子: 新潟大学研究プロジェクト経費 (奨励研究) 522000, 2009.
- 5) 芳澤享子: 平成21年度新潟大学若手教員論文等支援プログラム (投稿費支援) 500420, 2009.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 齊藤 力：顎変形症治療の課題. 大阪歯科大学口腔外科同門会公演, 大阪, 2009. 5. 9.
- 2) 小林正治：シンポジウム・顎変形症の診断統一 新潟大学における顎変形症の診断と治療方針の立案. 第 63 回日本口腔科学会学術集会, 浜松, 2009. 4.16.
- 3) 小林正治：シンポジウム・日本顎変形症学会のこれからを考える 顎変形症診療ガイドラインについて. 第 19 回日本顎変形症学会総会, 仙台, 2009.6.5.
- 4) 小林正治：シンポジウム・顎変形症治療ゴールのコンセンサスを求めて外科的矯正治療のゴール設定にあたって配慮していること. 第 19 回日本顎変形症学会総会, 仙台, 2009.6.5.

【学会発表】

- 1) Tadaharu KOBAYASHI, Mir Nowazesh ALI, Mikako TANAKA, Rezwana Binte ANWAR, Hayato OHSHIMA, Chikara SAITO, Sadakazu EJIRI : Effects of Intermittent Parathyroid Hormone Treatment on New Bone Formation during Distraction Osteogenesis in Rat Mandible. 5th International Symposium on Orthognathic Surgery and Distraction Osteogenesis, Stuttgart, 2009.10.14-17.
- 2) 小島 拓, 網塚憲生, 芳澤享子, 齊藤 力： β -TCP 補填材を用いた骨再生におけるカップリング現象の組織化学的解明. 第 63 回日本口腔科学会学術集会, 浜松, 2009. 4.16-17.
- 3) 長谷川真弓, 程 璿, 丸山 智, 小林孝憲, 又賀 泉, 田中 彰, 岡田康男, 田上 正, 小松繁樹, 泉 直也, 齊藤 力, 高木律男, 田中 礼, 林 孝文, 朔 敬：ビスフォスフォネート製剤による顎骨壊死の病理組織学的検討. 第 63 回日本口腔科学会学術集会, 浜松, 2009. 4.16-17.
- 4) 新美奏恵, 芳澤享子, 菅井登志子, 小林正治, 齊藤 力, 高木律男, 小野和宏, 興地隆史：歯根完成歯自家移植の歯根吸収に関する臨床的検討. 第 63 回日本口腔科学会学術集会, 浜松, 2009. 4.16-17.
- 5) 菅井登志子, 芳澤享子, 小林正治, 齊藤 力, 高木律男, 小野和宏, 興地隆史：歯根完成歯自家移植の予後因子に関する検討 (第 2 報). 第 63 回日本口腔科学会学術集会, 浜松, 2009. 4.16-17.
- 6) 加藤寛子, 小田陽平, 芳澤享子, 小林正治, 鈴木一郎, 新垣 晋, 齊藤 力：新潟大学医歯学総合病院口腔再建外科診療室における 2008 年の外来受診患者・入院患者に関する検討. 平成 21 年度新潟歯学会総会, 新潟, 2009. 4.18.
- 7) 長谷川真弓, 丸山 智, 程 璿, 齊藤 力, 朔 敬：

- 口腔粘膜二層性異型上皮における細胞増殖因子の発現. 第 98 回日本病理学会総会, 京都, 2009. 5. 1-3.
- 8) 小林正治, 小田陽平, 泉 直也, 芳澤享子, 朝日藤寿一, 齋藤 功, 齊藤 力：唇顎口蓋裂患者に対する上下顎移動術後の顎骨安定性について. 第 33 回日本口蓋裂学会総会, 東京, 2009. 5.28-29.
 - 9) Mir Nowazesh Ali, Tadaharu Kobayashi, Mikako Tanaka, Rezwana Binte Anwar, Chikara Saito, Sadakazu Ejiri : Intermittent administration parathyroid hormone increases new bone formation during rat mandibular distraction osteogenesis. 第 29 回日本骨形態計測学会, 大阪, 2009. 5.28-30.
 - 10) 加藤寛子, 小林正治, 長谷部大地, 加藤健介, 泉 直也, 芳澤享子, 篠倉 均, 齊藤 力：骨格性下顎前突と咬筋肥大を呈した下垂体性小人症の一例. 第 19 回日本顎変形症学会総会, 仙台, 2009. 6. 4-5.
 - 11) 本間克彦, 長谷部大地, 小島 拓, 荻原 聡：上顎無歯顎・下顎両側遊離端欠損を伴った下顎前突症の 1 例. 第 19 回日本顎変形症学会総会, 仙台, 2009. 6. 4-5.
 - 12) 加藤祐介, 小林正治, 長谷部大地, 加納浩之, 齊藤 力：顔面非対称の認知メカニズムに関する研究－アイトラッキング法による分析－. 第 19 回日本顎変形症学会総会, 仙台, 2009. 6. 4-5.
 - 13) 永井正紀, 小林正治, 長谷部大地, 加納浩之, 五島秀樹, 齋藤 功, 齊藤 力：下顎前突症患者に対する上下顎移動術後の顎骨安定性について－骨接合にチタンミニプレートを使用した群と PLLA 吸収性プレートを用いた群の比較－. 第 19 回日本顎変形症学会総会, 仙台, 2009. 6. 4-5.
 - 14) 金丸祥平, 新垣 晋, 小林正治, 齊藤 力：術後 13 年を経て血管柄付前腕皮弁に発生した舌癌の 1 例. 第 33 回日本頭頸部癌学会, 札幌, 2009. 6.10-12.
 - 15) 小田陽平, 船山昭典, 中西義崇, 加藤健介, 新垣 晋, 齊藤 力：下顎智歯周囲炎と思われたエナメル上皮腫－智歯抜去 3 年後に明らかとなった 1 例－. 第 35 回日本口腔外科学会北日本地方会, 旭川, 2009. 6.26.
 - 16) 長谷部大地, 小林正治, 加藤健介, 荒井良明, 齊藤 力：重度上顎顎堤萎縮に対して顎堤形成術後にインプラント治療を施行した 1 例. 日本形成外科学会関東支部第 80 回新潟地方会, 新潟, 2009. 7.13.
 - 17) 加藤祐介, 加納浩之, 佐藤直幸, 小林正治：ゆきぐに大和病院歯科口腔外科における最近 4 年間の入院患者の臨床的検討. 平成 21 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2009. 7.18.
 - 18) 新垣 晋, 金丸祥平, 菅井登志子, 船山昭典, 新美

- 奏恵, 小田陽平, 芳澤享子, 齋藤 力, 星名秀行, 永田昌樹, 藤田 一, 高木律男, 林 孝文: 舌扁平上皮癌の頸部転移様相と予後因子の検討. 第 69 回新潟癌治療研究会, 新潟, 2009.7.25.
- 19) 高田佳之, 小林正治, 小野由起子, 泉 直也, 西山秀昌, 齋藤 力: Peptostreptococcus micros が起炎菌と思われる急性化膿性顎関節炎の 1 例. 第 22 回日本顎関節学会総会学術大会・第 14 回日本口腔顔面痛学会総会学術大会合同大会, 東京, 2009.7.25-26.
- 20) 小島 拓, 網塚憲生, 鈴木晶子, 芳澤享子, 齋藤 力: 熱可塑性吸収プレートと β -TCP 補填材併用による骨増生法の開発—ラット頭蓋骨を用いた実験モデルにおける組織化学的検討—. 第 7 回日本再生歯科医学会学術大会・総会, 北九州, 2009.9.11-12.
- 21) 小野由起子, 小林正治, 芳澤享子, 齋藤 力, 齋藤美紀子, 林 孝文, 丸山 智, 朔 敬: 小児にみられた focal osteoporotic bone marrow defect の 1 例. 第 54 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌, 2009.10.9-11.
- 22) 新美奏恵, 芳澤享子, 菅井登志子, 小林正治, 齋藤 力, 高木律男, 小野和宏, 興地隆史: 歯根完成歯移植後に出現した歯根頸部吸収に関する臨床的検討. 第 54 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌, 2009.10.9-11.
- 23) 船山昭典, 菅井登志子, 小田陽平, 金丸祥平, 新美奏恵, 芳澤享子, 新垣 晋, 齋藤 力: 当科における下顎歯肉がんの臨床統計的観察. 第 54 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌, 2009.10.9-11.
- 24) 芳澤享子, 菅井登志子, 新美奏恵, 小林正治, 齋藤 力, 小野和宏, 高木律男, 興地隆史: 歯根完成歯自家移植における経過不良症例に関する検討. 第 54 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌, 2009.10.9-11.
- 25) 加藤健介, 新垣 晋, 小林正治, 高田佳之, 齋藤 力: 診断に苦慮したサルコイドーシスの 1 例. 第 54 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌, 2009.10.9-11.
- 26) 小山貴寛, 芳澤享子, 泉 直也, 小野由起子, 新美奏恵, 小島 拓, 齋藤 力, 高木律男: 多血小板血漿 (PRP) を併用した歯の自家移植—移植歯歯周組織の評価—. 第 54 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌, 2009.10.9-11.
- 27) 長谷部大地, 小林正治, 泉 直也, 高田佳之, 齋藤 力: 下顎骨後方移動術が気道形態と睡眠時の呼吸状態に及ぼす影響について. 第 6 回アジア睡眠学会・日本睡眠学会第 34 回定期学術集会・第 16 回日本時間生物学会学術大会合同大会, 大阪, 2009.10.24-27.
- 28) 高田佳之, 小林正治, 泉 直也, 船山昭典, 長谷部大地, 高辻紘之, 齋藤 力: 睡眠時無呼吸症候群患者に対する口腔内装置の長期使用はどのような影響を及ぼすか—セファロメトリーによる検討—. 第 6 回アジア睡眠学会・日本睡眠学会第 34 回定期学術集会・第 16 回日本時間生物学会学術大会合同大会, 大阪, 2009.10.24-27.
- 29) Kanae Niimi, Michiko Yoshizawa, Takahiro Koyama, Naoya Izumi, Daichi Hasebe, Yukiko Ono, Chikara Saito: Regeneration of Periodontal Tissue in Tooth Autotransplantation with Application of Autologous Platelet-Rich Plasma (PRP). 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, 広島, 2009.11.7-8.
- 30) 坂上 直子: Osteoclastic presence is essential for osteoblastic activity: a histological study in osteopetrotic(op/op) mice and c-src deficient(c-src-/-) mice. 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, 広島, 2009.11.7-8.
- 31) Kojima T, Amizuka N, Suzuki A, Yoshizawa M, Saito C: Bone augmentation with β -tricalcium phosphate and a thermoplastic bioresorbable plate: a histological study in rat. 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, 広島, 2009.11.7-8.
- 32) 小林正治, 小田陽平, 泉 直也, 長谷部大地, 小島 拓, 齋藤 力: Multi-piece Le Fort I 型骨切り術の適応について. 日本形成外科学会関東支部第 81 回新潟地方会, 新潟, 2009.11.9.
- 33) 加藤寛子: 放射線性下顎骨骨髓炎の 1 例. 第 56 回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟, 2009.11.12.
- 34) 芳澤享子, 泉 直也, 小野由起子, 新美奏恵, 小山貴寛, 菅井登志子, 小島 拓, 加藤寛子, 齋藤 力: 多血小板血漿 (PRP) の歯の移植への応用, 第 1 回 PRP (多血小板血漿) 療法研究会, 大阪, 2009.11.15. 第 1 回 P R P (多血小板血漿) 療法研究会プログラム・抄録集 16 ページ, 2009.
- 35) 佐々井敬祐, 新垣 晋: 37 年間無症状に経過した頬部ガラス片迷入の 1 例. 平成 21 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2009.11.21.
- 36) 竹内玄太郎, 新美奏恵, 芳澤享子, 小島 拓, 齋藤 力: 根管充填剤が原因と思われた菌性上顎洞炎の 1 例. 平成 21 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2009.11.21.
- 37) 高井貞浩, 田中 礼, 池真樹子, 西山秀昌, 林 孝文, 小林正治, 齋藤 力: 顎変形症患者における咽頭気道形態の 3 次元 CT 評価. 平成 21 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2009.11.21.

- 38) 小林正治, 荒井良明, 高田佳之, 泉 直也, 芳澤享子, 魚島勝美, 齊藤 力: 顎顔面変治骨折の咬合再建に顎矯正手術とインプラント治療を併用した一例. 第13回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 佐賀, 2009.12.12-13.
- 39) 小島 拓, 網塚憲生, 鈴木晶子, 芳澤享子, 齊藤 力, 前田健康: 吸収性プレートによる顎骨の再生. 第26回歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い, 東京, 2010. 1. 9.
- 40) 新美奏恵, 芳澤享子, 小山貴寛, 泉 直也, 小野由起子, 齊藤 力: 歯根完成歯自家移植における多血小板血漿 (PRP) の応用. 日本形成外科学会関東支部第82回新潟地方会, 新潟, 2010. 2. 8.

【その他】

- 1) 芳澤享子: 歯の移植の臨床. H21年度研修医セミナー, 新潟, 2009.10.14.
- 2) 小林正治: 小林メディカル Clinical Report 吸収性ミニプレート (ネオフィックス) BOX型を用いたLe Fort I型骨切り術, 2009.

顎顔面口腔外科学分野

【論文】

- 1) Fujita H., Kobayashi T., Tai H., Nagata M., Hoshina H., Nishizawa R., Takagi R., Yoshie H.: Assessment of 14 functional gene polymorphisms in Japanese patients with oral lichen planus: a pilot case-control study. *Int J Oral Maxillofac Surg* 38: 978-983, 2009.
- 2) Kodama Y., Seo K., Tanaka R., Arashiyama T., Ajima H., Takagi R.: Placement of mandibular nerve block using computed tomography to locate the foramen ovale in a patient with severe dislocation after segmental mandiblectomy. *Br J Oral Maxillofac Surg* 47: 407-408, 2009.
- 3) Kodama N., Nagata M., Tabata Y., Ozeki M., Ninomiya T., Takagi R.: A local bone anabolic effect of rhFGF2-impregnated gelatin hydrogel by promoting cell proliferation and coordinating osteoblastic differentiation. *BONE* 44: 699-707, 2009.
- 4) Hirano C., Nagata M., Noman A., Kitamura N., Ohnishi M., Ohyama T., Suzuki K., Yoshizawa K., Izumi N., Fujita H., Takagi R.: Tetraspanin gene expression levels as potential biomarkers for malignancy of gingival squamous cell carcinoma. *Int J Cancer* 124: 2911-2916, 2009.
- 5) Kudo N., Ogose A., Ariizumi T., Kawashima H., Hotta T., Hatano H., Morita T., Nagata M., Seki Y., Kawai A., Hotta Y., Hoshino M., Endo N.: Expression of bone morphogenetic proteins in giant cell tumor of bone. *Anticancer Res* 29, 2219-2225, 2009.
- 6) Abe M., Maruyama S., Yamazaki M., Kobayashi T., Kamal AE., Ahsan MS., Tsuneki M., Saku T., Jun C.: The absence of significant mutational events of the p53 gene in the only two salivary gland tumors possessing radiation-related development risks, Mucoepidermoid carcinoma and Warthin tumor. *Oral Medicine & Pathology* 13:151-158, 2009.
- 7) Paulo H.L.F., Li M., Ninomiya T., Nakamura M., Ubaidus S., Oda K., Udagawa N., Maeda T., Takagi R., Amizuka N.: Intermittent PTH administration stimulates pre-osteoblastic proliferation without leading to enhanced bone formation in osteoclast-less *c-fos*^{-/-} mice. *Journal of Bone and Mineral Res* 24 (9): 1586-1597, 2009.
- 8) Ubaidus S., Li M., Sultana S., Paulo H.L.F., Oda K., Maeda T., Takagi R., Amizuka N.: FGF23 is mainly synthesized by osteocytes in the regularly distributed osteocytic lacunar canalicular system established after physiological bone remodeling. *J Electron Microsc (Tokyo)* 58(6):381-392, 2009.
- 9) Amizuka N., Li M., Hara K., Kobayashi M., Paulo H.L.F., Ubaidus S., Oda K., Akiyama Y.: Warfarin administration disrupts the assembly of mineralized nodules in the osteoid. *J Electron Microsc (Tokyo)* 8(2):55-65, 2009.
- 10) Amizuka N., Ubaidus S., Paulo H.L.F., Sultana S., Li M.: Ultrastructure and biological function of osteocyte. *Nippon Rinsho* 67(5):868-71, 2009.
- 11) Sun X, Suzuki K, Nagata M, Kawachi Y, Yano M, Ohkoshi S, Matsuda Y, Kawachi H, Watanabe K, Asakura H, Aoyagi Y. Rectal administration of tranilast ameliorated acute colitis in mice through increased expression of heme oxygenase-1. *Pathol Int.* 2010 Feb;60(2):93-101. PMID: 20398193
- 12) Li M, Seki Y, Freitas PH, Nagata M, Kojima T, Sultana S, Ubaidus S, Maeda T, Shimomura J, Henderson JE, Tamura M, Oda K, Liu Z, Guo Y, Suzuki R, Yamamoto T, Takagi R, Amizuka N. FGFR3 down-regulates PTH/PTHrP receptor gene expression by mediating JAK/STAT signaling in chondrocytic cell line. *J Electron Microsc (Tokyo)*. 2010 Mar 8. PMID: 20356821

- 13) 小山貴寛, 飯田明彦, 児玉泰光, 小林孝憲, 福田純一, 高木律男: 顎骨骨折患者の長期臨床統計-過去32年間について-. 新潟歯学誌. 39 (1) :49-54, 2009.

Koyama T., Iida A., Kodama Y., Kobayashi T., Fukuda J., Takagi R.: A clinic-statistical study of the maxilla-facial fracture during the past 32 years. Niigata Dent.J. 39(1):49-54, 2009.

- 14) 西川 敦, 児玉泰光, 下畑享良, 大貫尚志, 西澤正豊, 高木律男: 顔面神経麻痺を初発症状とした高齢者頭部破傷風の1例. 日口外誌 55 (10) :490-494, 2009.

Nishikawa A., Kodama Y., Shimohata T., Ohnuki H., Nishizawa M., Takagi R.: A case of cephalic tetanus with facial nerve palsy as an initial symptom in an elderly patient. Jpn. J. Oral Maxillofac. Surg. 55(10):490-494, 2009.

- 15) 安島久雄, 芳澤享子, 小野和宏, 泉 直也, 新美奏恵, 小山貴寛, 菅井登志子, 興地隆史, 齋藤 力, 高木律男: 残留嚢胞摘出と同時に歯の即時移植を行った1例. 新潟歯学誌. 39 (2) :53-58, 2009.

Ajima H., Yoshizawa M., Ono K., Izumi N., Niimi K., Koyama T., Sugai T., Okiji T., Saito C., Takagi R.: A case of immediate tooth transplantation after residual cyst extirpation. Niigata Dent.J. 39(2):53-58, 2009.

- 16) 山中正文, 福田純一, 児玉泰光, 安島久雄, 池田順行, 高木律男: 両側側頭開頭術後に生じた開口障害の1例. 口科誌. 59 (1) :31-35, 2010.

Yamanaka M., Fukuda J., Kodama Y., Ajima H., Ikeda N., Takagi R.: A Case of limited mouth opening following bilateral transtemporal neurosurgical procedure. J. Jpn. Stomatol. Soc. 59(1):31-35, 2010.

- 17) 大貫尚志, 大西 真, 田辺啓太, 今村麻枝男, 飯田明彦, 高木律男: 睡眠時無呼吸と構音障害を合併した巨大な軟口蓋多形腺腫の1例. 日口外誌. 56 (1) :40-44, 2010.

Ohnuki H., Ohnishi M., Tanabe K., Imamura M., Iida A., Takagi R.: A case of large pleomorphic adenoma of the soft palate with sleep apnea and articulatory disorder. Jpn. J. Oral Maxillofac. Surg. 56(1):40-44, 2010.

【著書】

- 1) 高木律男: 歯の外傷. 内山 聖, 安次嶺 馨 編集: カラー版 現場で役立つ小児救急アトラス. 379-381, 西村書店, 東京, 2009.

- 2) 飯田明彦: 歯肉の外傷. 内山 聖, 安次嶺 馨 編集: カラー版 現場で役立つ小児救急アトラス. 382-384, 西村書店, 東京, 2009.

【商業誌】

- 1) 芳澤享子, 泉 健次, 飯田明彦, 齋藤 力, 高木律男: 口腔前庭拡張術 歯槽堤形成術への培養複合口腔粘膜の応用. 口腔外科ハンドマニュアル '09 日本口腔外科学会編 110-117, クインテッセンス, 東京, 2009.

【研究成果報告書】

- 1) 研究代表者 藤田 一: 免疫関連遺伝子多型を用いて口腔多発癌に有用な疾患感受性マーカーを探る. 平成 19-20 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 計 3,500 千円.

【研究費獲得】

- 1) 研究代表者 寺尾恵美子: ファーロー法による二段階口蓋形成手術法実施症例の長期言語成績について. 平成 19-21 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 計 1,900 千円.

- 2) 研究代表者 小山貴寛: 凍結培養細胞を用いた培養複合口腔粘膜の治癒機転を解明する. 平成 19-21 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 計 3,300 千円.

- 3) 研究代表者 永田昌毅: インテグリン遺伝子発現定量を用いた口腔癌体外診断法の開発 平成 21 年度独立行政法人科学技術振興機構シーズ発掘試験 (委託研究 #503136) 2,000 千円.

- 4) 研究代表者 小林孝憲: 口腔粘膜癌におけるケラチン発現プロフィールを制御する分子機構. 平成 20-21 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 計 3,300 千円.

- 5) 研究代表者 庭野将広: ストレスが顎関節滑膜表層細胞の分化とカベオラ形成に与える影響. 平成 20-21 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 計 3,200 千円.

- 6) 研究代表者 永田昌毅: 口腔癌の Multigene 精密診断への重回帰モデルの応用. 平成 20-22 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 3,100 千円.

- 7) 研究代表者 児玉泰光: p53 ノックアウトマウスを用いた新規口唇口蓋裂感受性遺伝子の検索. 平成 20-22 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 計 3,100 千円.

- 8) 研究代表者 高木律男: ヒト免疫不全ウイルス感染者の唾液検査による治療効果および感染性判定法の確立. 平成 20-22 年度日本学術振興会科学研究費補助

金, 基盤研究 (B), 計 12,300 千円.

- 9) 研究代表者 池田順行: 顎関節滑膜組織の退行性変化とその誘発・進行因子の解析. 平成 20-22 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 計 3,100 千円.
- 10) 研究代表者 藤田 一: 口腔癌とその周囲に広がる異型上皮の段階的なエピジェネティック変化を検索する. 平成 21-23 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 計 3,600 千円.
- 11) 研究代表者 嵐山貴徳: 培養骨膜細胞による骨組織再生課程の細胞・組織分化および骨代謝現象の動的解明. 平成 21 年度新潟大学プロジェクト推進経費, 奨励研究, 計 340 千円.
- 12) 研究代表者 小林孝憲: 口腔粘膜過正角化型異型上皮: その臨床病理組織学的診断概念の確立. 平成 21 年度新潟大学プロジェクト推進経費, 奨励研究, 計 338 千円.

【その他の発行物】

- 1) 飯田明彦: 私の臨床「根拠のある臨床データに基づいた第三大臼歯の抜歯適応判断—十分なインフォームドコンセントのために—」新潟市歯だより 188: 15-19, 2009.
- 2) 藤田 一: 歯科的個人識別の基礎と実際 第 2 回 大規模災害における歯科的検案について. ながおか歯報 53: 21-31, 2009.
- 3) 庭野将広: ラット顎関節滑膜の発生過程におけるカベオリン-3 タンパクの免疫細胞化学的局在. 新潟歯学会誌 39 (1): 67-68, 2009.

【講演・シンポジウム】

- 1) 寺尾恵美子: 鼻咽腔閉鎖機能軽度不全 (境界域) であった口蓋裂児の長期経過. 第 33 回日本口蓋裂学会学術集会, 東京, 2009 年 5 月 28-29 日. 日口蓋誌 34 (2): 86.

【学会発表】

- 1) Iida A., Takagi R., Ono K., Terao E., Koyama T., Ikarashi Y.: The Optimal Timing of Hard Palate Closure after Furlow's Double Opposing Z-plasty on Two-Stage Palatoplasty. 11th International Confederation for Cleft Lip and Palate and Related Craniofacial Anomalies. Fortaleza, BRAZIL, September.10-13,2009.
- 2) Terao E., Takagi R., Ono K., Iida A., Kodama Y.: SPEECH OUTCOME AFTER FURLOW'S DOUBLE OPPOSING Z-PLASTY IN TWO-STAGE PALATOPLASTY. 11th International

Confederation for Cleft Lip and Palate and Related Craniofacial Anomalies. Fortaleza, BRAZIL, September.10-13,2009. Abstract 2009: 74.

- 3) 武藤祐一, 松井 宏, 勝見祐二, 埜 健志, 岡崎恵美子: Safe Scraper による自家骨採取. 第 42 回新潟歯学会総会, 新潟市, 2009 年 4 月 18 日. 抄録集 14 頁, 2009 年.
- 4) 池田順行, 星名秀行, 小野和宏, 飯田明彦, 高木律男. インプラントに関連した上顎洞合併症の臨床的検討. 第 42 回新潟歯学会総会, 新潟市, 2009 年 4 月 18 日. 抄録集 10 頁, 2009 年.
- 5) 池野 良, 高木律男, 永田昌毅, 加藤真吾: 唾液中 HIV-1 RNA/DNA 量と血清中 HIV-1RNA 量の比較検討—唾液中に含まれる血液の関与—. 第 63 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 浜松, 2009 年 4 月 16-17 日. 第 63 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会プログラム・抄録集 308 頁, 2009 年.
- 6) 庭野将広, 飯田明彦, 高木律男, 西山秀昌, 朔 敬: 口蓋に生じた良性リンパ上皮性病変の 1 例. 第 63 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 浜松市, 2009 年 4 月 16-17 日. 第 63 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会プログラム・抄録集 50 頁, 2009 年.
- 7) ノーマン アルハブ, 永田昌毅, 星名秀行, 藤田 一, 池田順行, 大西 真, 大山登喜男, 新垣 晋, 高田佳之, 小野由起子, 高木律男: 舌扁平上皮癌における Tetraspanin 遺伝子発現レベルのバイオマーカーとしての有用性. 第 63 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 浜松市, 2009 年 4 月 16-17 日, 第 63 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会プログラム・抄録集 333 頁, 2009 年.
- 8) 勝見祐二, 飯田明彦, 福田純一, 寺尾恵美子, 高木律男: 軟口蓋の広範な組織欠損に対しスピーチエイドを適用した Wegener 肉芽腫症の 1 例. 第 63 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 浜松市, 2009 年 4 月 16-17 日. 第 63 回日本口腔科学会学術集会プログラム・抄録集 215 頁, 2009 年.
- 9) Kamal Al-Eryani, Maruyama S., Kobayashi T., Jun Cheng, Saku T.: Keratin pearl formation due to hemoglobin-derived oxidative stress in oral squamous cell carcinoma. 第 98 回日本病理学会, 京都, 2009 年 5 月 1-3 日. 日本病理学会会誌 98(1): 364 頁, 2009 年.
- 10) 飯田明彦, 高木律男, 小野和宏, 寺尾恵美子, 永田昌毅, 児玉泰光, 小山貴寛, 小林孝憲, 五十嵐友樹: 二段階口蓋形成術法における硬口蓋閉鎖に関する長期間一貫治療成績—低年齢での硬口蓋閉鎖の可能性—. 第 33 回日本口蓋裂学会学術集会, 東京, 2009 年 5 月 28-29 日. 日口蓋誌 34 (2): 199, 2009 年.

- 11) 工藤和子, 高木律男, 寺尾恵美子, 児玉泰光, 朝日籐寿一, 小野和宏, 齊藤 功: 上顎前方移動術が口蓋裂患者の鼻咽腔閉鎖機能に及ぼす影響について. 第33回日本口蓋裂学会学術集会, 東京, 2009年5月28-29日. 日口蓋誌 34 (2) :199, 2009年.
- 12) 児玉泰光, 福田純一, 田中 礼, 松川理美, 飯田明彦, 小野和宏, 林 孝文, 高木律男: 単純CTと超音波診断法を用いた顎動脈の走行に関する顎矯正手術前評価. 第19回日本顎変形症学会総会, 仙台市, 2009年6月4-5日. 第19回日本顎変形症学会総会プログラム抄録号 106頁, 2009年.
- 13) 松川理美, 安島久雄, 小山貴寛, 飯田明彦, 高木律男: 顎骨骨折における異常経過症例の検討. 第35回(社)日本口腔外科学会北日本地方会, 旭川, 2009年6月26-27日. 第35回日本口腔外科学会北日本地方会プログラム・抄録集, 25頁, 2009年.
- 14) 五十嵐友樹, 飯田明彦, 小林孝憲, 福田純一, 朔 敬, 高木律男: アルコール性肝硬変患者の舌に生じた対称性脂肪腫症の1例. 第35回日本口腔外科学会北日本地方会, 旭川, 2009年6月26-27日. 第35回日本口腔外科学会北日本地方会プログラム・抄録集, 37頁, 2009年.
- 15) 田中 礼, 池真樹子, 斎藤美紀子, 稲川正一, 藤田一, 林 孝文: 顎関節部の炎症を伴ったBisphosphonates 関連顎骨壊死が疑われる1例. 日本歯科放射線学会第209回関東地方会・第29回北日本地方会・第17回合同地方会, 横浜市, 2009年7月11日. 抄録なし.
- 16) 永田昌毅, 星名秀行, 川瀬知之, 荒澤 恵, 山田一穂, 嵐山貴徳, 中田 光, 高木律男: 歯科インプラントを目的とした培養自家骨膜併用による歯槽骨再生. 日本形成外科学会関東支部 第80回新潟地方会, 新潟市, 2009年7月13日.
- 17) 池野 良, 永田昌毅, 高木律男: 唾液中 HIV-1 RNA/DNA 量と血清中 HIV-1 RNA 量の比較検討. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2009年7月18日.
- 18) 山田一穂, 荒井良明, 星名秀行, 嵐山貴徳, 荒澤 恵, 山田裕士, 三上 諭, 魚島勝美: コンピュータガイドシステムを用いたインプラント埋入の臨床的検討. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2009年7月18日.
- 19) 安島久雄, 荒井良明, 高木律男, 池田順行, 嵐山貴徳, 庭野将広, 西山秀昌, 高田佳之, 桜井直樹, 川崎真依子, 福井忠雄: 新潟大学医歯学総合病院顎関節治療部における高齢者顎関節症患者に関する臨床統計的検討. 第22回日本学関節学会総会, 東京, 2009年7月25-26日. 第22回日本学関節学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 93頁, 2009年.
- 20) 嵐山貴徳, 高木律男, 星名秀行, 安島久雄, 池田順行, 庭野将広, 高山裕司, 田中 礼, 林 孝文: 下顎頭縦骨折の臨床的検討 - 下顎頸部骨折との比較 -. 第22回日本顎関節学会総会・学術大会, 第14回日本口腔顎顔面痛学会総会・学術大会, 東京, 2009年7月25-26日. 第22回日本学関節学会学術大会特別号, 123頁, 2009年.
- 21) 小林孝憲, 丸山 智, 程 瑠, 高木律男, 林 孝文, 朔 敬: 下顎腫瘍. 第20回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 札幌市, 2009年7月29-31日. 第20回日本臨床口腔病理学会プログラム抄録集, 47項, 2009年.
- 22) Ahsan M. Shahidul, Yamazaki M., Shihab Uddin, Jun Cheng, Kobayashi T., Maruyama S., Saku T.: Histopathological relationship between pseudocysts and true duct-like structures in adenoid cystic carcinoma. 第20回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 札幌市, 2009年7月29-31日. 第20回日本臨床口腔病理学会プログラム抄録集, 78項, 2009年.
- 23) 常木雅之, 丸山 智, 山崎 学, 小林孝憲, 程 瑠, 朔 敬: 歯原性腫瘍におけるポドプラニンの発現様式. 第20回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 札幌市, 2009年7月29-31日. 第20回日本臨床口腔病理学会プログラム抄録集, 79項, 2009年.
- 24) 星名秀行, 池田順行, 高木律男, 嵐山貴徳, 山田一穂, 荒澤 恵, 魚島勝美: インプラントに関連した上顎洞合併症の臨床的検討. 第39回(社)日本口腔インプラント学会, 大阪, 2009年9月26-27日.
- 25) 坂牧 僚, 田宮寛子, 小幡美貴, 西川 敦, 葛城美徳, 木南 凌, 三嶋行雄: マウス胸腺リンパ腫とヒト大腸がんでみられる *Bcl11b* 遺伝子変異の転写活性. 第68回日本癌学会学術総会, 横浜市, 2009年10月1-3日. 第68回 日本癌学会学術大会総会プログラム抄録集 136頁, 2009年.
- 26) 安島久雄, 飯田明彦, 小山貴寛, 星名秀行, 高木律男: 下顎歯槽骨延長術における延長方向可変型骨延長装置の使用経験 (MODUS ARS V2 type®). 第54回(社)日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌, 2009年10月9-11日. 日口外誌 55 (総会特別号), 153頁, 2009年.
- 27) 嵐山貴徳, 福田純一, 星名秀行, 宮城尚史, 齋藤 功, 高木律男: 末端肥大症に伴う下顎前突症に対して顎矯正手術を施行した1例. 第54回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌市, 2009年10月9日-11日. 日口外誌 55 (総会特別号), 230頁, 2009年.
- 28) 鶴巻 浩, 星名秀行, 永田昌毅: 顎骨切除後の低歯

- 槽堤症に対し傾斜埋入を併用した即時負荷インプラント治療の1例. 第54回(社)日本口腔外科学会総会, 札幌, 2009年10月9-11日. 日口外誌55(総会特別号), 77頁, 2009年.
- 29) 小山貴寛, 芳澤享子, 泉直也, 小野由起子, 新美奏恵, 小島拓, 齊藤力, 高木律男: 多血小板血漿 (PRP) を併用した歯の自家移植-移植歯周組織の評価-. 第54回日本口腔外科学会総会, 札幌市, 2009年10月9-11日. 日口外誌55(総会特別号), 291頁, 2009年.
- 30) 池田順行, 飯田明彦, 児玉泰光, 小山貴寛, 高木律男, 林孝文, 朔敬: 放線菌感染を伴った上唇粘液肉芽腫の1例. 第54回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌, 2009年10月9-11日. 日口外誌55(総会特別号), 81頁, 2009年.
- 31) 永田昌毅, 川瀬知之, 奥田一博, 中田光, 吉江弘正, 高木律男: 歯科インプラント適応を目的とした培養自家骨膜併用による歯槽骨再生. 第52回秋季日本歯周病学会学術集会, 宮崎市, 2009年10月11日.
- 32) 三嶋行雄, 田宮寛子, 坂牧僚, 小幡美貴, 西川敦, 葛城美徳, 木南凌: マウス胸腺リンパ腫とヒト大腸がんに見いだされたがん抑制遺伝子 *Bcl11b* 変異の転写活性への影響. 第82回日本生化学会大会, 神戸市, 2009年10月21-24日. 第82回日本生化学会大会抄録集317頁, 2009年.
- 33) 安島久雄, 小野和宏, 島田靖子, 小田陽平, 田中礼, 松山順子, 藤井規孝, 井上誠, 山村健介, 齋藤功, 魚島勝美, 興地隆史, 高木律男, 前田健康: 新潟大学歯学部における教員研修 (FD) の概要と今後の方向性. 第28回日本歯科医学教育学会 総会および学術大会, 広島, 2009年11月6-7日. 第28回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 92頁, 2009年.
- 34) 安島久雄, 飯田明彦, 小山貴寛, 星名秀行, 高木律男: 下顎歯槽骨延長術における延長方向可変型骨延長装置の使用経験 (MODUS ARS V2 type®) 日本形成外科学会関東支部第81回新潟地方会, 新潟, 2009年11月9日.
- 35) 勝見祐二, 鶴巻浩, 小林孝徳, 朔敬: 臨床診断に苦慮した歯冠周囲過誤腫の一例. 平成21年度新潟歯学会第2例会, 新潟市, 2009年11月21日. 抄録集10頁.
- 36) 鶴巻浩, 勝見祐二: 全顎補綴における即時プロビジョナルインプラント臨床の使用経験. 平成21年度新潟歯学会第2例会, 新潟市, 2009年11月21日. 抄録集14頁.
- 37) 村山正晃, 池野良, 児玉泰光, 川口玲, 田邊嘉也, 加藤真吾, 高木律男: 唾液中 HIV-1 濃度が血液中よりも高かった3症例. 第23回日本エイズ学会学術集会・総会, 名古屋市, 2009年11月26-28日. 第23回日本エイズ学会学術集会・総会プログラム・抄録集, 560頁, 2009年.
- 38) Katsuragi Y., Anraku J., Ida-Yonemochi H., Ohshima H., Gondo Y., Kominami R.: *Bcl11b/Rit1* is required for normal teeth development. 第32回日本分子生物学会, 横浜, 2009年12月9-12日. 第32回日本分子生物学会年会プログラム, 507頁, 2009年.
- 39) 池田順行, 藤田一, 永田昌毅, 星名秀行, 高木律男. 下顎骨区域切除後32年が経過し移植腸骨に再発をみたエナメル上皮腫の1例. 第28回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 東京都, 2010年1月28-29日. 第28回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 122頁.
- 40) 齋藤太郎, 池野順行, 安島久雄, 嵐山貴徳, 庭野将広, 高木律男: 当科における顎関節に対する外科治療例の検討. 日本形成外科学会関東支部第82回新潟地方会, 新潟, 2010年2月8日.
- 41) 安島久雄, 齋藤太郎, 上松晃也, 大貫尚志, 池田順行, 児玉泰光, 飯田明彦, 瀬尾憲司, 高木律男: 顎口腔領域の神経症状を訴えて当科を来院した患者の臨床的検討. 第14回口腔顔面神経機能学会, 大阪市, 2010年2月27日-28日. 第14回口腔顔面神経機能学会プログラム・抄録集, 9頁, 2010年.

【研究会発表】

- 1) 高木律男: 顎裂部二次腸骨移植術; ガイドラインに準じた口蓋裂治療. 第13回顎顔面手術手技研究会, 浜松, 2009年4月16日.
- 2) 勝見祐二, 武藤祐一, 松井宏: 多臓器転移を伴った口底癌の1例-現在までの治療経過について-. 第14回上越口腔外科カンファレンス, 上越市, 2009年5月29日.
- 3) 葛城美徳, 安楽純子, 依田浩子, 大島勇人, 権藤洋一, 木南凌: *Bcl11b/Rit1* 変異体における歯の発生異常. 第23回モロシナス研究会, 滋賀, 2009年7月11-12日.
- 4) 新垣晋, 金丸祥平, 船山昭典, 新美奏恵, 小田陽平, 芳澤享子, 菅井登志子, 齊藤力, 星名秀行, 永田昌毅, 藤田一, 高木律男, 林孝文: 舌扁平上皮癌の頸部転移様相と予後因子の検討. 第69回新潟癌治療研究会, 新潟市, 2009年7月25日.
- 5) 池田順行, 藤田一, 永田昌毅, 齋藤正直, 安楽純子, 星名秀行, 高木律男: 頸部後発転移を生じた口腔扁平上皮癌 T1, T2 症例の臨床病理学的検討. 第

- 69 回新潟癌治療研究会, 新潟市, 2009 年 7 月 25 日.
- 6) 池田由香, 生田千香子, 梅津裕美, 勝見祐二, 鶴巻浩, 中村かおり: 介護老人保健施設千歳園入所者および通所要介護者に対する口腔ケアの取り組み. 第 4 回新潟口腔ケア研究会, 新潟市, 2009 年 9 月 13 日. 抄録集 7 頁, 2009 年.
 - 7) Yoshizawa M., Koyama T., Kojima T., Kato H., Niimi K., Saito C.: Regeneration of oral mucosa by tissue engineered oral mucosa grafts on athymic mouse. 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, Hiroshima. November 7-8, 2009.
 - 8) Niimi K., Yoshizawa M., Koyama T., Izumi N., Ono Y., Hasebe D., Saito C.: Periodontal regeneration in tooth autotransplantation with application of autologous platelet-rich plasma (PRP). 3rd Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, Hiroshima. November 7-8, 2009.
 - 9) 小山貴寛: 放射線療法 19 年後に病的骨折をきたした悪性線維性組織球腫の 1 例. 第 64 回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟市, 2009 年 11 月 12 日.
 - 10) 芳澤享子, 泉直也, 小野由起子, 新美奏恵, 小山貴寛, 菅井登志子, 小島拓, 加藤寛子, 齊藤力: 多血小板血漿 (PRP) の歯の移植への応用. 第 1 回 PRP (多血小板血漿) 療法研究会, 大阪市, 2009 年 11 月 15 日.
 - 11) 藤田一: 「法医専科」法歯学講義. 新潟県警察学校, 新潟市, 2009 年 11 月 18 日.
 - 12) 黒川亮: 当院入院中にペースメーカー誤作動と上部消化管出血を認めた 2 例. 平成 21 年度 第 6 回 (通算 322 回) 福島県会津地区歯学研究会, 会津若松市, 2009 年 11 月 18 日.
 - 13) 児玉泰光: 第 3 回 診療支援部歯科衛生士部門研修会「有病者の歯科診療 (口腔衛生), 今の対応で本当に大丈夫ですか」. 新潟市, 2009 年 11 月 20 日.
 - 14) 飯田明彦: ビスフォスホネート関連顎骨壊死について. 新潟県社会保険診療報酬支払基金学術講演会, 新潟市, 2009 年 11 月 25 日.
 - 15) 高木律男: 平成 21 年度 新潟大学歯学部同窓会セミナー II 「ビスフォスホネート関連顎骨壊死 (BRONJ) - BP 製剤使用患者への安全な歯科処置を行うために -」 BRONJ の予防と管理の目標設定. 新潟市, 2009 年 11 月 29 日.

【その他の発表】

- 1) 高木律男: 第 33 回 母親教室「唇顎口蓋裂ってどんな病気」. 新潟大学医歯学総合病院歯科口蓋裂診療班主催, 新潟市, 2009 年 5 月 19 日.
- 2) 魚島勝美, 星名秀行, 藤井規孝, 富塚健, 荒井良明, 久保田健彦, 小林正治, 櫻井直樹, 田口裕哉, 山田一穂, 嵐山貴徳, 荒澤恵, 木村修平: インプラント治療の基礎 - 安全で確実な医療を提供するために -. 平成 21 年度新潟大学歯学部同窓会企画講習会, 新潟市, 2009 年 5 月 24 日.
- 3) 高木律男: 平成 21 年度 第 1 回学術 (医療安全) 研修会「歯科診療に必要な感染予防対策の実際 - 予防対策から刺傷事故時の対応まで -.」. 富山市, 2009 年 6 月 28 日.
- 4) 飯田明彦: 第 34 回 母親教室「顎裂部腸骨移植術について」. 新潟大学医歯学総合病院歯科口蓋裂診療班主催, 新潟市, 2009 年 7 月 28 日.
- 5) 高木律男: 新潟大学歯学部同窓会 栃木県支部 学術講演会「開業歯科医師における口腔外科的対応 - 口腔外科雑学 -.」. 宇都宮市, 2009 年 8 月 23 日.
- 6) 寺尾恵美子: 第 35 回 母親教室「口蓋裂児のことは

【主宰学会・講演会・その他】

- 1) 高木律男: ロシア人歯科医師研修会 (ブラゴベシチェンスク市歯科医師会 20 名) 主催 (講師: 興地教授, 藤井教授, 吉江教授, 齋藤教授), 新潟市, 2009 年 5 月 12-13 日.
- 2) 平成 21 年度 第 26 回新潟大学口腔外科歯科麻酔科同門会, 新潟市, 2009 年 7 月 4 日 主宰.
- 3) 高木律男: 新潟大学医歯学総合病院歯科系診療棟院内感染対策講習会 主催 (講師: 東北大学病院附属歯科医療センター・感染予防対策治療部 玉澤佳純, 新潟市, 2009 年 7 月 10 日).
- 4) 第 64 回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟市, 2009 年 11 月 12 日 主宰.
- 5) 高木律男: 平成 21 年度 新潟大学歯学部同窓会セミナー II 「ビスフォスホネート関連顎骨壊死 (BRONJ) - BP 製剤使用患者への安全な歯科処置を行うために -」 パネルディスカッション・コーディネータ (講師: 網塚教授, 遠藤教授, 朔教授, 林教授, 山崎教授, 高木), 新潟市, 2009 年 11 月 29 日.

【認定・その他】

- 1) 高木律男:日本がん治療認定医機構 暫定教育医(歯科口腔外科)認定 第098271号,2009年8月1日(有効期限:2017年7月31日).
- 2) 永田昌毅:日本がん治療認定医機構 暫定教育医(歯科口腔外科)認定 第098336号,2009年8月1日(有効期限:2017年7月31日).
- 3) 藤田 一:日本がん治療認定医機構 暫定教育医(歯科口腔外科)認定 第098063号,2009年8月1日(有効期限2017年7月31日).
- 4) 飯田明彦:日本がん治療認定医機構 暫定教育医(歯科口腔外科)認定 第098196号,2009年8月1日(有効期限:2017年7月31日).

包括歯科補綴学分野

【著書】

- 1) 野村修一, 田中みか子:3章-1 歯の欠損に伴う口腔内の変化. 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴(全国歯科衛生士教育協議会 監修),24-31頁,医歯薬出版,東京,2009.(著書;分担)
- 2) 渡邊清志(分筆):歯科技工辞典. 第1版第19刷,医歯薬,東京,2009年.

【論文】

- 1) Atsuko I, Maiko K, Shuichi N, Yuji S, Mayumi U, Ichiro A, Yozo M: Sensory and motor responses of normal young adults during swallowing of foods with different properties and volumes. Dysphagia (Published online: 13 August 2009)
- 2) Atsuko I, Kayoko I, Saori F, Yasumasa H, Shuichi N, Kouji K, Mikiko S, Takafumi H, Noboru K, Kaname N: Proteome analysis of gelatin-bound salivary proteins in patients with primary Sjogren's Syndrome. Clinica Chimica Acta 403: 269-271, 2009.
- 3) 金田 恒:下顎第一大臼歯欠損にインプラント治療を行なった1症例. 日本口腔インプラント学会誌. 22(4):67-68, 2009.
- 4) 昆はるか, 佐藤直子, 野村修一, 櫻井直樹, 田中みか子, 細貝暁子, 山田一穂, 金城篤史, 甲斐朝子, 山下絵美, 金子敦郎, 真柄 仁, 小林 博, 宮崎秀夫, 葭原明弘, 河野正司:高齢義歯装着者の義歯への満足度に影響する要因について. 日補綴会誌. 1: 361-369, 2009.
- 5) 金子敦郎, 小林 博, 山田好秋, 野村修一:加速度計を用いた頭位測定装置による歯科治療とデスクワークの頭部姿勢の比較. 日本顎口腔機能雑誌, 16

(1):15-21, 2009.

- 6) 船山さおり, 伊藤加代子, 人見康正, 佐久間汐子, 伊藤 聡, 野村修一, 五十嵐敦子:一次性シェーグレン症候群患者の唾液分泌量と唾液成分に対する塩酸セベメリン投与6ヶ月後の効果. 新潟歯学会雑誌. 39(1):25-28, 2009.

【その他の論文】

- 1) 田中みか子, 小林 博, 岡田直人, 飛田 滋, 渡邊清志, 五十嵐直子, 山田一穂, 野村修一:デモンストラーション映像の個別提供による教育の効率化. 大学教育研究年報 第14号:19-22, 新潟大学大学教育開発研究センター, 2009.
- 2) 野村修一:金属アレルギーの治療, 日本医事新報. 4444:79-80, 2009.
- 3) 小林 博(分担):ガイドライン作製部会 補綴歯科診療ガイドライン 歯の欠損の補綴歯科診療ガイドライン2008, 社団法人日本補綴歯科学会 117頁, 2009.

【学会発表】

- 1) Akiko N, Shuichi N, Keiichi I, Yuko S, Mitsugu: Surface Modification of Methacrylate Prosthetic Material through LEB Irradiation, 87th General Session & Exhibition of the IADR, USA, 2009年4月1-4日.
- 2) Hiroshi K, Yoshiaki Y: Head posture of dentists measured by Bluetooth transmitting accelerometer 2nd Meeting of IADR PAPF/1st Meeting of IADR APR 武漢, 2009年9月22-24日
- 3) 昆はるか, 野村修一, 櫻井直樹, 小林 博, 佐藤直子, 甲斐朝子, 金子敦郎:復位性関節円板転位症例における下顎開閉口運動時 頭部運動開始点の経時的変化について. 日本顎口腔機能学会第42回学術大会, 新潟, 2009年4月12日, プログラム・抄録集27-28頁, 2009.
- 4) 山下絵美, 田中みか子, 松尾 朗, 野村修一, 江尻貞一:歯槽骨生検試料を用いた全身骨動態スクリーニングの試み. 第29回日本骨形態計測学会, 大阪, 2009年5月28-30日, 骨形態誌, 19(1):S71, 2009.
- 5) 小林 博, 秀島雅之, 永尾 寛, 津賀一弘:診療ガイドライン作製部会報告「ガイドラインを臨床に生かす」, 日本補綴歯科学会118回学術大会, 京都, 2009年6月5-7日, 日本補綴歯科学会誌1(118回特別号)58-59頁, 2009.
- 6) 昆はるか, 野村修一, 櫻井直樹, 小林 博, 甲斐朝子, 山田一穂, 金城篤史, 金子敦郎:下顎開閉口運

動時に観察された復位性関節円板転位症例における頭部運動の時系列分析. 日本補綴歯科学会第118回学術大会, 京都, 2009年5-7日, 日本補綴歯科学会誌1(118回特別号)85頁, 2009.

- 7) 林 頼雄: 歯科補綴物に用いられる金銀パラジウム合金のEPMAによる金属元素分布の分析と同定, 日本法歯科医学会, 第3回学術大会, 東京, 2009年6月13日
- 8) 佐藤直子, 野村修一, 昆はるか, 櫻井直樹, 山田一穂, 葭原明弘, 宮崎秀夫, 河野正司: 10年間の縦断調査からみた地域高齢者の咬合力. 第20回日本老年歯科医学会総会・学術大会, 横浜, 2009年6月19日, プログラム・抄録集113頁, 2009.
- 9) 小林 博: 新潟大学歯学部および医歯学総合研究科口腔生命科学のe-learningシステム, 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2009年7月18日, 新潟歯学会誌39(2):108頁, 2009.
- 10) 林 頼雄: 北陸地方の獅子頭における相貌の美術解剖学的考察, 第二報, -頭部顔面の造形様式について-, 第16回美術解剖学会大会発表, 東京, 2009年7月18日
- 11) 櫻井直樹, 昆はるか, 林 孝文, 西山秀昌, 小山純市, 田中 礼: 自立している高齢者の顎関節症状の発現について. 第22回日本顎関節学会総会・学術大会, 東京, 2009年7月25日, 日顎誌21:92頁, 2009.
- 12) 安島久雄, 高木律男, 荒井良明, 池田順行, 嵐山貴徳, 庭野将広, 西山秀昌, 福井忠雄, 高田佳之, 桜井直樹, 川崎真依子: 新潟大学医歯学総合病院顎関節治療部における高齢者顎関節症患者に関する臨床統計的検討. 第22回日本顎関節学会総会・学術大会, 東京, 2009年7月25日, 日顎誌21:93頁, 2009.
- 13) 小林 博: 筋電図計測法 日本顎口腔機能学会第6回顎口腔機能セミナー・シンポジウム熱海, 静岡, 2009年8月21-23日, 2009.
- 14) 小出浩貴, 谷口威男, 新井安芸彦, 八木 稔, 野村修一: 長野健康センター人間ドックにおける歯周疾患と高血圧症, 動脈硬化症との関連. 平成21年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2009年11月21日, 新潟歯学会誌39(2):110頁, 2009.
- 15) 櫻井直樹, 野村修一, 昆はるか, 佐藤直子, 小林 博, 田中みか子, 金城篤史, 甲斐朝子, 宮崎秀夫, 葭原明弘: 地域在住の高齢者における顎関節症状の発現について. 平成21年度日本補綴歯科学会関越支部総会・合同学術大会, 高崎, 2010年1月30日 プログラム・抄録集13頁, 2010.
- 16) 渡邊清志, 野村修一, 田中みか子, 小林 博, 伊藤恭輔: 排列ジグを用いた新たな全部床義歯臼歯部人

工歯排列法の考案. 平成21年度日本補綴歯科学会関越支部 総会・合同学術大会, 高崎, 2010年1月30日 プログラム・抄録集11頁, 2010.

【研究費獲得】

- 1) 野村修一, 北村絵里子, 岡田直人. ユビキタスネットワークを活用した歯科補綴物の新しい診療参加型臨床教育. 平成20-22年度文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(C) 課題番号20592260, 2009. (継続)
- 2) 平井敏博, 佐々木啓一, 佐藤裕二, 石橋寛二, 窪木拓男, 馬場一美, 秀島雅之, 小林 博, 櫻井 薫, 鱒見進一, 越野 寿. 症型分類(治療難易度)に基づく補綴治療の診療ガイドラインの策定と妥当性の検証. 平成21-23年度科学研究補助金 基盤研究(A) 分担(代表者 平井敏博) 課題番号21249092, 2009. (新規)
- 3) 小林 博, 山田好秋. ブルートゥース及び無線USB規格伝送による補綴治療時歯科医師姿勢の遠隔連続測定. 平成21-23年度科学研究補助金 基盤研究(C) 代表者 課題番号21592444, 2009. (新規)
- 4) 田中みか子: 歯槽骨動態に影響を与える全身的/局所的因子の解明—歯槽骨生検による骨粗鬆症診断規準の確立へ—, 平成21年度 新潟大学プロジェクト推進経費(奨励研究), 2009.
- 5) 田中みか子, 江尻貞一, 山本智章, 櫻井直樹, 松尾朗, 山田一穂: 歯槽骨組織を用いた早期骨粗鬆症診断法の確立—骨粗鬆症分野への歯科的貢献—. 平成20-22年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C), 課題番号20592259, 2009. (継続)
- 6) 櫻井直樹, 小林 博, 野村修一, 井上 誠, 河野正司, 豊里 晃, 鈴木一郎, 林 孝文, 西山秀昌, 佐藤直子, 葭原明弘, 八木 稔, 斎藤美紀子, 大瀧祥子, 高木律男, 荒井良明: 咀嚼・嚥下障害に対する診断支援システム構築. 平成20-23年度日本学術振興会研究費補助金 基盤研究(C), 課題番号19592231, 2009. (継続)
- 7) 櫻井直樹: ピエゾフィルムを応用した簡便な嚥下機能評価装置の開発. 地域イノベーション創出総合支援事業, 平成21年度「シーズ発掘試験」A(発掘型), 課題番号05-043(新規)
- 8) 昆はるか: 頭頸部痛患者に対する学際的な診断システムの確立. 平成21-23年度日本学術振興会研究費補助金 若手研究B, 課題番号21791886, 2009. (新規)
- 9) 佐藤直子: 新潟大学科学研究費補助金応募支援プログラム経費, 平成21年度学長裁量費, 2009. (新規)
- 10) 金城篤史: 新潟大学科学研究費補助金応募支援プロ

グラム経費，平成 21 年度学長裁量費，2009.（新規）

日本歯科医学教育学会白書作成委員会，東京，2009.

【特別講義】

- 1) 渡邊清志：歯科技工概論「全部床義歯の臼歯部人工歯排列（理論編）－ Full Balanced Occlusion & Lingualized occlusion について－」，東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校，東京，2009 年 7 月 17 日.
- 2) 渡邊清志：歯科技工概論「全部床義歯の臼歯部人工歯排列（実技編）－ Full Balanced Occlusion & Lingualized occlusion について－」，東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校，東京，2010 年 1 月 29 日.

【受賞】

野村修一：平成 21 年度日本顎口腔機能学会特別賞，2009 年 11 月 28 日.

【その他】

- 1) 野村修一：口腔機能を評価するための基礎知識②. 平成 20 年度新潟大学歯学部公開講座【介護予防のための「口腔機能の向上」入門講座】，新潟，2009 年 6 月 30 日，2009.
- 2) 魚島勝美，星名秀行，藤井規孝，富塚 健，荒井良明，久保田健彦，小林正治，櫻井直樹，田口裕哉，木村修平，嵐山貴徳，山田一穂，荒澤 恵：「インプラント治療の基礎－安全で確実な医療を提供するために－」新潟大学歯学部同窓会学術セミナー，新潟，2009 年 5 月 24 日，2009.
- 3) 櫻井直樹：義歯のメンテナンス. 研修医セミナー 2009 年 6 月 22 日，2009.
- 4) 山下絵美，田中みか子，松尾 朗，野村修一，江尻貞一：歯槽骨生検試料を用いた全身骨動態スクリーニングの試み. 骨形態フォーラム in 伊豆，伊豆の国，2009 年 8 月 1 - 2 日，2009.
- 5) 田中みか子ほか：新潟大学女性研究者支援室 新大シッター紹介，NHK 総合・関東甲信越地域，おはよう日本，2009 年 4 月 7 日（火）AM7 時 45 分～8 時，2009.
- 6) 野村修一，岡田直人，川崎真依子，山田一穂，野村章子：義歯着脱補助具の普及に向けて. 新潟大学研究シーズ発表会，キャンパスイノベーションセンター東京，2009 年 12 月 10 日，2009.

生体歯科補綴学分野

【著書】

- 1) 魚島勝美：歯科医学教育白書 2008 年度，78 - 84 頁，

【論文】

- 1) Masaru K and Katsumi U: Implant System Selection and Treatment Planning. WCOI Year Book 2009 (CD version), 57-63, 2010
- 2) Akiba Y, Cave JW, Akiba N and Baker, H: HDAC inhibitors induce dopamine phenotype for neural progenitors in RMS. Biochemical and Biophysical Research Communications 393(4): 673-677, 2010.
- 3) Akiba Y, Sasaki H, Estevez A, Baker H, and Cave JW.: GABA-mediated regulation of the olfactory bulb phenotype. Journal of Neuroscience Research. 87: 2211-2221, 2010 .
- 4) Keiko Y, Katsumi U, Kimimitsu O, Takeyasu M: Influence of heat stress to matrix on bone formation. Clinical implant oral research (20): 782-790, 2009.
- 5) Juan Marcelo Rosales Rocabado, Roxana Stegaroiu, Farhana Sharmin, Eriko Kitamura, Al-amin Bhuiyan, Kouichi Kurokawa, Katsumi Uoshima.: Comparison of two methods for testing restored tooth failure resistance. Revista Romana de Stomatologie (Ro J Stomatol) 55(3): 218-224, 2009.
- 6) Akiba N, Jo S, Akiba Y, Baker H, Cave JW.: Expression of EGR-1 in a subset of olfactory bulb dopaminergic cells. Journal of Molecular Histology. 40(2): 151-155, 2009.
- 7) Nozaki K, Kaku M, Yamashita Y, Yamauchi M, Miura H: Effect of Cyclic Mechanical Loading on Osteoclast Recruitment in Periodontal Tissue. J Periodontal Res. 45(1): 8-15, 2010.
- 8) Cave JW, Akiba Y, Banerjee K, Berlin R, and Baker H: Differential regulation of dopaminergic gene expression by Er81. Journal of Neuroscience. 30(13): 4717-4724, 2010.

【研究費獲得】

- 1) 魚島勝美：咬合力による骨組織改造の高精度予測. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 20390487, 2009.
- 2) 富塚 健：歯肉貫通部の防御機構を向上させる新たなデンタルインプラント表面の構築. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 20592258, 2009.
- 3) 加来 賢：新規幹細胞源として期待される神経堤幹細胞の歯根膜からの分離解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手スタートアップ, 21890081,

2009.

- 4) 加来 賢：機械的刺激によるコラーゲン修飾酵素の誘導と歯根膜組織安定化機構. 新潟大学プロジェクト経費 奨励研究, 2009.
- 5) 秋葉陽介：ヒストン脱アセチル化阻害剤を用いた細胞工学的手法による新規骨造成法. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手スタートアップ, 21890080, 2009.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 魚島勝美：Implant system selection and treatment planning. 15th Scientific Meeting and Refresher Course in Dentistry (KPIKIG)2009, indonesia, 2009.
- 2) 魚島勝美：統合型模型実習とその学習評価. 東京歯科大学特色 GP フォーラム・歯学教育での ICT を活用した学習評価, 東京, 2009.
- 3) 魚島勝美：統合型模型実習とその学習評価. 東京歯科大学 FD 歯科医学教育セミナー, 千葉, 2009
- 4) 魚島勝美：統合型模型実習の実践. 明海大学歯学部 FD 講演会, 埼玉, 2009.

【学会発表】

- 1) KAKU M., KOMATSU Y., MISHINA Y., Ko C.-C., Stem Cell Capability of CNC Derived Cells in Adult PDL, J Dent Res 88 Spec Iss A:1408, 2009
- 2) Masaru Kaku, Yoshihiro Komatsu, Yuji Mishina, Katsumi Uoshima : Identification of Neural Crest Stem Cells in Adult Periodontal Ligament. 5th Scientific Meeting of Asian Academy of Osseointegration, Bali, Indonesia, Nov. 20-22nd, 2009.
- 3) Yosuke Akiba, Masaru Kaku, Maiko Kawasaki, Katsumi Uoshima : Effect of Histone deacetylase Inhibitors on mesenchymal stem cells in osteogenic differentiation, 5th Scientific Meeting of Asian Academy of Osseointegration, Bali, Indonesia, Nov. 20-22nd, 2009.
- 4) K. YOSHIDA, T. SASSA, K. UOSHIMA, and Y. MOCHIDA.: Localization of EVC2 protein in cultured ameloblasts. J Dent Res 89 Spec Iss A:1480,2010
- 5) Kawasaki M, Uoshima K, Yoshida K, Nagasawa M, Marcelo R, Al-amin B : Comparison between implant prosthesis and removable partial denture using masticatory efficiency test and QOL survey, 5th Scientific Meeting of Asian Academy of Osseointegration, Bali, Indonesia, Nov. 20-22nd,

2009.

- 6) Masako Nagasawa, Maiko Kawasaki, Keiko Yoshida, Rei Tanaka, Takafumi Hayashi and Katsumi Uoshima : An analysis of Pustulosis Palmaris et Plantaris (PPP) patients who visited Niigata University Medical and Dental Hospital in last 3 years. 6th biennial meeting of Asian Academy of Prosthodontics, April 24-26th 2009 in Seoul, Korea. 6th biennial meeting of Asian Academy of Prosthodontics Program and Abstract, P.124, 2009.
- 7) Masako Nagasawa, Katsumi Uoshima, Keiko Yoshida, Maiko Kawasaki : Investigation on degenerative changes of the bone surrounding dental implant upon excessive occlusal load -a novel animal model to clarify the mechanism of osseointegration destruction-, 5th Scientific Meeting of Asian Academy of Osseointegration, Bali, Indonesia, Nov. 20-22nd, 2009.
- 8) Takano R, Nagasawa M, Mikami S, Stegaroiu R, Uoshima K : Towards the establishment of a 3-D finite element model to investigate stress distribution around an implant under excessive load in a rat model, 5th Scientific Meeting of Asian Academy of Osseointegration, Bali, Indonesia, Nov. 20-22nd, 2009.
- 9) 加来 賢, 小松義広, 三品裕司, 魚島勝美, Ko Ching-Chang : 成体歯根膜における神経堤由来幹細胞の検索. 第118回日本歯科補綴学会学術大会, 京都, 2009年6月6日, 第118回日本歯科補綴学会学術大会プログラム・抄録集, 80頁, 2009.
- 10) 加来 賢, 山内三男, 魚島勝美: 機械的刺激は骨芽細胞においてコラーゲン修飾/分解酵素の発現を特異的に制御する. 平成21年度日本補綴歯科学会関越支部総会ならびに学術大会, 高崎, 2010年1月31日, 平成21年度日本補綴歯科学会関越支部総会ならびに学術大会プログラム・抄録集, 7頁, 2010
- 11) 川崎真依子, 魚島勝美, 吉田恵子, 長澤麻沙子, マルセロ・ロサレス, アルアミン・ピヤン: 咀嚼能率検査とQOLアンケートによる固定性インプラント義歯の評価. 第118回日本歯科補綴学会学術大会, 京都, 2009年6月6日, 第118回日本歯科補綴学会学術大会プログラム・抄録集, 181頁, 2009.
- 12) 川崎真依子, 魚島勝美, 吉田恵子, 長澤麻沙子: 咀嚼能率検査とQOLアンケートによる固定性インプラント義歯と可撤性部分床義歯の比較. 第39回日本口腔インプラント学会学術大会, 大阪, 2009年9月26日, 第39回日本口腔インプラント学会学術

- 大会プログラム・抄録集, 251頁, 2009.
- 13) 川崎真依子, 野村修一, 岡田直人, 野村章子: 義歯着脱補助具の有用性の評価. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2009年7月18日, 平成21年度新潟歯学会第1回例会プログラム・抄録集, 12頁, 2009.
 - 14) 岡田直人, 川崎真依子, 野村修一, 野村章子: 要介護高齢者のための義歯着脱補助具の製作. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2009年7月18日, 平成21年度新潟歯学会第1回例会プログラム・抄録集, 12頁, 2009.
 - 15) 長澤麻沙子, 魚島勝美, 吉田恵子, 川崎真依子, Rosales Marcelo, Al-amin Buiyan: ラットを用いた口腔インプラントの咬合モデル確立. 第118回日本歯科補綴学会学術大会, 京都, 2009年6月6日, 第118回日本歯科補綴学会学術大会プログラム・抄録集, 192頁, 2009.
 - 16) 長澤麻沙子, 加来 賢, 秋葉陽介, 吉田恵子, 川崎真依子, Rosales Marcelo, Al-amin Buiyan, 魚島勝美, 前田 健康: インプラント咬合動物実験モデルにおける骨の組織学的観察. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009年9月10日, 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会プログラム・抄録集, 101頁, 2009.
 - 17) 長澤麻沙子, 魚島勝美, 吉田恵子, 川崎真依子: 動物実験モデルを用いたオッセオインテグレーション崩壊機序の検索. 第39回日本口腔インプラント学会学術大会, 大阪, 2009年9月26日, 第39回日本口腔インプラント学会学術大会プログラム・抄録集, 257頁, 2009.
 - 18) 高野遼平, 長澤麻沙子, 三上 諭, Stegaroiu R, 魚島勝美: 過重負担下インプラント周囲骨の応力分布を分析する3次元有限要素ラットモデル作成の試み. 平成21年度日本補綴歯科学会関越支部総会ならびに学術大会, 高崎, 2010年1月31日, 平成21年度日本補綴歯科学会関越支部総会ならびに学術大会プログラム・抄録集, 7頁, 2010.
 - 19) M. BAHADORAN, M. KAKU, N. KAMIYA, T. TSUJI, T. KUNIEDA, M. YAMAUCHI, Y. MISHINA, and Y. MOCHIDA. Tooth phenotype of Evc2/Lbn mutant mice during tooth development. *J Dent Res* 88 Spec Iss A:3115, 2009.
 - 20) L.W. BOUSHELL, M. KAKU, Y. MOCHIDA, and M. YAMAUCHI, MMP-2 and BSP expression in response to Coronal Caries. *J Dent Res* 88 Spec Iss A:2068, 2009.
 - 21) L. BOUSHELL, M. KAKU, Y. MOCHIDA, M. YAMAUCHI, Comparison of MMP-2 in Human and Bovine Dentin. *J Dent Res* 89 Spec Iss A:910, 2010.
 - 22) 星名秀行, 池田順行, 小野和宏, 高木律男, 嵐山貴徳, 山田一穂, 魚島勝美: インプラントに関連した上顎洞合併症の臨床的検討. 第39回日本口腔インプラント学会学術大会, 大阪, 2009年9月26日, 第39回日本口腔インプラント学会学術大会プログラム・抄録集, 175頁, 2009.
 - 23) 小野和宏, 八木 稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 林 孝文, 齋藤 功, 興地隆史, 前田健康, 藤井規孝: 新潟大学歯学部歯学科のカリキュラム評価. 第28回日本歯科医学教育学会学術大会, 広島, 2009年11月7日, 第28回日本歯科医学教育学会学術大会プログラム・抄録集, 2009.
 - 24) 安島久雄, 小野和宏, 高木律男, 小田陽平, 島田靖子, 田中 礼, 松山順子, 井上 誠, 山村健介, 藤井規孝, 齋藤 功, 魚島勝美, 興地隆史, 前田健康: 新潟大学歯学部における教員研修(FD)の概要と今後の方向性. 第28回日本歯科医学教育学会学術大会, 広島, 2009年11月7日, 第28回日本歯科医学教育学会学術大会プログラム・抄録集, 2009.
 - 25) 藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 魚島勝美, 齋藤 力, 前田健康: 新潟大学医歯学総合病院歯科医師臨床研修における単独型プログラムの実際. 第28回日本歯科医学教育学会学術大会, 広島, 2009年11月7日, 第28回日本歯科医学教育学会学術大会プログラム・抄録集, 2009.
 - 26) 平山実里, 藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 魚島勝美: 骨縁下齶蝕に対して外科的挺出(再植)を適用した症例の臨床的検討. 平成21年度新潟歯学会学術大会, 新潟, 2009年4月18日, 平成21年度新潟歯学会学術大会プログラム・抄録集, 13頁, 2009.
- 【研究会発表】**
- 1) 加来 賢, 小松義広, 三品裕司, Ko Ching-Chang, 魚島勝美: 成体歯根膜における神経堤由来細胞の分布と幹細胞マーカーの発現. 第2回再生補綴医学研究会, 名古屋, 2009年11月27日, 第2回再生補綴医学研究会プログラム・抄録集, 41頁, 2009.
 - 2) 秋葉陽介, 加来賢, 魚島勝美: 間葉系幹細胞の骨形成系細胞誘導におけるヒストン脱アセチル化阻害剤の影響について. 第2回再生補綴医学研究会, 名古屋2009年11月27日, 第2回再生補綴医学研究会プログラム・抄録集, 55頁, 2009.
- 【受賞】**
- 1) 長澤麻沙子, 魚島勝美, 吉田恵子, 川崎真依子: 動

物実験モデルを用いたオッセオインテグレーション崩壊機序の検索. 第39回日本口腔インプラント学会学術大会ポスター賞(デンツプライ賞) 2009年9月27日

- 2) 加来 賢, 小松義広, 三品裕司, Ko Ching-Chang, 魚島勝美: 成体歯根膜における神経堤由来細胞の分布と幹細胞マーカーの発現. 第2回再生補綴医学研究会若手再生補綴医学賞 finalist 2009年11月27日

【その他】

- 1) 魚島勝美: 外国人客員研究員 Ioana Baltag (ルーマニア), 2009年10月19日~2009年12月18日

歯科矯正学分野

【論文】

- 1) Ohishi M, Harada F, Rahaman F, Saito I, Kawano Y, Nozawa-Inoue K, Maeda T: GDNF expression in terminal Schwann cells associated with the periodontal Ruffini endings of the rat incisors during regeneration. *Anat Rec* 292(8): 1185-1191, 2009.
- 2) Yahata M, Yamada K, Hayashi T, Saito I: Unilateral condylar bone deformity and slope of articular eminence related to mandibular asymmetry. *Cranio* 27(4): 261-267, 2009.
- 3) Torisu T, Yamada K, Fukui T, Yamaki M, Nakamura J, Saito I: A cross-sectional study on the relationship between craniofacial morphology and the coronoid process. *Eur J Orthod*. 31(6):613-9, 2009.
- 4) Fukushima-Shinzawa M, Kanaya T, Kaneko N, Morita S, Miyazaki H, Saito I: Availability of air powder polishing with crystalline cellulose as a prophylactic method for orthodontic patients with a multibracket appliance. *Orthodontic Waves* (in press).
- 5) Watanabe Y, Mohri T, Takeyama M, Yamaki M, Okiji T, Saito C, Saito I: Long-term observation of autotransplanted teeth with complete root formation in orthodontic patients. *Am J Orthod Dentofacial Orthop* (in press).
- 6) 寺田員人, 吉田 満, 佐野奈都貴, 齋藤 功, 宮永美知代, 故敏: コンピュータグラフィックを用いた矯正治療後の表情認知. 顎顔面バイオメカニクス学会誌 14 (1) : 1-13, 2008.
- 7) 小野和宏, 八木 稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 林 孝

文, 齋藤 功, 興地隆史, 前田健康, 山田好秋: 新潟大学歯学部歯学科の新教育課程とその評価. *新潟歯誌* 39 (1) : 29-40, 2009.

- 8) 渡辺 厚, 毛利 環, 渡邊直子, 渡邊洋平, 宮崎秀夫, 齋藤 功: 日本における Index of Orthodontic Treatment Need を用いた不正咬合の疫学調査. *Orthod Waves-Jpn Ed* 68 (3) : 142-154, 2009.
- 9) 小田陽平, 小林正治, 永井正紀, 泉 直也, 芳澤享子, 朝日藤寿一, 齋藤 功, 齊藤 力: 口蓋裂がある患者に対する上下顎移動術後の顎骨安定性について. *日口蓋誌* 34 (3) : 253-260, 2009.
- 10) 小田陽平, 小林正治, 芳澤享子, 朝日藤寿一, 齋藤功, 齊藤 力: Low-profile チタン製骨接合材の下顎枝矢状分割法における有用性. *甲北信越矯歯誌* 17 (1) : 46-51, 2009.
- 11) 小原彰浩, 寺田員人, 松原大樹, 越知佳奈子, 齋藤力, 齋藤 功: 顔面軟組織形状と歯列石膏模型の三次元データ統合精度の検討. *日顎変形誌* 19 (4) : 193-198, 2009.
- 12) 福井忠雄: 新潟大学医歯学総合病院・矯正歯科診療室における矯正用インプラントアンカー(仮称)を用いた矯正治療の現状と問題点. *甲北信越歯誌* 17 (1) : 18-21, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 齋藤 功, 渡邊直子: 咀嚼—機械的応力—に対する骨リモデリングのシミュレーションから下顎 偏位を解明する. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C), 19592348, 2009.
- 2) 原田史子: 歯根膜神経終末における新規イオンチャネルの解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手(B), 21792064, 2009.
- 3) 越知佳奈子(研究代表者): 統一モデリング言語による顎顔面非対称症例の客観的評価方法の開発とその臨床応用. 文部科学省科学研究費補助金研究若手研究(B), 19791570, 2009.
- 4) 原田史子: 歯根膜神経再生過程に出現する, 遊走シユワン細胞の役割. 平成21年度新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2009.
- 5) 越知佳奈子(研究代表者): 顎顔面領域における対称性評価システムの構築. 平成21年度新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2009.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Susami T, Asahito T, Saito I, Uchiyama T, Nishio J, Nagahama K: Current status of inter-center collaboration in Japan: 11th International Congress on Cleft Lip and Palate and Related

- Craniofacial Anomalies. Fortalenza, Brazil, 2009.9.10-12, Proceedings of 11th International Congress on Cleft Lip and Palate and Related Craniofacial Anomalies: 217-223 : 2009.
- 2) Saito I: Orthodontic remedy for adult patients with open bite and/or facial asymmetry treated with or without orthognathic surgery: 5th International Edgewise Orthodontic Congress, Xian, China, 2009.9.18-20, Program book: 20-21, 2009.
 - 3) Saito I: Clinical considerations in adult orthodontic treatment. 7th International Orthodontic Congress, Sydney, Australia, 2010.2.6-9. Programm book: 49, 2010.
 - 4) 齋藤 功, 小林正治: シンポジウム 2 「顎変形症治療ゴールのコンセンサスを求めて」, 外科的矯正治療のゴール設定にあたって配慮していること. 第 20 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会, 仙台, 2009.6.4-5, 日顎変形誌: 48-49 頁, 2009.
 - 5) 齋藤 功: コーディネーター・シンポジウム「矯正用インプラントアンカー (仮称) を用いた矯正治療の現状と問題点」. 第 24 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009 年 6 月 21 日, 抄録集: 21-27 頁, 2009.
 - 6) 福井忠雄: 新潟大学医歯学総合病院・矯正歯科診療室における矯正用インプラントアンカー (仮称) を用いた矯正治療の現状と問題点. 第 24 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009 年 6 月 21 日, 抄録集: 21-27 頁, 2009.
 - 7) 齋藤 功: 新潟大学における矯正治療のコンセプトおよび成人矯正治療の実践. 日本大学歯学部矯正歯科同門会総会・学術講演会, 東京, 2009 年 10 月 15 日.
 - 8) 齋藤 功: コーディネーター・臨床セミナー 1 「臨床セミナー 垂直的咬合異常の障害と診断および治療について」. 第 68 回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2009 年 11 月 17 日, 抄録集: 81-84 頁, 2009.
- 【学会発表】**
- 1) Ochi-Yamazoe K, Yamazoe K, Morita S, Saito, I: A new system for analyzing the dentoalveolar morphology of skeletal asymmetry. European Orthodontic Society 85th Congress, Helsinki, 2009.6.10-14, European Journal of Orthodontics 31(4): e108-e109, 2009.
 - 2) Kanayama K, Watanabe N, Takeyama M, Morita S, Yamaki M, Ishii K, Saito I: Long-term changes in the axial inclination of the upper and lower incisors. 7th International Orthodontic Congress, Sydney, Australia, 2010.2.6-9. Program book: 140, 2010.
 - 3) Ishii K, Kanayama K, Saito I: The keys to long-term stability of extraction cases. 7th International Orthodontic Congress, Sydney, Australia, 2010.2.6-9. Program book: 140, 2010.
 - 4) Nihara J, Takeyama M, Kobayashi T, Fukuda J, Muto Y, Saito C, Takagi R, Saito I: Relationship between "Clinical classification of occlusion" newly established and lateral cephalometric analysis in patients treated by two-jaw surgery. 7th International Orthodontic Congress, Sydney, Australia, 2010.2.6-9. Program book: 138, 2010.
 - 5) 篠倉千恵, 福井忠雄, 齋藤 功, 井上 誠: 骨格性下顎前突症患者における嚙下時筋活動パターンの定量的評価, 日本顎口腔機能学会第 42 回学術大会, 新潟, 2009 年 4 月 11 日, 顎機能学会, プログラム・抄録集: 29-30 頁, 2009.
 - 6) 工藤和子, 高木律男, 寺尾恵美子, 児玉泰光, 朝日藤寿一, 小野和宏, 齋藤 功: 上顎前方移動術が口蓋裂患者の鼻咽腔閉鎖機能に及ぼす影響について, 第 33 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2009 年 5 月 27-29 日, 日口蓋誌 34 (2): 199 頁, 2009.
 - 7) 吉田留巳, 朝日藤寿一, 工藤和子, 焼田裕里, 小原彰浩, 吉居朋子, 須佐美隆史, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科診療室における口唇裂・口蓋裂患者に対する歯科矯正治療に関するアンケート結果について. 第 33 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2009 年 5 月 27-29 日, 日口蓋誌 34 (2): 195 頁, 2009.
 - 8) 竹山雅規, 朝日藤寿一, 金山 潔, 大石めぐみ, 小原彰浩, 小野和宏, 齋藤 力, 高木律男, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科診療室における口唇裂・口蓋裂患者の臨床統計調査. 第 33 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2009 年 5 月 27-29, 日口蓋誌 34 (2): 221 頁, 2009.
 - 9) 小林正治, 小田陽平, 泉 直也, 芳澤享子, 朝日藤寿一, 齋藤 功, 齋藤 力: 唇顎口蓋裂患者に対する上下顎移動術後の顎骨安定性について. 第 33 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2009 年 5 月 27-29 日, 日口蓋誌 34 (2): 159 頁, 2009.
 - 10) 丹原 惇, 竹山雅規, 小林正治, 福田純一, 武藤祐一, 齋藤 力, 高木律男, 齋藤 功: 上下顎移動術施行症例における咬合状態の検討 (第 2 報) セファログラムによる歯・骨格的位置関係の分析. 第 20 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会, 仙台市, 2009 年 6 月 4-5 日, 日顎変形誌 19 (2): 101

- 頁, 2009.
- 11) 篠倉千恵, 井上 誠, 丹原 惇, 福井忠雄, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における嚙下時筋活動パターンの定量的評価. 第20回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会, 仙台市, 2009年6月4-5日, 日顎変形誌 19 (2) : 100頁, 2009.
 - 12) 小原彰浩, 寺田員人, 松原大樹, 越知佳奈子, 齋藤 功: 顔面軟組織と歯列模型の三次元統合データを応用した顔面口腔周囲軟組織形態の三次元分析法の開発. 第20回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会, 仙台市, 2009年6月4-5日, 日顎変形誌 19 (2) : 104頁, 2009.
 - 13) 宮城尚史: 下顎に3本の先天欠如歯を伴った下顎前突症例. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 57頁, 2009.
 - 14) 渡邊直子: 叢生を伴う偏位咬合. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 59頁, 2009.
 - 15) 小栗由充: 矯正用インプラントアンカー (仮称) を使用した上下顎前突症例. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 56頁, 2009.
 - 16) 福嶋牧子: 上顎中切歯の著しい唇側傾斜を伴うアングルⅡ級Ⅰ類症例. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 61頁, 2009.
 - 17) 中川麻里: 矯正用インプラントアンカー (仮称) を併用して治療を行った上顎前突症例. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 57頁, 2009.
 - 18) 渡辺 厚: アングルⅠ級上顎前突ハイアングル成人症例. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 59頁, 2009.
 - 19) 原田史子: 叢生を伴う成長期上顎前突抜歯症例. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 60頁, 2009.
 - 20) 福井忠雄: 叢生を伴う骨格性下顎前突症例. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 63頁, 2009.
 - 21) 宮城尚史, 福井忠雄, 福井華子, 齋藤 功: 顔面半側肥大症の歯科矯正学的所見. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 53頁, 2009.
 - 22) 焼田裕里, 小栗由充, 越知佳奈子, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科診療室における矯正用インプラントアンカー (仮称) の使用について. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 54頁, 2009.
 - 23) 篠倉千恵, 井上 誠, 福井忠雄, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者の嚙下時筋活動パターンについて. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2009年7月18日, プログラム・抄録集: 18頁, 2009.
 - 24) 安島久雄, 高木律男, 荒井良明, 池田順行, 嵐山貴徳, 庭野将広, 西山秀昌, 福井忠雄, 高田佳之, 桜井直樹, 川崎真依子: 新潟大学医歯学総合病院顎関節治療部における高齢者顎関節症患者に関する臨床統計的検討. 日本顎関節学会, 東京, 2009年7月25-26日, 第22回日本顎関節学会大会プログラム・抄録集: 93頁, 2009.
 - 25) 篠倉千恵, 福井忠雄, 齋藤 功, 井上 誠: 骨格性下顎前突症患者の嚙下時筋活動-骨格性下顎前突症患者の嚙下時筋活動と手術前後での変貌-. 第15回日本摂食・嚙下リハビリテーション学会, 名古屋市, 2009年8月28-30日, 抄録集: 343頁, 2009.
 - 26) 嵐山貴徳, 福田純一, 星名秀行, 宮城尚史, 齋藤 功, 高木律男: 末端肥大症に伴う下顎前突症に対して顎矯正手術を施行した1例. 第54回(社)日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌, 2009年10月9日~11日, 日口外誌 55: 230頁, 2009.
 - 27) 三瀬 泰, 森田修一, 丹原 惇, 齋藤 功: 上顎前突の治り方-矯正治療により下顎の後方回転はなぜ起こる?- 第68回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2009年11月16-18日, 第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集: 125頁, 2009.
 - 28) 朝日藤寿一, 大野葉子, 小野和宏, 小原彰浩, 工藤和子, 森田修一, 高木律男, 齋藤 功: 長期管理を行った正中唇裂の1例. 第68回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2009年11月16-18日, 第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集: 279頁, 2009.
 - 29) 渡邊洋平, 森田修一, 高橋功次朗, 八巻正樹, 齋藤 功: 口唇裂・口蓋裂患者における裂型別の永久歯先天欠如の調査. 第68回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2009年11月16-18日, 第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集: 248頁, 2009.
 - 30) 高辻華子, 森田修一, 渡邊洋平, 中川麻里, 八巻正樹, 齋藤 功: 口蓋裂単独患者における永久歯の歯数異常について. 第68回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2009年11月16-18日, 第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集: 248頁, 2009.
 - 31) 丹原 惇, 竹山雅規, 小林正治, 福田純一, 武藤祐一, 齋藤 力, 高木律男, 齋藤 功: 上下顎移動術施行症例における咬合分類と側面セファログラム分析の関連. 第68回日本矯正歯科学会大会, 福岡,

2009年11月16-18日, 第68回日本矯正科学会大会プログラム・抄録集: 214頁, 2009.

- 32) 原田史子, 福井忠雄, 澤田美穂, 杉山尚道, 齋藤 功, 齋藤 功: 上顎中切歯の短根に配慮し上下顎前歯部歯槽骨切り術とオトガイ形成術を併用した上下顎前突症例. 第68回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2009年11月16-18日, 第68回日本矯正科学会大会プログラム・抄録集: 268頁, 2009.
- 33) 金山 潔, 渡邊直子, 森田修一, 竹山雅規, 八巻正樹, 齋藤 功: 矯正治療終了後の咬合状態の長期的変化第2報-上下前歯部歯軸の長期的変化-. 第68回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2009年11月16-18日, 第68回日本矯正科学会大会プログラム・抄録集: 242頁, 2009.
- 34) Rahman F, 原田史子, 河野芳朗, 大石めぐみ, 齋藤 功, 前田健康: Expression of ASIC3 in the Periodontal Ruffini Endings. 第115回日本解剖学会総会・全国学術集会, 岩手, 2010年3月28-30日, 解剖学雑誌 第115回総会・全国学術集会抄録号: 145頁, 2010.

【研究会発表】

- 1) 竹山雅規, 中村順一: シンポジウム「High angle case でみられる下顎の時計方向の回転は生理的な方向の変化なのか?」, High angle case についての文献的考察. 第31回与五沢矯正研究会, 東京, 2009年4月20-21日, 31th 与五沢矯正研究会 抄録: 3頁, 2009.
- 2) 森田修一: シンポジウム「High angle case でみられる下顎の時計方向の回転は生理的な方向の変化なのか?」, High angle case について考える. 第31回与五沢矯正研究会, 東京, 2009年4月20-21日, 31th 与五沢矯正研究会 抄録: 7頁, 2009

【その他】

- 1) 齋藤 功: 成人矯正治療および限局矯正(いわゆるMTM)について. 新潟大学大学院・生体歯科補綴学分野・特別講演, 新潟大学, 2009年9月7日.
- 2) Saito I: Open bite and/or diverted bite treated orthodontically with or without orthognathic surgery. ロシア歯科医師講習会, 新潟大学, 2009年5月13日.
- 3) 宮城 尚史: CHARGEと歯科矯正について. CHARGE夏の集い2009, 新潟, 2009年7月25日.

【論文】

- 1) Kubota N, Hayasaki H, Saitoh I, Iwase Y, Maruyama T, Inada E, Hasegawa H, Yamada C, Takemoto Y, Matsumoto Y, Yamasaki Y: Jaw motion during gum-chewing in children with primary dentition. *Cranio* 28(1): 19-29, 2010.
- 2) Tokutomi J, Hayasaki H, Saitoh I, Iwase Y, Fukami A, Yamada C, Takemoto Y, Inada E, Yamasaki Y: Mandibular open-close motion in children with anterior crossbite occlusion. *Cranio* 28(1): 10-18, 2010.
- 3) Saitoh I, Yamada C, Hayasaki H, Maruyama T, Iwase Y, Yamasaki Y: Is the reverse cycle during chewing abnormal in children with primary dentition? *J Oral Rehabil* 37(1): 26-33, 2010.
- 4) Matsuyama J, Sato T, Abiko Y, Kato K, Hoshino E: Real-time PCR analysis of cariogenic bacteria in supragingival plaque biofilm microflora on caries lesions of children. In: *Interface Oral Health Science 2009, Proceeding*, Springer, New York, 271-272, 2010.
- 5) Sato T, Hoshikawa Y, Kondo T, Hashimoto K, Abiko Y, Hasegawa A, Matsuyama J, Takahashi N: Involvement of cough reflex impairment and silent aspiration of oral bacteria in postoperative pneumonia: A model of aspiration pneumonia. In: *Interface Oral Health Science 2009, Proceeding*, Springer, New York, 273-274, 2010.
- 6) Thaweboon B, Laohapand P, Amornchat C, Matsuyama J, Sato T, Nunez PP, Uematsu H, Hoshino E: Host β -globin-gene fragments of crevicular fluid as a biomarker in periodontal health and disease. *J Periodontal Res* 45(1): 38-44, 2010.
- 7) Iizawa F, Kinjoh N, Taguchi Y: Regional odontodysplasia: Long-term observation of a case on the mandibular left side. *Ped Dent J* 20(1): 103-109, 2010.
- 8) Kawasaki K, Matsuyama J, Taguchi Y, Mitomi T: Cross-sectional analysis of age-related changes in the fluctuation of bite size. *Ped Dent J* 20(1), 22-27, 2010.
- 9) Ishibasi O, Takizawa F, Yoshizawa T, Moksed AM, Iizawa F, Mera H, Kawashima H: Endoglin is involved in BMP-2-induced osteogenic differentiation of periodontal ligament cells

- through the pathway independent of Smad1/5/8, Runx2 and Osterix. *J Cell Physiol* 222(2): 465-473, 2010.
- 10) Iwasaki T, Hayasaki H, Takemoto Y, Kanomi R, Yamasaki Y: Oropharyngeal airway in children with Class III malocclusion evaluated by cone-beam computed tomography. *Am J Orthod Dentofacial Orthop* 136(3): 318.e1-9, 2009.
 - 11) Hayasaki H, Ishibashi M, Nakamura S, Fukumoto S, Nonaka K: Dentigerous cyst in primary dentition: case report of a 4-year-old girl. *Pediatr Dent* 31(4): 294-297, 2009.
 - 12) Inada E, Saitoh I, Hayasaki H, Iwase Y, Kubota N, Tokemoto Y, Yamada C, Yamasaki Y: Relationship of nasal and skeletal landmarks in lateral cephalograms of preschool children. *Forensic Sci Int* 191(1-3): 111.e1-4, 2009.
 - 13) Saitoh I, Hayasaki H, Inada E, Maruyama T, Takemoto Y, Yamasaki Y: Overlap of the primary dentition in children. *J Clin Pediatr Dent* 33(3): 269-273, 2009.
 - 14) Sasaki Y, Satoh K, Hayasaki H, Fukumoto S, Fujiwara T, Nonaka K: The P561T polymorphism of the growth hormone receptor gene has an inhibitory effect on mandibular growth in young children. *Eur J Orthod* 31(5): 536-541, 2009.
 - 15) Sabashi K, Saitoh I, Hayasaki H, Iwase Y, Kondo S, Inada E, Takemoto Y, Yamada C, Yamasaki Y: A cross-sectional study of developing resting masseter activity in different angle classifications in adolescence. *Cranio* 27(1): 39-45, 2009.
 - 16) Taguchi Y, Hayashi-Sakai S, Iizawa F, Numa-Kinjoh N: Classification of maxillary canine transpositions in Japanese children: a report of 10 cases. *Ped Dent J* 19(1): 136-144, 2009.
 - 17) Hayashi-Sakai S, Taguchi Y: The early treatment of unusual sever ectopic eruption of the bilateral maxillary canines in a young Japanese girl: a case report. *Ped Dent J* 19(1): 112-116, 2009.
 - 18) Unno H, Suzuki H, Nakakura-Ohshima K, Jung HS, Ohshima H: Pulpal regeneration following allogenic tooth transplantation into mouse maxilla. *Anat Rec* 292(4): 570-579, 2009.
 - 19) 岩崎智憲, 早崎治明, 嘉ノ海龍三, 齊藤一誠, 山崎要一: 上気道流体シミュレーションからみた通気状態が顎顔面形態に及ぼす歯科的影響. *小児耳鼻咽喉科*, 30 (1) : 5-9, 2009.
 - 20) 重田浩樹, 岩崎智憲, 齊藤一誠, 早崎治明, 山崎要一: 逆生埋伏した上顎右側中切歯の鼻側に埋伏過剰歯を有する症例の歯列咬合管理. *小児歯誌*, 47 (1) :111-118, 2009.
 - 21) 早崎治明: 下顎滑走運動. *鹿児島大学歯学部紀要*, 29:57-65,2009.
 - 22) 西嶋憲博, 深水 篤, 稲田絵美, 長谷川大子, 齊藤陽子, 井形紀子, 奥 猛志, 齊藤一誠, 早崎治明, 山崎要一: 幼児期の顔面軟組織の三次元形態解析 1. 直行座標系検討. *小児歯誌*, 47 (5) : 719-725, 2010.
 - 23) 西嶋奈緒美, 深水 篤, 岩崎智憲, 武元嘉彦, 窪田直子, 稲田絵美, 井形紀子, 奥 猛志, 齊藤一誠, 早崎治明, 山崎要一: 幼児期の顔面軟組織の三次元形態解析 2. 幅径と高径について. *小児歯誌*, 47(5): 726-731, 2010.
 - 24) 一般社団法人 日本小児歯科学会学術委員会, 山崎要一, 岩崎智憲, 早崎治明, 齊藤一誠, 徳富順子, 八若保孝, 井上美津子, 朝田芳信, 田村康夫, 嘉ノ海龍三, 牧 憲司, 吉原俊博, 船津敬弘, 手島陽子, 上里千夏, 山下一恵, 井出正道, 栗山千裕, 近藤亜子, 嘉藤幹夫, 渡邊京子, 藤田優子, 長谷川大子, 稲田絵美: 日本人小児の永久歯先天性欠如に関する疫学調査. *小児歯誌*, 48 (1) :29-39, 2010.
 - 25) 津田 高, 飯澤二葉子, 三富智恵, 田口 洋: 上顎中切歯に発生した良性セメント芽細胞腫. *小児歯誌*, 47 (1) : 119-124, 2009.
 - 26) 高木純一郎, 佐野富子, 三富智恵, 田口 洋: 歯胚の方向異常による下顎第二小臼歯萌出障害の臨床的検討. *小児歯誌*, 47 (3) : 433-441, 2009.
 - 27) 福島伸一, 野口真紀子, 野田 忠, 田口 洋: 知的障害者の歯科診療に対する適応性の長期的変化. *小児歯誌*, 47 (3) : 453-459, 2009.
 - 28) 川崎勝盛: 小児の成長に伴う一口量とばらつきの変化に関する研究. *新潟歯誌*, 39 : 69-70, 2009.
 - 29) 田口 洋: 萌出障害の臨床 - 上顎中切歯と上顎犬歯 - (総説). *小児歯誌*, 47 (5) : 673-682, 2009.
 - 30) 細川由佳, 松山順子, 田口 洋: 後継永久歯の位置異常を伴う下顎乳臼歯埋伏の1例. *小児歯誌*, 47(5): 773-779, 2009.
 - 31) 大島邦子: 障害者の歯科診療—疾患特性と必要な配慮について. *全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会誌*, 19 (3) : 6-10, 2009.
- 【商業誌】**
- 1) 大島勇人, 高森泰彦, 鈴木啓展, 大島邦子, Jung HS, Cho SW, Cai J: 今月の表紙: 歯髄分化能の最近の知見. *日本歯科評論* 69 (1) : 47-48, 2009.
 - 2) 川崎勝盛, 松山順子, 三富智恵, 佐野富子, 田口 洋:

摂食嚥下機能の発達：一口量の識別能は思春期初期に成熟する。「歯界展望」特別号 めざせ！健・口・美 未来に向けた歯科医療 第21回日本歯科医学会総会, 270, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 田口 洋, 坂井幸子 (林 幸子): 小児の萌出障害に対する EBM に基づいた包括的治療指針策定に関する研究. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 20592395, 2009.
- 2) 大島邦子: 歯胚他家移植実験の確立と BrdU ラベリング法による歯の形成過程における組織幹細胞の役割の解明. 新潟大学プロジェクト推進経費, 2009.
- 3) 大島邦子, 大島勇人: 歯の他家移植治療法の基盤となる歯根膜細胞の分化誘導法の確立, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 20592394, 2009.
- 4) 松山順子: 小児歯垢バイオフィルムの細菌動態変化の基礎的解明と齲蝕予防のための指標化. 新潟大学プロジェクト推進経費, 2009.
- 5) 松山順子: オーダーメイド齲蝕予防のための, 小児バイオフィルム内の細菌動態の解明. 平成 21 年度科学研究費補助金応募支援プログラム経費, 2009.
- 6) 松山順子: 小児の成長発育に伴う一口量と咀嚼回数の変化に関する研究. やずや食と健康助成研究, 2009 年.
- 7) 佐藤拓一, 島内英俊, 高橋信博, 八巻恵子, 真柳 弦, 松山順子: 歯内療法にフィードバック可能な, 新たな感染根管微生物学的評価法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 20592220, 2009.
- 8) 佐野富子: 心身障害児・者の心理的ストレス定量化による歯科的対応法への提言. 平成 21 年度科学研究費補助金応募支援プログラム経費, 2009.
- 9) 富沢美恵子, 佐野富子, 鈴木 昭: 歯科検診を応用した施設入所被虐待児のセルフ・エスティーム啓発プログラム. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 20592396, 2009.
- 10) 河野承子: 咬合性外傷におけるセメント芽細胞と束状骨形成細胞の動態. 新潟大学プロジェクト推進経費, 2009.
- 11) 河野承子: 水チャンネルを指標にした歯槽骨形成過程の解明. 平成 21 年度科学研究費補助金応募支援プログラム経費, 2009.
- 12) 坂井幸子 (林 幸子): IM 法による破壊様式と定量解析を併用した超微小領域エナメル質の力学的特性評価, 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 20791571, 2009.
- 13) 坂井幸子: 改良 Knoop indentation 法を用いた象牙質力学的応答による臨床的意義の探究, 新潟大学プロジェクト推進経費, 2009.
- 14) 飯澤二葉子: 萌出中の歯の歯根膜における歯根膜線維芽細胞の特異的分子制御メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費助成金, 若手研究 (B), 20397144, 2009.
- 15) 沼奈津子: 歯限局型低ホスファターゼ症における分子・酵素レベルでの病態解析. 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 21792065, 2009.
- 16) 川崎勝盛: 食物摂取時における一口量調節因子の成長発育変化. 財団法人富徳会 2009 年度研究者助成金. 2009.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 田口 洋: 萌出障害の臨床－上顎中切歯と上顎犬歯－. 第 47 回日本小児歯科学会大会臨床講演, 吹田市, 2009 年 5 月 14 日.
- 2) 田口 洋: 新ガイドラインに沿った外傷歯の処置. 平成 21 年度日本小児歯科学会専門医セミナー「ベリックコース」, 仙台市, 2009 年 6 月 21 日.
- 3) 大島邦子: 障害者の歯科診療－疾患特性と必要な配慮について. 全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技術研修会 教育講演. 新潟市, 2009 年 6 月 27 日, 全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会会誌, 19 (2): 6, 2009.
- 4) 松山順子: 乳幼児期からのむし歯予防と治療, 新潟大学歯学総合病院口蓋裂診療班, 平成 21 年度第 2 回母親教室, 新潟市, 2009 年 7 月 28 日.
- 5) 田口 洋: 食育の基礎となる小児期の口腔の健康－歯の生え方・歯並びの異常, 歯のケガを中心に－. 平成 21 年度新潟県上越地域歯科保健研修会, 上越市, 2009 年 8 月 18 日.
- 6) 田口 洋: 子どもの食べる機能の基礎づくり. 平成 21 年度新潟県魚沼圏地域歯科保健研修会, 十日町市, 2009 年 9 月 30 日.
- 7) 田口 洋: 歯ッピーライフのための食育－ウソ? とホント－. 平成 21 年度新潟県佐渡地域歯科保健研修会「歯ッピー食育研修会」, 佐渡市, 2009 年 11 月 16 日.
- 8) 松山順子: 乳幼児期の口腔機能の発達と指導のポイント, 平成 21 年度新潟市歯科保健事業従事者研修会 (白根地区), 新潟市, 2009 年 11 月 26 日.
- 9) 松山順子: 乳幼児期の口腔機能の発達と指導のポイント, 平成 21 年度新潟市歯科保健事業従事者研修会 (豊栄地区), 新潟市, 2009 年 12 月 3 日.

【学会発表】

- 1) 田口 洋, 林-坂井幸子, 飯澤二葉子, 金城奈津子, 津田 高: 日本人小児における埋伏上顎犬歯による切歯の歯根吸収. 第47回日本小児歯科学会大会, 大阪, 2009年5月14日-15日, 小児歯誌, 47(2): 412, 2009.
- 2) 大島邦子, 飯澤二葉子, 金城奈津子, 田口 洋: 当院小児歯科外来における最近5年間の障害者歯科に関する実態調査. 第47回日本小児歯科学会大会, 大阪, 2009年5月14日-15日, 小児歯誌, 47(2): 288, 2009.
- 3) 松山順子, 細川由佳, 田口 洋: 下顎第二乳臼歯の萌出障害に関する検討. 第47回日本小児歯科学会大会, 大阪, 2009年5月14日-15日, 小児歯誌 47(2): 215, 2009.
- 4) 津田 高, 林-坂井幸子, 金城奈津子, 田口 洋: 上顎中切歯埋伏の2例-先行乳歯抜去による萌出方向の改善-. 第47回日本小児歯科学会大会, 大阪, 2009年5月14日-15日, 小児歯誌, 47(2): 256, 2009.
- 5) 細川由佳, 松山順子, 田口 洋: 上顎第二乳臼歯萌出障害の臨床的検討. 第47回日本小児歯科学会大会, 大阪, 2009年5月14日-15日, 小児歯誌, 47(2): 255, 2009.
- 6) 石川裕子, 依田浩子, 大島邦子, 本田雅規, 大島勇人: マウス臼歯発生過程における歯髓組織幹細胞の局在. 第51回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2009年9月10日, 歯科基礎医学会雑誌 51 (Suppl): 75, 2009.
- 7) 松山順子, 安彦友希, 佐藤拓一: 小児のう蝕歯面上のプラークバイオフィルム細菌叢構成細菌の定量的解析. 第51回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2009年9月9日-11日, 歯科基礎誌 51 (Suppl): 130, 2009.
- 8) 河野芳朗, 河野承子, 鈴木晶子, 井上-野澤佳世子, 泉 健二, 前田健康: 歯胚中間層における67kDLaminin receptor (67LR) の発現: 星状網における血管形成との相関. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009年9月9日-11日, 歯科基礎誌 51 (Suppl): 73, 2009.
- 9) 小林英樹, 田口 洋, 松山順子, 三富智恵, 佐野富子, 川崎勝盛: 学校給食に関する咀嚼の検討-麺類, 米飯類, パン類の違い-. 第27回日本小児歯科学会北日本地方会大会および総会, 石巻, 2009年10月21日, 小児歯誌, 48(1): 112, 2010.
- 10) 飯澤二葉子, 金城奈津子, 田口 洋: 下顎第二乳臼歯の萌出遅延を伴った後継歯位置異常の一例. 第27回日本小児歯科学会北日本地方会大会および総

会, 石巻, 2009年10月21日, 小児歯誌, 48(1): 114, 2010.

- 11) 安島久雄, 小野和宏, 井上 誠, 山村健介, 高木律男, 藤井規孝, 齋藤 功, 魚島勝美, 興地隆史, 前田健康, 松山順子, 田中 礼, 小田陽平, 島田靖子: 新潟大学歯学部における教員研修 (FD) の概要と今後の方向性. 第28回日本歯科医学教育学会総会, 広島, 2009年11月6日-7日, 2009.
- 12) 小林英樹, 田口 洋, 松山順子, 三富智恵, 佐野富子, 川崎勝盛: 学校給食による咀嚼パラメーターの比較検討. 平成21年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2009年11月21日, 新潟歯学会誌, 39(2): 213, 2009.
- 13) 竹内優美子, 松山順子, 川崎勝盛, 三富智恵, 佐野富子, 田口 洋: 小児の一口量と前歯部萌出状態との関連性. 平成21年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2009年11月21日, 新潟歯学会誌, 39(2): 214, 2009.
- 14) 富沢美恵子, 佐野富子, 津田 高, 當摩紗衣, 南部友貴, 鈴木 昭: 施設入所被虐待児のセルフ・エスティームと歯科的関与の有用性について. 日本子ども虐待防止学会第15回学術集会埼玉大会, 埼玉, 2009年11月27日-28日.
- 15) 河野芳朗, 木下-河野承子, 鈴木晶子, 野澤-井上佳世子, 前田健康: ラット切歯におけるセメント芽細胞の運命. 第115回日本解剖学会総会・全国学術集会, 岩手, 2010年3月28日-30日, 解剖学会雑誌, 85 (Suppl): 145, 2010.

【研究会発表】

- 1) 川崎勝盛, 松山順子, 三富智恵, 佐野富子, 田口 洋: 小児の成長にともなう一口量摂取機能の発達. 第48回新潟県小児保健研究会-こどもの健康週間-, 新潟, 2009年11月13日.

【受賞】

- 1) 田口 洋: Classification of maxillary canine transpositions in Japanese children: A case report of 10 cases, 日本小児歯科学会 平成21年度 Ped Dent J 優秀論文賞, 2009年3月31日.

【その他】

- 1) 田口 洋: 『食べる』の科学. 平成21年度新潟大学G-コード科目「新潟発『食べる』」, 新潟大学, 2009年4月10日.
- 2) 大島邦子: 「食べる」ことと口の健康. 平成21年度新潟大学G-コード科目「新潟発『食べる』」, 新潟大学, 2009年4月24日.

- 3) 田口 洋:「哺乳」,「離乳」そして「食べる」へ. 平成 21 年度新潟大学 G-コード科目「新潟発『食べる』」, 新潟大学, 2009 年 6 月 5 日.
 - 4) 田口 洋:『食べる』まとめ. 平成 21 年度新潟大学 G-コード科目「新潟発『食べる』」, 新潟大学, 2009 年 7 月 24 日.
 - 5) 田口 洋:成育医療としての小児歯科を考える. 平成 21 年度第 2 回新潟大学医歯学総合病院歯科衛生士研修会, 新潟, 2009 年 10 月 2 日.
 - 6) 田口 洋:日本人小児の口の機能発達と病気. 平成 21 年度日本事情自然系 B (留学生), 新潟大学, 2009 年 10 月 28 日.
 - 7) 大島邦子:自閉症患者の歯科治療. 平成 21 年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟, 2009 年 10 月 28 日.
 - 8) 田口 洋:歯の萌出障害の臨床. 平成 21 年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟, 2009 年 11 月 4 日.
 - 9) 三富智恵:歯科講話. 新潟大学附属中学校, 新潟, 2009 年 11 月 17 日.
 - 10) 三富智恵:歯科講話. 新潟大学附属小学校, 新潟, 2009 年 11 月 18 日.
- 2009.
 - 4) 小野和宏, 八木 稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 林 孝文, 齋藤 功, 興地隆史, 前田健康, 山田好秋:新潟大学歯学部歯学科の新教育課程とその評価. 新潟歯学会雑誌 39 (1):29-40, 2009.
 - 5) 外丸雅晴, 林 孝文, 新垣 晋, 齊藤 力:携帯型超音波診断装置による口腔癌頸部リンパ節転移の診断精度. 日口外誌 55 (8):408-414, 2009.
 - 6) 勝良剛詞, 後藤早苗, 笹井啓資, 佐藤克郎, 富田雅彦, 松山 洋, 林 孝文:頭頸部放射線治療後の歯科的健康状態維持における歯科管理の効果. 頭頸部癌 35 (3):262-272, 2009.
 - 7) 星名由紀子, 林 孝文, 新垣 晋, 齊藤 力:舌癌症例における口底部の介在リンパ節転移の画像診断学的検討. 口腔腫瘍 22 (1):25-36, 2010.
 - 8) 林 孝文, 佐野 司, 庄司憲明, 末永重明, 田口 明, 筑井 徹, 中山英二, 村上秀明, 小林 馨, 西山秀昌:平成 19 年度採択プロジェクト研究 A. 顎関節症の診療ガイドラインに関するプロジェクト研究 顎関節症の画像診断ガイドラインの策定. 日歯医学会誌 29:57-61, 2010.

顎顔面放射線学分野

【著書】

- 1) 出雲俊之, 有地榮一郎, 大関 悟, 岡田憲彦, 岡部貞夫, 岡崎雄一郎, 小村 健, 桐田忠昭, 草間幹夫, 佐藤 徹, 篠原正徳, 下郷和雄, 新谷 悟, 田中陽一, 中山英二, 林 孝文, 宮崎晃亘, 柳下寿郎, 山根正之. 日本口腔腫瘍学会編. 口腔癌取扱い規約[第 1 版], 金原出版, 東京, 2010 年.

【論文】

- 1) Yahata M, Yamada K, Hayashi T, Saito I: Unilateral condylar bone deformity and slope of articular eminence related to mandibular asymmetry. *Cranio* 27(4):261-267, 2009.
- 2) Kodama Y, Fukuda J, Watanabe N, Nishiyama H, Ono K, Saito I, Hayashi T, Takagi R: Correction of mandibular asymmetry due to hemifacial microsomia using a custom-made implant. *Asian J Oral Maxillofac Surg*20: 204-208, 2009.
- 3) 出雲俊之, 大関 悟, 岡田憲彦, 岡部貞夫, 岡崎雄一郎, 桐田忠昭, 草間幹夫, 佐藤 徹, 篠原正徳, 新谷 悟, 田中陽一, 中山英二, 林 孝文, 宮崎晃亘, 柳下寿郎, 山根正之:上顎歯肉癌・硬口蓋癌取扱い指針 ワーキング・グループ案 (第 1 版). 日本口腔腫瘍学会学術委員会「口腔癌取扱い指針」ワーキング・グループ編. *口腔腫瘍* 21 (2):71-121,

【商業誌】

- 1) 林 孝文:シリーズ・身近な臨床・これからの歯科医のための臨床講座⑰ これからの歯科臨床における画像診断の活用～一般歯科臨床における CT・MRI・超音波診断活用の Tips [秘訣]. *日本歯科医師会雑誌* 62 (8):809-817, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 齋藤美紀子:CT リンパグラフィを応用した高リスクリンパ節に重点をおいた画像診断の考案. 科学研究費補助金 若手研究 (B), 1968327, 2009.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 林 孝文, 田中 礼:ミニシンポジウム「顎顔面骨折新分類の試み－CT 診断からみた中顔面骨折－」. 第 63 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 浜松市, 2009 年 4 月 16-17 日, 同学術集会プログラム・抄録集:130 頁, 2009.
- 2) 林 孝文:ワークショップ 2 口腔癌取扱い指針－臨床所見記載のための画像診断－. 第 28 回口腔腫瘍学会総会・学術大会, 東京, 2010 年 1 月 28-29 日, 同学術大会・抄録:85 頁, 2009.

【学会発表】

- 1) 田中 礼, 林 孝文:上顎神経前上歯槽管の CT 解剖－肉眼解剖および組織標本との対比－. 第 63 回

- NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 浜松市, 2009年4月16-17日, 同学術集会プログラム・抄録集: 227頁, 2009.
- 2) 西山秀昌, 新国 農, 田中 礼, 林 孝文: コーンビーム CT の画素値に影響を及ぼす因子について. NPO 法人日本歯科放射線学会第 50 回記念学術大会, 大阪市, 2009年5月28-30日, 歯科放射線 49 (4) :61頁, 2009.
 - 3) 勝又明敏, 西山秀昌, 香川豊宏, 四井資隆, 泉 雅浩, 佐野 司, 岡野友宏: 日本歯科放射線学会 50 周年記念の広報事業. NPO 法人日本歯科放射線学会第 50 回記念学術大会, 大阪市, 2009年5月28-30日, 歯科放射線 49 (4) :61頁, 2009.
 - 4) 勝良剛詞, 池真樹子, 新国 農, 斎藤美紀子, 田中礼, 小山純市, 西山秀昌, 林 孝文: 口蓋部に発症した Benign lymphoepithelial lesion の 2 例. NPO 法人日本歯科放射線学会第 209 回関東地方会第 29 回北日本地方会第 17 回合同地方会, 横浜市, 2009年7月11日, 歯科放射線 49 (4) :94頁, 2009.
 - 5) 斎藤美紀子, 池真樹子, 新国 農, 田中 礼, 小山純市, 勝良剛詞, 西山秀昌, 加藤健介, 高田佳之, 新垣 晋, 林 孝文: 下顎に発症したサルコイドーシスの 1 例. NPO 法人日本歯科放射線学会第 209 回関東地方会第 29 回北日本地方会第 17 回合同地方会, 横浜市, 2009年7月11日, 歯科放射線 49 (4) :97頁, 2009.
 - 6) 新国 農, 西山秀昌, 林 孝文: T2 カラーマッピングにて咀嚼筋に異常がみられた顎関節症患者の 1 例. NPO 法人日本歯科放射線学会第 209 回関東地方会第 29 回北日本地方会第 17 回合同地方会, 横浜市, 2009年7月11日, 歯科放射線 49 (4) :98頁, 2009.
 - 7) 田中 礼, 池真樹子, 斎藤美紀子, 稲川正一, 藤田一, 林 孝文: 顎関節部の炎症を伴ったビスフォスフォネート関連顎骨壊死が疑われる 1 例. NPO 法人日本歯科放射線学会第 209 回関東地方会第 29 回北日本地方会第 17 回合同地方会, 横浜市, 2009年7月11日, 歯科放射線 49 (4) :99頁, 2009.
 - 8) 櫻井直樹, 昆はるか, 林 孝文, 西山秀昌, 小山純市, 田中 礼: 自立している高齢者の顎関節症症状の発現について. 第 22 回日本顎関節学会総会・学術大会・第 14 回日本口腔顔面痛学会総会・学術大会, 東京, 2009年7月25-26日, 同学術大会プログラム・抄録集: 29頁, 2009.
 - 9) 嵐山貴徳, 高木律男, 星名秀行, 安島久雄, 池田順行, 庭野 将広, 高山裕司, 田中 礼, 林 孝文: 下顎頭縦骨折の臨床的検討一下顎頸部骨折との比較. 第 22 回日本顎関節学会総会・学術大会・第 14 回日本口腔顔面痛学会総会・学術大会, 東京, 2009年7月25-26日, 同学術大会プログラム・抄録集: 40頁, 2009.
 - 10) 林 孝文, 佐野 司, 庄司憲明, 末永重明, 田口 明, 筑井 徹, 中山英二, 村上秀明, 小林 馨, 西山秀昌: 顎関節症の画像診断ガイドラインの策定. 第 22 回日本顎関節学会総会・学術大会・第 14 回日本口腔顔面痛学会総会・学術大会, 東京, 2009年7月25-26日, 同学術大会プログラム・抄録集: 45頁, 2009.
 - 11) 林 孝文, 池真樹子, 新国 農, 斎藤美紀子, 田中礼, 勝良剛詞: 舌粘膜の口腔内超音波診断のための画像解剖. NPO 法人日本歯科放射線学会第 14 回臨床画像大会, 札幌市, 2009年10月24-25日, 同大会プログラム・抄録集: 30頁, 2009.
 - 12) 新国 農, 西山秀昌, 林 孝文: T2 カラーマッピングを用いた顎関節症における咀嚼筋の評価. NPO 法人日本歯科放射線学会第 14 回臨床画像大会, 札幌市, 2009年10月24-25日, 同大会プログラム・抄録集: 37頁, 2009.
 - 13) 勝良剛詞, 斎藤美紀子, 新垣 晋, 高木律男, 林 孝文: 口腔癌治療後の顎動脈狭窄症のリスクファクター. NPO 法人日本歯科放射線学会第 14 回臨床画像大会, 札幌市, 2009年10月24-25日, 同大会プログラム・抄録集: 50頁, 2009.
 - 14) 林 孝文, 佐野 司, 庄司憲明, 末永重明, 田口 明, 筑井 徹, 中山英二, 村上秀明, 小林 馨, 西山秀昌: 顎関節症の画像診断ガイドラインの策定について. NPO 法人日本歯科放射線学会第 14 回臨床画像大会, 札幌市, 2009年10月24-25日, 同大会プログラム・抄録集: 52頁, 2009.
 - 15) 小山純市, 西山秀昌, 勝良剛詞, 斎藤美紀子, 池真樹子, 田中 礼, 新国 農, 林 孝文: サイナスリフト術前, 術後の CT 画像による検討 (ドナーサイト間での比較). NPO 法人日本歯科放射線学会第 14 回臨床画像大会, 札幌市, 2009年10月24-25日, 同大会プログラム・抄録集: 56頁, 2009.
 - 16) 田中 礼, 高井貞浩, 池真樹子, 林 孝文: 顎変形症患者における咽頭気道形態の三次元 CT 評価. NPO 法人日本歯科放射線学会第 14 回臨床画像大会, 札幌市, 2009年10月24-25日, 同大会プログラム・抄録集: 57頁, 2009.
 - 17) 池真樹子, 林 孝文, 西山秀昌, 田中 礼, 小山純市, 斎藤美紀子, 勝良剛詞, 新国 農, 高木律男, 小林孝憲, 朔 敬, 丸山 智: 下顎に生じた Ameloblastic carcinoma の一例. NPO 法人日本歯科放射線学会第 14 回臨床画像大会, 札幌市, 2009年10月24-25日, 同大会プログラム・抄録集: 43頁, 2009.

- 18) 斎藤美紀子, 西山秀昌, 林 孝文: 当施設における cN0 舌癌症例の CT lymphography の経験 - 外側舌リンパ節がセンチネルリンパ節として描出された 1 例 -. NPO 法人日本歯科放射線学会第 14 回臨床画像大会, 札幌市, 2009 年 10 月 24-25 日, 同大会プログラム・抄録集: 44 頁, 2009.
- 19) 勝良剛詞, 斎藤美紀子, 高木律男, 林 孝文: 頸部放射線治療は頸動脈狭窄のリスクファクターとして考慮する必要がある. 第 28 回口腔腫瘍学会総会・学術大会, 東京, 2010 年 1 月 28-29 日, 同学術大会・抄録: 134 頁, 2009.
- 20) 斎藤美紀子, 西山秀昌, 小田陽平, 新垣 晋, 星名秀行, 藤田 一, 林 孝文: 外側舌リンパ節がセンチネルリンパ節として描出された 1 例. 第 28 回口腔腫瘍学会総会・学術大会, 東京, 2010 年 1 月 28-29 日, 同学術大会・抄録: 157 頁, 2009.

【研究会発表】

- 1) 勝良剛詞: Sjögren 症候群と Sjögren 症候群以外の口腔乾燥症の唾液腺超音波所見. 新潟ドライマウス学術講演会, 新潟市, 2010 年 2 月 18 日.

【受賞】

- 1) 平 周三, 新国 農, 林 孝文, 星名秀行, 新垣 晋: 口腔癌の頸部リンパ節転移の診断における組織弾性イメージング (Real-time Tissue Elastography (R)) の有用性. 平成 20 年日本頭頸部癌学会 優秀論文賞, 第 33 回日本頭頸部癌学会, 2009 年 6 月 11 日.

【その他】

- 1) 林 孝文, 田中 礼: ビスフォスフォネート関連顎骨壊死 (BRONJ) - BP 製剤使用患者への安全な歯科処置を行うために - BRONJ に特徴的な画像所見は何か? -. 平成 21 年度新潟大学歯学部同窓会セミナー II, 新潟市, 2009 年 11 月 29 日.

摂食・嚥下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 井上 誠: 1) 口腔とは (4) においの感覚総論. 口腔からみた全身との関わり (鴨井久一編), 86-8 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 2) 小野高裕, 堀 一浩: 顎顔面補綴. 口腔外科学 第 3 版 (白砂金光編), 578-88 頁, 医歯薬出版, 東京, 2010.

【論文】

- 1) Tamine K, Ono T, Hori K, Kondoh J,

- Hamanaka S, Maeda Y: Age-related changes in tongue pressure during swallowing. J Dent Res, in press, 2010.
- 2) Ichikawa K, Sakuma S, Yoshihara A, Miyazaki H, Funayama S, Ito K, Igarashi A: Relationships between amount of saliva and medications in elderly individuals (79 ~ 80 years old). Gerodontology, in press, 2010.
- 3) Higashi K, Yoshida M, Igarashi A, Ito K, Wada Y, Murakami S, Kobayashi D, Nakano M, Sohda M, Nakajima T, Narita I, Toida T, Kashiwagi K, Igarashi K: Intense correlation between protein-conjugated acrolein and primary Sjögren's syndrome. Clin Chim Acta 411(5-6):359-63, 2010.
- 4) Ono T, Hori K, Masuda Y, Hayashi T: Recent advances in sensing oropharyngeal swallowing function in Japan. Sensors 10: 176-202, 2010.
- 5) Hasegawa Y, Ono T, Sakagami J, Hori K, Maeda Y, Hamasaki T, Nokubi T: Influence of voluntary control of masticatory side and rhythm on cerebral hemodynamics. Clin Oral, in press, 2009.
- 6) Hasegawa Y, Sakagami J, Ono T, Hori K, Zhang M, Maeda Y: Circulatory response and autonomic nervous activity during gum chewing. Eur J Oral Sci 117(4): 470-3, 2009.
- 7) Ono T, Iwata H, Hori K, Tamine K, Kondoh J, Hamanaka S, Maeda Y: Evaluation of tongue-jaw-swallow related muscle coordination during voluntarily triggered swallow. Int J Prosthodont 22(4): 493-8, 2009.
- 8) Ono T, Hori K, Maeda Y: Evaluation of tongue motor biomechanics during swallowing / from oral feeding models to quantitative sensing methods. Jpn Dent Sci Rev 45(2): 65-74, 2009.
- 9) Hori K, Ono T, Tamine K, Kondo J, Hamanaka S, Maeda Y, Dong J, Hatsuda M: Newly developed sensor sheet for measuring tongue pressure during swallowing. J Prosthodontic Res 53: 28-32, 2009.
- 10) Ito K, Funayama S, Hitomi Y, Nomura S, Katsura K, Saito M, Hayashi T, Kaneko N, Nohno K, Igarashi A: Proteome analysis of gelatin-bound salivary proteins in patients with primary Sjögren's syndrome-identification of matrix Metalloproteinase-9-. Clin Chim Acta 403(1-2): 269-71.2009.

- 11) Tsukada T, Taniguchi H, Ootaki S, Yamada Y, Inoue M : Effects of food texture and head posture on oropharyngeal swallowing. J Appl Physiol 106(6) : 1848-57, 2009.
- 12) 敦井智賀子, 荒井良明, 谷口裕重, 矢作理花, 堀一浩, 井上 誠 : 下顎運動時の胸鎖乳突筋ならびに後頸筋群の筋電図学的評価. 顎機能誌 16 (2) : 112-23 頁, 2010.
- 13) 下畑享良, 大瀧祥子, 西澤正豊 : 多系統萎縮症における嚥下障害. 神経治療学 27 (1) : 19-23 頁, 2010.
- 14) 吉津和憲, 井上 誠 : 嚥下反射誘発時の呼吸関連筋活動の変調. 新潟歯学会誌 39 (2) : 17-22 頁, 2009.
- 15) 城下尚子, 堀 一浩, 阪上 穰, 山本雅章, 田峰謙一, 近藤重悟, 濱中 里, 小野高裕, 前田芳信, 古郷幹彦, 岩井聡一, 中澤光博, 由良義明, 野首孝祠 : 下顎・舌・口底腫瘍術後患者の術後の嚥下能力の回復に影響を及ぼす因子. 顎顔面補綴 33 : 67-78 頁, 2009.
- 16) 船山さおり, 伊藤加代子, 人見康正, 佐久間汐子, 伊藤 聡, 野村修一, 五十嵐敦子 : Effect of 6-month administration of Cevimeline hydrochloride on salivary flow rate and salivary components in primary Sjogren's syndrome patients. 新潟歯学会誌 39 (1) : 25-8 頁, 2009.
- 17) 伊藤加代子, 葭原明弘, 高野尚子, 石上和男, 清田義和, 井上 誠, 北原 稔, 宮崎秀夫 : オーラルディアドコキネシスの測定法に関する検討. 老年歯科医学 24 (1) : 48-54 頁, 2009.
- 18) 伊藤加代子, 福原孝子, 高地いづみ, 井上 誠 : ブラシの形態による舌清掃効果の違いについて. 日摂食リハ会誌 13 (2) : 77-87 頁, 2009.
- 19) 松木貴彦, 伊藤加代子 : 見逃していませんか? お口からの SOS. 更年期と加齢のヘルスケア 8 (1) : 145-9 頁, 2009.

【商業誌】

- 1) 大瀧祥子 : 摂食・嚥下の神経機構とその運動 小児外科別冊特集小児 NST 栄養シリーズ. 摂食・嚥下障害 42 (3) : 228-32 頁, 東京医学社, 東京, 2010.
- 2) 大瀧祥子 : 呼吸器感染症の予防のためにも口腔ケアを～多系統萎縮症のケース～. 難病と在宅ケア 15 (5) : 59-63 頁, 日本プランニングセンター, 東京, 2009.
- 3) 伊藤加代子 : はじめよう! 性差を考慮した歯科医療 ③ 妊娠・出産. デンタルハイジーン 29 (7) :

736-7 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.

- 4) 伊藤加代子 : はじめよう! 性差を考慮した歯科医療 ④ 更年期-ドライマウスへの対応-. デンタルハイジーン 29 (7) : 738-9 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 5) 伊藤加代子 : 特集女性の健康づくり支援 女性と歯の健康. 月刊地域保健 4 : 54-7 頁, 東京法規出版, 東京, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 井上 誠 (研究代表者) : 平成 21 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C) 課題番号 20592170, 2009 (継続).
- 2) 井上 誠 (研究分担者) : 平成 21 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C) 課題番号 19592231, 2009 (継続)
- 3) 井上 誠 (研究分担者) : 食の高付加価値化に資する基盤技術の開発. JST 地域結集型研究開発プログラム, 2009 (継続).
- 4) 井上 誠 (研究代表者) : 餅様食品の咀嚼・嚥下特性の解明と嚥下障害予防等の高齢者食品に関する実現可能性の検討. JST シーズ顕在化ステージ, 2009.
- 5) 堀 一浩 : 食品の咀嚼・嚥下感覚特性に関する客観評価法の開発. 財団法人 日本食品化学研究振興財団 平成 21 年度研究助成, 2009.
- 6) 谷口裕重 (研究代表者) : 平成 21 年度文部科学省科学研究費応募支援経費, 2009.
- 7) 谷口裕重 (研究代表者) : 平成 21 年度新潟大学若手教員論文投稿支援経費, 2009.
- 8) 谷口裕重 (研究代表者) : 食品物性が嚥下機能に与える影響について. 平成 21 年度日本摂食・嚥下リハビリテーション学会研究助成金, 2009.
- 9) 伊藤加代子 (研究代表者) : 自律神経失調による口腔乾燥症における客観的な自律神経機能的評価に関する研究. 文部科学省科学研究費補助金, 課題番号 20791637, 2009.
- 10) 伊藤加代子 (研究代表者) : 2009 : 唾液分泌量および口腔内水分注入量がオーラルディアドコキネシスおよび反復唾液嚥下テストに与える影響に関する検討. 新潟大学プロジェクト推進経費, 2009.
- 11) 伊藤加代子 (研究代表者) : 平成 21 年度新潟大学若手教員論文投稿支援経費, 2009.
- 12) 伊藤加代子 (研究分担者) : 加齢に伴う腎機能の低下が骨代謝および歯周疾患に及ぼす影響の解明. 文部科学省科学研究費補助金, 課題番号 21390558, 2009.
- 13) 伊藤加代子 (研究分担者) : 介護予防に関する科学

的知見の収集および分析. 平成 21 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金 (老人保健健康増進等事業), 2009.

- 14) 伊藤加代子 (研究分担者): 介護予防における口腔機能向上サービスの推進に関する総合的研究事業, 平成 21 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金 (老人保健健康増進等事業), 2009
- 15) 伊藤加代子 (研究分担者): 高齢者の口腔乾燥による嚥下機能と食品物性に関する基礎的研究. 文部科学省科学研究費補助金, 課題番号 19592233, 2009.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 堀 一浩: 舌圧測定用センサシートを用いた嚥下機能検査, 連携機能を活用した口腔から QOL 向上を目指す研究. 口腔 QOL 連続シンポジウム (咀嚼・嚥下カテゴリー) 口腔機能と他機能の関連と相反, 徳島, 2010 年 2 月 22 日.
- 2) 井上 誠: 災害弱者が抱える食の問題. 新潟大学地域連携フードサイエンスセンター特別シンポジウム あなたの被災生活を支える災害食, 横浜, 2010 年 2 月 4 日.
- 3) 井上 誠: 生理学からみたプロセスモデル. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 29 日.
- 4) 林 豊彦, 山口直也, 中村康雄, 中嶋新一, 井上 誠, 渡辺哲也: 自律顎運動シミュレータ JSN/3A の咀嚼運動制御における歯根膜咬筋反射と食片の性状判断. バイオメカニズム学会主催第 21 回バイオメカニズムシンポジウム, 神奈川, 2009 年 8 月 4-6 日.
- 5) 井上 誠: 摂食・嚥下機能とその障害-基礎と臨床と私-. 平成 21 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2009 年 7 月 18 日.
- 6) 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションにおける機能に合致した食品の適用. 第 43 回日本作業療法学会, 福島, 2009 年 6 月 19 日.
- 7) 井上 誠: 嚥下障害のメカニズムと対策-歯科の立場から-. 第 648 回新潟医学会例会シンポジウム, 新潟, 2009 年 5 月 16 日.

【学会発表】

- 1) Tsujimura T, Kondo M, Kitagawa J, Tsuboi Y, Abe K, Inoue M, Iwata K: Involvement of ERK phosphorylation in brainstem neurons in modulation of swallowing reflex in rats. Society for Neuroscience, Chicago, 2009.10.17-21
- 2) Zhang M, Hasegawa Y, Sakagami J, Ono T, Hori K, Maeda Y, Chen YJ: Effects of unilateral clenching and handgrip to bilateral cerebral

circulation. 2nd Meeting of IADR Pan Asian Pacific Federation and the 1st Meeting of IADR Asia/Pacific Region, Wuhan, 2009.9.23-5.

- 3) Hasegawa Y, Zhang M, Sakagami J, Ono T, Hori K, Maeda Y: Taste and flavor increase cerebral blood flow during chewing. 2nd Meeting of IADR Pan Asian Pacific Federation and the 1st Meeting of IADR Asia/Pacific Region, Wuhan, 2009.9.23-5.
- 4) Ono T, Hori K, Tamine K, Kondo J, Hamanaka S, Maeda Y: Age related change in tongue movement during swallowing. 2nd Meeting of IADR Pan Asian Pacific Federation and the 1st Meeting of IADR Asia/Pacific Region, Wuhan, 2009.9.23-5.
- 5) Zhang M, Hasegawa Y, Sakagami J, Ono T, Hori K, Maeda Y, Chen YJ: Effect of unilateral clenching and handgrip to bilateral cerebral circulation. 2nd Meeting of IADR Pan Asian Pacific Federation and the 1st Meeting of IADR Asia/Pacific Region, Wuhan, 2009.9.23-5.
- 6) Adachi T, Taniguchi H, Ootaki S, Yamada Y, Inoue M: Effects of electrical stimulation in the pharyngeal region on the reflex swallowing. The 36th Congress of the International Union of Physiological Sciences, Kyoto, 2009.7.28-8.1.
- 7) Yamamoto S, Fukuhara T, Yamamura K, Hayashi H, Inoue M: Changes in amplitude of jaw opening reflex during natural feeding in the rabbit. The 36th International Congress of Physiological Sciences, Kyoto, 2009.7.28-8.1
- 8) Tsujimura T, Kondo M, Kitagawa J, Tsuboi Y, Ueda K, Iwata K: Involvement of ERK phosphorylation in brainstem neurons in modulation of swallowing reflex in rats. The 36th International Congress of Physiological Sciences, Kyoto, 2009.7.28-8.1.
- 9) Fukuhara T, Kajii Y, Yamamoto S, Yamamura K, Inoue M: Effects of swallowing on the jaw opening reflex. The 36th International Congress of Physiological Sciences, Kyoto, 2009.7.28-8.1
- 10) Hasegawa Y, Sakagami J, Zhang M, Hori K, Ono T, Maeda Y: Taste and flavor increase cerebral blood flow during chewing. 19th Meeting of the European Neurological Society, Milan, 2009.6.22.
- 11) 堀 一浩, 矢作理花, 伊藤加代子, 井上 誠: 口腔腫瘍術後患者の摂食・嚥下リハビリテーションにお

- ける補綴装置の効果. 平成 21 年度(社)日本補綴歯科学会関越支部総会ならびに学術大会, 高崎, 2010 年 1 月 31 日.
- 12) 山本真也, 福原孝子, 梶井友佳, 辻村恭憲, 井上 誠: 摂食行動に伴う開口反射の変調. 日本顎口腔機能学会第 43 回学術大会, 東京, 2009 年 11 月 28- 9 日. 顎機能誌 16 (2): 140- 1 頁, 2010.
 - 13) 井上 誠, 塚野英樹, 安達大雅, 矢作理花, 堀 一浩: 咽頭刺激に伴う嚥下反射惹起ならびにその変調. 日本顎口腔機能学会第 43 回学術大会, 東京, 2009 年 11 月 28- 9 日. 顎機能誌 16 (2): 142- 3 頁, 2010.
 - 14) 川田充洋, 林 豊彦, 中嶋新一, 井上 誠, 前田義信, 渡辺哲也: 自律顎運動シミュレータ JSN/3A の咀嚼様運動における食片性状に応じた噛み分け. 日本顎口腔機能学会第 43 回学術大会, 東京, 2009 年 11 月 28- 9 日. 顎機能誌 16 (2): 132- 3 頁, 2010.
 - 15) 内藤 守, 伊藤加代子, 井上 誠: 統合失調症患者における多飲行動と口腔乾燥との関連について. 平成 21 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2009 年 11 月 21 日, 新潟歯学会誌 39 (2): 211-2 頁, 2009.
 - 16) 近藤匡晴, 井上 誠: 高齢者の歯科診療時に行う療養管理指導の必要性. 平成 21 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2009 年 11 月 21 日, 新潟歯学会誌 39 (2): 212 頁, 2009.
 - 17) 安島久雄, 小野和宏, 島田靖子, 小田陽平, 田中 礼, 松山順子, 藤井規孝, 井上 誠, 山村健介, 齋藤 功, 魚島勝美, 興地隆史, 高木律男, 前田健康: 新潟大学歯学部における教員研修 (FD) の概要と今後の方向性. 第 28 回日本歯科医学教育学会 総会および学術大会, 広島, 2009 年 11 月 6- 7 日, 第 28 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集: 92 頁, 2009.
 - 18) 吉牟田陽子, 小野高裕, 加登 聡, 長谷川陽子, 堀 一浩, 池邊一典, 前田芳信, 田中宗雄, 森本佳成, 野首孝嗣, 谷口 学: 都市部一般住民における口腔健康と耐糖能との関係: 吹田研究. 日本咀嚼学会第 20 回学術大会, 2009 年 10 月 4 日, 福岡, 日咀嚼会誌 19 (2): 97-8 頁, 2009.
 - 19) 山本真也, 福原孝子, 梶井友佳, 林 宏和, 大瀧祥子, 井上 誠: 摂食時にみられる開口反射の変調. 第 51 回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2009 年 9 月 9-11 日, J .Oral Biosci. 51 Suppl.: 76 頁, 2009.
 - 20) 福原孝子, 梶井友佳, 山本真也, 井上 誠: 上喉頭神経への電気刺激時にみられる開口反射の変調. 第 51 回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2009 年 9 月 9-11 日, J .Oral Biosci. 51 Suppl.: 109 頁, 2009.
 - 21) 谷口裕重, 大瀧祥子, 井上 誠: 咀嚼運動ができないがゆえに独自の摂食・嚥下法を獲得した一例. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28- 9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3): 292 頁, 2009.
 - 22) 福原孝子, 梶井友佳, 林 宏和, 井上 誠: 嚥下誘発に有効な上喉頭神経刺激時にみられる開口反射の変調. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28- 9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3): 324 頁, 2009.
 - 23) 山本真也, 福原孝子, 梶井友佳, 林 宏和, 大瀧祥子, 井上 誠: 摂食時にみられる開口反射の変調 (第 2 報). 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28- 9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3): 324 頁, 2009.
 - 24) 安達大雅, 塚野英樹, 谷口裕重, 林 宏和, 井上 誠: 咳嗽嚥下の臨床応用への可能性. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28- 9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3): 335 頁, 2009.
 - 25) 矢作理花, 別府 茂, 星 正弘, 谷口裕重, 梶井友佳, 井上 誠: 加齢社会の未来を開くカレーゼリー. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28- 9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3): 355 頁, 2009.
 - 26) 濱口沙希, 角田由美, 赤塚澄子, 島村沙矢香, 辻村恭憲, 戸原 玄, 植田耕一郎: 当院病棟における摂食・嚥下機能スクリーニング検査による調査報告. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28- 9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3): 364 頁, 2009.
 - 27) 林 宏和, 梶井友佳, 福原孝子, 安達大雅, 谷口裕重, 大瀧祥子, 井上 誠: 当院における摂食・嚥下リハビリテーションの臨床統計. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28- 9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3): 375 頁, 2009.
 - 28) 山野井澄江, 後藤 梢, 別府 茂, 秋元幸平, 田辺英児, 井上 誠, 山田好秋: 高齢者や障害者向けに開設された「食の支援ステーション」の活動報告. 第 15 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009 年 8 月 28- 9 日, 日摂食リハ会誌 13 (3): 381 頁, 2009.
 - 29) 平林友香, 大瀧祥子, 伊藤加代子, 谷口裕重, 梶井友佳, 林 宏和, 安達大雅, 福原孝子, 井上 誠: 特別養護老人ホームへの訪問活動に関する本学ス

- タッフの意識調査. 第15回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009年8月28-9日, 日摂食リハ会誌 13(3):385頁, 2009.
- 30) 篠倉千恵, 福井忠雄, 齋藤 功, 井上 誠: 骨格性下顎前突症患者の嚥下時筋活動と手術前後での変貌. 第15回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009年8月28-9日, 日摂食リハ会誌 13(3):407頁, 2009.
- 31) 小野高裕, 近藤重悟, 田峰謙一, 堀 一浩, 弘田伸子, 小仲 邦, 成富博章, 濱中 里, 藤原茂弘, 稲月 摂, 前田芳信: 脳卒中患者の嚥下障害に対する舌圧ならびに歯列状態の影響. 第15回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009年8月28-9日, 日摂食リハ会誌 13(3):438頁, 2009.
- 32) 右近さゆり, 井上 誠: 当院歯科外来において看護師が関わる摂食・嚥下リハビリテーション. 第15回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 名古屋, 2009年8月28-9日, 日摂食リハ会誌 13(3):438頁, 2009.
- 33) 塚野英樹, 安達大雅, 谷口裕重, 林 宏和, 矢作理花, 井上 誠: ヒト咽頭部への電気刺激がもたらす嚥下反射惹起. 第15回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009年8月28-9日, 日摂食リハ会誌 13(3):442頁, 2009.
- 34) 辻村恭憲, 阿部仁子, 戸原 玄, 植田耕一郎, 井上誠, 岩田幸一: 嚥下反射抑制に関与する孤束核ニューロンの同定. 第15回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009年8月28-9日, 日摂食リハ会誌 13(3):443頁, 2009.
- 35) 濱中 里, 小野高裕, 近藤重悟, 田峰謙一, 堀 一浩, 松村 剛, 安井久美子, 横山須美子, 稲月 摂, 前田芳信: 舌圧センサシートを用いた筋ジストロフィー患者の嚥下時舌圧測定. 第15回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009年8月28-9日, 日摂食リハ会誌 13(3):474頁, 2009.
- 36) 横山須美子, 堀 一浩, 田峰謙一, 近藤重悟, 濱中里, 稲月 摂, 小野高裕, 前田芳信: ゲル化剤濃度が嚥下時舌圧に及ぼす影響. 第15回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009年8月28-9日, 日摂食リハ会誌 13(3):498頁, 2009.
- 37) 宮沢玲子, 佐々木美穂, 永島尚子, 谷 和美, 相田祐樹, 井上 誠: 顔面麻痺患者の「食べこぼし」に対する自助具(パルシーヘルパー)の開発. 第15回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009年8月28-9日, 日摂食リハ会誌 13(3):501頁, 2009.
- 38) 大瀧祥子, 伊藤加代子, 船山さおり, 井上 誠: 口腔乾燥から嚥下困難感をきたした症例. 第15回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009年8月28-9日, 日摂食リハ会誌 13(3):528頁, 2009.
- 39) 梶井友佳, 木村慎二, 小澤鉄太郎, 下畑享良, 西澤正豊, 井上 誠: 嚥下障害を伴う Wegener 肉芽腫症二症例の比較. 第15回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2009年8月28-9日, 日摂食リハ会誌 13(3):542頁, 2009.
- 40) 敦井智賀子, 荒井良明, 井上 誠, 谷口裕重, 山田好秋: 下顎運動時における頭頸部協調運動. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2009年7月18日, 新潟歯学会誌 39(2):201頁, 2009.
- 41) 船山さおり, 伊藤加代子, 安達大雅, 梶井友佳, 勝良剛詞, 齋藤美紀子, 濃野 要, 金子 昇, 五十嵐敦子, 井上 誠: 新潟大学医歯学総合病院加齢歯科診療室「くちのかわき」外来の受診患者に関する検討. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2009年7月18日, 新潟歯学会誌, 39(2):203-4頁, 2009.
- 42) 篠倉千恵, 井上 誠, 福井忠雄, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者の嚥下時筋活動パターンについて. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2009年7月18日, 新潟歯学会誌 39(2):205頁, 2009.
- 43) 近藤重悟, 堀 一浩, 田峰謙一, 濱中 里, 城下尚子, 山本雅章, 小野高裕, 前田芳信: 舌切除患者における嚥下障害と嚥下時舌圧との関係. 第26回日本顎顔面補綴学会学術大会, 2009年6月28日, 三重, 顎顔面補綴:32(2), 135-6頁, 2009.
- 44) 山本雅章, 堀 一浩, 城下尚子, 阪上 穰, 田峰謙一, 近藤重悟, 濱中 里, 横山須美子, 深津雄己, 藤原茂弘, 小野高裕, 前田芳信: 当科における顎顔面補綴症例データベースの運用に関する検討—1997-2009年の患者動態について—. 第26回日本顎顔面補綴学会学術大会, 2009年6月28日, 三重, 顎顔面補綴 32(2):142頁, 2009.
- 45) 田峰謙一, 小野高裕, 堀 一浩, 近藤重悟, 濱中 里, 前田芳信: 脳卒中患者の嚥下障害に対する舌圧と歯列状態の影響. 第20回日本老年歯科医学会, 横浜, 2009年6月19-20日. 老年歯科医学 24(2):135-6頁, 2009.
- 46) 堀 一浩, 田峰謙一, 濱中 里, 近藤重悟, 小野高裕, 前田芳信: パーキンソン病患者の嚥下時舌圧発現様相. 第20回日本老年歯科医学会, 横浜, 2009年6月19-20日. 老年歯科医学 24(2):168頁, 2009.

- 47) 伊藤加代子, 船山さおり, 葭原明弘, 井上 誠, 五十嵐敦子, 宮崎秀夫: 自立高齢者における口腔機能の経年的変化に関する検討. 第20回日本老年歯科医学会, 横浜, 2009年6月19-20日. 老年歯科医学 24 (2): 194-5頁, 2009.
- 48) 中村俊介, 古屋純一, 鈴木哲也, 堀 一浩, 小野高裕: 舌圧センサシートを用いた嚥下時舌圧の食品性状による変化. 第20回日本老年歯科医学会, 横浜, 2009年6月19-20日. 老年歯科医学 24 (2): 213-4頁, 2009.
- 49) 加登 聡, 小野高裕, 長谷川陽子, 吉牟田陽子, 堀一浩, 池邊一典, 前田芳信, 田中宗雄, 森本佳成, 野首孝嗣, 谷口 学: 都市部一般住民における歯数とメタボリックシンドロームにおける関係 吹田研究. 日本補綴歯科学会第118回学術大会, 京都, 2009年6月7日, 補綴誌 53 (118) 特別: 238頁, 2009.
- 50) 篠倉千恵, 井上 誠, 丹原 惇, 福井忠雄, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における嚥下時筋活動パターンの定量的評価. 第19回顎変形症学会総会顎変形症学会, 仙台, 2009年6月4-5日, 日顎変形誌 19 (2): 100頁, 2009.
- 51) 松村 剛, 濱中 里, 近藤重悟, 堀 一浩, 小野高裕, 藤村晴俊: 舌圧センサシートを用いた筋ジストロフィー患者の嚥下時舌圧測定. 第50回日本神経学会総会, 仙台, 2009年5月20日, 臨床神経学 49 (12): 1015頁, 2009.
- 52) 右近さゆり, 井上 誠: 加齢歯科診療室における看護師が関わる摂食・嚥下リハビリテーション. 新潟歯学会総会, 新潟, 2009年4月18日, 新潟歯学会誌 39 (1): 89頁, 2009.
- 53) 阪上 穰, 小野高裕, 長谷川陽子, 堀 一浩, 前田芳信: ガム咀嚼時における循環動態と脳血流自動調節作用. 日本顎口腔機能学会第42回学術大会, 新潟, 2009年4月11-2日, 顎機能誌 16 (1): 34-5頁, 2009.
- 54) 川田 充洋, 山岸 直也, 林 豊彦, 中村康雄, 中嶋新一, 井上 誠: 自律顎運動シミュレータJSN/3Aの咀嚼様運動における食片性状の検出. 日本顎口腔機能学会第42回学術大会, 新潟, 2009年4月11-2日, 顎機能誌 16 (1): 42-3頁, 2009.
- 55) 小野高裕, 堀 一浩, 田峰謙一, 近藤重悟, 濱中 里, 前田芳信: 嚥下障害患者の補綴的リハビリテーションにおける舌圧評価. 日本顎口腔機能学会第42回学術大会, 新潟, 2009年4月11-2日, 顎機能誌 16 (1): 44-5頁, 2009.
- 56) 篠倉千恵, 福井忠雄, 齋藤 功, 井上 誠: 骨格性下顎前突症患者における嚥下時筋活動パターンの定量的評価. 第42回日本学口腔機能学会学術大会, 新潟, 2009年4月11-2日, 顎機能誌 16 (1): 48-9頁, 2009.
- 57) 福原孝子, 梶井友佳, 大瀧祥子, 山本真也, 井上 誠: 摂食時における開口反射の変調. 第42回日本学口腔機能学会学術大会, 新潟, 2009年4月11-2日, 顎機能誌 16 (1): 50-1頁, 2009.
- 58) 安達大雅, 塚野英樹, 谷口裕重, 林 宏和, 井上 誠: 咽喉頭刺激が嚥下機能に及ぼす効果. 日本顎口腔機能学会第42回学術大会, 新潟, 2009年4月11-2日, 顎機能誌 16 (1): 52-3頁, 2009.

【研究会発表】

- 1) 伊藤加代子: 新潟大学くちのかわき外来の現状. 第7回北九州ドライマウス研究会, 北九州, 2009年11月26日.
- 2) 矢作理花: 随意性嚥下における咽頭感覚の役割 随意性嚥下から咽頭感覚をはかる. 歯科補綴ウィンタースクール, 淡路, 2009年11月13-4日.
- 3) 辻村恭憲, 近藤真啓, 北川純一, 坪井美行, 井上 誠, 岩田幸一: 侵害刺激による嚥下反射抑制機構の解明. 第3回三叉神経領域の感覚—運動統合機構研究会, 軽井沢, 2009年10月3日.

【受賞】

- 1) 矢作理花: 随意性嚥下における咽頭感覚の役割: 随意性嚥下から咽頭感覚をはかる. 若手セッション優秀賞. 歯科補綴ウィンタースクール, 2009年11月13-4日.
- 2) 矢作理花, 別府 茂, 星 正弘, 谷口裕重, 梶井友佳, 井上 誠: 加齢社会の未来を開くカレーゼリー. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会MIP賞, 2009年8月28-9日.

【その他】

- 1) Inoue M: Changes in reflex responses of jaw muscles during mastication. Johns Hopkins University and University of Maryland, USA, 2010.3.26.
- 2) Tsujimura T: Involvement of NTS nociceptive neurons in an inhibition of swallow. Johns Hopkins University and University of Maryland, USA, 2010.3.26.
- 3) 梶井友佳: 口腔ケアセミナー. ウィルアシストお子様の福祉機器展特別セミナー, 燕, 2010年3月20日.
- 4) 谷口裕重: 誤嚥と窒息. 新潟県コロニー白岩の里講演会, 長岡, 2010年2月29日.
- 5) 井上 誠: 摂食運動障害の臨床的アプローチ. The

- Promotion of Multi-disciplinary Research Projects "Translational Research Network on Orofacial Neurological Disorders (TRON projects)", 東京, 2010年2月20日.
- 6) 辻村恭憲: 口腔顔面領域の侵害刺激による嚥下反射抑制に対する孤束核侵害受容ニューロンの関与. The Promotion of Multi-disciplinary Research Projects "Translational Research Network on Orofacial Neurological Disorders (TRON projects)", 東京, 2010年2月20日.
 - 7) 井上 誠: 歯科医が行うべき嚥下障害の臨床. 新潟大学歯学部同窓会セミナー, 新潟, 2010年2月7日.
 - 8) 伊藤加代子: 新潟市での口腔機能向上事業の紹介～口腔乾燥症との関連～. 平成21年老人保健健康増進等事業, 小出, 2010年1月31日.
 - 9) 井上 誠: 介護食開発に向けた基礎・臨床研究. 味の素と新潟大学地域連携フードサイエンスセンターとの交流会, 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」, 新潟, 2010年1月23日.
 - 10) 谷口裕重: 摂食・嚥下機能の向上・維持を目指して. 新潟県コロニー白岩の里講演会, 長岡, 2009年12月18日.
 - 11) 梶井友佳: 口腔ケアで美味しく元気に. ウィルアシスト福祉展示場セミナー, 燕, 2009年12月18日.
 - 12) 井上 誠: つきたてに化身! パックもちで至福の正月を. NHK ためしてガッテン, 2009年12月16日.
 - 13) 伊藤加代子: 口腔ケアの実際. 摂食・嚥下リハビリテーションセミナー, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会公認セミナー, 新潟, 2009年12月12日.
 - 14) 谷口裕重: 嚥下内視鏡. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会公認セミナー, 新潟, 2009年12月12日.
 - 15) 伊藤加代子: 今日から使える摂食・嚥下リハビリテーション. 新潟県福祉栄養士協議会研修会, 新潟, 2009年11月28日.
 - 16) 梶井友佳: 自分の歯で食べ続けるために大切なこと. 妙高市学校保健講演会, 妙高, 2009年11月27日.
 - 17) 井上 誠: 介護食とその臨床特集. 新潟日報, 2009年11月14日.
 - 18) 梶井友佳: 摂食・嚥下障害. 新潟県立月ヶ岡養護学校保健研修会, 月ヶ岡, 2009年11月11日.
 - 19) 井上 誠: 摂食・嚥下障害に対する臨床的アプローチの未来. 山梨県食品技術研究会技術講演会, 山梨, 2009年11月9日.
 - 20) 井上 誠: おじゃましまーす! 専門外来. 新潟日報, 2009年10月19日, 11月2日.
 - 21) 井上 誠: 病院から在宅までの摂食・嚥下リハビリテーション. 福島県作業療法士会医療保険部身体障害領域研修会, 福島, 2009年11月1日.
 - 22) 小仲 邦, 弘田伸子, 近藤重悟, 田峰謙一, 堀 一浩, 小野高裕, 佐古田三郎, 成富博章: 脳血管障害患者における舌圧測定. 神経内科セミナー, 大阪, 2009年10月31日.
 - 23) 食の支援ステーションと 摂食・嚥下リハビリテーション外来の紹介. NHK おはよう日本, 2009年10月26日.
 - 24) 伊藤加代子: 健口くんを用いたオーラスディアドコキネシスの測定. 第68回日本公衆衛生学会総会ランチョンセミナー, 奈良, 2009年10月22日.
 - 25) 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションの現場と食品への期待. 新潟大学地域懇談会, 新発田, 2009年10月20日.
 - 26) 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションの New Secrets. 摂食嚥下勉強会, 西新潟中央病院, 新潟, 2009年10月16日.
 - 27) 井上 誠: 地域に広がれ摂食・嚥下リハビリテーションの和. 上越歯科医師会主催口腔ケア研修会, 上越, 2009年10月6日.
 - 28) 井上 誠: 摂食・嚥下機能訓練法の実践. 文部科学省委託事業社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム, 新潟, 2009年9月13日.
 - 29) 伊藤加代子: 高齢者, 要介護者のお口の健康のために. 下越地区口腔ケア研修会, 村上, 2009年9月3日.
 - 30) 井上 誠: 摂食嚥下障害に対する病院のアプローチ. 木戸病院NST勉強会, 新潟, 2009年7月17日.
 - 31) 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションの実践と評価. 国立病院機構新潟病院勉強会, 柏崎, 2009年7月17日.
 - 32) 伊藤加代子: 介護予防のための口腔機能の向上入門講座. 新潟大学歯学部公開講座, 新潟, 2009年7月14日.
 - 33) 井上 誠: 摂食・嚥下障害患者への臨床的アプローチと食品との関わり. FOOMA JAPAN 2009, 東京, 2009年6月9-12日.
 - 34) 井上 誠: 未来に向けた摂食・嚥下障害の臨床. 昭和大学歯学部研究生ミーティング, 東京, 2010年3月11日.
 - 35) 井上 誠: 舌ケアについて. BSN ニュース, 2009年5月18日.
 - 36) 井上 誠: 口臭を防ごう. 新潟日報, 2009年5月6日.
 - 37) 井上 誠: 万物流転. 新潟大学歯学部同窓会誌, 3-5頁, 2009.
 - 38) 井上 誠: お口のトラブルバスターズ, 近藤丈靖の独占ごきげんアワー, BSN ラジオ.
 - 39) 伊藤加代子: 新しい口腔機能測定器を用いたオーラ

- ルディアドコキネシスの測定. 新潟歯学会誌, 39(1): 61-3 頁, 2009.
- 40) 島田久寛: 食塊の物性と嚙下閾値との関係. 学位研究紹介, 新潟歯学会誌 39 (2): 93-5 頁, 2009.

歯科侵襲管理学分野

【著書】

- 1) 瀬尾憲司: 痛みの病態生理学 第22回, 臨床痛の要因分析: 三叉神経痛領域の病態生理, 理学療法 26 (10), 1252-1262, 2009.
- 2) 瀬尾憲司, 染矢源治: PGA-collagen tube を用いた三叉神経損傷の新たな治療戦略, 新潟歯学会雑誌 39 (1) ,55-56, 2009.
- 3) 中村達雄, 稲田有史, 瀬尾憲司, 照光 真, 茂野啓示: 特別企画 顎顔面領域の神経損傷に対する新たなアプローチ—PGA-C tube 人工神経管を用いた神経再生, 歯界展望, 医歯薬出版 (東京都), 12: 1167-1187, 2009

【論文】

- 1) Seo K, Seino H, Yoshikawa H, Petrenko A.B, Baba H, Fujiwara N, Someya G, Kawano Y, Maeda T, Matsuda M, Kanematsu T, Hirata M, Genetic reduction of GABAA receptor 2 subunit expression potentiates the immobilizing action of isoflurane, *Neurosci Lett* 472: 1-4, 2009.
- 2) Seino H, Seo K, Maeda T, Someya G, Behavioural and histological observations of sensory impairment caused by tight ligation of the trigeminal nerve in mice, *J Neuroscience Methods* 181: 67-72, 2009.
- 3) 倉田行伸, 塚田博子, 弦巻 立, 瀬尾憲司, 田中 裕, 豊里 晃, 染矢源治: 急劇な心拍上昇から悪性高熱症を疑い, ダントロレンが奏効したと推測された症例, *日本歯科麻酔学会雑誌*, 37 (2): 213-214, 2009.
- 4) 瀬尾憲司: 顎顔面領域における神経再生医療, 顎顔面領域における神経腫腫への対応と外科的治療の必要性, 歯界展望, 医歯薬出版 (東京都), 11: 894-903, 2009.
- 5) 瀬尾憲司, 藤原直士, Petrenko A, 馬場 洋, 松田将門, 兼松隆, 平田雅人, イソフルランによる疼痛反射抑制は GABA 受容体 $\gamma 2$ サブユニットを介さない? 神経麻酔・集中治療, 2009.
- 6) 金丸祥平, 新美奏恵, 小田陽平, 小林正治, 西山秀昌, 新垣晋, 齊藤 力: 顎下部に発生した乳幼児線維腫症の 1 例, *日本口腔腫瘍学会誌*, 21 (4), 273-

278, 2009.

- 7) 村松芳幸, 村松公美子, 田中 裕, 他: 身体疾患と気分障害, *心身医学*, 49 (9), 971-978, 2009.
- 8) 村松公美子, 村松芳幸, 田中 裕, 他: プライマリー・ケアにおける気分障害の認識と診断について, *心身医学*, 49 (9), 961-969, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 瀬尾憲司: 基盤研究 (B), 平成 20 ~ 22 年度, 課題番号 20390511, 研究代表者 瀬尾憲司, (13,500 千円) GABAA 受容体は本当に痛覚伝達を抑制させるか?
- 2) 弦巻立: 下歯槽神経における神経因性疼痛に関するセロトニン受容体の解明. 課題番号 20791502, 平成 20-22 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 若手 (B) 2,340 千円.

【講演・シンポジウム】

- 1) 瀬尾憲司: 歯科における神経との付き合い方, 医療法人長岡歯科勉強会, 長岡市, 平成 21 年 6 月 11 日.
- 2) 瀬尾憲司: 文部科学省委託事業 社会人の学び直しニーズ対応教育促進プログラム「潜在的歯科衛生士の再就職促進のための教育・研修・スキルアッププログラム」— 歯科医院における偶発症の予防と対処法, 歯科医院における救急蘇生法—, 明倫短期大学, 新潟市, 平成 21 年 6 月 21 日.
- 3) 瀬尾憲司: 第 39 回日本口腔インプラント学会 歯科麻酔学会のシンポジウム, 神経障害のメカニズムに応じた治療法の確立, 大阪市, 平成 21 年 9 月 26 日.

【学会発表】

- 1) K. Seo, N. Fujiwara, T. Maeda, T. Kanematsu, M. Hirata, Nociceptive transmission in the trigeminal subnucleus caudalis of PRIP-1, PRIP-2 double knockout mice. Annual meeting of society for neuroscience, in Chicago, Oct, 18th, 2009
- 2) 田中 裕, 村松芳幸, 真島一郎, 片桐敦子, 藤村健夫, 清水夏恵, 齊藤 功, 吉嶺文俊, 村松公美子, 下条文武, 櫻井浩治, 染矢源治: 歯科治療恐怖症の病態に対する心理的因子の傾向についての検討, 第 1 回日本心身医学 5 学会合同集会, 2009 年 6 月 6-7 日, 東京都, 抄録集, 270, 2009.
- 3) 真島一郎, 清野 洋, 藤村健夫, 清水夏恵, 齊藤 功, 片桐敦子, 吉嶺文俊, 長谷川隆志, 村松芳幸, 下条文武, 田中 裕, 新沢秀範, 村松公美子: 気管支喘息患者における換気応答試験下の呼吸困難感・自律神経機能・心理的因子の関係について, 第 1 回日本心身医学 5 学会合同集会, 2009 年 6 月 6-7 日,

東京都, 抄録集, 130, 2009.

- 4) 藤村健夫, 清野 洋, 清水夏恵, 田中 裕, 真島一郎, 片桐敦子, 村松公美子, 村松芳幸: 透析患者の難治性腰痛に対してパロキセチンが奏効した1例, 第1回日本心身医学5学会合同集会, 2009年6月6-7日, 東京都, 抄録集, 206, 2009.
- 5) 金丸祥平, 新垣晋, 小林正治, 齊藤 力: 術後13年を経て血管柄付前腕皮弁に発生した舌癌の1例, 第33回日本頭頸部癌学会, 札幌市, 2009年6月10-12日.
- 6) 大倉直人, 吉川博之, 塚田博子, 倉田行伸, 弦巻 立, 田中 裕, 瀬尾憲司, 染矢源治: 頬部粘膜腫瘍摘出後に発症した急性閉塞性隅角緑内障の1例, 関東臨床歯科麻酔懇話会, 東京都, 2009年7月4日.
- 7) 田中 裕, 瀬尾憲司, 弦巻 立, 倉田行伸, 塚田博子, 染矢源治: 歯科治療恐怖症患者の初診時における心理的因子の検討, 第37回日本歯科麻酔学会総会, 2009年10月9日, 名古屋市, 日本歯科麻酔学会雑誌, 37(4), 445, 2009.

【研究会発表】

- 1) 大倉直人, 吉川博之, 塚田博子, 倉田行伸, 弦巻 立, 田中 裕, 瀬尾憲司, 染矢源治: 頬部粘膜腫瘍摘出後に発症した急性閉塞性隅角緑内障の1例, 第64回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟市, 2009年5月14日.
- 2) 弦巻 立, 塚田博子: 術後にACTH-ADH分泌過剰症発作を認めたターナー症候群患者の一例: 新潟口腔外科麻酔科集談会, 第65回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟市, 2009年11月10日.

【その他】

- 1) 瀬尾憲司: AHA BLS provider コース インストラクター, 2009年8月2-3日, 新潟市.
- 2) 染矢源治, 瀬尾憲司, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 塚田博子, 吉川博之: 医療法人徳真会 救急講習会, 平成21年9月6日, 新潟市.
- 3) 瀬尾憲司, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 塚田博子, 吉川博之, 金丸祥平: 新潟市歯科医師会 新人会員救急講習会, 2009年12月10日, 新潟市.
- 4) 瀬尾憲司: 新潟大学ICLS コース インストラクター, 2009年12月19日, 新潟市.
- 5) 瀬尾憲司: AHA BLS コース, コーディネーター, 2010年2月13日, 14日, 新潟市.

口腔生命福祉学科

【著書】

- 1) Seymour GJ, Gemmell E, Yamazaki K: T cell responses in periodontitis., *Periodontal Medicine and Systems Biology* (Henderson B, Curtis M, Seymour RA, Donos N), P201-218, Wiley-Blackwell Publishing Limited, Oxford, UK, 2009.
- 2) 福島正義: MI (Minimal Intervention) を理念としたエビデンス (根拠) とコンセンサス (合意) に基づくう蝕治療ガイドライン (日本歯科保存学会編), 12~29頁, 永末書店, 東京, 2009.
- 3) 福島正義: PBL チュートリアル・ガイドブック (新潟大学歯学部編), 88~93頁, 140~143頁, 148~150頁, 2009.
- 4) 福島正義, 石川裕子: 歯科衛生士教育サブテキスト 臨床実習 Hand Book (眞木吉信, 藤原愛子, 高坂利美, 石井実和子, 泉野裕美監著), 64-69頁, クンテッセンス出版, 東京, 2010.
- 5) 富沢美恵子: 最新歯科衛生士教本小児歯科 小児歯科における患者との対応法. (全国歯科衛生士教育協議会監修), 91 - 109頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.

【論文】

- 1) Han L, Ishizaki H, Fukushima M, Okiji T: Morphological analysis of the flowable resins after long-term storage or surface polishing with a mini-brush. *Dent Mater J* 28(3): 277-284, 2009.
- 2) Tabeta K, Shimada Y, Tai H, Ishihara Y, Noguchi T, Soga Y, Takashiba S, Suzuki G, (ア) Kobayashi T, Oka A, Kobayashi T, Yamazaki K, Inoko H, Yoshie H: Assessment of (イ) chromosome19 for genetic association in severe chronic periodontitis. *J Periodontol* 80:663-71, 2009.
- 3) Seymour GJ, Ford PJ, Cullinan MP, Leishman S, West MJ, Yamazaki K. Infection or inflammation: The link between periodontal and cardiovascular diseases. *Future (ア) Cardiology* 5(1): 5-9, 2009.
- 4) Nakajima T, Yamazaki K: Periodontal disease and risk of atherosclerotic coronary heart disease. *Odontology* 97(2): 84-91, 2009.
- 5) Nakajima T, Honda T, Domon H, Okui T, Kajita K, Ito H, Takahashi N, Maekawa T, (ア) Tabeta K, Yamazaki K: Periodontitis associated up-regulation of systemic

- inflammatory mediator level may increase the risk of coronary heart disease. *J Periodont Res* 45(1):116-122, 2010.
- 6) Maeakawa T, Takahashi N, Honda T, Yonezawa D, Miyashita H, Okui T, Tabeta K, Yamazaki K: Porphyromonas gingivalis antigens and interleukin-6 stimulate the production of monocyte chemoattractant protein-1 via the up-regulation of early growth response-1 transcription in human coronary artery endothelial cells. *J Vasc Res* 47(4): 346-354, 2010.
 - 7) Takenaka S, Wakamatsu R, Ozoe Y, Tomita F, Fukushima M, Okiji T: Translucency and color changes of tooth-colored temporary coating materials, *Am J Dent* 22: 361-365, 2009.
 - 8) Rosales Rocabado JM, Stegaroiu R, Sharmin F, Kitamura E, Bhuiyan A, Kurokawa K, Uoshima K. Comparison of two methods for testing restored tooth failure resistance. *Revista Romana de Stomatologie (Ro J Stomatol)* 55(3): 218-224, 2009.
 - 9) Okumura N, Stegaroiu R, Kitamura E, Kurokawa K, Nomura S. Influence of maxillary cortical bone thickness, implant design and implant diameter on stress around implants: A three-dimensional finite element analysis. *J Prosthodont Res* 54(3): 133-142, 2010. Epub 2010 Feb 11.
 - 10) Nakamura A, Sakuma S, Yoshihara A, Deguchi T, Yagi M, Miyazaki H: Long-term follow-up of the effects of a school-based caries preventive programme involving fluoride mouth rinse and targeted fissure sealant: Evaluation at 20 years old. *Int Dent J*, 59: 215-221, 2009.
 - 11) Kayoko Ito, Saori Funayama, Yaumasa Hitomi, Shuichi Nomura, Kouji Katsura, Mikiko Saitoh, Takafumi Hayashi, Kaname Nohno, Noboru Kaneko, Atsuko Igarashi :Proteome Analysis of Gelatine-Bound Salivary Proteins from Patients with primary Sjogrens Syndrome--Identification of Matrix Metalloproteinase-9---*Clinica Chimica Acta* 403 (2009) 269-271
 - 12) Saori Funayama, Kayoko Ito, Yasumasa Hitomi, Shihoko Sakuma, Satoshi Ito, Shuichi Nomura, Atsuko Igarashi: Effect of 6-month administration of cevimeline hydrochloride on salivary flow rate and salivary components in primary Sjogrens syndrome patients. *Niigata Dent. J.* 39(1) 25-28 2009
 - 13) Y. Sakai, Sakai, K. Sugita, M. Kawasaki, S. Nomura, A. Igarashi : Effects of hardness, taste and amount of low gel strength agar on swallowing in young and elderly subjects. *Journal of Home Economics of Japan* Vol 60 No 2 133-138 (2009)
 - 14) Atsuko Igarashi, Maiko Kawasaki, Shuichi Nomura, Yuji Sakai, Mayumi Ueno, Ichiro Ashida, Yoza Miyaoka : Sensory and motor responses of normal young adults during swallowing of foods with different properties and volumes *Dysphagia* 2009 Aug 13 (Epub ahead of print)
 - 15) Kyohei Higashi, Madoka Yoshida, Atsuko Igarashi, Kayoko Ito, Yoko Wada, Shuichi Murakami, Daisuke Kobayashi, Masaaki Nakano, Miwa Sohda, Takako Nakajima, Toshihiko Toida, Keiko Kashiwagi, Kazuhei Igarashi : Intense correlation between protein-conjugated acrolein and primary Sjogrens syndrome *Clinica Chimica Acta* vol 411 issues 5-6 March 2010 pages 359-363
 - 16) Ichikawa Kana, Sakuma Shihoko, Yoshihara Akihiro, Miyazaki Hideo, Funayama Saori, Ito Kayoko, Igarashi Atsuko: Relationship between the amount of saliva and medications in elderly *Gerodontology* 2010 June 2 (Epub ahead of print)
 - 17) Sharmin F, Stegaroiu R, Okada N, Kitamura E, Kurokawa K, Yagi M, Nomura S. Effect of post type and loading condition on the failure resistance and primary failure mode of flared canal teeth restored with fiber-reinforced or cast posts. *Niigata Dent J* 39(1) : 15-24, 2009.
 - 18) 五十嵐敦子：更年期女性と味覚——おいしさの原点〔安全・安心〕——更年期と加齢のヘルスケア Vol 8 No.1 pp.150-155 平成 21 年 6 月 2009.
 - 19) 武井典子, 藤本篤士, 木本恵美子, 竹中彰治, 福島正義, 奥瀬敏之, 岩久正明, 石川正夫, 高田康二：高齢者の口腔機能の評価と管理のシステム化に関する研究 第 1 報 自立者の総合的な検査法, 改善法, 効果の評価法について, *老年歯科医学* 23 (4) : 384 ~ 396, 2009.
 - 20) 若松里佳, 竹中彰治, 本間春菜, 尾添裕美子, 福島正義, 興地隆史：新規歯面コーティング材塗布のアンケートによる審美性評価, *歯科審美* 21 (2) : 94 ~ 101, 2009.
 - 21) 韓 臨麟, 福島正義, 興地隆史：新規フロアブルレジンの表面性状観察 - 各種ドリンク浸漬後の変化 -, *日歯保存誌* 52 (2) : 184 ~ 189, 2009.
 - 22) 竹中彰治, 小林千夏, 若松里佳, 福島正義, 興地隆史：新規歯面コーティング材の短期的臨床評価 - 特に色調変化とチップングの頻度 -, *歯科審美* 22(1) :

41～47, 2009.

- 23) 福島正義：総説 変色歯治療の過去・現在・未来, 新潟歯学会誌, 39 (2) : 1～15, 2009.
- 24) 武井典子, 藤本篤士, 松倉順子, 竹中彰治, 福島正義, 石川正夫, 高田康二, 岩久正明：後期高齢者の生きる力を支える口腔管理ガイドラインの開発－入院患者のオーラルマネージメントの検討を通して－, 平成20年度8020公募研究事業研究報告書, 財団法人8020推進財団, 59-75.2009.
- 25) 小野和宏, 八木 稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 林 孝文, 齋藤 功, 興地隆史, 前田健康, 山田好秋：新潟大学歯学部歯学科の新教育課程とその評価. 新潟歯学会誌 39: 29-40, 2009.
- 26) Ono K, Yagi M, Ohuchi A, Uoshima K, Hayashi T, Saito I, Okiji T, Maeda T, Yamada Y: An evaluation of the new dental curriculum for undergraduates at the Niigata University Faculty of Dentistry. Niigata Dent J 39: 29-40, 2009.
- 27) 鈴木 昭：ミニコロニーの思想－ソーシャル キャピタルとしての知的障害者福祉－. 2009.4. 真柄福祉財団研究助成事業報告書, 1-16, 平成21年4月14日.
- 28) 安島久雄, 芳澤享子, 小野和宏, 泉 直也, 新美奏恵, 小山貴寛, 菅井登志子, 興地隆史, 齋藤 力, 高木律男：残留嚢胞摘出と同時に歯の即時移植を行った1例. 新潟歯学会誌 39: 53-58, 2009.
- 29) Ajima H, Yoshizawa M, Ono K, Izumi N, Niimi K, Koyama T, Sugai T, Okiji T, Saito C, Takagi R: A case of immediate tooth transplantation after residual cyst extirpation. Niigata Dent J 39: 53-58, 2009.
- 30) 頭山高子, 隅田好美, 田中照代, 福島正義, 末瀬一彦：三年制歯科衛生士教育における臨床実習の実質化 第一報 歯科衛生士インストラクター導入と基礎教育の改善効果、日本歯科衛生学会雑誌 4 (2), 66-74, 2010
- 31) 高橋英樹：小規模作業所は何を形成してきたか－法定化の分析から－. 日本の地域福祉第23巻：78-92, 2010
- 32) 高橋英樹：「見守り」に関する研究・序論～施策に組み込まれた「見守り」および「見守りネットワーク」～. 社会福祉士第17号：140-148, 2010

【商業誌】

- 1) 竹中彰治, 興地隆史, 福島正義：新・臨床に役立つすぐれモノ／歯面コーティング材 ビューティコート, デンタルダイヤモンド 34 (7) : 150～155, 2009.
- 2) 浅井哲也, 風間龍之輔, 南 一郎, 中村輝保, 五十

嵐順正, 福島正義, 興地隆史：新・臨床に役立つすぐれモノ／歯科咬合採得用材料フレキシタイムバイト, デンタルダイヤモンド 34 (8) : 142～145, 2009.

- 3) 福島正義：安心・安全なホワイトニングのためにおさえておきたいこのSTEP／患者さんからの質問に答えよう!, デンタルハイジーン 29(10):1063頁, 1065頁, 2009.
- 4) 富沢美恵子：子どもの口の病気. チャイルドヘルス, 12 (4) : 271-273, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 福島正義：後期高齢者の多発性根面う蝕に対するフッ化ジアンミン銀による薬物療法. 平成21年度科学研究費補助金 基盤研究 (C), 20592450, 2009.
- 2) 富沢美恵子, 鈴木 昭, 佐野富子：歯科検診を応用した施設入所被虐待児のセルフ・エスティーム啓発プログラム, 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 課題番号 20592396, 2009年.
- 3) 山崎和久：メタボリックシンドロームとしての歯周炎の病態解明－感染免疫特性からのアプローチ－. 日本学術振興会研究費補助金 基盤研究 (B), 19390536, 2007-2009.
- 4) 山崎和久：小胞体ストレスと歯周疾患の関連－病因論の新たなパラダイム構築－. 日本学術振興会研究費補助金 萌芽研究, 20659325, 2008-2009.
- 5) 魚島勝美, Stegaroiu Roxana, 藤井規孝：咬合力による骨組織改造の高精度予測. 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究 (B), 20390487, 2009.
- 6) 八木 稔, 佐久間汐子：地域う蝕トレンドモデルによるフッ化物応用の評価, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 21592643, 2009-2011.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Yamazaki K: The link between periodontal and cardiovascular diseases; Results from human and animal studies. Seminar series 2009, Center for Vascular Research and Cancer Research Centre, University of New South Wales, November 18, 2009.
- 2) 福島正義：シンポジウム3 う蝕の進行ステージと審美歯科 かかりつけ歯科における対応／歯の寿命を考えた生物学的修復処置. 第20回日本歯科審美学会学術大会, 東京, 2009年9月20日, プログラム・抄録集：P32, 2009.
- 3) 福島正義：シンポジウム／MIを理念としたエビデンス (根拠) とコンセンサス (合意) に基づくう蝕

- 治療ガイドライン, 4. 初発う蝕に対する診査・診断と切削介入の決定. 日本歯科保存学会 2009 年度秋季学術大会 (第 131 回), 仙台, 2009 年 10 月 30 日.
- 4) 小野和宏: 「二段階法 vs. 一段階法」この 10 年で結論はでたのか. シンポジウム 4 「口唇口蓋裂一次症例の一貫治療 (この 10 年の新展開)」。第 54 回(社)日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌, 2009 年 10 月 10 日. 日口外誌 55 (Supplement): 44 頁, 2009.
 - 5) 山崎和久: 歯周疾患と冠動脈心疾患の関連 - 因果か相関か -. 平成 21 年度新潟大学歯学部同窓会・総会 学術講演会, 新潟, 2009 年 4 月 18 日.
 - 6) 山崎和久: 歯周疾患の全身に及ぼす影響. 第 26 回新潟大学歯学部口腔外科・歯科麻酔科同門会総会, 新潟, 2009 年 7 月 4 日.
 - 7) 山崎和久: 歯周病と全身の影響. 平成 21 年度ぬながわ研修会学術講演会, 糸魚川, 2009 年 10 月 22 日.
 - 8) 山崎和久: 歯周組織の免疫応答から考える全身への影響. 第 52 回秋季日本歯周病学会学術大会, 宮崎, 2009 年 10 月 11 日, 日本歯周病学会会誌 第 51 巻秋季特別号, 66 頁, 2009.
 - 9) 山崎和久: 歯周疾患と動脈硬化性疾患の関連性. 東京都保険医協会医科歯科連携シンポジウム「医科歯科連携の実践から拡大へ」. 東京, 2009 年 12 月 13 日.
 - 10) 山崎和久: 歯周病と全身の健康. 平成 21 年度新潟大学歯学部同窓会福島県支部学術講演会. 郡山, 2009 年 2 月 13 日.
 - 11) 鈴木昭: 口腔生命福祉学科のキャリアデザイン教育について. コ・デンタルスタッフ教育と口腔保健学教育—これからの課題. 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会シンポジウムⅡ, 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会プログラム・抄録集 p.52, 平成 21 年 11 月 7 日, 広島.
 - 12) 鈴木昭: 1 人暮らしの高齢者や子どもなどの安全見守り～地域ぐるみによる支援と協力体制作り～活動交流集会 15. 平成 21 年度第 78 回全国民生委員児童委員大会要覧, 324-334, 平成 21 年 10 月 30 日, 新潟市.
 - 13) 鈴木昭: わたしたちのまちの “地域の子育て支援力” (福祉分野での取組). 第 1 分科会コーディネーター, 子どもの虐待防止推進全国フォーラム in にいがた・妙高. 平成 21 年 11 月 15 日, 妙高市.
- A survey of oral biopsies from paediatric patients at the University Hospital, 22nd Congress of the International Association of Paediatric Dentistry, Munich, Germany, June 17-20, 2009. (発表 2009.6.19) Int J Paediatr Dent: s19 (Suppl.1): 150, 2009.
- 3) Takahashi N, Honda T, Tabeta K, Yamazaki K: *Porphyromonas gingivalis* Modulates Chemokine Expression in Gingival Epithelial Cells. 87th General session of the IADR, Miami, USA, April 2, 2009.
 - 4) Maekawa T, Takahashi N, Aoki Y, Miyashita H, Nakajima T, Tabeta K, Yamazaki K: *Porphyromonas gingivalis* Infection Modulates Gene Expression in Mouse Tissues. 87th General session of the IADR, Miami, USA, April 4, 2009.
 - 5) Yamazaki K, Maekawa T, Takahashi N, Aoki Y, Miyashita H, Miyauchi S, Nakajima T, Tabeta K: Oral infection of *Porphyromonas gingivalis* induces proatherogenic change in mice. XV International Symposium on Atherosclerosis 2009. Boston, USA, June 14, 2009.
 - 6) Miyashita H, Honda T, Okui T, Kajita-Okui K, Maekawa T, Takahashi N, Ito H, Nakajima T, Tabeta K, Yamazaki K: Antibody levels to *Porphyromonas gingivalis* and CRP in periodontitis patients. 2nd Meeting of the IADR Pan Asian Pacific Federation, Wuhan, China, September 23, 2009.
 - 7) Yagi M, Yoshihara A, Seida Y: Evaluation of Dental Caries Prevention Program in Niigata Prefecture, Japan. The First Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education, Chiba (Japan), 2009 年 7 月 18-20 日.
 - 8) Yagi M, Sakuma S, and Miyazaki H: Risk of dental fluorosis associated with combined use of fluoride. 9th World Congress on Preventive Dentistry, Phuket (Thailand), 2009 年 9 月 7-10 日.
 - 9) Yagi Minoru, Nakata Haruka, Hoshino Yurina, Stegaroiu Roxana, Ohuchi Akitsugu: Estimation of the standard deviation values of the mean DMF tooth scores, to evaluate the effectiveness of a community-based fluoride mouth rinsing program for dental caries prevention. The Joint Scientific Meeting of the International Epidemiological Association Western Pacific Region and the Japan Epidemiological Association, Saitama, 2010.1.9-10, Supplement to Journal of Epidemiology 20 (Suppl. 1), p. S265, 2010.

【学会発表】

- 1) Kazama R, Asai T, Okiji T, Fukushima M, Igarashi Y: Fracture strength of ultrasonically inserted CAD/CAM ceramic inlays. #3230, 87th IADR, Miami, April 4, 2009
- 2) Tomizawa M, Tsuda T, Hayashi-Sakai S, Iizawa F:

- 10) Takano Ryohei, Nagasawa Masako, Mikami Satoshi, Stegaroiu Roxana, Uoshima Katsumi: Towards the establishment of a 3-D finite element model to investigate stress distribution around an implant under excessive load in a rat model. The 5th Scientific Meeting of the Asian Academy of Osseointegration, Bali (Indonesia), 2009.9. 20-22, Abstract book, p. 46.
- 11) 韓 臨麟, 石崎裕子, 福島正義, 興地隆史: 練和方式の違いが Self-adhesive Resin Cement の諸物性に与える影響. 平成 21 年度春期第 53 回日本歯科理工学会学術講演会, 東京都, 2009 年 4 月 11 日~12 日, 歯材器, 28 (2), P132, 2009.
- 12) 石崎裕子, 韓 臨麟, 興地隆史, 福島正義: 長期水中浸漬がフロアブルレジンの曲げ強さに与える影響. 日本歯科保存学会 2009 年度春季学術大会 (第 130 回), 札幌, 2009 年 6 月 11 日~12 日.
- 13) 浅井哲也, 興地隆史, 風間龍之輔, 福島正義: CAD/CAM 用セラミックスの破折強度について—グレージングの影響—. 日本歯科保存学会 2009 年度春季学術大会 (第 130 回), 札幌, 2009 年 6 月 11 日~12 日.
- 14) 風間龍之輔, 五十嵐順正, 浅井哲也, 福島正義, 渡邊清志, 飛田 滋, 岡田直人: 温度および荷重負荷条件下における 3 ユニット Y-TZP ブリッジの破折強度. 日本歯科保存学会 2009 年度春季学術大会 (第 130 回), 札幌, 2009 年 6 月 11 日~12 日.
- 15) 武井典子, 藤本篤士, 木本恵美子, 竹中彰治, 福島正義, 石川正夫, 高田康二, 岩久正明: 高齢者の口腔ケアに関する研究 第 4 報 要介護者の口腔機能の検査法と管理法の検討. 第 20 回日本老年歯科医学会総会・学術大会, 横浜, 平成 21 年 6 月 20 日, プログラム・抄録集, 161 頁, 2009.
- 16) 浅井哲也, 風間龍之輔, 渡部平馬, 福島正義, 興地隆史: ハンドピース潤滑油による汚染がコンポジットレジンの歯質接着性に及ぼす影響. 第 20 回日本歯科審美学会学術大会, 東京, 2009 年 9 月 19 日, プログラム・抄録集: P47, 2009.
- 17) 渡部平馬, 浅井哲也, 風間龍之輔, 福島正義, 興地隆史: オールセラミックインレーの被着面酸処理が破折強度に及ぼす影響. 第 20 回日本歯科審美学会学術大会, 東京, 2009 年 9 月 19 日, プログラム・抄録集: P48, 2009.
- 18) 頭山高子, 隅田好美, 田中照代, 筒井 睦, 福島正義, 末瀬一彦: 歯科衛生士教育における臨床実習の実質化への取り組み 第 1 報 歯科衛生士専任インストラクター (DHCI) による見学実習の指導効果. 日本歯科衛生学会第 4 回学術大会, 大阪, 2009 年 9 月 20 日, 日本歯科衛生士雑誌: 4 (1), 134, 2009.
- 19) 隅田好美, 頭山高子, 田中照代, 筒井 睦, 福島正義, 末瀬一彦: 歯科衛生士教育における臨床実習の実質化への取り組み 第 2 報 基礎教育改善が DHCI 見学実習に及ぼす効果. 日本歯科衛生学会第 4 回学術大会, 大阪, 2009 年 9 月 20 日, 日本歯科衛生士雑誌, 4 (1): 135, 2009.
- 20) 石崎裕子, 韓 臨麟, 興地隆史, 福島正義: 練和システムの違いが合着用セメントの物性に与える影響. 日本歯科保存学会 2009 年度秋季学術大会 (第 131 回), 仙台, 2009 年 10 月 29 ~ 30 日.
- 21) 風間龍之輔, 五十嵐順正, 浅井哲也, 渡部平馬, 興地隆史, 福島正義: ハンドピース潤滑油による汚染がワンステップボンディングシステムの歯質接着性に及ぼす影響. 日本歯科保存学会 2009 年度秋季学術大会 (第 131 回), 仙台, 2009 年 10 月 29 ~ 30 日.
- 22) 富沢美恵子, 佐野富子, 津田 高, 當摩紗衣, 南部友貴, 鈴木 昭: 施設入所被虐待児のセルフ・エスティームと歯科的関与の有効性について, 日本子ども虐待防止学会第 15 回学術集会埼玉大会, 抄録集 149 頁, さいたま市, 2009 年 11 月 28 日.
- 23) 石川裕子, 柴田佐都子, 福島正義, 八木 稔, 大内章嗣, 小野和宏, 山崎和久, 黒川孝一, 隅田好美, 富沢美恵子: 実習ケースに関する臨床実習の現状とその評価. 日本歯科医学教育学会, 広島, 2009 年 11 月 6 日~7 日.
- 24) 柴田佐都子, 石川裕子, 八木 稔, 福島正義, 大内章嗣, 小野和宏, 山崎和久, 黒川孝一, 隅田好美, 富沢美恵子: 歯科衛生士 4 年制養成学士課程の臨床実習における現役生と 3 年次編入生の学習状況. 日本歯科医学教育学会, 広島, 2009 年 11 月 6 日~7 日.
- 25) 飯田明彦, 高木律男, 小野和宏, 寺尾恵美子, 永田昌毅, 児玉泰光, 小山貴寛, 小林孝憲, 五十嵐友樹: 二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖に関する長期間一貫治療成績—低年齢での硬口蓋閉鎖の可能性—. 第 33 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2009 年 5 月 28 日. 日口蓋誌 34 (2): 146 頁, 2009.
- 26) 工藤和子, 高木律男, 寺尾恵美子, 児玉泰光, 朝日藤寿一, 小野和宏, 齋藤 功: 上顎前方移動術が口蓋裂患者の鼻咽腔閉鎖機能に及ぼす影響について. 第 33 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2009 年 5 月 28 ~ 29 日. 日口蓋誌 34 (2): 199 頁, 2009.
- 27) 竹山雅規, 朝日藤寿一, 金山 潔, 大石めぐみ, 小原彰浩, 小野和宏, 齋藤 力, 高木律男, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科診療室における口唇裂・口蓋裂患者の臨床統計調査. 第 33 回日本口

- 蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2009年5月28～29日. 日口蓋誌 34 (2) : 221頁, 2009.
- 28) 小野和宏, 八木 稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 林 孝文, 齋藤 功, 興地隆史, 前田健康, 藤井規孝: 新潟大学歯学部歯学科のカリキュラム評価. 第28回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 広島, 2009年11月7日. プログラム・抄録集: 91頁, 2009.
- 29) 安島久雄, 小野和宏, 井上 誠, 山村健介, 高木律男, 藤井規孝, 齋藤 功, 魚島勝美, 興地隆史, 前田健康, 松山順子, 田中 礼, 小田陽平, 島田靖子: 新潟大学歯学部における教員研修 (FD) の概要と今後の方向性. 第28回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 広島, 2009年11月7日. プログラム・抄録集: 92頁, 2009.
- 30) 高橋直紀, 本田朋之, 奥井隆文, 土門久哲, 吉江弘正, 多部田康一, 山崎和久: ヒト歯肉上皮細胞のケモカイン産生における IRAK-M の関与. 第42回新潟歯学会総会, 新潟, 2009年4月18日.
- 31) 前川知樹, 高橋直紀, 本田朋之, 宮下博孝, 米澤大輔, 奥井隆文, 多部田康一, 山崎和久: 歯周炎の病態は冠動脈血管内皮細胞の Early growth response-1 発現を上昇・誘導し炎症反応を促進させる. 第42回新潟歯学会総会, 新潟, 2009年4月18日.
- 32) 米澤大輔, 宮下博孝, 前川知樹, 高橋直紀, 青木由香莉, 奥井隆文, 中島貴子, 田辺直仁, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染が冠動脈疾患リスクに及ぼす影響. 第42回新潟歯学会総会, 新潟, 2009年4月18日.
- 33) 米澤大輔, 宮下博孝, 前川知樹, 高橋直紀, 青木由香莉, 奥井隆文, 中島貴子, 田辺直仁, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染が冠動脈疾患リスクに及ぼす影響 1. 基本健康診査受診者における解析. 第52回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山, 2009年5月15日, 日歯周誌 51巻 春季特別号, 26頁, 2009.
- 34) 高橋直紀, 前川知樹, 青木由香莉, 宮下博孝, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染が冠動脈疾患リスクに及ぼす影響 2. 歯周炎モデルマウスの病態解析. 第52回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山, 2009年5月15日, 日歯周誌 51巻 春季特別号, 13頁, 2009.
- 35) 前川知樹, 高橋直紀, 青木由香莉, 宮下博孝, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染が冠動脈疾患リスクに及ぼす影響 3. 感染によるマウス組織・臓器への影響. 第52回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山, 2009年5月15日, 日歯周誌 51巻 春季特別号, 13頁, 2009.
- 36) 宮下博孝, 米澤大輔, 本田朋之, 奥井隆文, 梶田桂子, 前川知樹, 高橋直紀, 伊藤晴江, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: 歯周炎患者における *Porphyromonas gingivalis* に対する抗体価と高感度CRPの関連性. 第52回秋季日本歯周病学会学術大会, 宮崎, 2009年10月11日, 日歯周誌 51巻 秋季特別号, 99頁, 2009.
- 37) 前川知樹, 高橋直紀, 本田朋之, 宮下博孝, 米澤大輔, 奥井隆文, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 抗原およびIL-6刺激は血管内皮細胞において転写因子Egr-1を介してMCP-1の産生を増強する. 第131回日本歯科保存学会2009年度秋季学術大会, 仙台, 2009年10月29日.
- 38) 黒川孝一, 小野和宏, 大内章嗣, 八木 稔, ステガロク ロクサーナ, 中島俊一, 大瀧祥子, 森田修一, 山崎和久, 鈴木 昭, 山田好秋, 前田健康: 電子ノートシステム構築によるPBL学習支援について (第1報)—コアタイムにおける電子筆記とその評価—. 第28回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 広島, 2009年11月6～7日. プログラム・抄録集: 119頁, 2009.
- 39) 韓 臨麟, 興地隆史, 吉羽永子, 小林哲夫, 藤井規孝, 小野和宏, 前田健康: 早期臨床実習への窩洞形成修復実習の導入. 第28回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 広島, 2009年11月6～7日. プログラム・抄録集: 128頁, 2009.
- 40) 高野遼平, 長澤麻紗子, 三上 諭, Stegaroiu Roxana, 魚島勝美: 過重負担下インプラント周囲骨の応力分布を分析する3次元有限要素ラットモデル作成の試み. 日本補綴歯科学会関東支部学術大会, 高崎, 2010年1月30日, 日本補綴歯科学会関東支部学術大会プログラム7頁.
- 41) 奥村暢旦, ステガロク ロクサーナ, 黒川孝一, 魚島勝美: 上顎洞底に接するインプラント体と周囲皮質骨との3次元有限要素解析による力学的検討. 社団法人日本補綴歯科学会第118回学術大会, 大阪, 2009年6月5日, 日本補綴歯科学会雑誌1巻118回特別号189頁2009年.
- 42) 高橋英樹: 小規模作業所法定化の展開過程—新潟県における小規模作業所法定化の分析をとおして—. 日本地域福祉学会, 岐阜市, 2009年6月21日, 日本地域福祉学会第23回大会要旨集: 182, 2009.
- 43) 平林友香, 高橋英樹: 認知症対応型共同生活介護事業所における口腔ケアに関する介護職員の意識調査. 新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2009年11月21日, 新潟歯学会誌: 39 (2) 211頁, 2009.

- 44) 市川加奈, 佐久間汐子, 葭原明弘, 宮崎秀夫, 五十嵐敦子: 高齢者〔79歳～80歳〕における唾液量・服用薬剤・血液情報〔生化学検査〕との関連, 第20回日本老年歯科医学会総会・学術会議, 2009年6月19～20日, パシフィコ横浜インターコンチネンタル, プログラム抄録集, P140.
- 45) 伊藤加代子, 船山さおり, 葭原明弘, 井上 誠, 五十嵐敦子, 宮崎秀夫: 自立高齢者における口腔機能の経年的変化に関する検討. 第20回日本老年歯科医学会総会・学術会議 2009年6月19～20日, パシフィコ横浜インターコンチネンタル, プログラム抄録集, P146.
- 46) 船山さおり, 伊藤加代子, 安達大雅, 梶井友佳, 勝良剛詞, 齊藤美紀子, 濃野要, 金子昇, 五十嵐敦子, 井上 誠: 新潟大学医歯学総合病院加齢歯科診療室「くちのかわき外来」の受診患者に関する検討. 2009年7月18日, 新潟歯学会, 平成21年度新潟歯学会第1回例会
- 47) 五十嵐敦子: サテライトシンポジウム 唾液腺研究最前線——口腔乾燥の分子機構と臨床応用 唾液腺疾患の現状——シェーグレン症候群とドライマウス. 第51回歯科基礎医学会学術大会, 新潟朱鷺メッセ, 2009年9月9日～11日
- 48) 矢崎 篤, 八木 稔, 鎌田 巖, 鈴木竜児, 七沢久子, 手塚知恵, 畑 秀明, 山本武夫, 片岡照二郎, 清田義和, 木本一成, 山内皓央, 佐久間汐子, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 甲信越北陸地方における集団応用フッ化物洗口の実態—2008年調査報告—, 第20回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会総会, 新潟市, 2009年7月25日, 口腔衛生会誌, 60(1): in press, 2010.
- 49) 八木 稔, 清田義和, 佐久間汐子, 石上和男, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 地域う蝕トレンドモデル構築の試みとフッ化物応用の評価 新潟県12歳児平均DMF歯数を用いて, 第58回日本口腔衛生学会総会, 岐阜市, 2009年10月9-11日, 口腔衛生会誌, 59(4): 517, 2009.
- 50) 小出浩貴, 谷口威男, 新井安芸彦, 八木 稔, 野村修一: 長野健康センター人間ドックにおける歯周疾患と高血圧症, 動脈硬化症との関連, 平成21年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2009年11月21日, 新潟歯学会雑誌, 39(2): 215, 2009.
- 51) 石川裕子, 柴田佐都子, 福島正義, 八木 稔, 大内章嗣, 小野和宏, 山崎和久, 黒川孝一, 隅田好美, 富沢美恵子: 実習ケースに関する臨床実習の現状とその評価. 第28回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 広島, 2009年11月6～7日. プログラム・抄録集: 134頁, 2009.
- 52) 柴田佐都子, 石川裕子, 八木 稔, 福島正義, 大内章嗣, 小野和宏, 山崎和久, 黒川孝一, 隅田好美, 富沢美恵子: 歯科衛生士4年制養成学士課程の臨床実習における現役生と3年次編入生の学習状況. 第28回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 広島, 2009年11月6～7日. プログラム・抄録集: 135頁, 2009.
- 53) 石川裕子, 依田浩子, 大島邦子, 本田雅規, 大島勇人: マウス臼歯発生過程における歯髓組織幹細胞の局在. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009年9月10日, J Oral Biosci 51 (Suppl): 75, 2009.
- 54) 斎藤浩太郎, 依田浩子, 石川裕子, 大島勇人: マウス臼歯再植・移植後の歯髓治癒過程におけるGM-CSFおよびオステオポンチンの役割について. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009年9月11日, J Oral Biosci 51 (Suppl): 90, 2009.

【研究会発表】

- 1) 福島正義: 歯科医学概論 / MI (Minimal Intervention) を理念としたエビデンス (根拠) とコンセンサス (合意) に基づくう蝕治療ガイドライン, 平成21年度歯科衛生士専任教員講習会Ⅳ, 鶴見, 平成21年8月24日
- 2) 頭山高子, 隅田好美, 田中照代, 筒井 睦, 福島正義, 末瀬一彦: 歯科衛生教育における臨床実習の実質化への取り組み 第一報 歯科衛生士選任インストラクター (DHCI) による見学実習の指導効果, 2009年9月20日 日本歯科衛生学会雑誌4(1): 134, 2009
- 3) 隅田好美, 頭山高子, 田中照代, 筒井 睦, 福島正義, 末瀬一彦: 歯科衛生士教育における臨床実習の実質化への取り組み 第二報 基礎教育改善がDHCI見学実習に及ぼす効果, 2009年9月20日, 日本歯科衛生学会雑誌4(1): 135, 2009

【受賞】

- 1) 古里美幸, 森田修一, 朝日藤寿一, 小野和宏, 高木律男, 齊藤 力, 齋藤 功: 片側性唇顎口蓋裂患者の成長発育に伴う外鼻形態の変化について. 日口蓋誌 33: 42-56, 2008. 2009年日本口蓋裂学会雑誌優秀論文賞.
Furusato M, Morita S, Asahito T, Ono K, Takagi R, Saito C, Saito I: Developmental changes of the nasal form in patients with unilateral cleft lip and palate. J Jpn Cleft Palate Assoc 33: 42-56, 2008.

【その他】

- 1) 福島正義：会則検討委員会報告，日本歯科審美学会 ニュースレター，Vol.19 Summer，2009.
- 2) 大内章嗣，吉江弘正，野村修一，隅田好美，石川裕子，伊藤加代子：新潟大学公開講座介護予防のための「口腔機能の向上」入門講座，「口腔清掃介助の実際（実習）」，新潟，2009年7月7日
- 3) 鈴木 昭：高齢者の理解と支援のヒント—自己実現しつつある人々の特徴. 口腔生命福祉学科公開講座「健康長寿を支える口腔ケア」.平成21年10月27日，新潟市 駅南キャンパスときめいと.
- 4) 鈴木 昭：研究発表3 児童福祉分科会 助言・講評.平成21年度「社会福祉施設関係職員研究発表会，新潟県社会福祉協議会，平成22年2月26日.
- 5) 鈴木 昭：新潟県・新潟県社会福祉協議会 平成21年度福祉行政新任職員研修会，「地域福祉課題の析出と解決の手法（児童虐待をなくす地域づくり）」2009.6.5.
- 6) 鈴木 昭：長岡市要保護児童対策地域協議会スーパーバイザー 平成21年度，22年度.
- 7) 鈴木 昭：これからの子ども家庭福祉の在り方～子ども虐待予防への取組みをとおして～. 子ども家庭支援者養成研修(3級課程)，新潟市社会福祉協議会，平成22年2月26日.
- 8) 鈴木 昭：新潟県社会福祉協議会活動指針検討委員会，新潟県社会福祉協議会，平成21年度.
- 9) 隅田好美：新潟県難病相談支援センター研修事業ピアサポート研修—ステップアップコース—，新潟，2009年12月5日
- 10) Stegaroiu Roxana: [Considerations on the Application of 3D-Finite Element Analysis in Implant Prosthodontic Research.] Revista Romana de Stomatologie (Ro J Stomatol), 55(2):95-96, 2009. Romanian with English translation.
- 11) 高橋英樹：組織活動・能力開発.平成21年度社会福祉施設新任職員研修，新潟市，2009年6月12日・7月3日・7月23日
- 12) 高橋英樹：実習スーパービジョン論. 日本社会福祉士会社会福祉士実習指導者講習会，新潟市，2009年11月29日
- 13) 五十嵐敦子 2009.10.27.新潟大学歯学部公開講座“健康長寿を支える口腔ケア”新潟大学駅南キャンパスときめいと口腔ケアとドライマウス・味覚障害——高齢者のQOLの向上を目指して——
- 14) 五十嵐敦子 2009.11.1 東京 都市センターホテル 第8回更年期と加齢のヘルスケア学会学術集会更年期からのヘルスケア——現状と今後の展望更年期女性と味覚・ドライマウス ラウンドテーブル 座長

- 15) 新潟ドライマウス学術研究会平成22年2月18日新潟グランドホテル一般演題 司会者 五十嵐敦子.
- 16) 八木 稔：むし歯予防とフッ化物応用について，やすらぎの保育園，阿賀野市，2009年10月8日.
- 17) 八木 稔：むし歯予防とフッ化物応用について，たちばな保育園，阿賀野市，2010年2月24日.

歯科総合診療部

【著書】

- 1) 小林哲夫，若林裕之，近藤一郎，山内恒治，八重島智子，岩附慧二，吉江弘正：ウシラクトフェリン経口投与による歯周病原細菌の抑制.『ラクトフェリン2009：』（第3回ラクトフェリンフォーラム実行委員会 編著），15-20頁，日本医学館，東京，2009.
- 2) 若林裕之，山内恒治，小林哲夫，八重島智子，岩附慧二，吉江弘正：ラクトフェリンの歯周病菌バイオフィルムに対する効果.『ラクトフェリン2009：』（第3回ラクトフェリンフォーラム実行委員会 編著），75-78頁，日本医学館，東京，2009.
- 3) 小林哲夫，吉江弘正：コラム 歯周疾患の活動性.『ザ・ペリオドントロジー』（和泉雄一・沼部幸博・山本松男・木下淳博 編集），110頁，永末書店，京都，2009.
- 4) 石崎裕子，福島正義：切削介入はいつ？；日本歯科理工学会雑誌29（1）9-12，2010年1月

【論文】

- 1) Detailed Process of Bone Remodeling after Achievement of Osseointegration in a Rat Implantation Model
Haga M, Fujii N, Nozawa-Inoue K, Nomura S, Oda K, Uoshima K, Maeda T. Anatomical Record 292:38-47, 2009
- 2) アンテリアガイダンスと咬合支持の回復を図った1症例
藤井規孝
日本補綴歯科学会誌1（3）:319-322, 2009
- 3) 骨縁下齲蝕に対して外科的挺出（再植）を適用した症例の臨床的検討
平山実里，藤井規孝
新歯界 688:1-3, 2009
- 4) Kobayashi T, Murasawa A, Komatsu Y, Yokoyama T, Yamamoto K, Ishida K, Abe A, Yamamoto K, Yoshie H: Serum cytokine and periodontal profiles in relation to disease activity of rheumatoid arthritis in Japanese adults. *J Periodontol*, in press.
- 5) Wakabayashi H, Kondo I, Kobayashi T, Yamauchi K,

- Toida T, Iwatsuki K, Yoshie H: Periodontitis, periodontopathic bacteria and lactoferrin. *Biometals*, in press.
- 6) Kobayashi T, Murasawa A, Ito S, Yamamoto K, Komatsu Y, Abe A, Sumida T, Yoshie H: Cytokine gene polymorphisms associated with rheumatoid arthritis and periodontitis in Japanese adults. *J Periodontol* 80: 792-799, 2009.
 - 7) Tabeta K, Shimada Y, Tai H, Ishihara Y, Noguchi T, Soga Y, Takashiba S, Suzuki G, Kobayashi T, Kobayashi T, Yamazaki K, Inoko H, Yoshie H: Assessment of chromosome 19 for genetic association in severe chronic periodontitis. *J Periodontol* 80: 663-671, 2009.
 - 8) Kobayashi T, Nagata T, Murakami S, Takashiba S, Kurihara H, Izumi Y, Numabe Y, Watanabe H, Kataoka M, Nagai A, Hayashi J, Ohyama H, Okamatsu Y, Inagaki Y, Tai H, Yoshie H: Genetic risk factor for periodontitis in a Japanese population. *J Dent Res* 88: 1137-1141, 2009.
 - 9) Wakabayashi H, Yamauchi K, Kobayashi T, Yaeshima T, Iwatsuki K, Yoshie H: Inhibitory effect of lactoferrin on growth and biofilm of *Porphyromonas gingivalis* and *Prevotella intermedia*. *Antimicrob Agents Chemother* 53: 3308-3316, 2009.
 - 10) Fujita H, Kobayashi T, Tai H, Nagata M, Hoshina H, Nishizawa R, Takagi R, Yoshie H: Assessment of 14 functional gene polymorphisms in Japanese patients with oral lichen planus: a pilot case-control study. *Int J Oral Maxillofac Surg* 38: 978-983, 2009.
 - 11) Nakajima T, Honda T, Domon H, Okui T, Kajita K, Ito H, Takahashi N, Maekawa T, Tabeta K, Yamazaki K. Periodontitis associated up-regulation of systemic inflammatory mediator level may increase the risk of coronary heart disease. *J Periodont Res.* 45(1) Feb: 116-122; 2010.
 - 12) Nakajima T, Yamazaki K. Periodontal disease and risk of atherosclerotic coronary heart disease. *Odontology* 97(2) Jul: 84-91; 2009
 - 13) Domon H, Takahashi N, Honda T, Nakajima T, Tabeta K, Abiko Y, Yamazaki K. Up-regulation of the endoplasmic reticulum stress-response in periodontal disease. *Clin Chim Acta.* 2009; 401: 134-140.
 - 14) Linlin HAN, Hiroko ISHIZAKI, Akira OKAMOTO Masayoshi FUKUSHIMA and Takashi OKIJI: Morphology Analysis of the Flowable Resins after Long-term Storage or Surface Polishing with a Mini-brush. *Dental Material Journal* 28 (3), 277-284, 2009
 - 15) 韓 臨麟, 石崎裕子, 福島正義, 興地隆史: 新規 HEMA 非含有 1 液性ワンステップ接着システムに関する研究 - 歯質処理面および接着界面の微細構造と辺縁封鎖性の評価 - ; 日保存誌 52 (3), 279 ~ 287, 2009
- 【商業誌】**
- 1) 小林哲夫, 近藤一郎, 若林裕之, 山内恒治, 八重島智子, 岩附慧二, 吉江弘正: 歯周病予防・補助的治療のためのラクトフェリン. 歯界展望特別号/めざせ! 健・口・美—未来に向けた歯科医療—第 21 回日本歯科医学会総会 歯界展望特別号, 371 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 【研究費獲得】**
- 1) 歯科インプラントの生体防御反応と神経線維との関連性を探る
平成 21 年度新潟大学プロジェクト推進経費, 372,000 円
 - 2) 小林哲夫 (研究代表者): 歯周炎感受性に関与する Fc レセプター遺伝子と情報発現制御メカニズムの解析. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C) 課題番号 19592383, 2009.
 - 3) 小林哲夫 (研究分担者): 歯周炎・膠原病のリスク遺伝子多型分類に基づく RNA 発現とタンパク同定. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B) 課題番号 19390535, 2009.
 - 4) 平成 21-23 年度 科学研究費補助金基盤研究 B 21 年度分 490,0 千円 (直接経費) + 147,0 千円 (間接経費)
タイトル レギュラトリー細胞が歯周組織破壊に及ぼす影響—敵か味方か—
研究代表者 中島 貴子
課題番号 21390555
- 【学会発表】**
- 1) 骨縁下齶蝕に対して外科的挺出 (再植) を適用した症例の臨床的検討
平山実里, 藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 魚島勝美
平成 21 年 4 月 18 日, 新潟歯学会総会
 - 2) 早期臨床実習への窩洞形成修復実習の導入
韓 臨麟, 興地隆史, 吉羽永子, 小林哲夫, 藤井規孝, 小野和宏, 前田健康

- 平成 21 年 11 月 6 日, 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会
- 3) 新潟大学歯学部のカリキュラム評価
小野和宏, 八木 稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 林 孝文, 齋藤功, 興地隆史, 前田健康, 藤井規孝
平成 21 年 11 月 6 日, 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会
 - 4) 新潟大学歯学部における教員研修 (FD) の概要と今後の方向性
安島久雄, 小野和宏, 井上 誠, 山村健介, 高木律男, 藤井規孝, 齋藤 功, 魚島勝美, 興地隆史, 前田健康, 松山順子, 田中 礼, 小田陽平, 島田靖子
平成 21 年 11 月 6 日, 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会
 - 5) 新潟大学医歯学総合病院歯科医師臨床研修における単独型プログラムの実際
藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 魚島勝美, 齋藤 力, 前田健康
平成 21 年 11 月 6 日, 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会
 - 6) Wakabayashi H, Kondo I, Kobayashi T, Yamauchi K, Toida T, Iwatsuki K, Yoshie H.: Lactoferrin inhibits biofilm and dental plaque of periodontopathic bacteria. 9th International Lactoferrin Conference. Beijing, China, October 18-22, 2009.
 - 7) Sugita N, Kobayashi T, Iwanaga R, Yoshie H: A Fc γ R IIb gene polymorphism associated with expression level on B lymphocytes the antibody response against *Porphyromonas gingivalis*. EUROPERIO6 (Poster presentations), Stockholm, Sweden, June 4-6, 2009.
 - 8) 小林哲夫, 小松康高, 横山智子, 石田光平, 山本幸司, 吉江弘正: 関節リウマチ活動度と歯周疾患重症度との関連性. 日本歯科保存学会 2009 年度秋季学術大会 (第 131 回), 宮城県仙台市, 2009.10.30, 日本歯科保存学雑誌 秋季学術大会プログラム: 25 頁, 2009.
 - 9) 若林裕之, 小林哲夫, 吉江弘正: ラクトフェリンによる歯周病原菌バイオフィルムの抑制. 日本歯科保存学会 2009 年度秋季学術大会 (第 131 回), 宮城県仙台市, 2009.10.29-30, 日本歯科保存学雑誌 秋季学術大会プログラムおよび講演抄録集: 42 頁, 2009.
 - 10) 横山智子, 小林哲夫, 山本幸司, 吉江弘正: 歯周炎感受性に関わる好中球 Fc \cdot RIIIb 遺伝子多型のプロテオーム解析. 第 52 回秋季日本歯周病学会学術大会, 宮崎県宮崎市, 2009.10.11, 日本歯周病学会誌 第 51 巻春季特別号: 90 頁, 2009.
 - 11) 杉田典子, 小林哲夫, 島田靖子, 平野絵美, 吉江弘正: 早産リスク因子としての歯周炎と免疫関連遺伝子多型の影響. 第 52 回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.15, 日本歯周病学会誌 第 51 巻春季特別号: 129 頁, 2009.
 - 12) 小林哲夫, 山本幸司, 小松康高, 吉江弘正: 関節リウマチおよび歯周炎感受性に関わるサイトカイン遺伝子多型. 第 52 回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山県岡山市, 2009.5.15, 日本歯周病学会誌 第 51 巻春季特別号: 129 頁, 2009.
 - 13) 米澤大輔, 宮下博考, 前川知樹, 高橋直紀, 前川知樹, 青木由香莉, 奥井隆文, 中島貴子, 田辺直仁, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染が冠動脈疾患リスクに及ぼす影響. 第 42 回新潟歯学会総会, 新潟, 2009 年 4 月 18 日, 第 42 回新潟歯学会総会抄録集 p11, 2009.
 - 14) 中島貴子 心血管疾患患者の歯周病治療-踏まえておきたいエビデンス- シンポジウム「有病者・高齢者の口腔 (歯周病) 治療. 第 52 回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山市, 2009 年 5 月 15 日, 日本歯周病学会誌第 51 巻春季特別号 p72, 2009.
 - 15) 米澤大輔, 宮下博考, 前川知樹, 高橋直紀, 青木由香莉, 奥井隆文, 中島貴子, 田辺直仁, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染が冠動脈疾患リスクに及ぼす影響 1. 基本健康診査受診者における解析 第 52 回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山市, 2009 年 5 月 15 日, 日本歯周病学会誌第 51 巻春季特別号 p127, 2009.
 - 16) 高橋直紀, 前川知樹, 青木由香莉, 宮下博考, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染が冠動脈疾患リスクに及ぼす影響 2. 歯周炎モデルマウスの病態解析 第 52 回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山市, 2009 年 5 月 15 日, 日本歯周病学会誌第 51 巻春季特別号 p104, 2009.
 - 17) 前川知樹, 高橋直紀, 青木由香莉, 宮下博考, 奥井隆文, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 感染が冠動脈疾患リスクに及ぼす影響 3. 感染によるマウス組織・臓器への影響 第 52 回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山市, 2009 年 5 月 15 日, 日本歯周病学会誌第 51 巻春季特別号 p105, 2009.
 - 18) 本田朋之, 宮下博考, 米澤大輔, 奥井隆文, (梶田) 奥井桂子, 前川知樹, 高橋直紀, 伊藤晴江, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久
歯周炎患者における *Porphyromonas gingivalis* に対する抗体価と高感度 CRP の関連性. 第 2 回日本口腔検査学会学術大会, 広島, 2009/10/4

- 19) 宮下博考, 米澤大輔, 本田朋之, 奥井隆文, (梶田) 奥井桂子, 前川知樹, 高橋直紀, 伊藤晴江, 中島貴子, 多部田康一, 山崎和久. 歯周炎患者における *Porphyromonas gingivalis* に対する抗体価と高感度 CRP の関連性. JADR Wuhan, China 2009/9
- 20) 中島貴子. 垂直性骨欠損への対応. 第 52 回日本歯周病学会秋季学術大会, 宮崎, 2009/10/11
- 21) 韓 臨麟, 石崎裕子, 福島正義, 興地隆史. 練和方式の違いが Self-adhesive Resin Cement の諸物性に与える影響. 第 53 回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 2009.4.11-12. 歯科材料・器械 28 (2), 132 ページ, 2009
- 22) 石崎裕子, 韓臨麟, 興地隆史, 福島正義: 長期水中浸漬がフロアブルレジンの曲げ強さに与える影響. 日本歯科保存学会 2009 年度春季学会 (第 130 回), 札幌, 2009-6-11 ~ 12
- 23) 石崎裕子, 韓臨麟, 興地隆史, 福島正義: 練和システムの違いが合着用セメントの物性に与える影響. 日本歯科保存学会 2009 年度秋季学会 (第 131 回), 仙台, 2009-10-29 ~ 30
- Kurokawa K, Uoshima K.: Comparison of two methods for testing restored tooth failure resistance. *Revista Romana de Stomatologie (Ro J Stomatol)* 55(3): 218-224, 2009.
- 3) Yoshida K, Uoshima K, Oda K, Maeda T.: Influence of heat stress to matrix on bone formation. *CIOR*, 20:782-790, 2009.
- 4) Fujita H, Kobayashi T, Tai H, Nagata M, Hoshina H, Nishizawa R, Takagi R, Yoshie H.: Assessment of 14 functional gene polymorphisms in Japanese patients with oral lichen planus: a pilot case-control study. *Int J Oral Maxillofac Surg* 38: 978-983, 2009.
- 5) Kodama Y, Seo K, Tanaka R, Arashiyama T, Ajima H, Takagi R.: Placement of mandibular nerve block using computed tomography to locate the foramen ovale in a patient with severe dislocation after segmental mandiblectomy. *Br J Oral Maxillofac Surg* 47: 407-408, 2009.
- 6) Haga M, Fujii N, Nozawa-Inoue K, Nomura S, Oda K, Uoshima K, Maeda T.: Detailed Process of Bone Remodeling after Achievement of Osseointegration in a Rat Implantation Model. *Anatomical Record* 292:38-47, 2009.
- 7) Nakasone N, Kubota T, Hoshino C, Nohno K, Itagaki M, Shimizu T, Yoshie H.: Differential gene and protein expression of tissue inhibitors of metalloproteinases (TIMP)-3 and TIMP-4 in gingival tissues from drug induced gingival overgrowth. *Arch Oral Biol* 54: 634-641, 2009.
- 8) 藤井規孝: アンテリアガイダンスと咬合支持の回復を図った 1 症例. *日本補綴歯科学会誌* 1(3):319-322, 2009.
- 9) 荒井良明: 半側咀嚼筋スパズムに咬合挙上した可撤性義歯による補綴学的療法の奏功した 1 症例. *日本補綴会誌* 1: 195-198, 2009.
- 10) 敦井智賀子, 荒井良明, 谷口裕重, 矢作理花, 堀一浩, 井上 誠: 下顎運動時頭頸部協調運動の筋電図学的評価. *顎機能誌* 16: 112-123, 2010.
- 11) 久保田健彦: 歯周炎組織破壊における生体酵素動態と歯周炎感受性診断. *日本歯科保存学会雑誌* 53 (1) : 6-8, 2010.
- 12) 小田陽平, 小林正治, 永井正紀, 泉 直也, 芳澤享子, 朝日藤寿一, 齋藤 功, 齊藤 力: 口蓋裂がある患者に対する上下顎移動術後の顎骨安定性について. *口蓋裂会誌* 34 (3) : 253-260, 2009.
- 13) 小田陽平, 芳澤享子, 小林正治, 泉 直也, 齊藤 力: 両側性口唇口蓋裂を伴った先天性絞扼輪症候群の 1

【研究会発表】

石崎裕子, 中島貴子, 小林哲夫, 藤井規孝, 魚島勝美. 歯科医師臨床研修における医療事故防止活動－危険予知トレーニングの試み－総合歯科医療に関する学術研究セミナー 2009, 松戸, 2009-7-19 ~ 20

【その他】

- 1) 座長 (藤井規孝)
平成 21 年 7 月 19 日, 総合歯科医療に関する学術研究セミナー 2009
平成 22 年 1 月 30 日, 日本補綴歯科学会関越支部学術大会
- 2) 小林哲夫, 藤井規孝, 中島貴子, 石崎裕子: 平成 21 年度歯科医師臨床研修症例報告集第 10 号, 新潟大学歯学総合病院, 新潟県新潟市, 2010.3.26.

インプラント治療部

【論文】

- 1) KaKu M and Uoshima K.: Implant System Selection and Treatment Planning. *WCOI Year Book 2009 (CD version)*, 57-63, 2010.
- 2) Juan Marcelo Rosales Rocabado, Roxana Stegaroiu, Farhana Sharmin, Kitamura E, Al-amin Bhuiyan,

- 例. 日口蓋裂会誌 34 (3) : 313-319, 2009.
- 14) 泉 直也, 小林正治, 高田佳之, 小田陽平, 新美奏恵, 齊藤 力: 顎裂骨移植後に発生した頬皮嚢胞の1例. 日本口腔外科学会雑誌 第55巻第11号 567-570, 2009.
 - 15) 金丸祥平, 新美奏恵, 小田陽平, 小林正治, 西山秀昌, 新垣 晋, 齊藤 力: 顎下部に発生した乳幼児線維腫症の1例. 口腔腫瘍 21巻4号: 273-278, 2009.
 - 16) 加藤祐介, 小林正治, 長谷部大地, 加納浩之, 齊藤力: 顔面非対称の主観的評価と注視点解析による検討-アイトラッキング法による分析-. 日本顎変形症学会雑誌 第19巻第4号: 184-192, 2009.
 - 17) 小田陽平, 小林正治, 芳澤享子, 朝日藤寿一, 齊藤功, 齊藤 力: Low-profile チタン製骨接合材の下顎枝矢状分割法における有用性. 甲北信越矯歯会誌 17 (1) : 46-51, 2009.
 - 18) 昆はるか, 佐藤直子, 野村修一, 櫻井直樹, 金城篤史, 他: 高齢義歯装着者の義歯への満足度に影響する要因について. 日補綴会誌 1 : 361-369, 2009.

【著書】

- 1) 魚島勝美: 歯科医学教育白書 2008年度版. 分担, 2009.
- 2) 齊藤 力, 小林正治: 脇田 稔, 山下靖雄 監修: 口腔解剖学. 第18章 骨折と筋. 150-154, 医歯薬出版, 2009.

【商業誌】

- 1) 小林正治: 吸収性ミニプレート (ネオフィックス) BOX型を用いたLe Fort I型骨切り術. 小林メディカル Clinical Report, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 魚島勝美: 科学研究費補助金 基盤研究 (B) (継続) 「咬合力による骨組織改造の高精度予測」2000千円.
- 2) 藤井規孝: 歯科インプラントの生体防御反応と神経線維との関連性を探る. 平成21年度新潟大学プロジェクト推進経費, 372千円.
- 3) 嵐山貴徳: 培養骨膜細胞による骨組織再生課程の細胞・組織分化および骨代謝現象の動的解明. 平成21年度新潟大学プロジェクト推進経費, 奨励研究, 340千円.
- 4) 久保田健彦: 薬剤性歯肉線維化局所におけるコラゲナーゼインヒビターの役割 平成21年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 1,560千円.
- 5) 久保田健彦: 歯周炎病変部における APP タンパク

- の役割 平成21年度新潟大学プロジェクト推進経費, 奨励研究, 450千円.
- 6) 久保田健彦: 治験 KCB-1D 経費, 科研製薬, 400千円.
 - 7) 久保田健彦: A case report of multiple-drug-induced gingival overgrowth with TIMP-3 over-expression Oral Med and Pathol 12: 127-134, 2008 平成21年度新潟大学若手教員論文投稿等支援プログラム 計93千円.
 - 8) 櫻井直樹, 小林 博, 野村修一, 井上 誠, 斎藤美紀子: 咀嚼・嚥下障害に対する診断支援システム構築. 平成20-23年度日本学術振興会研究費補助金基盤研究 (C), 課題番号 19592231, 2009. (継続)
 - 9) 櫻井直樹: ピエゾフィルムを応用した簡便な嚥下機能評価装置の開発. 地域イノベーション創出総合支援事業, 平成21年度「シーズ発掘試験」A (発掘型), 課題番号 05-043 (新規)

【その他の発行物】

- 1) 平山実里, 藤井規孝: 骨縁下齶蝕に対して外科的挺出 (再植) を適用した症例の臨床的検討. 新歯界 688:1-3, 2009.

【講演・シンポジウム】

- 1) 魚島勝美: 15th Scientific Meeting and Refresher Course in Dentistry (KPPIKG) 2009 招待講演 「Implant system selection and treatment planning」2009.10.14
- 2) 魚島勝美: 歯学教育での ICT を活用した学習評価 「統合型模型実習とその学習評価」. 東京歯科大学 特色 GP フォーラム, 東京, 2009年3月28日.
- 3) 魚島勝美: 「統合型模型実習とその学習評価」. 東京歯科大学 FD 歯科医学教育セミナー, 千葉, 2009年5月29日.
- 4) 魚島勝美: 「統合型模型実習の実践」. 明海大学歯学部 FD 講演会, 埼玉, 2009年10月26日.
- 5) 小林正治: 顎変形症の診断統一「新潟大学における顎変形症の診断と治療方針の立案」. 第63回日本口腔科学会学術集会, 浜松, 2009年4月16日.
- 6) 小林正治: 日本顎変形症学会のこれからの考える 「顎変形症診療ガイドラインについて」. 第19回日本顎変形症学会総会, 仙台, 2009年6月5日.
- 7) 小林正治: 顎変形症治療ゴールのコンセンサスを求めて 「外科的矯正治療のゴール設定にあたって配慮していること」. 第19回日本顎変形症学会総会, 仙台, 2009年6月5日.

【学会発表】

- 1) Yoshida K, Sassa T, Uoshima K, and Mochida Y:

- Localization of EVC2 protein in cultured ameloblasts. AADR, Washington, DC, USA, 2010.3.3-9.
- 2) Nagasawa M, Uoshima K, Yoshida K, Kawasaki M.: Investigation on degenerative changes of the bone surrounding dental implant upon excessive occlusal load -a novel animal model to clarify the mechanism of osseointegration destruction-. 5th Scientific Meeting of Asian Academy of Osseointegration. Bali, Indonesia, 2009.11.20-19.
 - 3) Takano R, Nagasawa M, Mikami S, Stegaroiu R, Uoshima K.: Towards the establishment of a 3-D finite element model to investigate stress distribution around an implant under excessive load in a rat model. 5th Scientific Meeting of Asian Academy of Osseointegration. Bali, Indonesia, 2009.11.20-22.
 - 4) Kawasaki M, Uoshima K, Yoshida K, Nagasawa M, Marcelo R, Al-amin B.: Comparison between implant prosthesis and removable partial denture using masticatory efficiency test and QOL survey. 5th Scientific Meeting of Asian Academy of Osseointegration., Nov. 20-22nd, 2009 in Bali, Indonesia
 - 5) Kaku M, Komatsu Y, Mishina Y, Uoshima K.: Identification of Neural Crest Stem Cells in Adult Periodontal Ligament. 5th Scientific Meeting of Asian Academy of Osseointegration. Bali, Indonesia, 2009.11.20-22.
 - 6) Akiba Y, Kaku M, Kawasaki M, Uoshima K.: Effect of Histone deacetylase Inhibitors on mesenchymal stem cells in osteogenic differentiation. 5th Scientific Meeting of Asian Academy of Osseointegration. Bali, Indonesia, 2009.11.20-22.
 - 7) Nagasawa M, Kawasaki M, Yoshida K, Tanaka R, Hayashi T and Uoshima K.: An analysis of Pustulosis Palmaris et Plantaris (PPP) patients who visited Niigata University Medical and Dental Hospital in last 3 years. 6th biennial meeting of Asian Academy of Prosthodontics. Seoul, Korea, 2009.4.24-26.
 - 8) Abe D, Kubota T, Shimizu T, Morozumi T, Nakasone N, Yoshie H.: Comprehensive gene expression analysis of gingival tissues affected by localized chronic periodontitis. EUROPERIO6 (Poster presentations). Stockholm, Sweden, 2009.6.4-6.
 - 9) Shimizu T, Kubota T, Abe D, Morozumi T, Nakasone N, Yoshie H.: Transcriptomes in sites with drug-induced gingival-overgrowth Microarray and qRT-PCR analyses. EUROPERIO6 (Poster presentations). Stockholm, Sweden, 2009.6.4-6.
 - 10) Morozumi T, Kubota T, Abe D, Shimizu T, Yoshie H: Microbiological effect of essential oil-containing antibiotic in patients with generalized chronic periodontitis. The 95th Annual Meeting of American Academy of Periodontology. (Poster presentations). Boston, U.S.A., 2009.9.12-15.
 - 11) Kobayashi T, Mir Nowazesh Ali, Tanaka M, Rezwana Binte Anwar, Oshima H, Saito C, Ejiri S.: Effects of Intermittent Parathyroid Hormone Treatment on New Bone Formation during Distraction Osteogenesis in Rat Mandible. 5th International Symposium on Orthognathic Surgery and Distraction Osteogenesis, Stuttgart, 2009.10.14-17.
 - 12) 川崎真依子, 魚島勝美, 吉田恵子, 長澤麻沙子: 咀嚼能率検査と QOL アンケートによる固定性インプラント義歯と可撤性部分床義歯の比較. 第 39 回日本口腔インプラント学会学術大会, 大阪, 2009 年 9 月 25-27 日.
 - 13) 長澤麻沙子, 魚島勝美, 吉田恵子, 川崎真依子: 動物実験モデルを用いたオッセオインテグレーション崩壊機序の検索. 第 39 回日本口腔インプラント学会学術大会, 大阪, 2009 年 9 月 25-27 日.
 - 14) 小野和宏, 八木 稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 林 孝文, 齋藤 功, 興地隆史, 前田健康, 藤井規孝: 新潟大学歯学部歯学科のカリキュラム評価. 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会, 広島, 2009 年 11 月 6-7 日.
 - 15) 藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 魚島勝美, 齋藤 力, 前田健康: 新潟大学医歯学総合病院歯科医師臨床研修における単独型プログラムの実際. 第 28 回日本歯科医学教育学会学術大会, 広島, 2009 年 11 月 6-7 日.
 - 16) 長澤麻沙子, 加来 賢, 秋葉陽介, 吉田恵子, 川崎真依子, Rosales Marcelo, Al-amin Buiyan, 魚島勝美, 前田健康: インプラント咬合動物実験モデルにおける骨の組織学的観察. 第 51 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009 年 9 月 9-11 日.
 - 17) 川崎真依子, 魚島勝美, 吉田恵子, 長澤麻沙子, マルセロ・ロサレス, アルアミン・ビヤン: 咀嚼能率検査と QOL アンケートによる固定性インプラント義歯の評価. 第 118 回日本歯科補綴学会学術大会, 京都, 2009 年 6 月 5-8 日.
 - 18) 加来 賢, 小松義広, 三品裕司, 魚島勝美, Ko

- Ching-Chang：成体歯根膜における神経堤由来幹細胞の検索. 第118回日本歯科補綴学会学術大会, 京都, 2009年6月5-8日.
- 19) 長澤麻沙子, 魚島勝美, 吉田恵子, 川崎真依子, Rosales Marcelo, Al-amin Buiyan：ラットを用いた口腔インプラントの咬合モデル確立. 第118回日本歯科補綴学会学術大会, 京都, 2009年6月5-8日.
 - 20) 平山実里, 藤井規孝, 小林哲夫, 中島貴子, 石崎裕子, 魚島勝美：骨縁下齶蝕に対して外科的挺出（再植）を適用した症例の臨床的検討. 平成21年度新潟歯学会学術大会, 新潟, 2009年4月18日.
 - 21) 池田順行, 藤田 一, 永田昌毅, 齋藤正直, 安楽純子, 星名秀行, 高木律男：頸部後発リンパ節転移を生じた口腔領域扁平上皮癌 T1・T2 症例の臨床病理学的検討. 第27回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 宇都宮, 2009年1月29-30日. 第27回口腔腫瘍学会総会・学術大会抄録集, 118頁, 2009年.
 - 22) 池田順行, 星名秀行, 小野和宏, 飯田明彦, 高木律男, インプラントに関連した上顎洞合併症の臨床的検討. 第42回新潟歯学会総会, 新潟市, 2009年4月18日. 抄録集10頁, 2009年.
 - 23) ノーマン アルハブ, 永田昌毅, 星名秀行, 藤田 一, 池田順行, 大西 真, 大山登喜男, 新垣 晋, 高田佳之, 小野由起子, 高木律男：舌扁平上皮癌における Tetraspanin 遺伝子発現レベルのバイオマーカーとしての有用性. 第63回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 浜松, 2009年4月16-17日, 第63回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会プログラム・抄録集 333頁, 2009年.
 - 24) 永田昌毅, 星名秀行, 川瀬知之, 荒澤 恵, 山田一穂, 嵐山貴徳, 中田 光, 高木律男：歯科インプラントを目的とした培養自家骨膜併用による歯槽骨再生. 日本形成外科学会関東支部 第80回新潟地方会, 新潟, 2009年7月13日.
 - 25) 山田一穂, 星名秀行, 山田裕士, 荒井良明, 魚島勝美：サージカルガイドによる即時荷重時の新しい上部構造システム. 第39回日本口腔インプラント学会学術大会, 大阪, 2009年9月25-27日.
 - 26) 山田一穂：歯槽骨萎縮を伴う上顎中切歯欠損症例に対しインプラント治療を行なった1症例. 第39回日本口腔インプラント学会学術大会, 大阪, 2009年9月25-27日.
 - 27) 山田一穂, 荒井良明, 星名秀行, 嵐山貴徳, 荒澤 恵, 山田裕士, 三上 諭, 魚島勝美：コンピュータガイドシステムを用いたインプラント埋入の臨床的検討. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2009年7月18日.
 - 28) 安島久雄, 荒井良明, 高木律男, 池田順行, 嵐山貴徳, 庭野将広, 西山秀昌, 高田佳之, 桜井直樹, 川崎真依子, 福井忠雄：新潟大学医歯学総合病院顎関節治療部における高齢者顎関節症患者に関する臨床統計的検討. 第22回日本学関節学会総会, 東京, 2009年7月25-26日. 第22回日本学関節学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 93頁, 2009年.
 - 29) 嵐山貴徳, 高木律男, 星名秀行, 安島久雄, 池田順行, 庭野将広, 高山裕司, 田中 礼, 林 孝文：下顎頭縦骨折の臨床的検討 - 下顎頸部骨折との比較 -. 第22回日本顎関節学会総会・学術大会, 第14回日本口腔顎顔面痛学会総会・学術大会, 東京, 2009年7月25-26日. 第22回日本学関節学会学術大会特別号, 123頁, 2009年.
 - 30) 星名秀行, 池田順行, 高木律男, 嵐山貴徳, 山田一穂, 荒澤 恵, 魚島勝美：インプラントに関連した上顎洞合併症の臨床的検討. 第39回(社)日本口腔インプラント学会, 大阪, 2009年9月26-27日.
 - 31) 安島久雄, 飯田明彦, 小山貴寛, 星名秀行, 高木律男：下顎歯槽骨延長術における延長方向可変型骨延長装置の使用経験 (MODUS ARS V2 type®). 第54回(社)日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌, 2009年10月9-11日. 日口外誌 55 (総会特別号), 153頁, 2009年.
 - 32) 嵐山貴徳, 福田純一, 星名秀行, 宮城尚史, 齋藤 功, 高木律男：末端肥大症に伴う下顎前突症に対して顎矯正手術を施行した1例. 第54回日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌市, 2009年10月9日-11日. 日口外誌 55 (総会特別号), 230頁, 2009年.
 - 33) 鶴巻 浩, 星名秀行, 永田昌毅：顎骨切除後の低歯槽堤症に対し傾斜埋入を併用した即時負荷インプラント治療の1例. 第54回(社)日本口腔外科学会総会, 札幌, 2009年10月9-11日. 日口外誌 55 (総会特別号), 77頁, 2009年.
 - 34) 安島久雄, 小野和宏, 島田靖子, 小田陽平, 田中 礼, 松山順子, 藤井規孝, 井上 誠, 山村健介, 齋藤 功, 魚島勝美, 興地隆史, 高木律男, 前田健康：新潟大学歯学部における教員研修 (FD) の概要と今後の方向性. 第28回日本歯科医学教育学会 総会および学術大会, 広島, 2009年11月6-7日. 第28回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集, 92頁, 2009年.
 - 35) 安島久雄, 飯田明彦, 小山貴寛, 星名秀行, 高木律男：下顎歯槽骨延長術における延長方向可変型骨延長装置の使用経験 (MODUS ARS V2 type®). 日本形成外科学会関東支部第81回新潟地方会, 新潟, 2009年11月9日.
 - 36) 池田順行, 藤田 一, 永田昌毅, 星名秀行, 高木律男：下顎骨区域切除後32年が経過し移植腸骨に再

- 発をみたエナメル上皮腫の1例. 第28回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 東京, 2010年1月28-29日. 第28回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 122頁.
- 37) 齋藤太郎, 池野順行, 安島久雄, 嵐山貴徳, 庭野将広, 高木律男: 顎関節に対する外科症例. 日本形成外科学会関東支部第82回新潟地方会, 新潟, 2010年2月8日.
- 38) 石崎裕子, 中島貴子, 小林哲夫, 藤井規孝, 魚島勝美: 歯科医師臨床研修における医療事故防止活動-危険予知トレーニングの試み-. 総合歯科医療に関する学術研究セミナー2009, 2009年7月19日.
- 39) 韓臨麟, 興地隆史, 吉羽永子, 小林哲夫, 藤井規孝, 小野和宏, 前田健康: 早期臨床実習への窩洞形成修復実習の導入. 第28回日本歯科医学教育学会学術大会, 広島, 2009年11月6-7日.
- 40) 荒井良明, 奥村暢旦, 熊谷知弘: インプラント診断用テンプレートのための光重合型レジン歯の開発と臨床応用. 第118回日本歯科補綴学会, 京都, 2009年6月6-7日. 第118回日本歯科補綴学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 185頁, 2009年.
- 41) 敦井智賀子, 荒井良明, 井上 誠, 谷口裕重, 山田好秋: 下顎運動時における頭頸部協調運動. 平成21年度 新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2009年7月18日. 新潟歯学会誌 39: 201頁, 2009.
- 42) 阿部大輔, 久保田健彦, 清水太郎, 両角俊哉, 中曽根直弘, 吉江弘正: 限局型慢性歯周炎罹患部位歯肉における網羅的遺伝子発現解析. 第52回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山, 2009年5月15-16日. 日本歯周病学会会誌 第51巻春季特別号, 108頁.
- 43) 清水太郎, 久保田健彦, 阿部大輔, 両角俊哉, 中曽根直弘, 吉江弘正: 薬剤性歯肉増殖症の感受性と特異的遺伝子発現の網羅的解析. 第52回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山, 2009年5月15-16日. 日本歯周病学会会誌 第51巻春季特別号, 108頁.
- 44) 両角俊哉, 阿部大輔, 清水太郎, 久保田健彦, 吉江弘正: SRP後の歯血症における, エッセンシャルオイル含有殺菌洗口液を用いたイリゲーションおよびアジスロマイシン投与による予防効果の検討. 第52回春季日本歯周病学会学術大会, 岡山, 2009年5月15-16日. 日本歯周病学会会誌 第51巻春季特別号, 116頁.
- 45) 阿部大輔, 久保田健彦, 清水太郎, 両角俊哉, 中曽根直弘, 吉江弘正: 限局型慢性歯周炎罹患部位歯肉における網羅的遺伝子発現解析. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2009年7月18日. プログラム抄録集, 15頁.
- 46) 清水太郎, 久保田健彦, 中曽根直弘, 阿部大輔, 両角俊哉, 吉江弘正: 薬剤性歯肉増殖症の特異的遺伝子発現の網羅的解析と関連遺伝子発現レベルの検索. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2009年7月18日. プログラム抄録集, 15頁.
- 47) 久保田健彦, 阿部大輔, 清水太郎, 両角俊哉, 中曽根直弘, 吉江弘正: 歯周炎罹患歯肉組織局所における特異的遺伝子発現の解析. 日本歯科保存学会2009年度秋季学術大会(第131回), 仙台, 2009年10月29日. プログラムおよび講演抄録集, 52頁.
- 48) 新美奏恵, 芳澤享子, 菅井登志子, 小林正治, 齊藤力, 高木律男, 小野和宏, 興地隆史: 歯根完成歯自家移植の歯根吸収に関する臨床的検討. 第63回日本口腔科学会学術集会, 浜松, 2009年4月16-17日.
- 49) 菅井登志子, 芳澤享子, 小林正治, 齊藤力, 高木律男, 小野和宏, 興地隆史: 歯根完成歯自家移植の予後因子に関する検討(第2報). 第63回日本口腔科学会学術集会, 2009年4月16-17日.
- 50) 加藤寛子, 小田陽平, 芳澤享子, 小林正治, 鈴木一郎, 新垣 晋, 齊藤力: 新潟大学医歯学総合病院口腔再建外科診療室における2008年の外来受診患者・入院患者に関する検討. 平成21年度新潟歯学会総会, 新潟, 2009年4月18日.
- 51) Mir Nowazesh Ali, Kobayashi T, Tanaka M, Rezwana Binte Anwar, Saito C, Sadakazu Ejiri.: Intermittent administration parathyroid hormone increases new bone formation during rat mandibular distraction osteogenesis. 第29回日本骨形態計測学会, 大阪, 2009年5月28-30日.
- 53) 小林正治, 小田陽平, 泉 直也, 芳澤享子, 朝日藤寿一, 齋藤 功, 齊藤力: 唇顎口蓋裂患者に対する上下顎移動術後の顎骨安定性について. 第33回日本口蓋裂学会総会, 東京, 2009年5月28-29日.
- 54) 加藤寛子, 小林正治, 長谷部大地, 加藤健介, 泉直也, 芳澤享子, 篠倉 均, 齊藤力: 骨格性下顎前突と咬筋肥大を呈した下垂体性小人症の一例. 第19回日本顎変形症学会, 仙台, 2009年6月4-5日.
- 55) 加藤祐介, 小林正治, 長谷部大地, 加納浩之, 齊藤力: 顔面非対称の認知メカニズムに関する研究-アイトラッキング法による分析-. 第19回日本顎変形症学会仙台, 2009年6月4-5日.
- 56) 永井正紀, 小林正治, 長谷部大地, 加納浩之, 五島秀樹, 齋藤功, 齊藤力: 下顎前突症患者に対する上下顎移動術後の顎骨安定性について-骨接合にチタンミニプレートを使用した群とPLLA吸収性プレートを併用した群の比較-. 第19回日本顎変形症学会, 仙台, 2009年6月4-5日.
- 57) 高田佳之, 小林正治, 小野由起子, 泉 直也, 西山

- 秀昌, 齊藤 力: Peptostreptococcus micros が起炎菌と思われる急性化膿性顎関節炎の1例. 第22回日本顎関節学会総会・学術大会, 東京, 2009年7月25, 26日.
- 58) 長谷部大地, 小林正治, 加藤健介, 荒井良明, 齊藤力: 重度上顎顎堤萎縮に対して顎堤形成術後にインプラント治療を施行した1例. 第80回日本形成外科学会新潟地方会, 新潟, 2009年7月13日.
- 59) 加藤祐介, 加納浩之, 佐藤直幸, 小林正治: ゆきぐに大和病院歯科口腔外科における最近4年間の入院患者の臨床的検討. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2009年7月18日.
- 60) 加藤健介, 新垣 晋, 小林正治, 高田佳之, 齊藤 力: 診断に苦慮したサルコイドーシスの1例. 第54回(社)日本口腔外科学会学術大会, 札幌, 2009年10月9-11日.
- 61) 小野由起子, 小林正治, 芳澤享子, 齊藤 力, 斎藤美紀子, 林 孝文, 丸山 智, 朔 敬: 小児にみられた focal osteoporotic bone marrow defect の1例. 第54回(社)日本口腔外科学会学術大会, 札幌, 2009年10月9-11日.
- 62) 新美奏恵, 芳澤享子, 菅井登志子, 小林正治, 齊藤力, 高木律男, 小野和宏, 興地隆史: 歯根完成歯移植後に出現した歯根頸部吸収に関する臨床的検討. 第54回(社)日本口腔外科学会学術大会, 札幌, 2009年10月9-11日.
- 63) 長谷部大地, 小林正治, 長谷川真弓, 岩本忠士, 加藤健介, 泉 直也, 高田佳之, 齊藤 力: 下顎骨後方移動術が気道形態と睡眠時の呼吸状態に及ぼす影響について. 第6回アジア睡眠学会・日本睡眠学会第34回定期学術集会・第16回日本時間生物学会学術大会合同大会, 大阪, 2009年10月24-27日.
- 64) 高田佳之, 小林正治, 泉 直也, 船山昭典, 長谷部大地, 高辻紘之, 齊藤 力: 睡眠時無呼吸症候群患者に対する口腔内装置の長期使用はどのような影響を及ぼすか -セファロメトリーによる検討-. 第6回アジア睡眠学会・日本睡眠学会第34回定期学術集会・第16回日本時間生物学会学術大会合同大会, 大阪, 2009年10月24-27日.
- 65) 小林正治, 小田陽平, 泉 直也, 長谷部大地, 小島拓, 齊藤 力: Multi-piece Le Fort I型骨切り術の適応について. 日本形成外科学会関東支部第81回新潟地方会, 新潟, 2009年11月9日.
- 66) 小林正治, 荒井良明, 高田佳之, 泉 直也, 芳澤享子, 魚島勝美, 齊藤 力: 顎顔面変位骨折の咬合再建に顎矯正手術とインプラント治療を併用した一例. 第13回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 佐賀, 2009年12月12-13日.
- 67) 昆はるか, 野村修一, 櫻井直樹, 小林 博, 佐藤直子, 甲斐朝子, 金子厚敦郎: 復位性関節円板転位症例における下顎開閉口運動時 頭部運動開始点の経時的変化について. 日本顎口腔機能学会第42回学術大会, 新潟, 2009年4月12日, プログラム・抄録集27-28頁, 2009.
- 68) 昆はるか, 野村修一, 櫻井直樹, 小林 博, 甲斐朝子, 山田一穂, 金城篤史, 金子敦郎: 下顎開閉口運動時に観察された復位性関節円板転位症例における頭部運動の時系列分析. 日本補綴歯科学会第118回学術大会, 京都, 2009年6月6日, プログラム・抄録集85頁, 2009.
- 69) 佐藤直子, 野村修一, 昆はるか, 櫻井直樹, 山田一穂, 葭原明弘, 宮崎秀夫, 河野正司: 10年間の縦断調査からみた地域高齢者の咬合力. 第20回日本老年歯科医学会総会・学術大会, 横浜, 2009年6月19日, プログラム・抄録集113頁, 2009.
- 70) 櫻井直樹, 昆はるか, 林 孝文, 西山秀昌, 小山純市, 田中 礼: 自立している高齢者の顎関節症症状の発現について. 第22回日本顎関節学会総会・学術大会, 東京, 2009年7月25日, 日顎誌. 21:92頁, 2009.
- 71) 櫻井直樹, 野村修一, 昆はるか, 佐藤直子, 小林 博, 田中みか子, 金城篤史, 甲斐朝子, 宮崎秀夫, 葭原明弘: 地域在住の高齢者における顎関節症症状の発現について. 平成21年度日本補綴歯科学会関越支部総会・合同学術大会, 高崎, 2010年1月30日, プログラム・抄録集13頁, 2010.

【研究会発表】

- 1) 秋葉陽介, 加来 賢, 魚島勝美: 間葉系幹細胞の骨形成系細胞誘導におけるヒストン脱アセチル化阻害剤の影響について. 第2回再生補綴医学研究会, 名古屋, 2009年11月27日.
- 2) 加来 賢, 小松義広, 三品裕司, Ko Ching-Chang, 魚島勝美: 成体歯根膜における神経堤由来細胞の分布と幹細胞マーカーの発現. 第2回再生補綴医学研究会, 名古屋, 2009年11月27日.
- 3) 池田順行, 藤田 一, 永田昌毅, 斎藤正直, 安楽純子, 星名秀行, 高木律男: 頸部後発転移を生じた口腔扁平上皮癌 T1, T2 症例の臨床病理学的検討. 第69回新潟癌治療研究会, 新潟市, 2009年7月25日.

【その他の発表】

- 1) 魚島勝美, 星名秀行, 藤井規孝, 富塚 健, 荒井良明, 久保田健彦, 小林正治, 櫻井直樹, 田口裕哉, 山田一穂, 嵐山貴徳, 荒澤 恵, 木村修平: インプラント治療の基礎-安全で確実な医療を提供するた

めに。平成21年度新潟大学歯学部同窓会企画講習会，新潟，2009年5月24日。

- 2) 荒井良明：Nobel Biocare Implant System のアドバンテージを探る～Nobel Biocare と Straumann それぞれの特徴を活かそう！～。新潟 SJCD2 月例会，新潟，2010年2月20日。
- 3) 荒井良明：ME 機器関連知識について。GC デンタルカレッジ，東京，2009年6月30日。
- 4) 荒井良明：インプラント治療の押さどころ ～安全で確実な患者のための医療提供を目指して～。加茂市見附市歯科医学会，加茂市，2009年10月22日。

【受賞】

- 1) 長澤麻沙子，魚島勝美，吉田恵子，川崎真依子：動物実験モデルを用いたオッセオインテグレーション崩壊機序の検索。第39回日本口腔インプラント学会学術大会，大阪，2009年9月27日。ポスター賞（デンツブライ賞）。

【外国人客員研究員受入れ】

- 1) 魚島勝美：外国人客員研究員 Ioana Baltag（ルーマニア），2009年10月19日～2009年12月18日。

顎関節治療部

【論文】

- 1) 荒井良明：半側咀嚼筋スパズムに咬合挙上した可撤性義歯による補綴学的療法が奏功した1症例。日補綴会誌1(2)：195-198，2009。
- 2) 庭野将広：ラット顎関節滑膜の発生過程におけるカベオリン-3タンパクの免疫細胞化学的局在。新潟歯学会誌39(1)：67-68，2009。
- 3) 敦井智賀子，荒井良明，谷口裕重，矢作理花，堀一浩，井上 誠：下顎運動時頭頸部協調運動の筋電図学的評価。顎機能誌16:112-123，2010。
- 4) 山中正文，福田純一，児玉泰光，安島久雄，池田順行，高木律男：両側側頭開頭術後に生じた開口障害の1例。口科誌59(1)：31-35，2010。

【学会発表】

- 1) 昆はるか，野村修一，櫻井直樹，小林 博，佐藤直子，甲斐朝子，金子厚敦郎：復位性関節円板転位症例における下顎開閉口運動時 頭部運動開始点の経時的変化について。日本顎口腔機能学会第42回学術大会，新潟，2009年4月12日，プログラム・抄録集27-28頁，2009。
- 2) 昆はるか，野村修一，櫻井直樹，小林 博，甲斐朝子，山田一穂，金城篤史，金子敦郎：下顎開閉口運

動時に観察された復位性関節円板転位症例における頭部運動の時系列分析。日本補綴歯科学会第118回学術大会，京都，2009年6月6日，プログラム・抄録集85頁，2009。

- 3) 荒井良明，奥村暢旦，熊谷知弘：インプラント診断用テンプレートのための光重合型レジン歯の開発と臨床応用。第118回日本歯科補綴学会，京都，2009年6月6-7日，第118回日本歯科補綴学会総会・学術大会プログラム・抄録集，185頁，2009年。
- 4) 佐藤直子，野村修一，昆はるか，櫻井直樹，山田一穂，葭原明弘，宮崎秀夫，河野正司：10年間の縦断調査からみた地域高齢者の咬合力。第20回日本老年歯科医学会総会・学術大会，横浜，2009年6月19日，プログラム・抄録集113頁，2009。
- 5) 山田一穂，荒井良明，星名秀行，嵐山貴徳，荒澤 恵，山田裕士，三上 諭，魚島勝美：コンピュータガイドシステムを用いたインプラント埋入の臨床的検討。平成21年度新潟歯学会第1回例会，新潟市，2009年7月18日。
- 6) 敦井智賀子，荒井良明，井上 誠，谷口裕重，山田好秋：下顎運動時における頭頸部協調運動。平成21年度新潟歯学会第1回例会，新潟，平成21年7月18日，新潟歯学会誌39：201，2009。
- 7) 櫻井直樹，昆はるか，林 孝文，西山秀昌，小山純市，田中 礼：自立している高齢者の顎関節症症状の発現について。第22回日本顎関節学会総会・学術大会，東京，2009年7月25日，日顎誌：21（第22回大会特別号），92頁，2009。
- 8) 安島久雄，荒井良明，高木律男，池田順行，嵐山貴徳，庭野将広，西山秀昌，高田佳之，桜井直樹，川崎真依子，福井忠雄：新潟大学医歯学総合病院顎関節治療部における高齢者顎関節症患者に関する臨床統計的検討。第22回日本学関節学会総会，東京，2009年7月25-26日。日顎誌：21（第22回大会特別号），93頁，2009年。
- 9) 高田佳之，小林正治，小野由起子，泉 直也，西山秀昌，齊藤 力：Peptostreptococcus micros が起炎菌と思われる急性化膿性顎関節炎の1例。第22回日本学関節学会総会，東京，2009年7月25-26日。日顎誌：21（第22回大会特別号），103頁，2009年。
- 10) 嵐山貴徳，高木律男，星名秀行，安島久雄，池田順行，庭野将広，高山裕司，田中 礼，林 孝文：下顎頭縦骨折の臨床的検討ー下顎頸部骨折との比較ー。第22回日本顎関節学会総会・学術大会，東京，2009年7月25-26日。日顎誌：21（第22回大会特別号），123頁，2009年。
- 11) 林 孝文，佐野 司，庄司憲明，田口 明，筑井 徹，中山英二，村上秀明，末永重明，小林 馨，西山秀

昌：顎関節の画像診断ガイドラインの策定. 第22回日本顎関節学会総会・学術大会, 東京, 2009年7月25-26日. 日顎誌:21(第22回大会特別号), 137頁, 2009年.

- 12) 荒井良明：インプラント治療の押さどころ～安全で確実な患者のための医療提供を目指して～. 加茂市見附市歯科医学会, 加茂市, 2009年10月22日.
- 13) 櫻井直樹, 野村修一, 昆はるか, 佐藤直子, 小林 博, 田中みか子, 金城篤史, 甲斐朝子, 宮崎秀夫, 葭原明弘：地域在住の高齢者における顎関節症状の発現について. 平成21年度日本補綴歯科学会関越支部総会・合同学術大会, 高崎, 2010年1月30日プログラム・抄録集13頁, 2010.
- 14) 齋藤太郎, 池野順行, 安島久雄, 嵐山貴徳, 庭野将広, 高木律男：当科における顎関節に対する外科治療例の検討. 日本形成外科学会関東支部第82回新潟地方会, 新潟, 2010年2月8日.

【研究会発表】

- 1) 荒井良明：Nobel Biocare Implant System のアドバンテージを探る～Nobel Biocare と Straumann それぞれの特徴を活かそう！～. 新潟 SJCD 2月例会, 新潟市, 2010年2月20日.

【その他の発表】

- 1) 魚島勝美, 星名秀行, 藤井規孝, 富塚 健, 荒井良明, 久保田健彦, 小林正治, 櫻井直樹, 田口裕哉, 山田一穂, 嵐山貴徳, 荒澤 恵, 木村修平：インプラント治療の基礎－安全で確実な医療を提供するために－. 平成21年度新潟大学歯学部同窓会企画講習会, 新潟市, 2009年5月24日.
- 2) 荒井良明：ME 機器関連知識について. GC デンタルカレッジ, 東京, 2009年6月30日.